

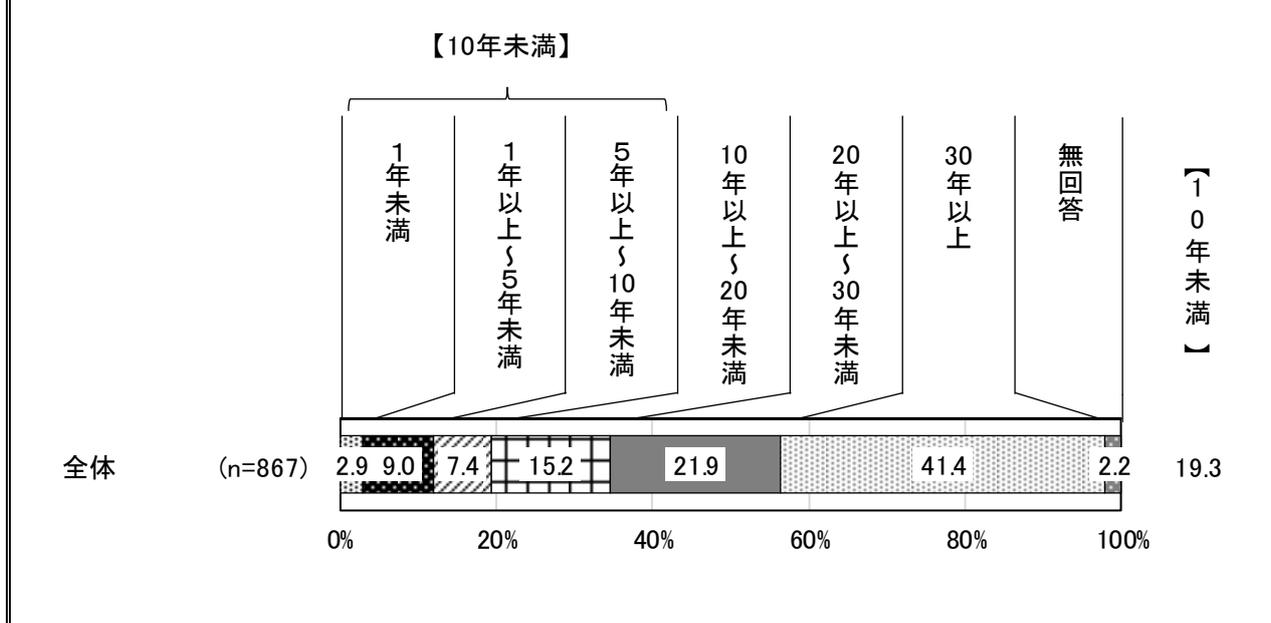
Ⅲ 結果の分析

1 定住意識と住みやすさ

(1) 居住年数

問1 あなたは、福生市に住んで何年になりますか。(○は1つ)

<図表1-1> 居住年数

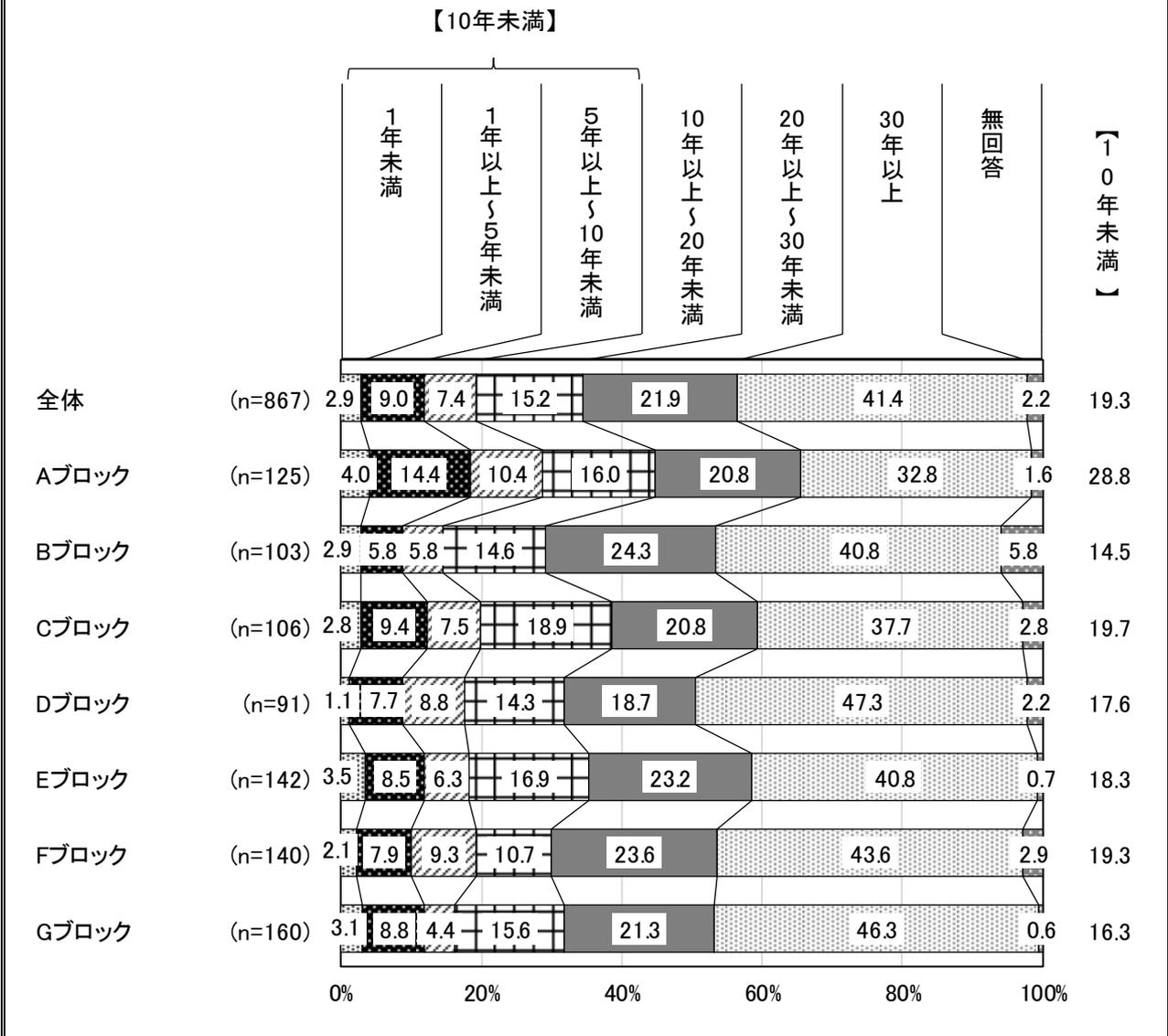


<調査結果>

居住年数について聞いたところ、「30年以上」(41.4%)が4割以上と最も高く、次いで、「20年以上～30年未満」(21.9%)、「10年以上～20年未満」(15.2%)となっています。

「1年未満」(2.9%)と「1年以上～5年未満」(9.0%)と「5年以上～10年未満」(7.4%)を合計した【10年未満】(19.3%)が約2割となっています。

<図表1-2> 居住年数／ブロック別



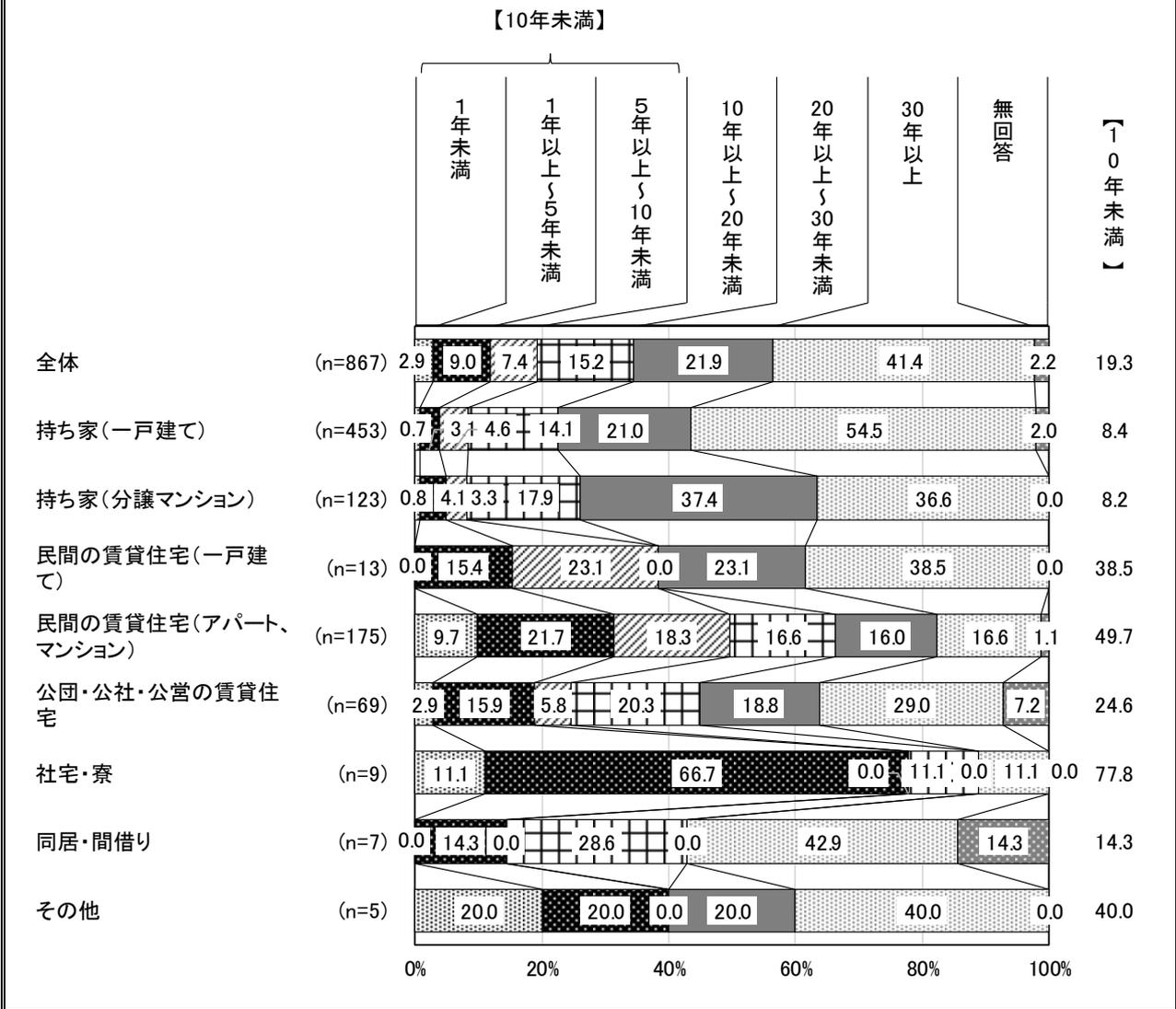
<調査結果>

居住年数についてブロック別に見ると、いずれの地域においても、居住年数が20年以上の回答が5割を超えています。

その中でも「30年以上」はDブロック（47.3%）が最も高く4割後半となっています。Aブロック（32.8%）とCブロック（37.7%）はいずれも3割台となっています。

【10年未満】の割合はAブロック（28.8%）が最も高く2割後半となっています。一方で、Bブロック（14.5%）が1割半ばとなっています。

<図表1-3> 居住年数／住居形態別



<調査結果>

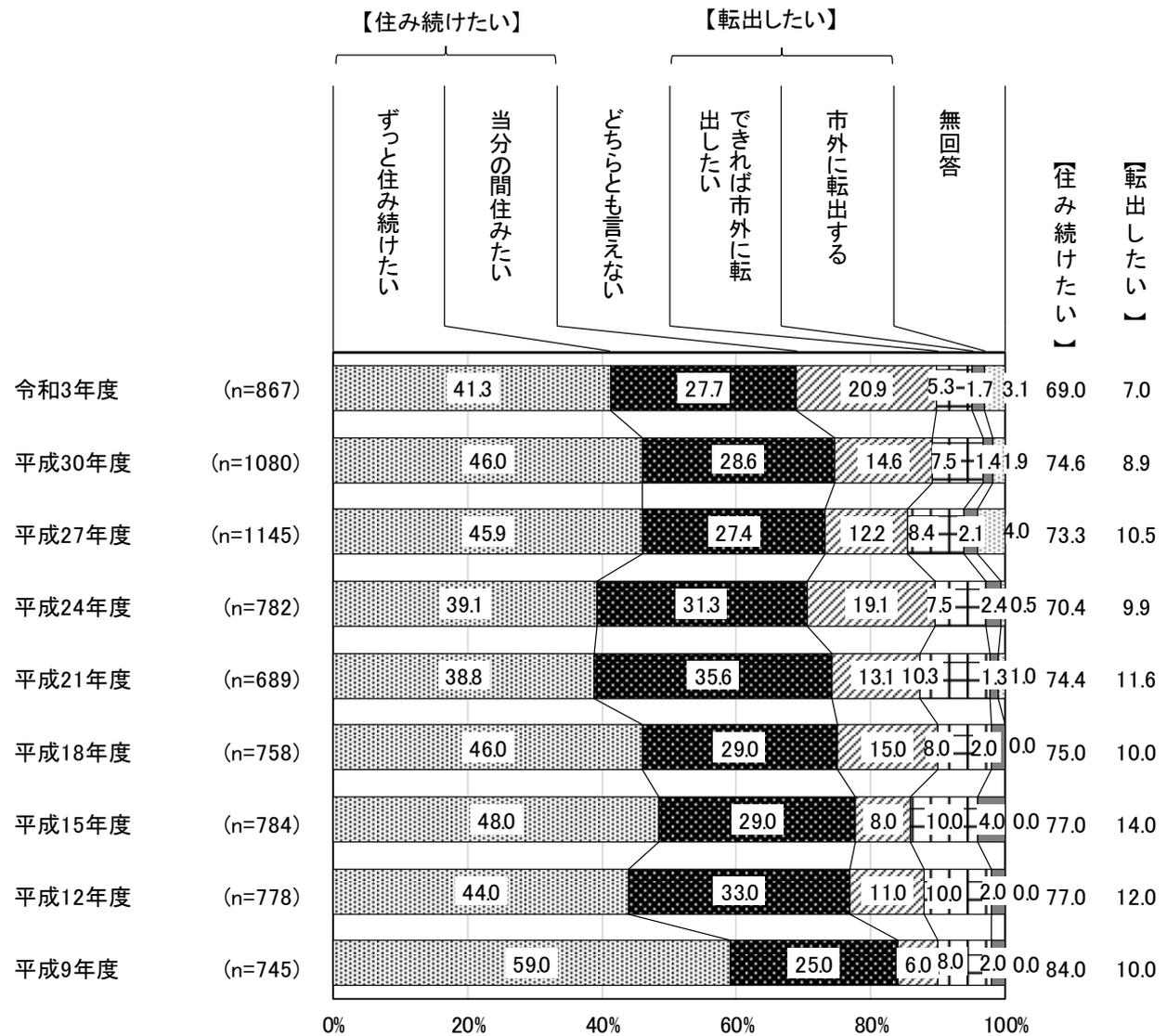
居住年数について住居形態別に見ると、【10年未満】の割合は、社宅・寮（77.8%）が最も高く7割後半となっています。また、民間の賃貸住宅（アパート、マンション）（49.7%）、その他（40.0%）が4割を超えています。

持ち家の方は、一戸建てと分譲マンション共に【10年未満】の割合（一戸建て8.4%）（分譲マンション8.2%）が1割未満となっています。

(2) 定住意向

問2 あなたは、今後も福生市に住み続けたいと思いますか。それとも市外に転出したいと思いますか。(○は1つ)

<図表2-1> 定住意向

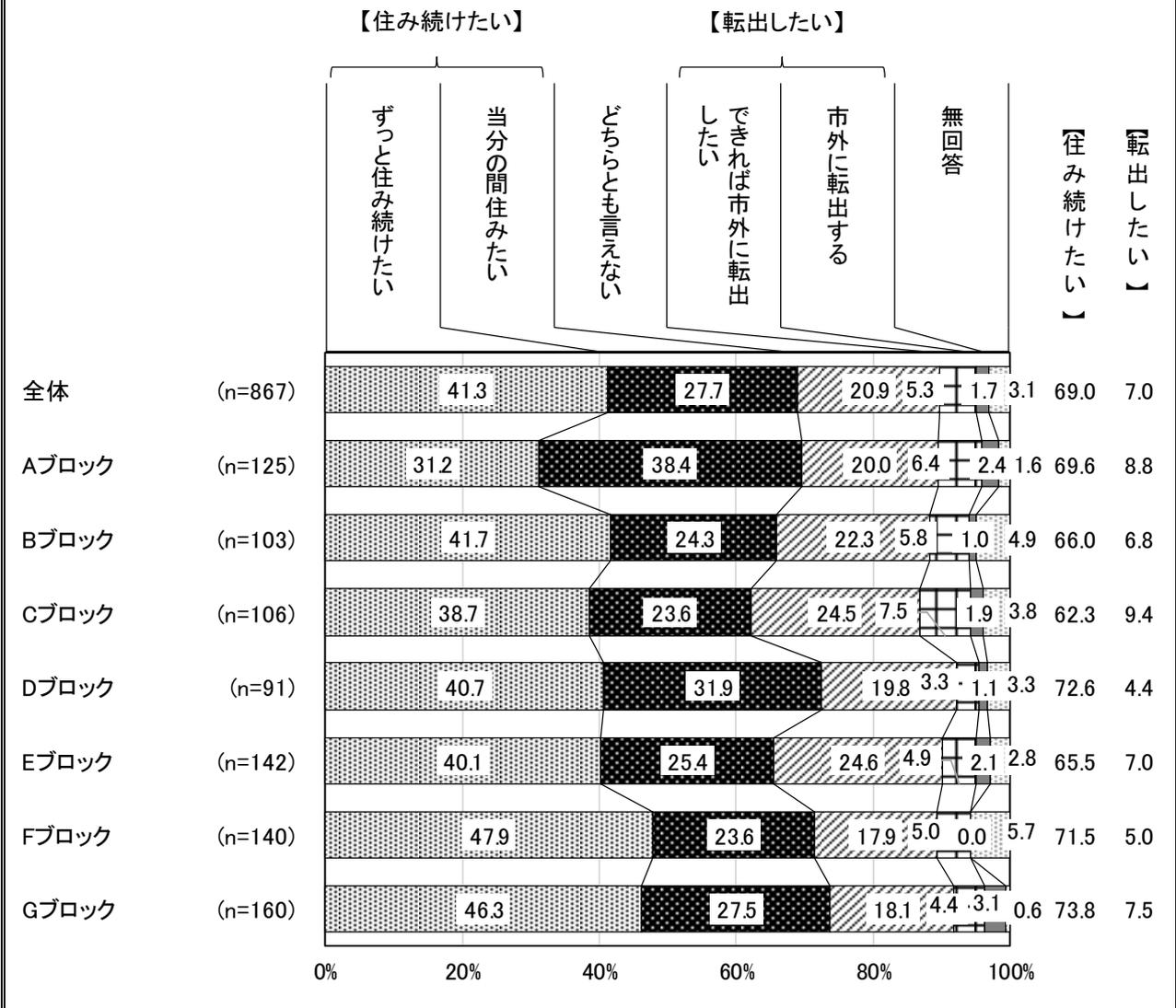


<調査結果>

定住意向について聞いたところ、「ずっと住み続けたい」(41.3%)が4割以上と最も高く、次いで、「当分の間住みたい」(27.7%)、「どちらとも言えない」(20.9%)となっています。

「ずっと住み続けたい」(41.3%)と「当分の間住みたい」(27.7%)を合計した【住み続けたい】(69.0%)が6割後半となっており、「できれば市外に転出したい」(5.3%)と「市外に転出する」(1.7%)を合計した【転出したい】(7.0%)が1割未満と、【住み続けたい】が大きく上回っています。

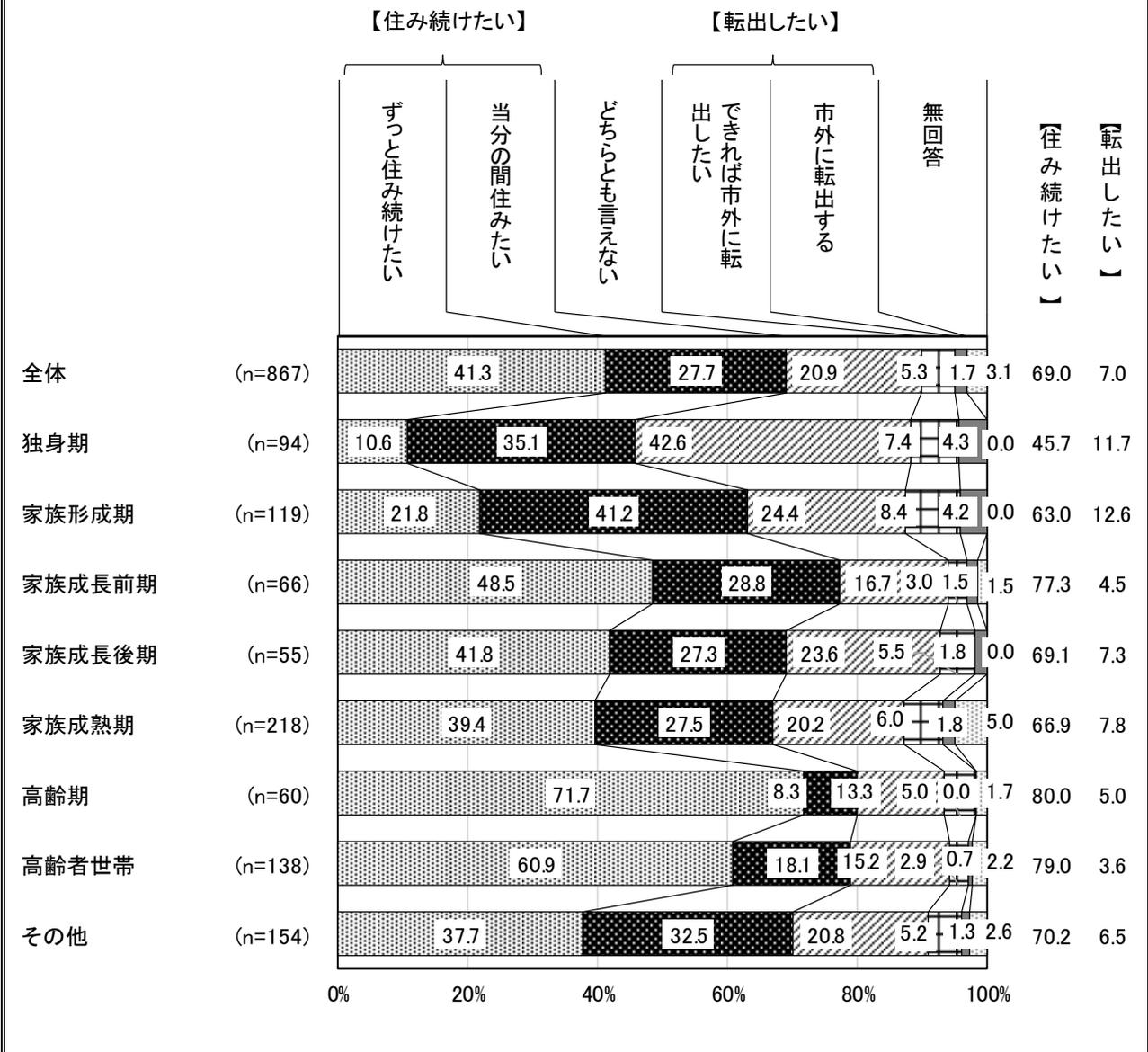
<図表2-2> 定住意向／ブロック別



<調査結果>

定住意向についてブロック別に見ると、【住み続けたい】の割合は、Gブロック（73.8%）が最も高く7割半ばとなっています。一方で、Cブロック（62.3%）が6割以上となっています。最も高いブロックと最も低いブロックでは11.5ポイント差が開いています。

<図表2-3> 定住意向／ライフステージ別



<調査結果>

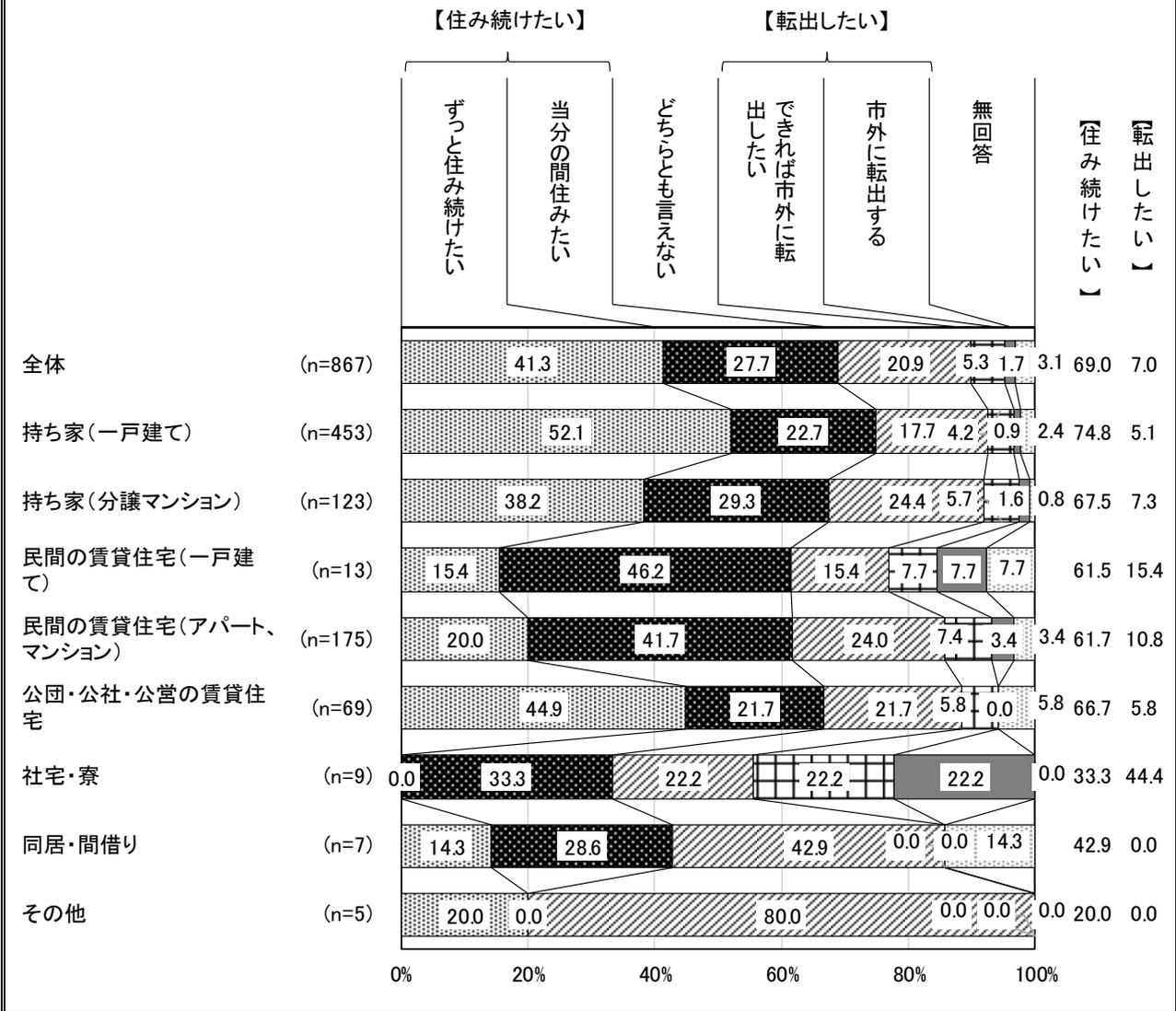
定住意向についてライフステージ別に見ると、【住み続けたい】の割合は、高齢期（80.0%）が最も高く8割となっています。また、家族成長前期（77.3%）、高齢者世帯（79.0%）が7割後半となっています。一方で、独身期（45.7%）が最も低く4割半ばとなっています。最も高い高齢期（80.0%）と最も低い独身期（45.7%）では34.3ポイント差が開いています。

【住み続けたい】は、高齢期（80.0%）が8割、高齢者世帯（79.0%）が7割後半とライフステージが高齢の方の定住意向が特に高くなっています。

【転出したい】の割合は、独身期（11.7%）、家族形成期（12.6%）が1割以上となっており、ライフステージが若年層で回答が高い傾向にあります。

※ライフステージ区分については、15頁参照

<図表2-4> 定住意向／住居形態別



<調査結果>

定住意向について住居形態別に見ると、【住み続けたい】の割合は、持ち家（一戸建て）（74.8%）が最も高く7割半ばとなっています。また、持ち家（分譲マンション）（67.5%）、民間の賃貸住宅（一戸建て）（61.5%）、民間の賃貸住宅（アパート、マンション）（61.7%）、公団・公社・公営の賃貸住宅（66.7%）も6割を超えています。

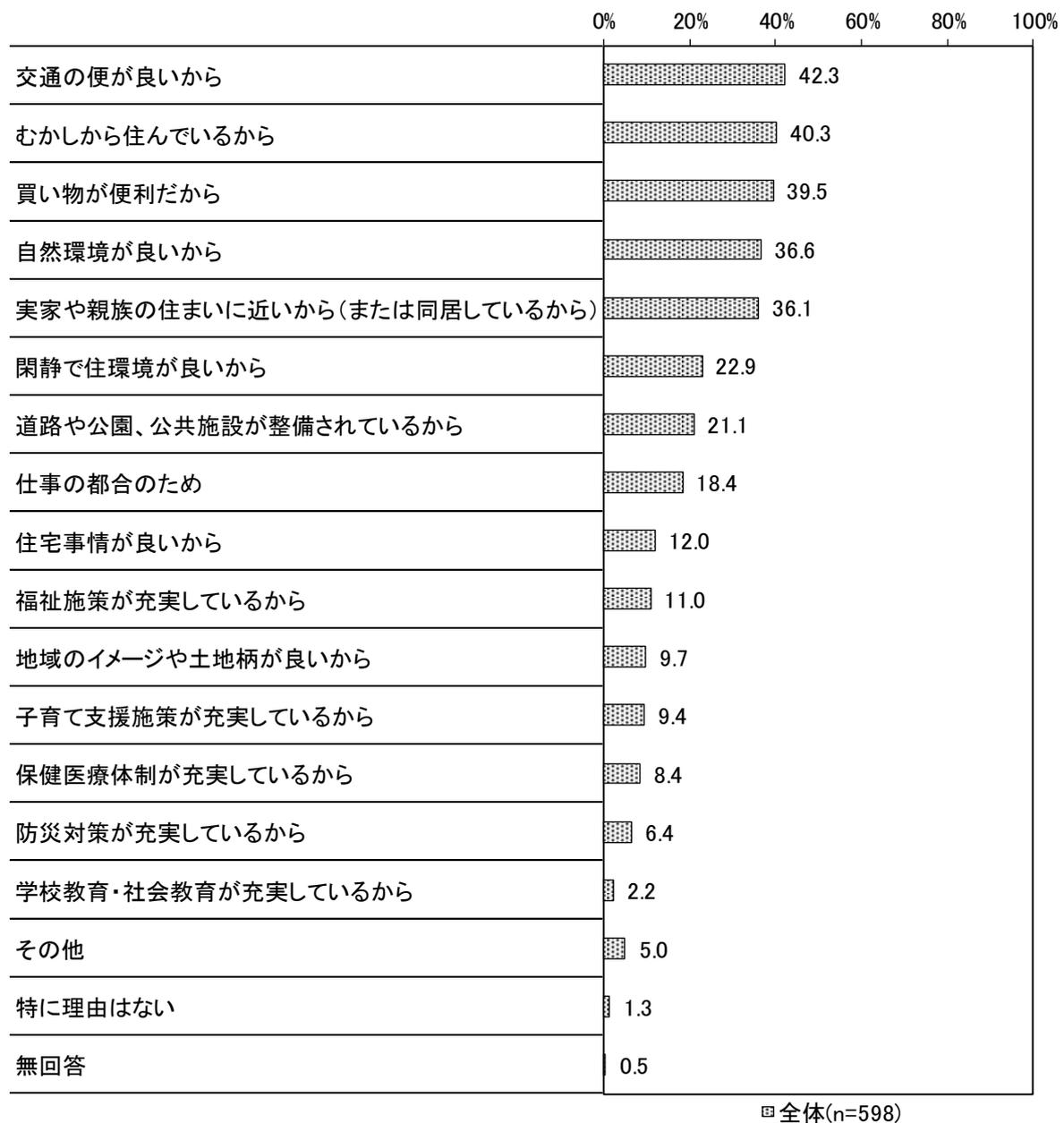
【転出したい】の割合は、民間の賃貸住宅（一戸建て）（15.4%）、民間の賃貸住宅（アパート、マンション）（10.8%）がいずれも1割を超えており、持ち家よりも【転出したい】の割合が上回っています。

(2-1) 定住したい理由

問2で「1 ずっと住み続けたい」「2 当分の間住みたい」と回答した方に伺います。

問2-1 その理由は何ですか。(〇はいくつでも)

<図表 2-1-1> 定住したい理由



<調査結果>

定住したい理由について聞いたところ、「交通の便が良いから」(42.3%)が4割以上、「むかしから住んでいるから」(40.3%)、「買い物が便利だから」(39.5%)が約4割となっています。

<図表 2-1-2>定住したい理由(上位 10 項目)／ブロック別

| | n | 交通の便が良いから | むかしから住んでいるから | 買い物が便利だから | 自然環境が良いから | 実家や親族の住まいに近いから（または同居しているから） | 閑静で住環境が良いから | 道路や公園、公共施設が整備されているから | 仕事の都合のため | 住宅事情が良いから | 福祉施策が充実しているから | |
|-------|-------|-----------|--------------|-----------|-----------|-----------------------------|-------------|----------------------|----------|-----------|---------------|------|
| 全体 | 598 | 42.3 | 40.3 | 39.5 | 36.6 | 36.1 | 22.9 | 21.1 | 18.4 | 12.0 | 11.0 | |
| ブロック別 | Aブロック | 87 | 48.3 | 34.5 | 19.5 | 33.3 | 23.0 | 19.5 | 18.4 | 26.4 | 11.5 | 10.3 |
| | Bブロック | 68 | 39.7 | 41.2 | 19.1 | 39.7 | 42.6 | 20.6 | 19.1 | 13.2 | 13.2 | 10.3 |
| | Cブロック | 66 | 19.7 | 36.4 | 30.3 | 59.1 | 30.3 | 33.3 | 30.3 | 25.8 | 13.6 | 13.6 |
| | Dブロック | 66 | 57.6 | 45.5 | 43.9 | 30.3 | 42.4 | 28.8 | 27.3 | 9.1 | 18.2 | 15.2 |
| | Eブロック | 93 | 50.5 | 32.3 | 55.9 | 28.0 | 38.7 | 20.4 | 15.1 | 19.4 | 15.1 | 8.6 |
| | Fブロック | 100 | 39.0 | 41.0 | 52.0 | 44.0 | 52.0 | 31.0 | 24.0 | 21.0 | 8.0 | 10.0 |
| | Gブロック | 118 | 39.8 | 49.2 | 44.9 | 28.8 | 26.3 | 12.7 | 17.8 | 13.6 | 8.5 | 11.0 |

<調査結果>

定住したい理由について、「交通の便が良いから」の割合をブロック別に見ると、Dブロック（57.6%）が全体より高くなっています。一方で、Cブロック（19.7%）が全体より低くなっています。

「買い物が便利だから」の割合をブロック別に見ると、Eブロック（55.9%）が全体より高く、Fブロック（52.0%）が全体よりやや高くなっています。一方で、Aブロック（19.5%）、Bブロック（19.1%）が全体より低くなっています。

「閑静で住環境が良いから」の割合をブロック別に見ると、Cブロック（33.3%）が全体よりやや高くなっています。一方で、Gブロック（12.7%）が全体よりやや低くなっています。

<図表 2-1-3>定住したい理由(上位 10 項目)／ライフステージ別

| | n | 交通の便が良いから | むかしから住んでいるから | 買い物が便利だから | 自然環境が良いから | 実家や親族の住まいに近いから（または同居しているから） | 閑静で住環境が良いから | 道路や公園、公共施設が整備されているから | 仕事の都合のため | 住宅事情が良いから | 福祉施策が充実しているから | |
|----------|--------|-----------|--------------|-----------|-----------|-----------------------------|-------------|----------------------|----------|-----------|---------------|------|
| 全体 | 598 | 42.3 | 40.3 | 39.5 | 36.6 | 36.1 | 22.9 | 21.1 | 18.4 | 12.0 | 11.0 | |
| ライフステージ別 | 独身期 | 43 | 27.9 | 46.5 | 16.3 | 25.6 | 69.8 | 14.0 | 9.3 | 20.9 | 7.0 | 4.7 |
| | 家族形成期 | 75 | 34.7 | 32.0 | 30.7 | 25.3 | 62.7 | 18.7 | 16.0 | 22.7 | 6.7 | 9.3 |
| | 家族成長前期 | 51 | 31.4 | 27.5 | 23.5 | 35.3 | 52.9 | 19.6 | 19.6 | 23.5 | 0.0 | 7.8 |
| | 家族成長後期 | 38 | 31.6 | 39.5 | 44.7 | 28.9 | 44.7 | 15.8 | 18.4 | 36.8 | 10.5 | 7.9 |
| | 家族成熟期 | 146 | 44.5 | 37.0 | 42.5 | 34.2 | 36.3 | 21.9 | 19.2 | 23.3 | 13.0 | 6.2 |
| | 高齢期 | 48 | 43.8 | 52.1 | 39.6 | 45.8 | 31.3 | 25.0 | 27.1 | 6.3 | 10.4 | 12.5 |
| | 高齢者世帯 | 109 | 49.5 | 42.2 | 47.7 | 43.1 | 21.1 | 23.9 | 28.4 | 4.6 | 12.8 | 16.5 |
| | その他 | 108 | 44.4 | 49.1 | 38.9 | 38.0 | 25.9 | 27.8 | 22.2 | 22.2 | 17.6 | 15.7 |

<調査結果>

定住したい理由について、「実家や親族の住まいに近いから（または同居しているから）」の割合をライフステージ別に見ると、独身期（69.8%）、家族形成期（62.7%）が全体よりとても高く、家族成長前期（52.9%）が全体より高くなっています。一方で、高齢者世帯（21.1%）が全体より低くなっています。

「交通の便が良いから」、「買い物が便利だから」、「自然環境が良いから」はライフステージが若年層で回答の割合が全体より低い傾向にあります。

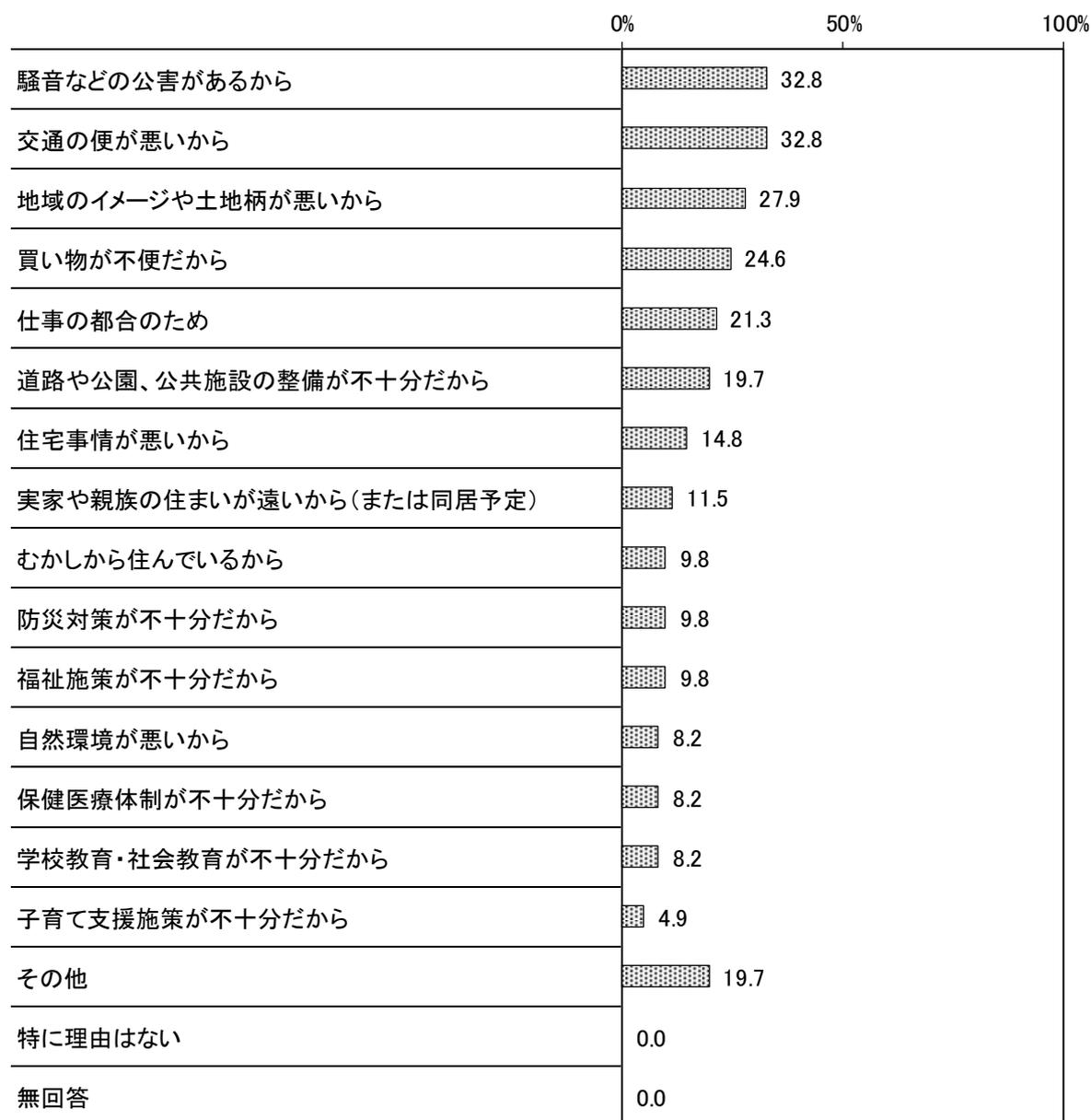
「仕事の都合のため」はライフステージが高齢になると回答の割合が全体より低い傾向にあります。

(2-2) 移転したい理由

問2で「4 できれば市外に転出したい」「5 市外に転出する」と回答した方に伺います。

問2-2 その理由は何ですか。(〇はいくつでも)

<図表 2-2-1> 移転したい理由



全体(n=61)

<調査結果>

移転したい理由について聞いたところ、「騒音などの公害があるから」(32.8%)、「交通の便が悪いから」(32.8%)が3割以上となっています。

<図表 2-2-2> 移転したい理由(上位 10 項目)／ブロック別

| | n | 騒音などの公害があるから | 交通の便が悪いから | 地域のイメージや土地柄が悪いから | 買い物が不便だから | 仕事の都合のため | 道路や公園、公共施設の整備が不十分だから | 住宅事情が悪いから | 実家や親族の住まいが遠いから（または同居予定） | むかしから住んでいるから | 防災対策が不十分だから | |
|-------|-------|--------------|-----------|------------------|-----------|----------|----------------------|-----------|-------------------------|--------------|-------------|------|
| 全体 | 61 | 32.8 | 32.8 | 27.9 | 24.6 | 21.3 | 19.7 | 14.8 | 11.5 | 9.8 | 9.8 | |
| ブロック別 | Aブロック | 11 | 54.5 | 36.4 | 18.2 | 54.5 | 18.2 | 36.4 | 9.1 | 9.1 | 18.2 | 0.0 |
| | Bブロック | 7 | 42.9 | 28.6 | 57.1 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 28.6 | 14.3 | 14.3 | 28.6 |
| | Cブロック | 10 | 30.0 | 40.0 | 10.0 | 20.0 | 10.0 | 20.0 | 10.0 | 10.0 | 10.0 | 30.0 |
| | Dブロック | 4 | 50.0 | 25.0 | 0.0 | 0.0 | 25.0 | 50.0 | 25.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 |
| | Eブロック | 10 | 10.0 | 20.0 | 30.0 | 50.0 | 10.0 | 20.0 | 10.0 | 30.0 | 10.0 | 0.0 |
| | Fブロック | 7 | 0.0 | 42.9 | 42.9 | 0.0 | 57.1 | 14.3 | 14.3 | 0.0 | 14.3 | 14.3 |
| | Gブロック | 12 | 41.7 | 33.3 | 33.3 | 16.7 | 33.3 | 8.3 | 16.7 | 8.3 | 0.0 | 0.0 |

<調査結果>

移転したい理由について、「騒音などの公害があるから」の割合をブロック別に見ると、Aブロック（54.5%）、Dブロック（50.0%）が全体より高くなっています。一方で、Eブロック（10.0%）が全体より低くなっています。

「買い物が不便だから」の割合をブロック別に見ると、Aブロック（54.5%）、Eブロック（50.0%）が全体よりとても高くなっています。

いずれも n 数（サンプル数）が少ないため、参考値となります。

<図表 2-2-3> 移転したい理由(上位 10 項目) / ライフステージ別

| | | n | 騒音などの公害があるから | 交通の便が悪いから | 地域のイメージや土地柄が悪いから | 買い物が不便だから | 仕事の都合のため | 道路や公園、公共施設の整備が不十分だから | 住宅事情が悪いから | 実家や親族の住まいが遠いから（または同居予定） | むかしから住んでいるから | 防災対策が不十分だから |
|----------|--------|----|--------------|-----------|------------------|-----------|----------|----------------------|-----------|-------------------------|--------------|-------------|
| 全体 | | 61 | 32.8 | 32.8 | 27.9 | 24.6 | 21.3 | 19.7 | 14.8 | 11.5 | 9.8 | 9.8 |
| ライフステージ別 | 独身期 | 11 | 18.2 | 54.5 | 18.2 | 18.2 | 54.5 | 0.0 | 9.1 | 27.3 | 18.2 | 0.0 |
| | 家族形成期 | 15 | 13.3 | 60.0 | 20.0 | 26.7 | 53.3 | 6.7 | 6.7 | 13.3 | 20.0 | 0.0 |
| | 家族成長前期 | 3 | 33.3 | 66.7 | 66.7 | 66.7 | 0.0 | 33.3 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 33.3 |
| | 家族成長後期 | 4 | 0.0 | 0.0 | 25.0 | 25.0 | 0.0 | 0.0 | 25.0 | 50.0 | 25.0 | 25.0 |
| | 家族成熟期 | 17 | 41.2 | 35.3 | 41.2 | 35.3 | 11.8 | 35.3 | 11.8 | 11.8 | 5.9 | 11.8 |
| | 高齢期 | 3 | 66.7 | 0.0 | 66.7 | 33.3 | 0.0 | 33.3 | 33.3 | 0.0 | 0.0 | 33.3 |
| | 高齢者世帯 | 5 | 20.0 | 20.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 40.0 | 60.0 | 20.0 | 0.0 | 0.0 |
| | その他 | 10 | 60.0 | 20.0 | 0.0 | 10.0 | 10.0 | 20.0 | 0.0 | 0.0 | 10.0 | 0.0 |

<調査結果>

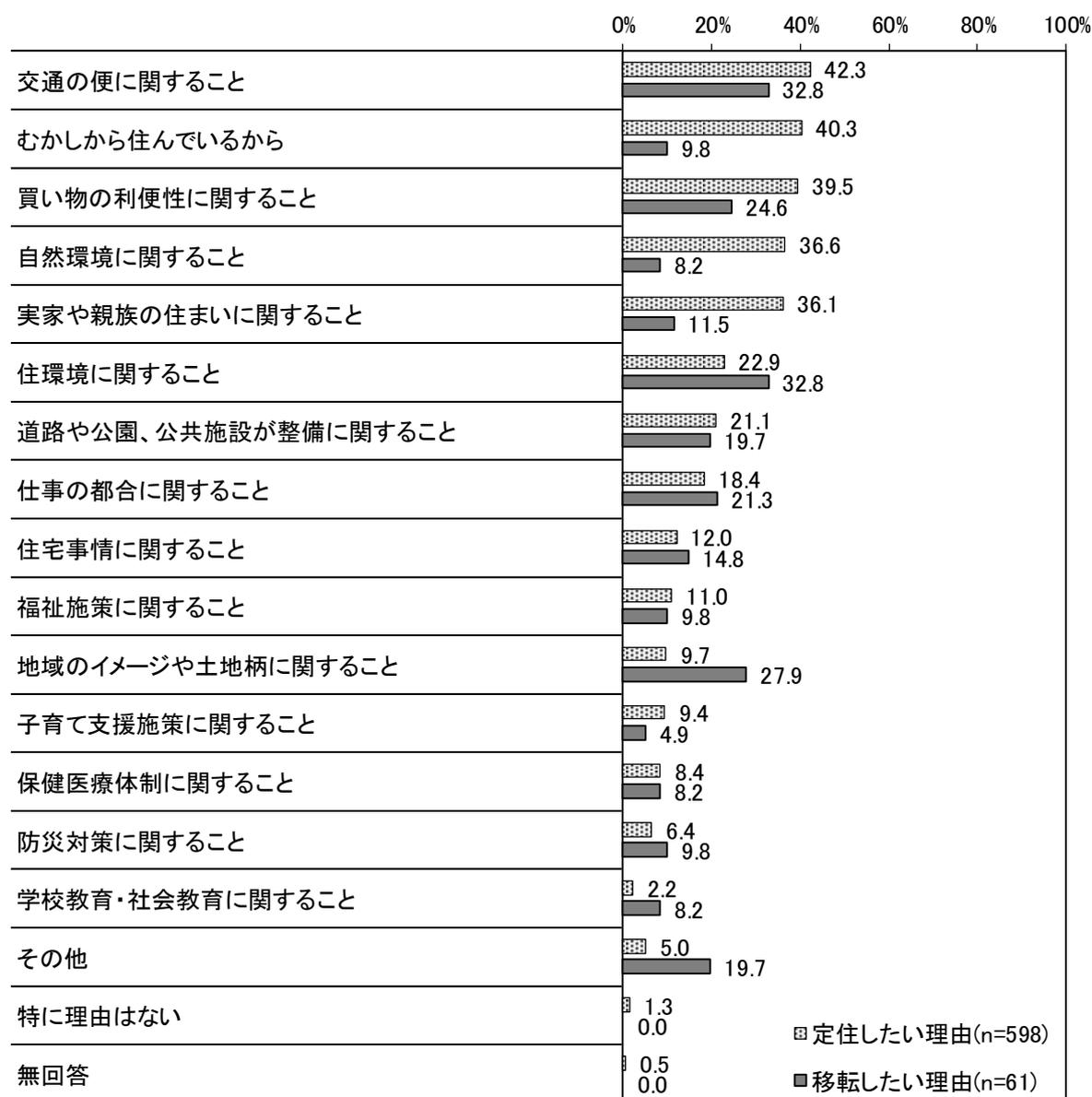
移転したい理由について、「騒音などの公害があるから」の割合をライフステージ別に見ると、高齢期(66.7%)、その他(60.0%)が全体よりとても高くなっています。一方で、家族形成期(13.3%)が全体より低くなっています。

「地域のイメージや土地柄が悪いから」の割合をライフステージ別に見ると、家族成長前期(66.7%)、高齢期(66.7%)が全体よりとても高くなっています。

いずれもn数(サンプル数)が少ないため、参考値となります。

(2-3) 定住したい理由・移転したい理由の比較

<図表 2-3-1> 定住したい理由・移転したい理由の比較



<調査結果>

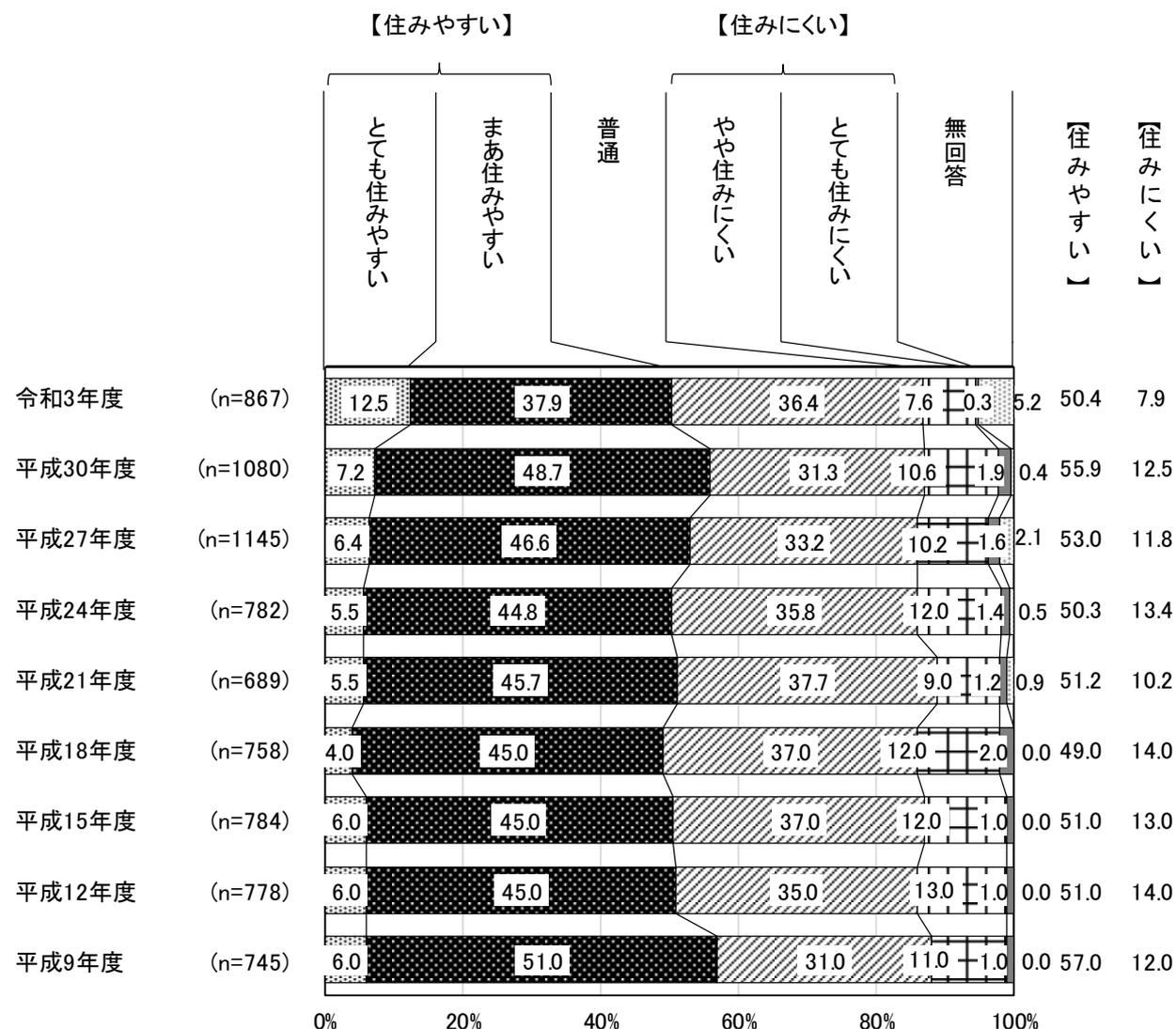
移転したい理由が定住したい理由を大きく上回っているのは「地域のイメージや土地柄に関する事」で18.2ポイント差となっています。

「交通の便に関する事」、「買い物の利便性に関する事」は、定住したい理由として上位にある一方で、移転したい理由としても上位にあり、同じ市内でも地域ごとに感じ方が異なることが想定されます。

(3) 住みやすさ

問3 福生市は住みやすい所だと思いますか。それとも住みにくい所だと思いますか。(○は1つ)

<図表 3-1> 住みやすさ



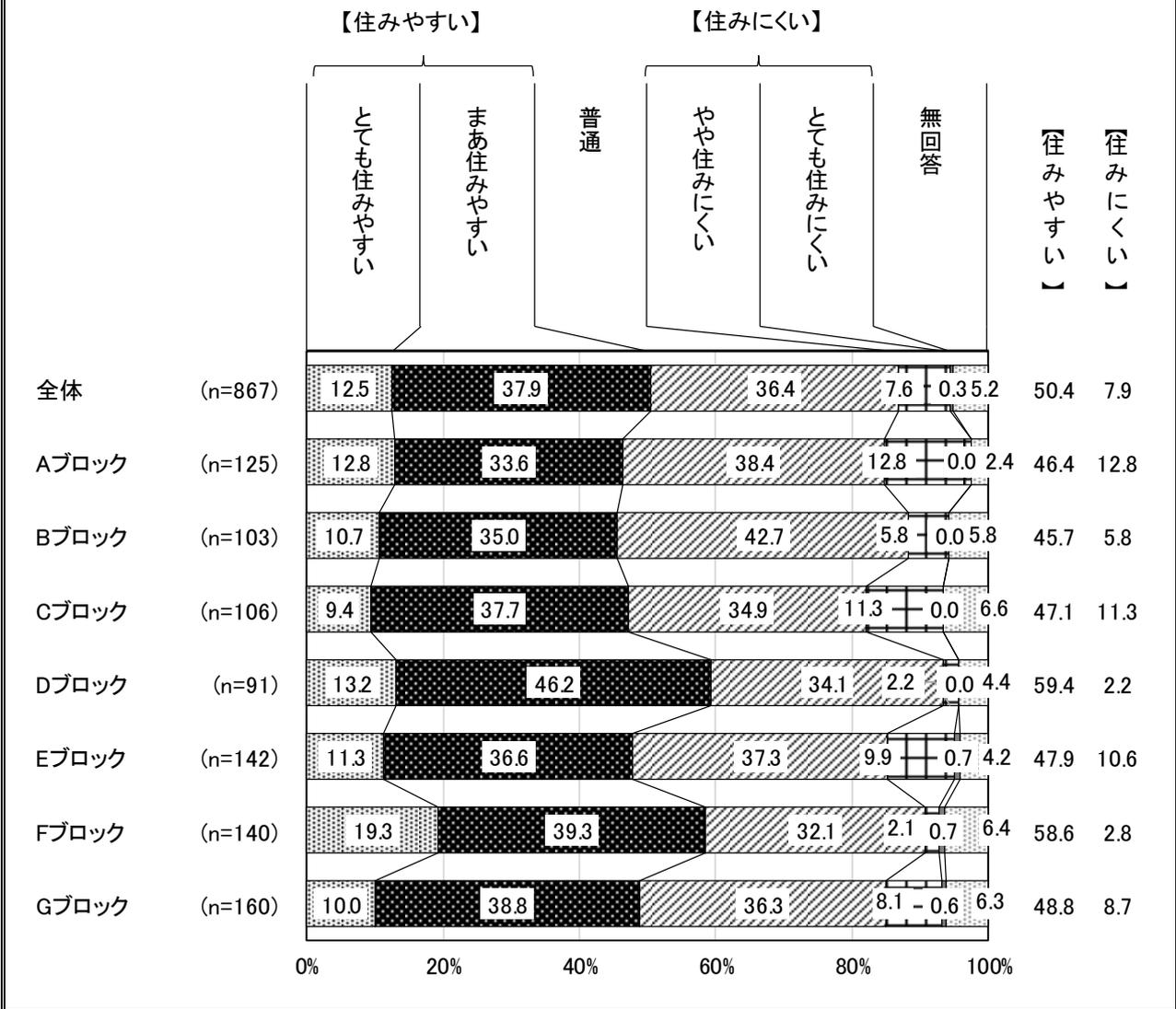
<調査結果>

住みやすさについて聞いたところ、「まあ住みやすい」(37.9%)が3割後半と最も高く、次いで、「普通」(36.4%)、「とても住みやすい」(12.5%)となっています。

「とても住みやすい」(12.5%)と「まあ住みやすい」(37.9%)を合計した【住みやすい】(50.4%)が約5割となっています。

「とても住みやすい」(12.5%)は平成9年度以降、最も高い割合となっています。

<図表 3-2> 住みやすさ／ブロック別



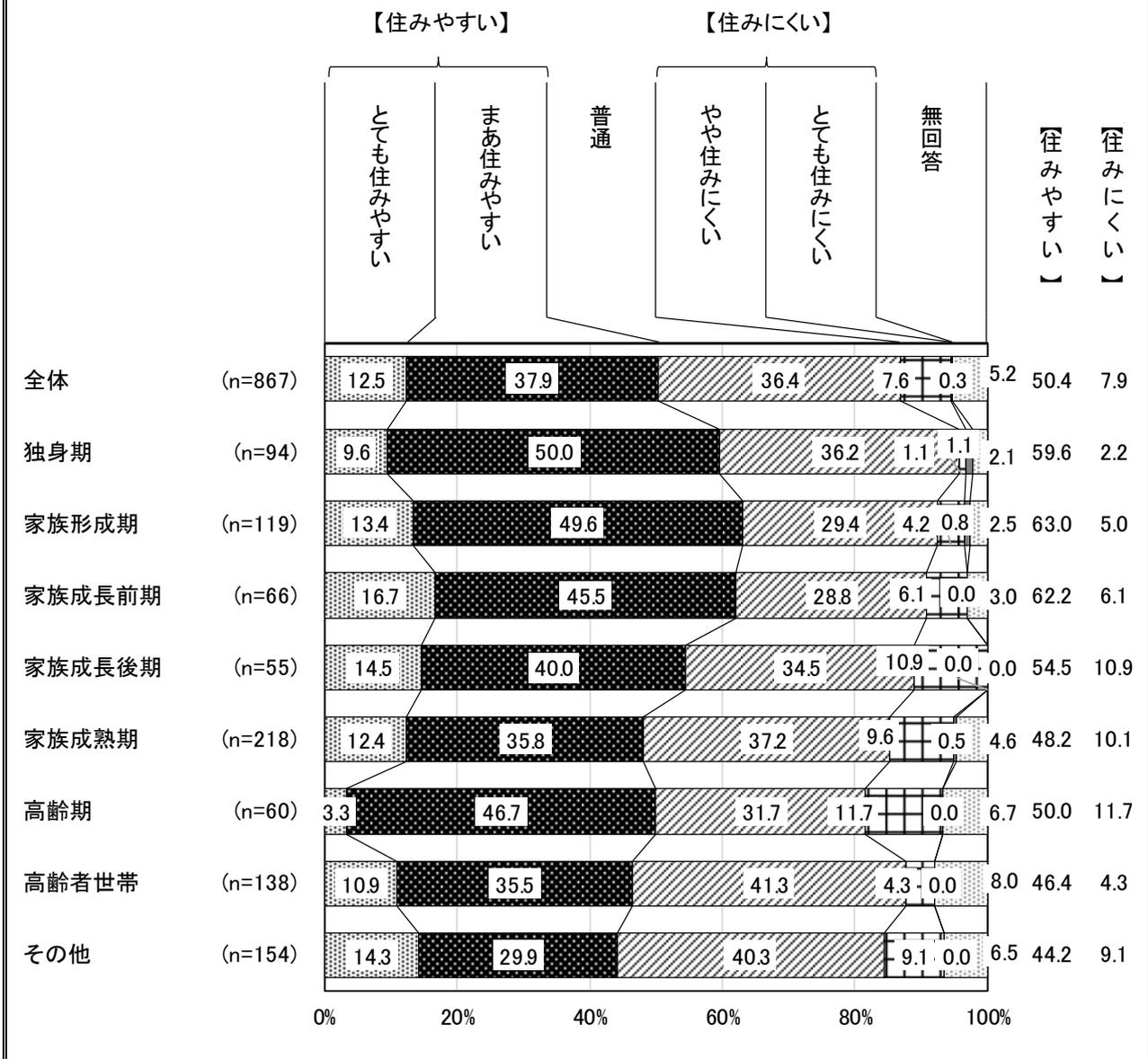
<調査結果>

住みやすさについてブロック別に見ると、【住みやすい】の割合は、Dブロック（59.4%）が最も高く約6割となっています。次いで、Fブロック（58.6%）が5割後半となっています。一方で、Bブロック（45.7%）が4割半ばとなっています。

最も高いブロックと最も低いブロックでは13.7ポイント差が開いています。

Dブロック（2.2%）、Fブロック（2.8%）では【住みにくい】の割合はわずかにしか見られません。

<図表 3-3> 住みやすさ／ライフステージ別

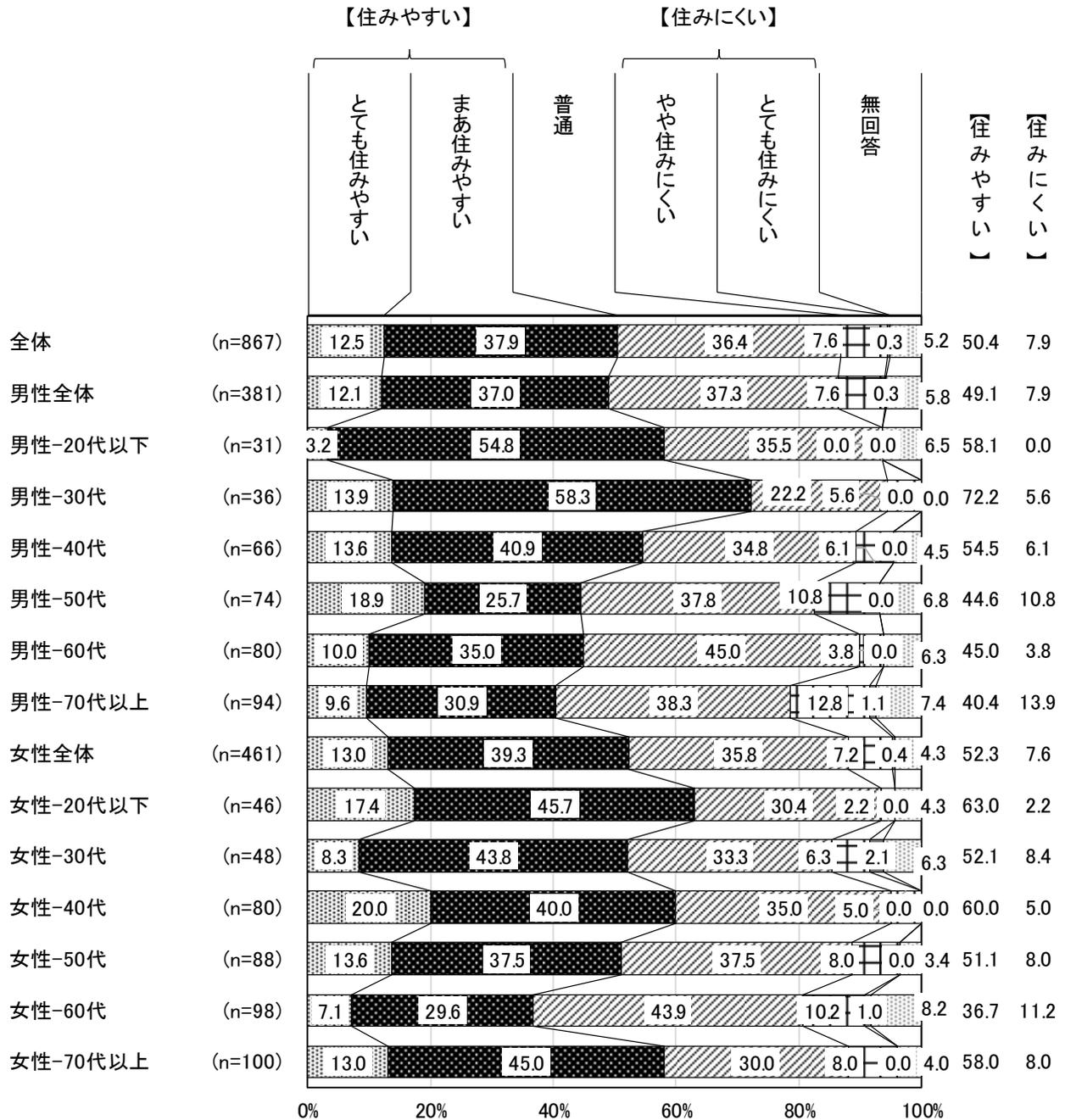


<調査結果>

住みやすさについてライフステージ別に見ると、【住みやすい】の割合は、家族形成期（63.0%）が最も高く6割半ばとなっています。次いで、家族成長前期（62.2%）が6割以上となっています。一方で、その他（44.2%）が最も低く4割半ばとなっています。家族成熟期（48.2%）、高齢者世帯（46.4%）も5割未満となっています。

【住みやすい】は独身期（59.6%）、家族形成期（63.0%）、家族成長前期（62.2%）といったライフステージが若年層で高い割合を示しています。一方で、家族成熟期（48.2%）、高齢期（50.0%）、高齢者世帯（46.4%）といったライフステージが高齢になると割合が低下する傾向を示しています。

<図表 3-4> 住みやすさ／性・年齢別



<調査結果>

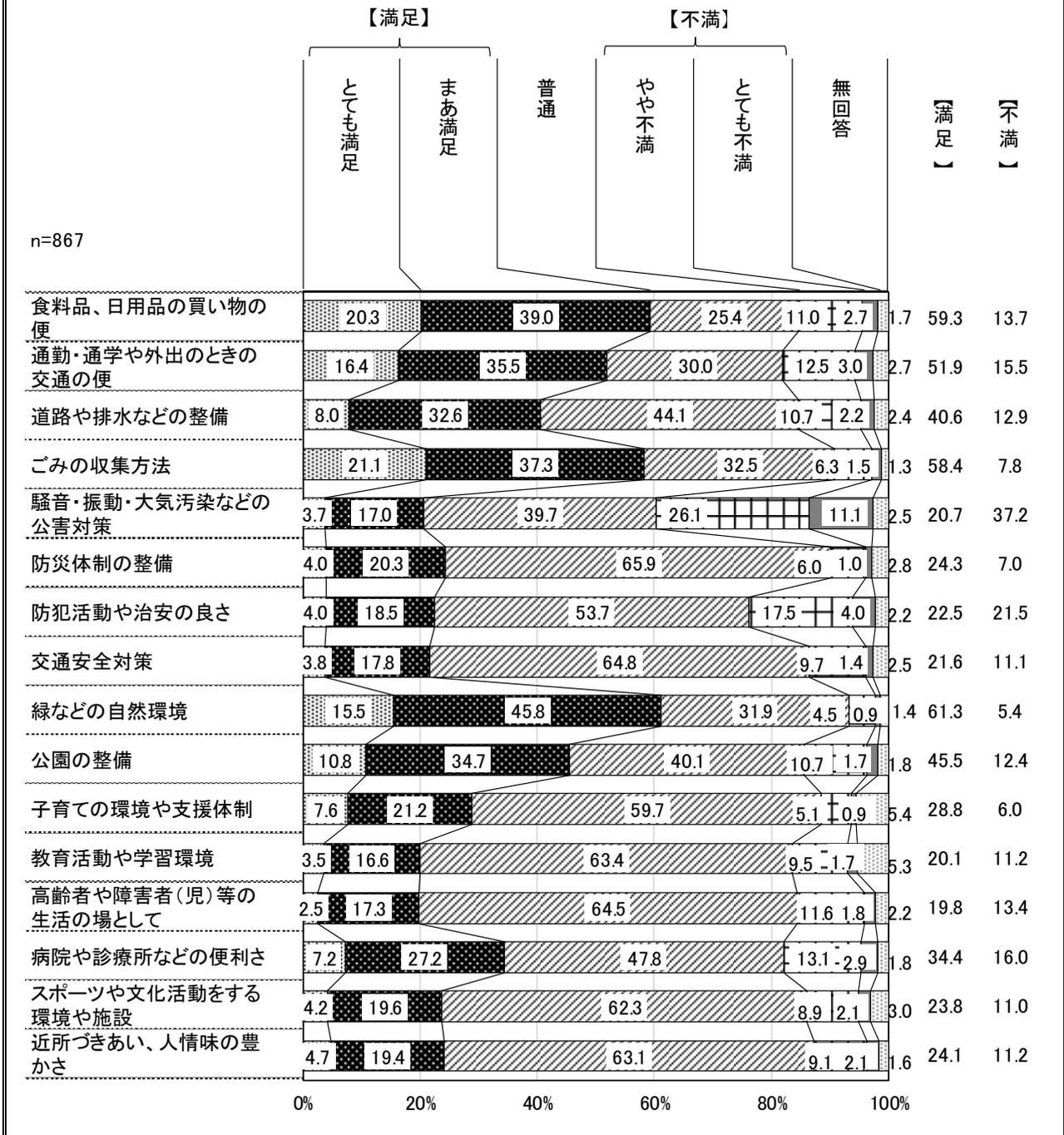
住みやすさについて性・年齢別に見ると、【住みやすい】の割合は、男性-30代（72.2%）が最も高く7割以上となっています。一方で、女性-60代（36.7%）が最も低く3割半ばとなっています。

【住みやすい】の割合は、男性は20代から30代にかけて上昇し、40代以降はおおむね低下する傾向が見られます。女性には同様の傾向は見られません。

(4) 地域の生活環境評価

問4 あなたは、「地域の住みやすさ」について、普段どのように感じていますか。次の項目について、それぞれ1つずつ番号を選んでください。

<図表 4-1> 地域の生活環境評価



<調査結果>

地域の生活環境評価について聞いたところ、「とても満足」(15.5%)と「まあ満足」(45.8%)を合計した【満足】は「緑などの自然環境」(61.3%)が最も高く6割以上となっています。

<図表 4-2> 地域の生活環境評価(「とても満足」「まあ満足」の合計)／ブロック別

| | 全体 | A ブ ロ ッ ク | B ブ ロ ッ ク | C ブ ロ ッ ク | D ブ ロ ッ ク | E ブ ロ ッ ク | F ブ ロ ッ ク | G ブ ロ ッ ク |
|----------------------|------|-----------------------|-----------------------|-----------------------|-----------------------|-----------------------|-----------------------|-----------------------|
| n | 867 | 125 | 103 | 106 | 91 | 142 | 140 | 160 |
| ①食料品、日用品の買い物の便 | 59.3 | 40.8 | 42.7 | 55.7 | 62.7 | 69.8 | 70.0 | 66.3 |
| ②通勤・通学や外出のときの交通の便 | 51.9 | 65.6 | 46.6 | 29.3 | 56.1 | 57.7 | 50.7 | 53.1 |
| ③道路や排水などの整備 | 40.6 | 41.6 | 35.0 | 42.4 | 36.3 | 33.8 | 45.7 | 46.3 |
| ④ごみの収集方法 | 58.4 | 64.8 | 59.2 | 61.3 | 52.8 | 55.6 | 61.4 | 53.8 |
| ⑤騒音・振動・大気汚染などの公害対策 | 20.7 | 22.4 | 18.4 | 26.5 | 18.7 | 14.8 | 24.2 | 20.0 |
| ⑥防災体制の整備 | 24.3 | 24.8 | 16.6 | 26.4 | 24.2 | 21.1 | 32.2 | 23.7 |
| ⑦防犯活動や治安の良さ | 22.5 | 19.2 | 20.4 | 33.1 | 22.0 | 21.1 | 29.3 | 15.0 |
| ⑧交通安全対策 | 21.6 | 16.0 | 14.6 | 26.5 | 23.1 | 23.9 | 28.6 | 18.1 |
| ⑨緑などの自然環境 | 61.3 | 67.2 | 52.5 | 79.3 | 59.4 | 59.8 | 64.3 | 50.0 |
| ⑩公園の整備 | 45.5 | 48.0 | 39.8 | 59.5 | 48.4 | 45.7 | 43.6 | 38.2 |
| ⑪子育ての環境や支援体制 | 28.8 | 26.4 | 21.4 | 32.1 | 31.9 | 33.1 | 31.5 | 25.7 |
| ⑫教育活動や学習環境 | 20.1 | 16.8 | 18.4 | 20.8 | 24.2 | 21.8 | 20.0 | 19.4 |
| ⑬高齢者や障害者(児)等の生活の場として | 19.8 | 18.4 | 19.4 | 22.6 | 22.0 | 26.0 | 16.4 | 15.7 |
| ⑭病院や診療所などの便利さ | 34.4 | 20.8 | 20.4 | 31.2 | 36.3 | 42.3 | 41.4 | 41.9 |
| ⑮スポーツや文化活動をする環境や施設 | 23.8 | 21.6 | 20.4 | 25.5 | 25.3 | 30.2 | 25.0 | 18.8 |
| ⑯近所づきあい、人情味の豊かさ | 24.1 | 19.2 | 27.2 | 25.4 | 20.9 | 26.0 | 30.7 | 19.4 |

<調査結果>

地域の生活環境評価(「とても満足」「まあ満足」)の合計についてブロック別に見ると、「①食料品、日用品の買い物の便」はFブロック(70.0%)が最も高く7割となっています。Dブロック(62.7%)、Eブロック(69.8%)、Gブロック(66.3%)も6割を超えています。

「②通勤・通学や外出のときの交通の便」はAブロック(65.6%)が6割半ばとなっています。

「⑨緑などの自然環境」は全ての地区で5割を超えていますが、Cブロック(79.3%)が約8割と特に高くなっています。また、「⑩公園の整備」の割合もCブロック(59.5%)が約6割と最も高くなっています。

<図表 4-3> 地域の生活環境評価(「とても不満」「やや不満」の合計)／ブロック別

| | 全体 | A ブ ロ ッ ク | B ブ ロ ッ ク | C ブ ロ ッ ク | D ブ ロ ッ ク | E ブ ロ ッ ク | F ブ ロ ッ ク | G ブ ロ ッ ク |
|----------------------|------|-----------------------|-----------------------|-----------------------|-----------------------|-----------------------|-----------------------|-----------------------|
| n | 867 | 125 | 103 | 106 | 91 | 142 | 140 | 160 |
| ①食料品、日用品の買い物の便 | 13.7 | 34.4 | 19.4 | 15.1 | 11.0 | 6.3 | 4.3 | 8.8 |
| ②通勤・通学や外出のときの交通の便 | 15.5 | 16.8 | 14.6 | 29.2 | 9.9 | 7.7 | 16.4 | 15.0 |
| ③道路や排水などの整備 | 12.9 | 18.4 | 16.5 | 10.4 | 12.1 | 15.5 | 11.5 | 7.6 |
| ④ごみの収集方法 | 7.8 | 4.8 | 7.8 | 3.7 | 8.8 | 6.3 | 7.8 | 13.7 |
| ⑤騒音・振動・大気汚染などの公害対策 | 37.2 | 43.2 | 38.9 | 29.2 | 37.4 | 38.1 | 27.1 | 44.4 |
| ⑥防災体制の整備 | 7.0 | 8.0 | 8.7 | 9.4 | 5.5 | 7.7 | 4.3 | 6.3 |
| ⑦防犯活動や治安の良さ | 21.5 | 28.0 | 20.4 | 18.9 | 16.5 | 26.0 | 15.0 | 23.8 |
| ⑧交通安全対策 | 11.1 | 10.4 | 14.6 | 8.5 | 7.7 | 12.7 | 8.5 | 13.7 |
| ⑨緑などの自然環境 | 5.4 | 3.2 | 5.9 | 1.9 | 7.7 | 4.9 | 7.9 | 6.3 |
| ⑩公園の整備 | 12.4 | 11.2 | 12.6 | 7.5 | 13.2 | 8.4 | 12.1 | 20.0 |
| ⑪子育ての環境や支援体制 | 6.0 | 4.0 | 7.8 | 4.7 | 5.5 | 6.3 | 5.0 | 8.1 |
| ⑫教育活動や学習環境 | 11.2 | 5.6 | 10.7 | 7.6 | 11.0 | 18.3 | 14.2 | 9.4 |
| ⑬高齢者や障害者(児)等の生活の場として | 13.4 | 12.8 | 13.6 | 13.2 | 17.6 | 15.5 | 8.5 | 14.4 |
| ⑭病院や診療所などの便利さ | 16.0 | 28.8 | 17.5 | 17.9 | 18.7 | 9.9 | 9.2 | 13.8 |
| ⑮スポーツや文化活動をする環境や施設 | 11.0 | 14.4 | 10.7 | 7.5 | 6.6 | 9.8 | 14.3 | 11.3 |
| ⑯近所づきあい、人情味の豊かさ | 11.2 | 10.4 | 13.6 | 3.7 | 12.1 | 12.0 | 11.5 | 13.8 |

<調査結果>

地域の生活環境評価(「とても不満」「やや不満」)の合計についてブロック別に見ると、全てのブロックで「⑤騒音・振動・大気汚染などの公害対策」が最も高くなっています。特にAブロック(43.2%)、Gブロック(44.4%)では4割半ばとなっています。

「①食料品、日用品の買い物の便」はAブロック(34.4%)が最も高く3割半ばとなっています。

「②通勤・通学や外出のときの交通の便」はCブロック(29.2%)が最も高く約3割となっています。

「⑩公園の整備」ではGブロック(20.0%)が最も高く2割となっています。

「⑭病院や診療所などの便利さ」ではAブロック(28.8%)が最も高く2割後半となっています。

(4-1) 地域の生活環境評価の相関分析

問3の住みやすさと、問4の地域の生活環境評価の各項目について相関係数を算出し、地域の生活環境評価の各項目と市の住みやすきの関連を分析します。

○相関係数について

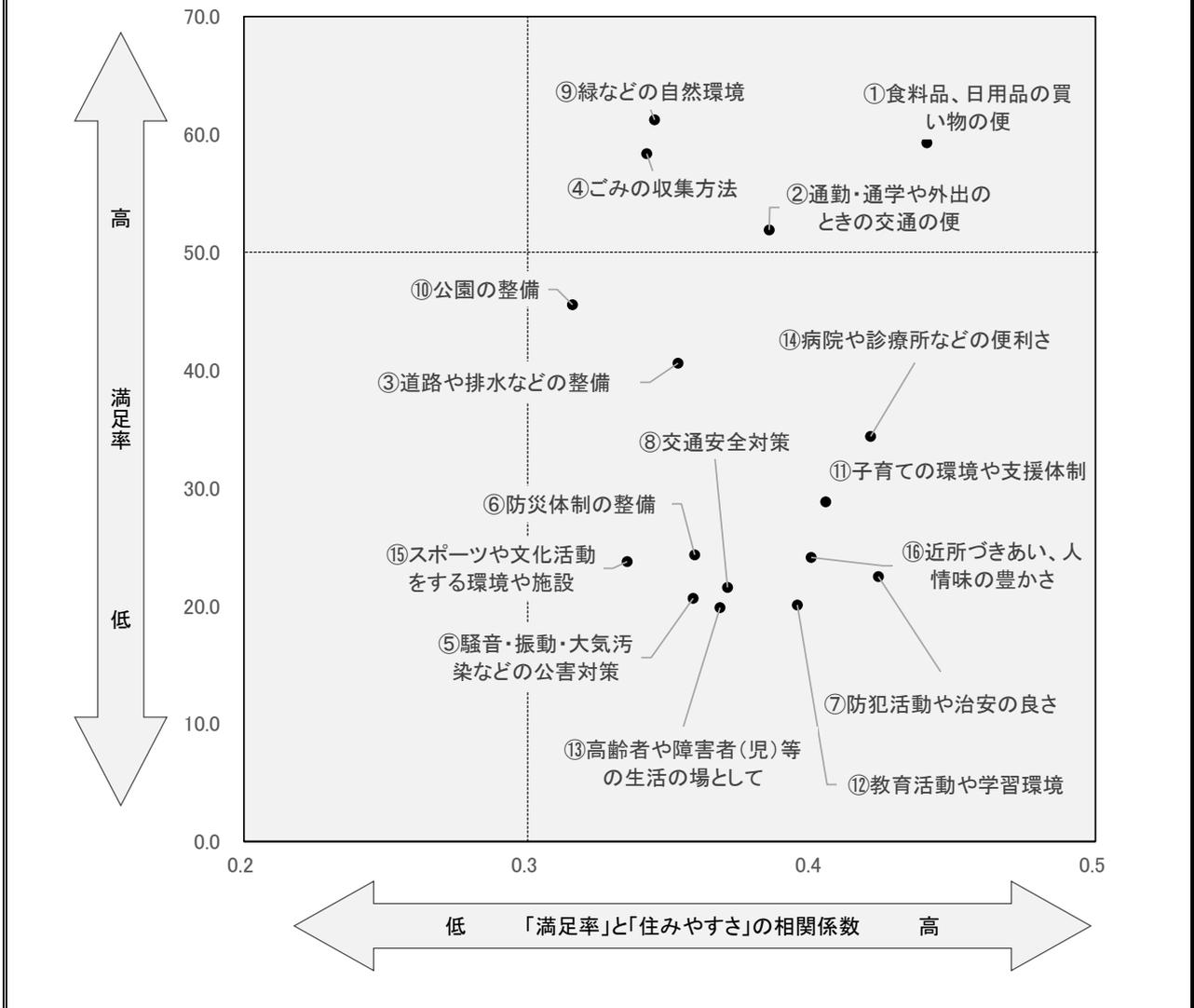
相関係数：2つのデータがどれだけ関連性があるのかを示す係数で、 $-1 \sim +1$ の間の数値となります。関連性が強ければ1に近づき、低ければ0に近くなります。おおむね、「0～0.3未満」：ほぼ無関係、「0.3～0.5未満」：ゆるやかな相関、「0.5～0.7未満」：相関がある、「0.7～0.9未満」：強い相関、「0.9以上」：非常に強い相関とされています。

○各項目の相関係数と満足率

| 項目 | 相関係数 | 満足率 |
|----------------------|------|------|
| ①食料品、日用品の買い物の便 | 0.44 | 59.3 |
| ②通勤・通学や外出のときの交通の便 | 0.39 | 51.9 |
| ③道路や排水などの整備 | 0.35 | 40.6 |
| ④ごみの収集方法 | 0.34 | 58.4 |
| ⑤騒音・振動・大気汚染などの公害対策 | 0.36 | 20.6 |
| ⑥防災体制の整備 | 0.36 | 24.3 |
| ⑦防犯活動や治安の良さ | 0.42 | 22.5 |
| ⑧交通安全対策 | 0.37 | 21.6 |
| ⑨緑などの自然環境 | 0.34 | 61.2 |
| ⑩公園の整備 | 0.32 | 45.6 |
| ⑪子育ての環境や支援体制 | 0.41 | 28.8 |
| ⑫教育活動や学習環境 | 0.40 | 20.1 |
| ⑬高齢者や障害者(児)等の生活の場として | 0.37 | 19.8 |
| ⑭病院や診療所などの便利さ | 0.42 | 34.4 |
| ⑮スポーツや文化活動をする環境や施設 | 0.34 | 23.8 |
| ⑯近所づきあい、人情味の豊かさ | 0.40 | 24.1 |

※満足率は、各項目の「とても満足」「まあ満足」の割合の合計となります。

<図表 4-4> 各項目の相関係数と満足率の散布図



<調査結果>

住みやすさと地域の生活環境評価の各項目について相関係数、地域の生活環境評価の各項目の満足率を基に散布図に示すと、上記のようになりました。

全ての項目で相関係数が0.3以上とゆるやかな相関が見られます。

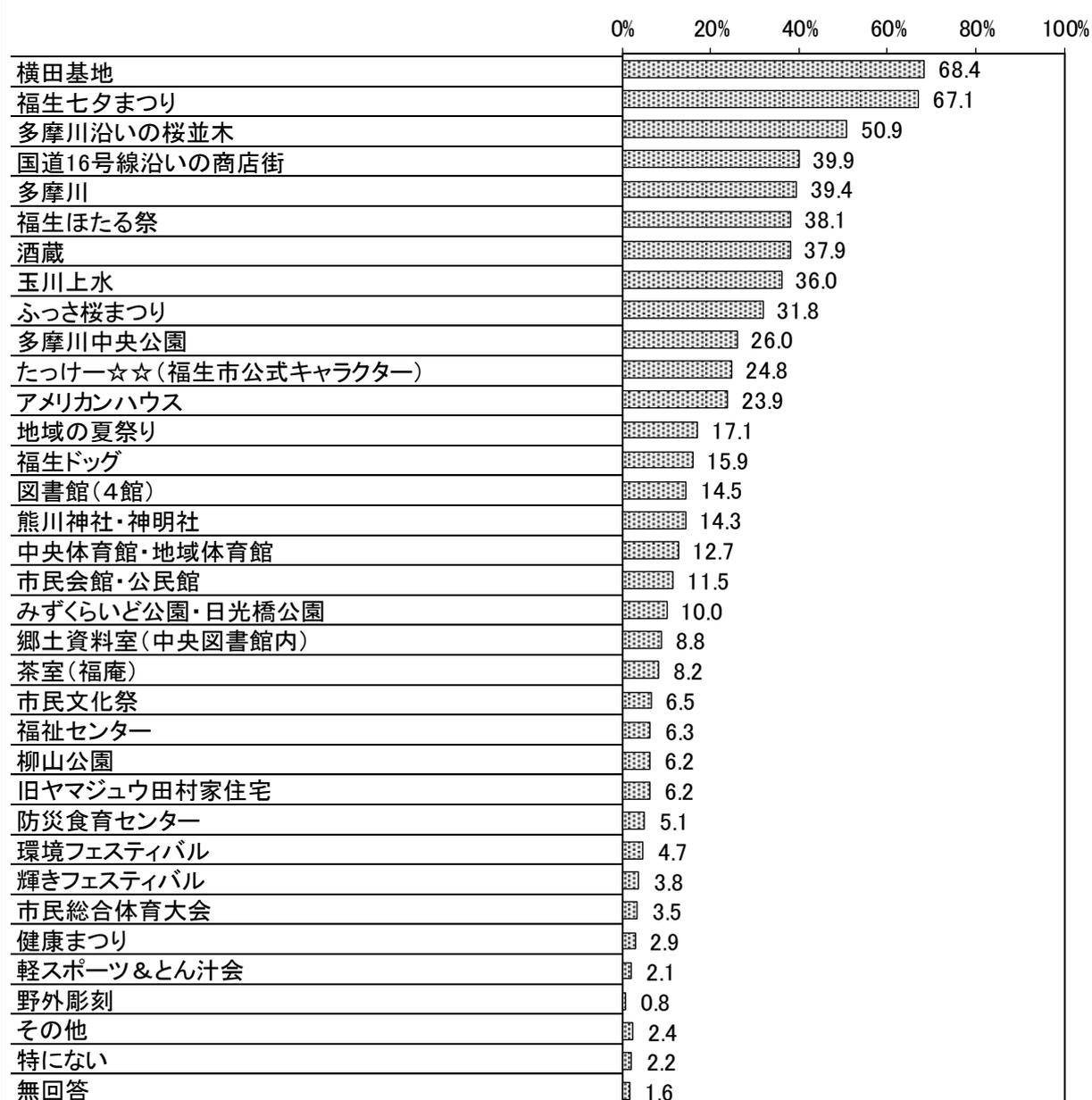
その中でも、「①食料品、日用品の買い物の便」「⑦防犯活動や治安の良さ」「⑪子育ての環境や支援体制」「⑫教育活動や学習環境」「⑭病院や診療所などの便利さ」「⑯近所づきあい、人情味の豊かさ」の相関係数は0.4を超えており、これらの満足率が向上することで、住みやすいと感じる方がより一層増加する可能性があると考えられます。

2 福生市の魅力と将来像

(1) 福生市らしさや魅力

問5 福生市に関するキーワードで、福生市らしさや魅力を感じるものはどれですか。(〇はいくつでも)

<図表 5-1> 福生市らしさや魅力



全体(n=867)

<調査結果>

福生市らしさや魅力について聞いたところ、「横田基地」(68.4%)、「福生七夕まつり」(67.1%)が6割後半、「多摩川沿いの桜並木」(50.9%)が約5割となっています。

<図表 5-2> 福生市らしさや魅力(上位5項目)／性・年齢別

| | n | 1位 | 2位 | 3位 | 4位 | 5位 | |
|-------|----------|--------------|-------------------|-------------------|----------------------|----------------------|----------------|
| 全体 | 867 | 横田基地 68.4 | 福生七夕まつり 67.1 | 多摩川沿いの桜並木 50.9 | 国道16号線沿いの商店街 39.9 | 多摩川 39.4 | |
| 性・年齢別 | 男性全体 | 381 | 横田基地 71.4 | 福生七夕まつり 66.7 | 多摩川沿いの桜並木 49.9 | 多摩川 45.7 | 玉川上水 42.8 |
| | 男性-20代以下 | 31 | 横田基地 87.1 | 福生七夕まつり 58.1 | たっけー☆☆ 45.2 | 国道16号線沿いの商店街 38.7 | 福生ほたる祭 38.7 |
| | 男性-30代 | 36 | 横田基地 83.3 | 福生七夕まつり 80.6 | 国道16号線沿いの商店街 50.0 | 多摩川 47.2 | 福生ほたる祭 47.2 |
| | 男性-40代 | 66 | 横田基地 78.8 | 福生七夕まつり 72.7 | 国道16号線沿いの商店街 53.0 | 多摩川沿いの桜並木 50.0 | 玉川上水 40.9 |
| | 男性-50代 | 74 | 横田基地 86.5 | 福生七夕まつり 70.3 | 多摩川沿いの桜並木 41.9 | 国道16号線沿いの商店街 41.9 | 多摩川 40.5 |
| | 男性-60代 | 80 | 横田基地 78.8 | 福生七夕まつり 71.3 | 多摩川沿いの桜並木 55.0 | 玉川上水 47.5 | 多摩川 47.5 |
| | 男性-70代以上 | 94 | 多摩川沿いの桜並木 62.8 | 多摩川 58.5 | 玉川上水 56.4 | 福生七夕まつり 53.2 | 横田基地 38.3 |
| | 女性全体 | 461 | 横田基地 68.1 | 福生七夕まつり 67.7 | 多摩川沿いの桜並木 52.7 | 国道16号線沿いの商店街 42.5 | 福生ほたる祭 41.2 |
| | 女性-20代以下 | 46 | 横田基地 87.0 | 福生七夕まつり 76.1 | 国道16号線沿いの商店街 52.2 | たっけー☆☆ 34.8 | 福生ほたる祭 30.4 |
| | 女性-30代 | 48 | 横田基地 89.6 | 福生七夕まつり 72.9 | 国道16号線沿いの商店街 54.2 | 福生ほたる祭 47.9 | 酒蔵 43.8 |
| | 女性-40代 | 80 | 横田基地 77.5 | 福生七夕まつり 76.3 | 多摩川沿いの桜並木 57.5 | 国道16号線沿いの商店街 51.3 | 酒蔵 50.0 |
| | 女性-50代 | 88 | 横田基地 84.1 | 福生七夕まつり 69.3 | 国道16号線沿いの商店街 55.7 | 多摩川沿いの桜並木 52.3 | 福生ほたる祭 45.5 |
| | 女性-60代 | 98 | 横田基地 64.3 | 福生七夕まつり 64.3 | 多摩川沿いの桜並木 50.0 | 多摩川中央公園 38.8 | 酒蔵 38.8 |
| | 女性-70代以上 | 100 | 多摩川沿いの桜並木 70.0 | 福生七夕まつり 57.0 | ふっさ桜まつり 49.0 | 多摩川 46.0 | 玉川上水 45.0 |

<調査結果>

福生市らしさや魅力について性・年齢別に見ると、「横田基地」はほとんどの性・年代で1位となっていますが、男性-70代以上では5位、女性-70代以上ではランク外となっています。

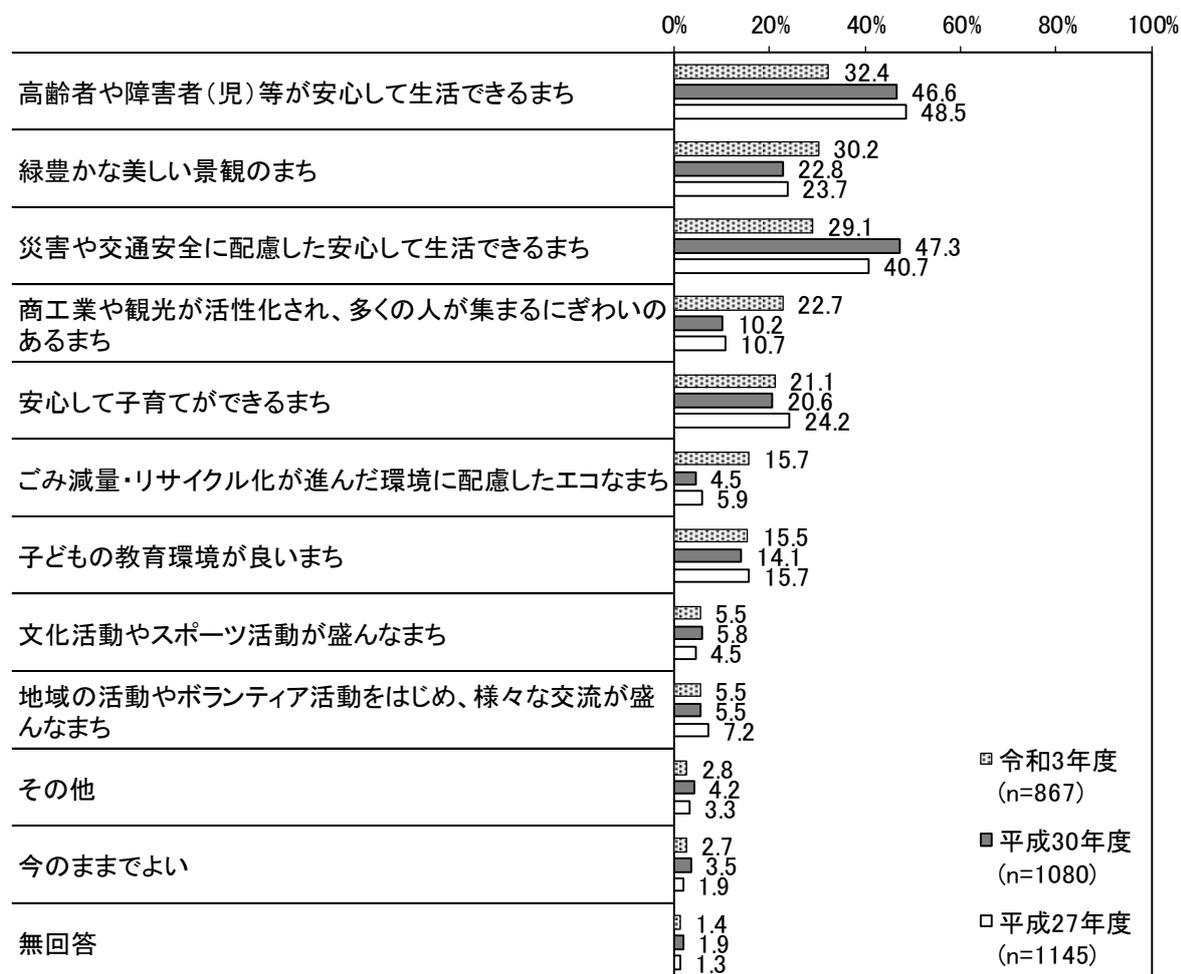
「福生七夕まつり」はほとんどの性・年代で2位となっていますが、男性-70代以上のみ4位となっています。

上位5項目に入った中で少数だったものとして、「酒蔵」(女性-30代、5位)(女性-40代、5位)(女性-60代、5位)、「たっけー☆☆」(男性-20代以下、3位)(女性-20代以下、4位)、「ふっさ桜まつり」(女性-70代以上、3位)、多摩川中央公園(女性-60代、4位)が挙げられます。

(2) 福生市の将来像

問6 将来の福生市はどのようなまちであってほしいと思いますか。(〇は2つまで)

<図表 6-1> 福生市の将来像



<調査結果>

福生市の将来像について聞いたところ、「高齢者や障害者(児)等が安心して生活できるまち」(32.4%)が最も高く3割以上、次いで、「緑豊かな美しい景観のまち」(30.2%)、「災害や交通安全に配慮した安心して生活できるまち」(29.1%)が約3割となっています。

「商工業や観光が活性化され、多くの人が集まるにぎわいのあるまち」は平成30年度(10.2%)から令和3年度(22.7%)にかけて12.5ポイント上昇しています。

「高齢者や障害者(児)等が安心して生活できるまち」(32.4%)は平成27年度(48.5%)以降その割合が低下しています。

<図表 6-2> 福生市の将来像(上位5項目)／性・年齢別

| | n | 1位 | 2位 | 3位 | 4位 | 5位 | |
|-------|----------|--------------------------|--------------------------|--------------------------|--------------------------|--------------------------|---------------------------|
| 全体 | 867 | 高齢者や障害者(児)が安心なまち 32.4 | 緑豊かな美しい景観のまち 30.2 | 災害等に配慮した安心なまち 29.1 | 商工業や観光が活性化したまち 22.7 | 安心して子育てができるまち 21.1 | |
| 性・年齢別 | 男性全体 | 381 | 緑豊かな美しい景観のまち 32.3 | 高齢者や障害者(児)が安心なまち 29.4 | 災害等に配慮した安心なまち 27.8 | 商工業や観光が活性化したまち 26.2 | 安心して子育てができるまち 17.6 |
| | 男性-20代以下 | 31 | 子どもの教育環境が良いまち 35.5 | 災害等に配慮した安心なまち 32.3 | 商工業や観光が活性化したまち 25.8 | 緑豊かな美しい景観のまち 22.6 | 安心して子育てができるまち 19.4 |
| | 男性-30代 | 36 | 子どもの教育環境が良いまち 38.9 | 災害等に配慮した安心なまち 36.1 | 安心して子育てができるまち 36.1 | 緑豊かな美しい景観のまち 27.8 | 文化活動やスポーツ活動が盛んなまち 11.1 |
| | 男性-40代 | 66 | 安心して子育てができるまち 39.4 | 緑豊かな美しい景観のまち 31.8 | 商工業や観光が活性化したまち 28.8 | 災害等に配慮した安心なまち 25.8 | 子どもの教育環境が良いまち 19.7 |
| | 男性-50代 | 74 | 災害等に配慮した安心なまち 36.5 | 商工業や観光が活性化したまち 33.8 | 緑豊かな美しい景観のまち 29.7 | 高齢者や障害者(児)が安心なまち 28.4 | 環境に配慮したエコなまち 13.5 |
| | 男性-60代 | 80 | 高齢者や障害者(児)が安心なまち 43.8 | 緑豊かな美しい景観のまち 38.8 | 商工業や観光が活性化したまち 25.0 | 災害等に配慮した安心なまち 21.3 | 環境に配慮したエコなまち 15.0 |
| | 男性-70代以上 | 94 | 高齢者や障害者(児)が安心なまち 44.7 | 緑豊かな美しい景観のまち 34.0 | 商工業や観光が活性化したまち 27.7 | 災害等に配慮した安心なまち 23.4 | 環境に配慮したエコなまち 19.1 |
| | 女性全体 | 461 | 高齢者や障害者(児)が安心なまち 34.7 | 災害等に配慮した安心なまち 30.4 | 緑豊かな美しい景観のまち 28.6 | 安心して子育てができるまち 24.1 | 商工業や観光が活性化したまち 20.2 |
| | 女性-20代以下 | 46 | 安心して子育てができるまち 39.1 | 緑豊かな美しい景観のまち 34.8 | 災害等に配慮した安心なまち 30.4 | 子どもの教育環境が良いまち 21.7 | 高齢者や障害者(児)が安心なまち 15.2 |
| | 女性-30代 | 48 | 安心して子育てができるまち 45.8 | 災害等に配慮した安心なまち 41.7 | 子どもの教育環境が良いまち 33.3 | 商工業や観光が活性化したまち 20.8 | 緑豊かな美しい景観のまち 20.8 |
| | 女性-40代 | 80 | 安心して子育てができるまち 35.0 | 高齢者や障害者(児)が安心なまち 30.0 | 災害等に配慮した安心なまち 23.8 | 緑豊かな美しい景観のまち 23.8 | 子どもの教育環境が良いまち 23.8 |
| | 女性-50代 | 88 | 緑豊かな美しい景観のまち 35.2 | 災害等に配慮した安心なまち 30.7 | 高齢者や障害者(児)が安心なまち 29.5 | 商工業や観光が活性化したまち 21.6 | 安心して子育てができるまち 17.0 |
| | 女性-60代 | 98 | 高齢者や障害者(児)が安心なまち 46.9 | 災害等に配慮した安心なまち 31.6 | 緑豊かな美しい景観のまち 27.6 | 商工業や観光が活性化したまち 25.5 | 安心して子育てができるまち 21.4 |
| | 女性-70代以上 | 100 | 高齢者や障害者(児)が安心なまち 52.0 | 環境に配慮したエコなまち 29.0 | 緑豊かな美しい景観のまち 29.0 | 災害等に配慮した安心なまち 28.0 | 商工業や観光が活性化したまち 21.0 |

<調査結果>

福生市の将来像について性・年齢別に見ると、「高齢者や障害者(児)等が安心して生活できるまち」は男性・女性共に60代以上で1位となっています。一方で、男性・女性共に20代以下～40代は、子育てや教育に関する内容が1位となっています。

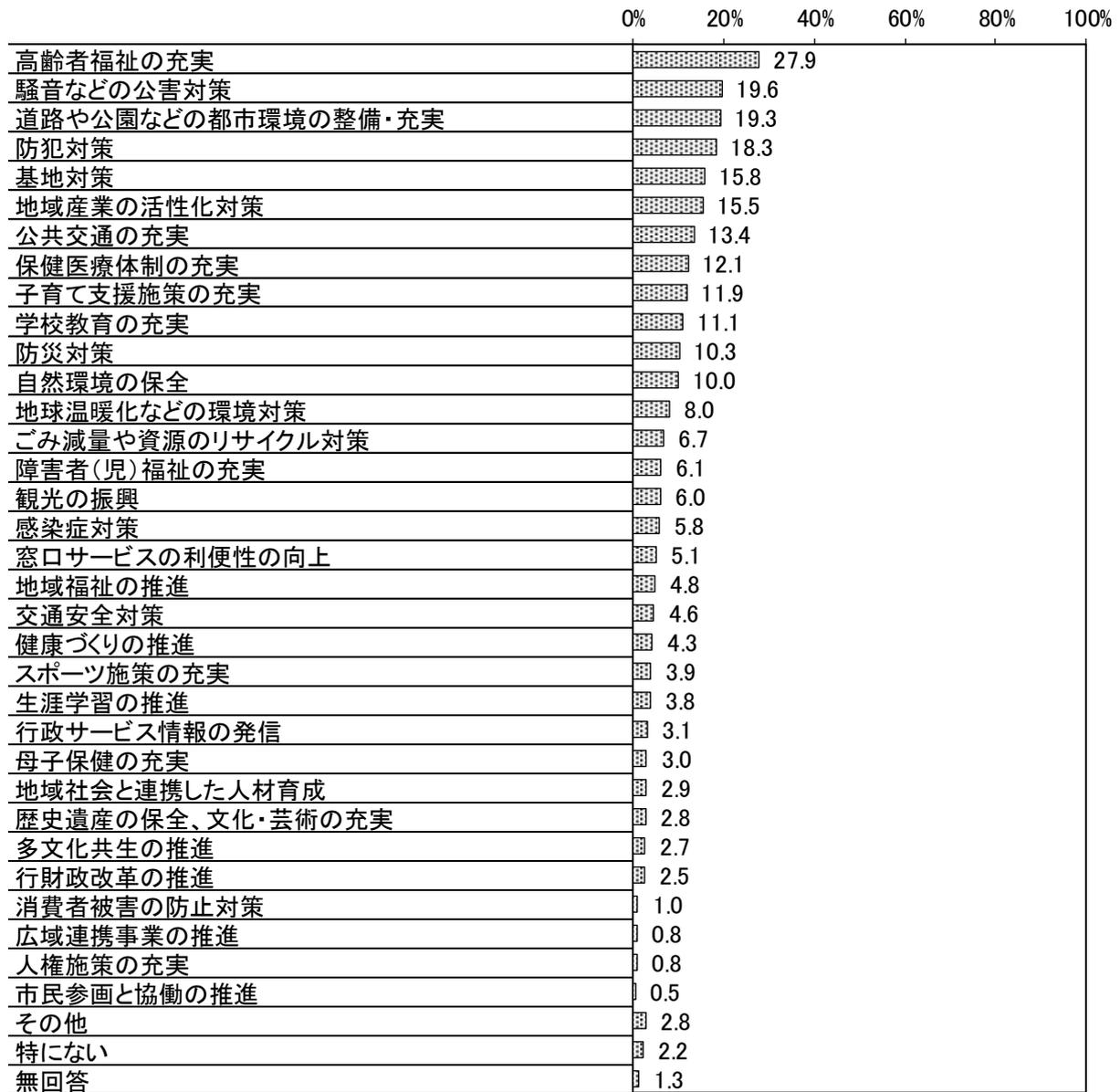
上位5項目に入った中で少数だったものとして、「環境に配慮したエコなまち」(男性-50代、5位)(男性-60代、5位)(男性-70代以上、5位)(女性-70代以上、2位)、「文化活動やスポーツ活動が盛んなまち」(男性-30代、5位)が挙げられます。

3 市民と市政

(1) 特に力を入れて欲しい施策

問7 これからの市政について、特に力を入れて欲しいことを選んでください。(〇は3つまで)

<図表 7-1> 特に力を入れて欲しい施策



<調査結果>

特に力を入れて欲しい施策について聞いたところ、「高齢者福祉の充実」(27.9%)が最も高く2割後半、「騒音などの公害対策」(19.6%)、「道路や公園などの都市環境の整備・充実」(19.3%)が約2割となっています。

<図表 7-2> 特に力を入れて欲しい施策(上位5項目)/ライフステージ別

| | n | 1位 | 2位 | 3位 | 4位 | 5位 |
|------------------------------|--------|--------------------|--------------------|--------------------|--------------------|--------------------|
| 全体 | 867 | 高齢者福祉の充実 27.9 | 騒音などの公害対策 19.6 | 都市環境の整備・充実 19.3 | 防犯対策 18.3 | 基地対策 15.8 |
| ライフ ス テ ー ジ 別 | 独身期 | 騒音などの公害対策 26.6 | 公共交通の充実 20.2 | 都市環境の整備・充実 19.1 | 防犯対策 18.1 | 地域産業の活性化対策 16.0 |
| | 家族形成期 | 子育て支援施策の充実 31.1 | 都市環境の整備・充実 25.2 | 学校教育の充実 21.0 | 騒音などの公害対策 19.3 | 防犯対策 17.6 |
| | 家族成長前期 | 学校教育の充実 39.4 | 防犯対策 27.3 | 子育て支援施策の充実 22.7 | 都市環境の整備・充実 21.2 | 高齢者福祉の充実 15.2 |
| | 家族成長後期 | 地域産業の活性化対策 25.5 | 都市環境の整備・充実 21.8 | 防犯対策 21.8 | 高齢者福祉の充実 18.2 | 子育て支援施策の充実 18.2 |
| | 家族成熟期 | 高齢者福祉の充実 30.3 | 都市環境の整備・充実 19.3 | 防犯対策 17.4 | 公共交通の充実 16.5 | 騒音などの公害対策 16.1 |
| | 高齢期 | 高齢者福祉の充実 40.0 | 基地対策 31.7 | 騒音などの公害対策 26.7 | 都市環境の整備・充実 18.3 | 防犯対策 16.7 |
| | 高齢者世帯 | 高齢者福祉の充実 41.3 | 騒音などの公害対策 23.2 | 都市環境の整備・充実 18.8 | 基地対策 17.4 | 保健医療体制の充実 16.7 |
| | その他 | 高齢者福祉の充実 35.7 | 騒音などの公害対策 21.4 | 防犯対策 21.4 | 基地対策 16.2 | 公共交通の充実 15.6 |

<調査結果>

特に力を入れて欲しい施策についてライフステージ別に見ると、「高齢者福祉の充実」は家族成熟期、高齢期、高齢者世帯など、ライフステージが高齢の方で1位となっています。ライフステージが若年層の方では子育てや教育に関する内容が1位となっています。

「騒音などの公害対策」は独身期のみで1位となっています。

上位5項目に入った中で少数だったものとして、「地域産業の活性化対策」(独身期、5位)(家族成長後期、1位)、「学校教育の充実」(家族形成期、3位)(家族成長前期、1位)、「保健医療体制の充実」(高齢者世帯、5位)が挙げられます。

<図表 7-3>特に力を入れて欲しい施策(上位5項目)／性・年齢別

| | n | 1位 | 2位 | 3位 | 4位 | 5位 | |
|-------|----------|------------------|--------------------|--------------------|--------------------|--------------------|--------------------|
| 全体 | 867 | 高齢者福祉の充実 27.9 | 騒音などの公害対策 19.6 | 都市環境の整備・充実 19.3 | 防犯対策 18.3 | 基地対策 15.8 | |
| 性・年齢別 | 男性全体 | 381 | 高齢者福祉の充実 26.2 | 都市環境の整備・充実 20.5 | 防犯対策 19.9 | 騒音などの公害対策 18.6 | 地域産業の活性化対策 17.8 |
| | 男性-20代以下 | 31 | 都市環境の整備・充実 25.8 | 公共交通の充実 22.6 | 騒音などの公害対策 22.6 | 学校教育の充実 19.4 | スポーツ施策の充実 19.4 |
| | 男性-30代 | 36 | 都市環境の整備・充実 38.9 | 防犯対策 27.8 | 騒音などの公害対策 22.2 | 子育て支援施策の充実 19.4 | 地域産業の活性化対策 16.7 |
| | 男性-40代 | 66 | 防犯対策 34.8 | 子育て支援施策の充実 25.8 | 学校教育の充実 19.7 | 都市環境の整備・充実 15.2 | 騒音などの公害対策 15.2 |
| | 男性-50代 | 74 | 高齢者福祉の充実 27.0 | 地域産業の活性化対策 24.3 | 防犯対策 21.6 | 都市環境の整備・充実 17.6 | 騒音などの公害対策 17.6 |
| | 男性-60代 | 80 | 高齢者福祉の充実 32.5 | 基地対策 21.3 | 地域産業の活性化対策 17.5 | 都市環境の整備・充実 16.3 | 自然環境の保全 16.3 |
| | 男性-70代以上 | 94 | 高齢者福祉の充実 42.6 | 騒音などの公害対策 22.3 | 都市環境の整備・充実 21.3 | 地域産業の活性化対策 17.0 | 基地対策 17.0 |
| | 女性全体 | 461 | 高齢者福祉の充実 28.2 | 騒音などの公害対策 19.3 | 都市環境の整備・充実 18.9 | 防犯対策 17.4 | 基地対策 16.7 |
| | 女性-20代以下 | 46 | 騒音などの公害対策 26.1 | 防犯対策 21.7 | 子育て支援施策の充実 21.7 | 地域産業の活性化対策 17.4 | 基地対策 17.4 |
| | 女性-30代 | 48 | 子育て支援施策の充実 35.4 | 学校教育の充実 27.1 | 都市環境の整備・充実 25.0 | 防犯対策 22.9 | 母子保健の充実 22.9 |
| | 女性-40代 | 80 | 学校教育の充実 27.5 | 防犯対策 23.8 | 高齢者福祉の充実 22.5 | 都市環境の整備・充実 17.5 | 騒音などの公害対策 16.3 |
| | 女性-50代 | 88 | 高齢者福祉の充実 30.7 | 都市環境の整備・充実 23.9 | 騒音などの公害対策 17.0 | 地域産業の活性化対策 15.9 | 公共交通の充実 14.8 |
| | 女性-60代 | 98 | 高齢者福祉の充実 37.8 | 保健医療体制の充実 19.4 | 都市環境の整備・充実 17.3 | 地域産業の活性化対策 16.3 | 騒音などの公害対策 16.3 |
| | 女性-70代以上 | 100 | 高齢者福祉の充実 40.0 | 騒音などの公害対策 27.0 | 基地対策 25.0 | 都市環境の整備・充実 16.0 | 自然環境の保全 15.0 |

<調査結果>

特に力を入れて欲しい施策について性・年齢別に見ると、「高齢者福祉の充実」は男性・女性共に50代以上で1位となっています。女性の30代～40代では子育てや学校教育に関するものが1位となっています。一方で、男性の若年層では20代以下～30代が「都市環境の整備・充実」、40代が「防犯対策」となっています。

上位5項目に入った中で少数だったものとして、「公共交通の充実」(男性-20代以下、2位)(女性-50代、5位)、「自然環境の保全」(男性-60代、5位)(女性-70代以上、5位)、「保健医療体制の充実」(女性-60代、2位)、「スポーツ施策の充実」(男性-20代以下、5位)、「母子保健の充実」(女性-30代、5位)が挙げられます。

(1-1) 特に力を入れて欲しい施策（ウェイトバック集計）

福生市の人口構成比と回答者の属性を比較すると、20代以下の人口構成比が17.3%に対し、回答者の構成比が9.2%と少なくなっています。一方で、70代以上は人口構成比が16.7%に対し、回答者の構成比が23.1%と多くなっています。

回答者の構成比と人口構成比に差があることから、福生市の性・年齢別人口構成比に基づいて回答者の性・年齢別構成比を補正し、性・年齢別によるウェイトバック集計※を行い、補正後の全体値の結果を参考として掲載します。

①母集団

| | 全体 | 20代以下 | 30代 | 40代 | 50代 | 60代 | 70代以上 |
|----|--------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 全体 | 45,141 | 7,787 | 6,391 | 7,918 | 8,287 | 7,242 | 7,516 |
| | 100.0% | 17.3% | 14.2% | 17.5% | 18.4% | 16.0% | 16.7% |
| 男性 | 23,132 | 4,039 | 3,429 | 4,190 | 4,237 | 3,755 | 3,482 |
| | 100.0% | 17.5% | 14.8% | 18.1% | 18.3% | 16.2% | 15.1% |
| 女性 | 22,009 | 3,748 | 2,962 | 3,728 | 4,050 | 3,487 | 4,034 |
| | 100.0% | 17.0% | 13.5% | 16.9% | 18.4% | 15.8% | 18.3% |

②回収数

| | 全体 | 20代以下 | 30代 | 40代 | 50代 | 60代 | 70代以上 |
|----|--------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 全体 | 841 | 77 | 84 | 146 | 162 | 178 | 194 |
| | 100.0% | 9.2% | 10.0% | 17.4% | 19.3% | 21.2% | 23.1% |
| 男性 | 381 | 31 | 36 | 66 | 74 | 80 | 94 |
| | 100.0% | 8.1% | 9.4% | 17.3% | 19.4% | 21.0% | 24.7% |
| 女性 | 460 | 46 | 48 | 80 | 88 | 98 | 100 |
| | 100.0% | 10.0% | 10.4% | 17.4% | 19.1% | 21.3% | 21.7% |

③補正比率

| | 全体 | 20代以下 | 30代 | 40代 | 50代 | 60代 | 70代以上 |
|----|----|-------|------|------|------|------|-------|
| 男性 | - | 1.88 | 1.42 | 1.01 | 0.95 | 0.76 | 0.72 |
| 女性 | - | 1.70 | 1.29 | 0.97 | 0.96 | 0.74 | 0.84 |

※ウェイトバック集計とは、回収されたサンプル（標本）を、母集団の構成に合わせて集計する方法のことです。母集団と回収サンプルの構成比が異なる場合に、母集団を再現した調査結果を算出することができます。

<図表 7-4> 特に力を入れて欲しい施策／ウェイトバック集計後



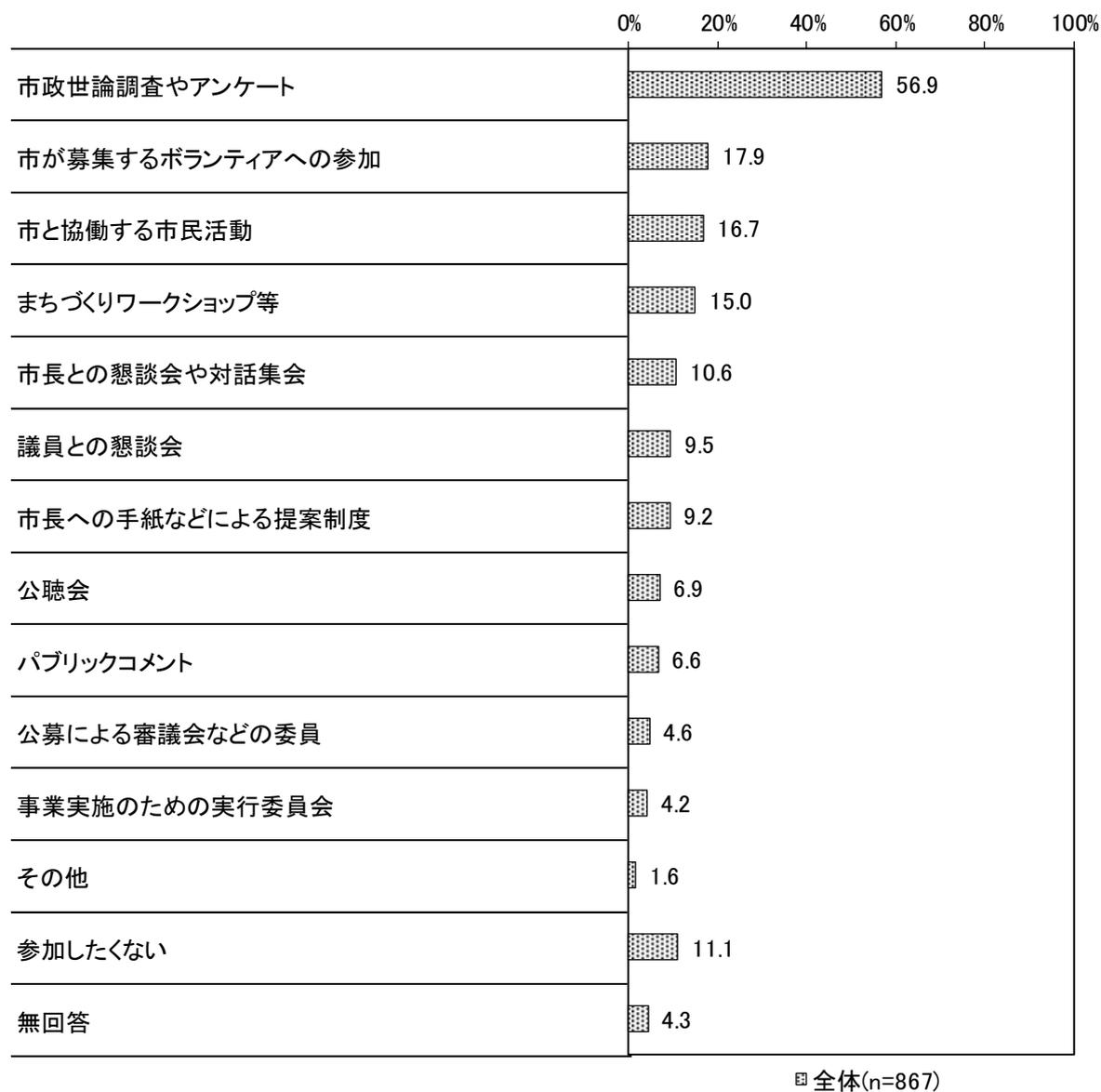
<調査結果>

特に力を入れて欲しい施策について、ウェイトバック前の集計結果と、ウェイトバック後の集計結果を比較すると、「高齢者福祉の充実」がウェイトバック前 (27.9%) と後 (24.1%) で3.8ポイント減少しました。一方で、「子育て支援施策の充実」「学校教育の充実」「スポーツ施策の充実」がそれぞれ1.0ポイント以上増加しました。

(2) 市政への市民参加

問8 まちづくりにおいて、「市政への市民参加」が重要とされていますが、あなたはどのような方法で市政に参加したいと思いますか。(〇は3つまで)

<図表 8-1> 市政への市民参加



<調査結果>

市政への市民参加について聞いたところ、「市政世論調査やアンケート」(56.9%)が5割半ばと最も高く、次いで、「市が募集するボランティアへの参加」(17.9%)、「市と協働する市民活動」(16.7%)となっています。

<図表 8-2> 市政への市民参加(上位 10 項目)／性・年齢別

| | | n | 市政世論調査やアンケート | 市が募集するボランティアへの参加 | 市と協働する市民活動 | まちづくりワークショップ等 | 市長との懇談会や対話集会 | 議員との懇談会 | 市長への手紙などによる提案制度 | 公聴会 | パブリックコメント | 公募による審議会などの委員 |
|----------|----------|------|--------------|------------------|------------|---------------|--------------|---------|-----------------|------|-----------|---------------|
| 全体 | | 867 | 56.9 | 17.9 | 16.7 | 15.0 | 10.6 | 9.5 | 9.2 | 6.9 | 6.6 | 4.6 |
| 性・年齢別 | 男性全体 | 381 | 55.1 | 17.6 | 20.7 | 13.4 | 13.1 | 14.2 | 11.5 | 7.6 | 8.9 | 7.1 |
| | 男性-20代以下 | 31 | 67.7 | 9.7 | 3.2 | 16.1 | 9.7 | 19.4 | 9.7 | 12.9 | 3.2 | 9.7 |
| | 男性-30代 | 36 | 66.7 | 13.9 | 16.7 | 11.1 | 8.3 | 5.6 | 13.9 | 2.8 | 22.2 | 5.6 |
| | 男性-40代 | 66 | 66.7 | 21.2 | 19.7 | 15.2 | 9.1 | 9.1 | 10.6 | 7.6 | 10.6 | 7.6 |
| | 男性-50代 | 74 | 54.1 | 14.9 | 16.2 | 14.9 | 12.2 | 16.2 | 8.1 | 8.1 | 13.5 | 8.1 |
| | 男性-60代 | 80 | 42.5 | 18.8 | 33.8 | 13.8 | 20.0 | 17.5 | 13.8 | 2.5 | 5.0 | 8.8 |
| | 男性-70代以上 | 94 | 50.0 | 20.2 | 21.3 | 10.6 | 13.8 | 14.9 | 12.8 | 11.7 | 4.3 | 4.3 |
| | 女性全体 | 461 | 59.2 | 18.4 | 13.7 | 16.3 | 8.0 | 5.9 | 7.4 | 6.5 | 4.8 | 2.4 |
| | 女性-20代以下 | 46 | 65.2 | 19.6 | 4.3 | 17.4 | 8.7 | 0.0 | 6.5 | 4.3 | 13.0 | 2.2 |
| | 女性-30代 | 48 | 68.8 | 14.6 | 8.3 | 12.5 | 10.4 | 4.2 | 10.4 | 2.1 | 2.1 | 0.0 |
| | 女性-40代 | 80 | 73.8 | 16.3 | 16.3 | 17.5 | 7.5 | 10.0 | 12.5 | 5.0 | 5.0 | 3.8 |
| | 女性-50代 | 88 | 53.4 | 21.6 | 13.6 | 12.5 | 6.8 | 5.7 | 6.8 | 6.8 | 6.8 | 1.1 |
| | 女性-60代 | 98 | 53.1 | 22.4 | 18.4 | 19.4 | 10.2 | 4.1 | 6.1 | 9.2 | 2.0 | 6.1 |
| 女性-70代以上 | 100 | 51.0 | 15.0 | 14.0 | 17.0 | 6.0 | 8.0 | 4.0 | 8.0 | 3.0 | 0.0 | |

<調査結果>

市政への市民参加について、「市と協働する市民活動」の割合を性・年齢別に見ると、男性-60代(33.8%)が全体より高くなっています。一方で、男性-20代以下(3.2%)、女性-20代以下(4.3%)が全体よりやや低くなっています。

男性-20代以下、女性-30代、女性40代といった若年層では「市政世論調査やアンケート」といった、比較的気軽に参加できる方法による市政への市民参加の割合が全体を上回っています。

<図表 8-3> 市政への市民参加(上位 10 項目)／職業別

| | n | 市政世論調査やアンケート | 市が募集するボランティアへの参加 | 市と協働する市民活動 | まちづくりワークショップ等 | 市長との懇談会や対話集会 | 議員との懇談会 | 市長への手紙などによる提案制度 | 公聴会 | パブリックコメント | 公募による審議会などの委員 | |
|-----|-------------|--------------|------------------|------------|---------------|--------------|---------|-----------------|------|-----------|---------------|-----|
| 全体 | 867 | 56.9 | 17.9 | 16.7 | 15.0 | 10.6 | 9.5 | 9.2 | 6.9 | 6.6 | 4.6 | |
| 職業別 | 自営業主 | 63 | 49.2 | 22.2 | 22.2 | 25.4 | 20.6 | 12.7 | 12.7 | 6.3 | 6.3 | 7.9 |
| | 家業従事(家業手伝い) | 9 | 66.7 | 22.2 | 44.4 | 22.2 | 11.1 | 11.1 | 0.0 | 0.0 | 22.2 | 0.0 |
| | 事務・技術系勤め人 | 206 | 63.6 | 17.0 | 12.6 | 14.1 | 8.7 | 9.7 | 12.1 | 4.4 | 8.3 | 4.4 |
| | 労務系勤め人 | 105 | 61.0 | 17.1 | 17.1 | 12.4 | 15.2 | 15.2 | 7.6 | 9.5 | 9.5 | 4.8 |
| | 学生 | 22 | 54.5 | 18.2 | 9.1 | 13.6 | 13.6 | 0.0 | 4.5 | 13.6 | 18.2 | 9.1 |
| | パート・アルバイト | 171 | 60.2 | 20.5 | 17.0 | 16.4 | 11.1 | 8.8 | 6.4 | 7.0 | 3.5 | 4.1 |
| | 専業主婦・主夫 | 126 | 57.1 | 13.5 | 16.7 | 15.9 | 8.7 | 3.2 | 7.1 | 6.3 | 4.0 | 3.2 |
| | 無職 | 152 | 46.1 | 17.8 | 18.4 | 11.8 | 6.6 | 11.8 | 10.5 | 8.6 | 5.9 | 3.9 |

<調査結果>

市政への市民参加について、「市政世論調査やアンケート」の割合を職業別に見ると、無職(46.1%)が全体よりやや低くなっています。

「市と協働する市民活動」の割合を職業別に見ると、家業従事(家業手伝い)(44.4%)が全体よりとても高くなっています。

「まちづくりワークショップ等」の割合を職業別に見ると、自営業主(25.4%)が全体よりやや高くなっています。

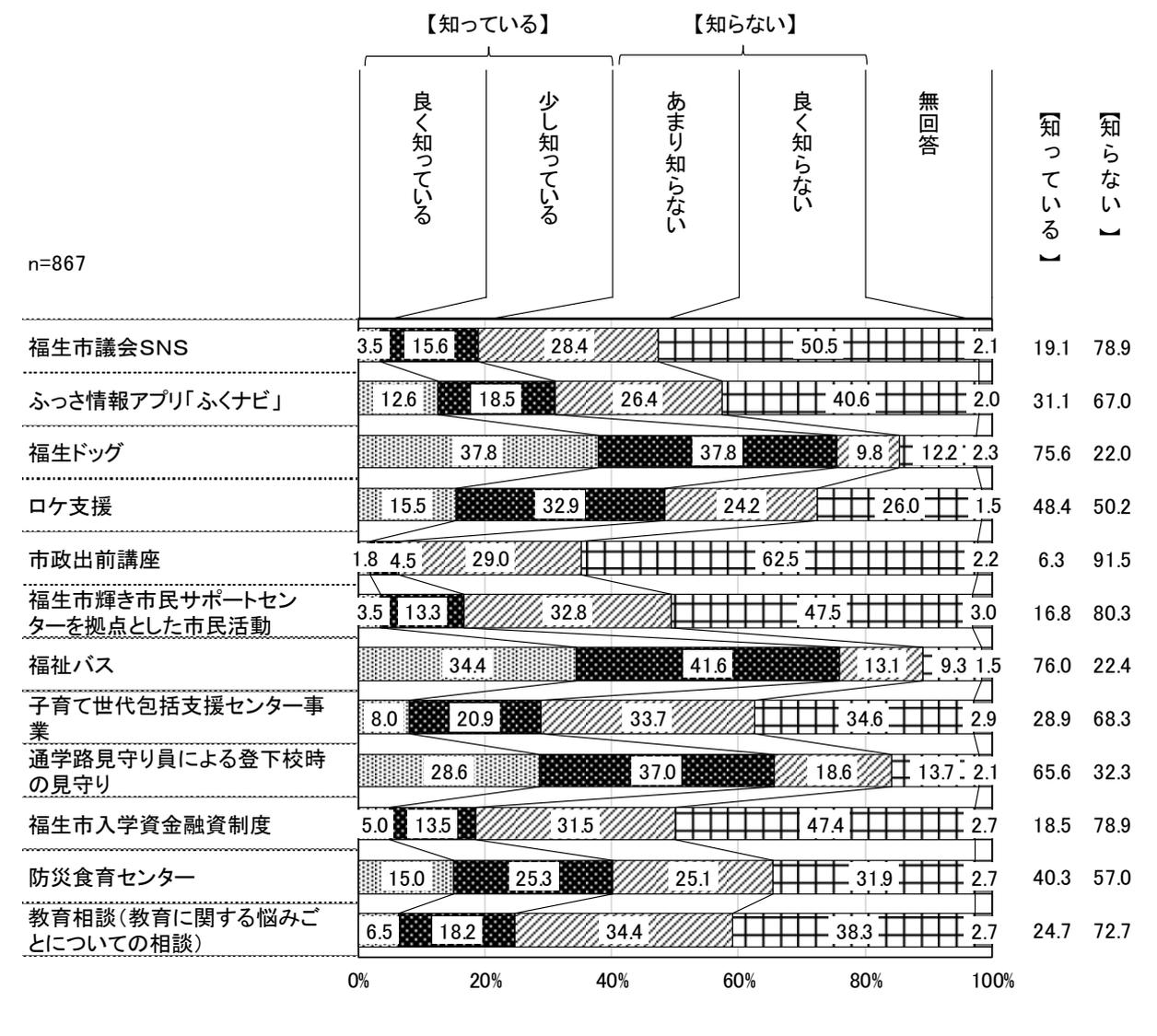
「市長との懇談会や対話集会」の割合を職業別に見ると、自営業主(20.6%)が全体よりやや高くなっています。

「パブリックコメント」の割合を職業別に見ると、家業従事(家業手伝い)(22.2%)が全体より高く、学生(18.2%)が全体よりやや高くなっています。

(3) 施策の認知状況

問9 あなたは次の市の施策についてご存知ですか。次の項目について、それぞれ1つずつ番号を選んでください。

<図表 9-1> 施策の認知状況



<調査結果>

各施策の認知状況について聞いたところ、「良く知っている」と「少し知っている」を合計した【知っている】の割合は、「福祉バス」(76.0%)が最も高く7割半ばとなっています。次いで、「福生ドッグ」(75.6%)も7割半ばとなっています。

「あまり知らない」と「良く知らない」を合計した【知らない】の割合は、「市政出前講座」(91.5%)が9割以上、「福生市輝き市民サポートセンターを拠点とした市民活動」(80.3%)が約8割となっています。また、「福生市議会SNS」(78.9%)と「福生市入学資金融資制度」(78.9%)が共に7割後半となっています。

<図表 9-2> 施策の認知状況「良く知っている」「少し知っている」の合計／性・年齢別(男性)

| | 全体 | 男性 | | | | | | |
|---------------------------|------|------|-------|------|------|------|------|-------|
| | | 男性全体 | 20代以下 | 30代 | 40代 | 50代 | 60代 | 70代以上 |
| n | 867 | 381 | 31 | 36 | 66 | 74 | 80 | 94 |
| 福生市議会SNS | 19.1 | 19.2 | 16.1 | 16.7 | 19.7 | 24.3 | 15.0 | 20.3 |
| ふっさ情報アプリ「ふくナビ」 | 31.1 | 28.6 | 22.6 | 30.6 | 34.9 | 28.4 | 22.5 | 30.8 |
| 福生ドッグ | 75.6 | 72.5 | 77.4 | 75.0 | 84.8 | 78.4 | 71.3 | 57.4 |
| ロケ支援 | 48.4 | 43.0 | 35.5 | 47.2 | 48.5 | 44.6 | 45.1 | 37.2 |
| 市政出前講座 | 6.3 | 6.5 | 3.2 | 5.6 | 1.5 | 5.4 | 11.3 | 8.5 |
| 福生市輝き市民サポートセンターを拠点とした市民活動 | 16.8 | 17.3 | 29.0 | 13.9 | 16.6 | 14.9 | 22.5 | 12.8 |
| 福祉バス | 76.0 | 71.4 | 58.0 | 63.9 | 71.2 | 78.3 | 72.5 | 72.3 |
| 子育て世代包括支援センター事業 | 28.9 | 24.9 | 25.8 | 33.4 | 27.3 | 27.1 | 22.6 | 20.2 |
| 通学路見守り員による登下校時の見守り | 65.6 | 63.3 | 80.7 | 72.3 | 59.1 | 63.5 | 62.5 | 57.4 |
| 福生市入学資金融資制度 | 18.5 | 14.4 | 19.4 | 2.8 | 15.1 | 13.5 | 18.8 | 13.9 |
| 防災食育センター | 40.3 | 36.7 | 32.3 | 25.0 | 30.3 | 41.9 | 46.3 | 35.1 |
| 教育相談(教育に関する悩みごとについての相談) | 24.7 | 18.1 | 25.8 | 22.3 | 18.2 | 12.2 | 20.1 | 17.0 |

<図表 9-3> 施策の認知状況「良く知っている」「少し知っている」の合計／性・年齢別(女性)

| | 全体 | 女性 | | | | | | |
|---------------------------|------|------|-------|------|------|------|------|-------|
| | | 女性全体 | 20代以下 | 30代 | 40代 | 50代 | 60代 | 70代以上 |
| n | 867 | 461 | 46 | 48 | 80 | 88 | 98 | 100 |
| 福生市議会SNS | 19.1 | 18.9 | 15.2 | 6.3 | 20.1 | 19.3 | 25.5 | 19.0 |
| ふっさ情報アプリ「ふくナビ」 | 31.1 | 32.8 | 10.9 | 39.6 | 37.6 | 39.8 | 37.8 | 25.0 |
| 福生ドッグ | 75.6 | 78.7 | 67.4 | 77.1 | 86.3 | 85.3 | 82.7 | 69.0 |
| ロケ支援 | 48.4 | 53.8 | 45.6 | 50.0 | 60.1 | 61.4 | 58.2 | 44.0 |
| 市政出前講座 | 6.3 | 6.3 | 2.2 | 0.0 | 3.8 | 6.8 | 7.1 | 12.0 |
| 福生市輝き市民サポートセンターを拠点とした市民活動 | 16.8 | 16.2 | 6.5 | 8.3 | 16.3 | 15.9 | 19.4 | 22.0 |
| 福祉バス | 76.0 | 79.9 | 56.5 | 75.0 | 82.6 | 79.5 | 87.7 | 83.0 |
| 子育て世代包括支援センター事業 | 28.9 | 32.1 | 30.4 | 50.0 | 37.5 | 23.8 | 32.7 | 27.0 |
| 通学路見守り員による登下校時の見守り | 65.6 | 67.7 | 58.7 | 72.9 | 78.8 | 64.8 | 66.3 | 64.0 |
| 福生市入学資金融資制度 | 18.5 | 21.7 | 13.1 | 14.6 | 27.5 | 25.0 | 23.4 | 20.0 |
| 防災食育センター | 40.3 | 42.9 | 28.3 | 33.3 | 56.3 | 38.6 | 48.0 | 43.0 |
| 教育相談(教育に関する悩みごとについての相談) | 24.7 | 30.4 | 21.7 | 31.3 | 45.0 | 27.2 | 30.6 | 25.0 |

<調査結果>

各施策の認知状況「良く知っている」「少し知っている」の合計について性・年齢別に見ると、「福生ドッグ」は男性・女性共に40代（男性84.8%）（女性86.3%）が最も高く8割を超えています。

「ロケ支援」は女性-40代（60.1%）、女性-50代（61.4%）が6割以上となっています。また、全ての年代で女性の割合が男性の割合を上回っています。

「福生市輝き市民サポートセンターを拠点とした市民活動」は男性-20代以下（29.0%）が2割後半と最も高くなっています。

「福祉バス」は女性-60代（87.7%）が最も高く、次いで、女性-70代以上（83.0%）、女性-40代（82.6%）も8割を超えています。一方で、男性・女性共に20代以下（男性58.0%）（女性56.5%）が5割台となっています。

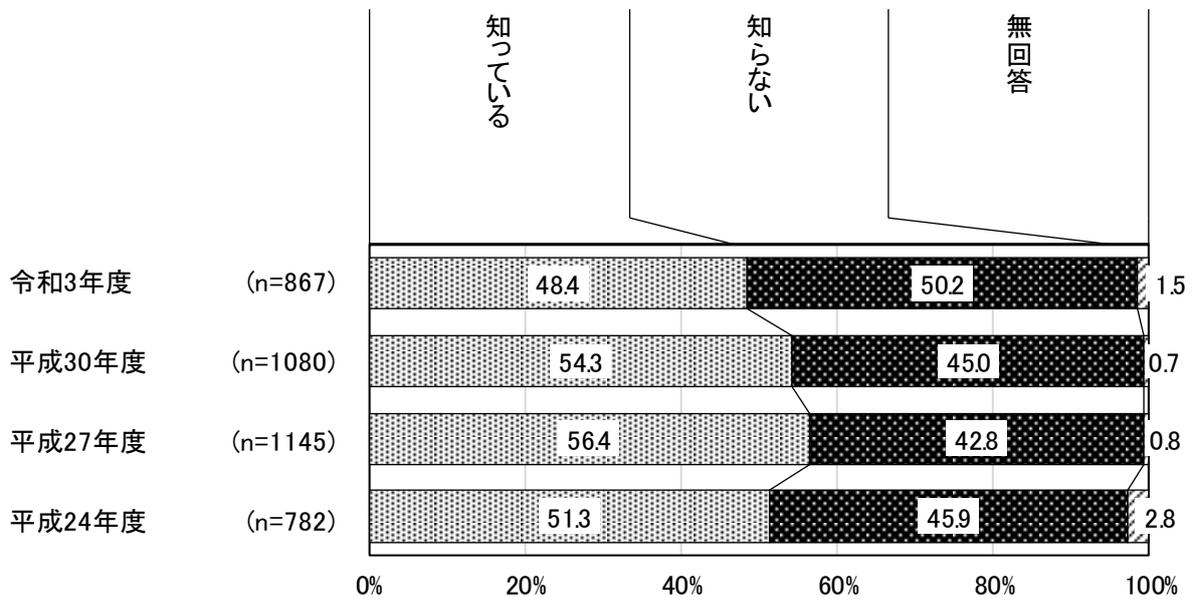
「子育て世代包括支援センター事業」は男性・女性共に30代（男性33.4%）（女性50.0%）が最も高くなっています。

「通学路見守り員による登下校時の見守り」は男性-20代以下（80.7%）が最も高く約8割、次いで、女性-40代（78.8%）が7割後半となっています。

「防災食育センター」は女性-40代（56.3%）が5割半ばと最も高くなっています。一方で、男性-30代（25.0%）、女性-20代以下（28.3%）が2割台となっています。

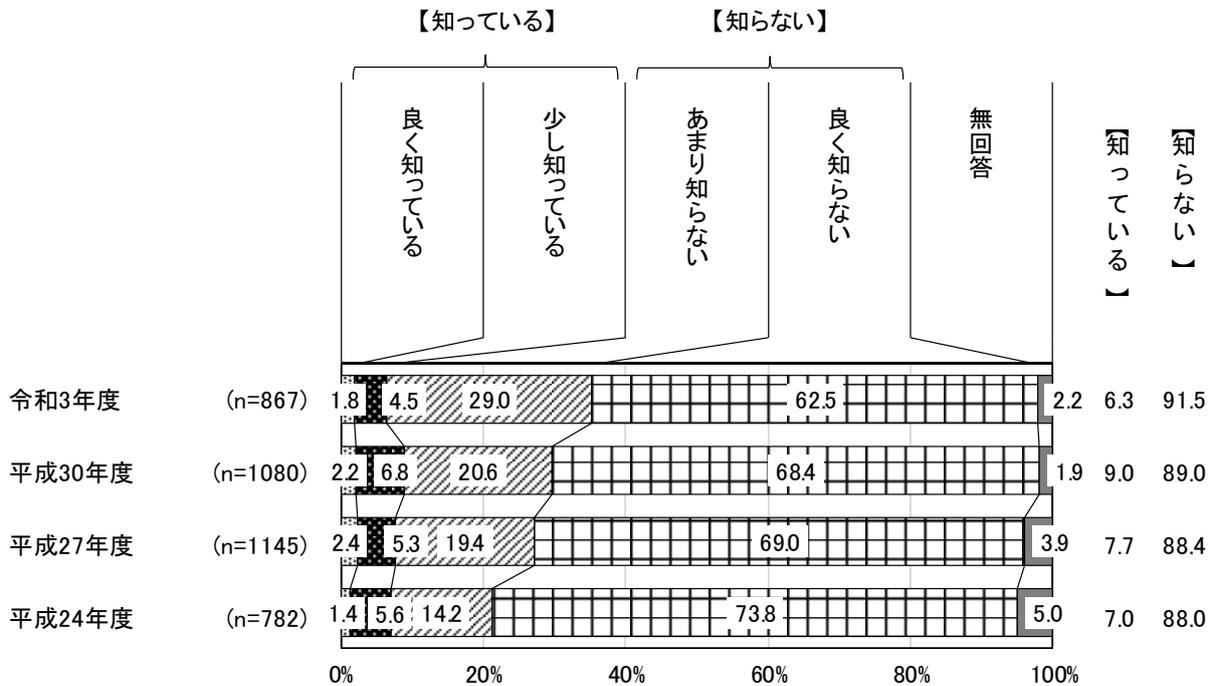
「教育相談（教育に関する悩みごとについての相談）」は女性-40代（45.0%）が4割半ばと最も高くなっています。一方で、男性-40代（18.2%）、男性-50代（12.2%）、男性-70代以上（17.0%）が1割台となっています。

<図表 9-4> 施策の認知状況「ロケ支援」／過年度推移

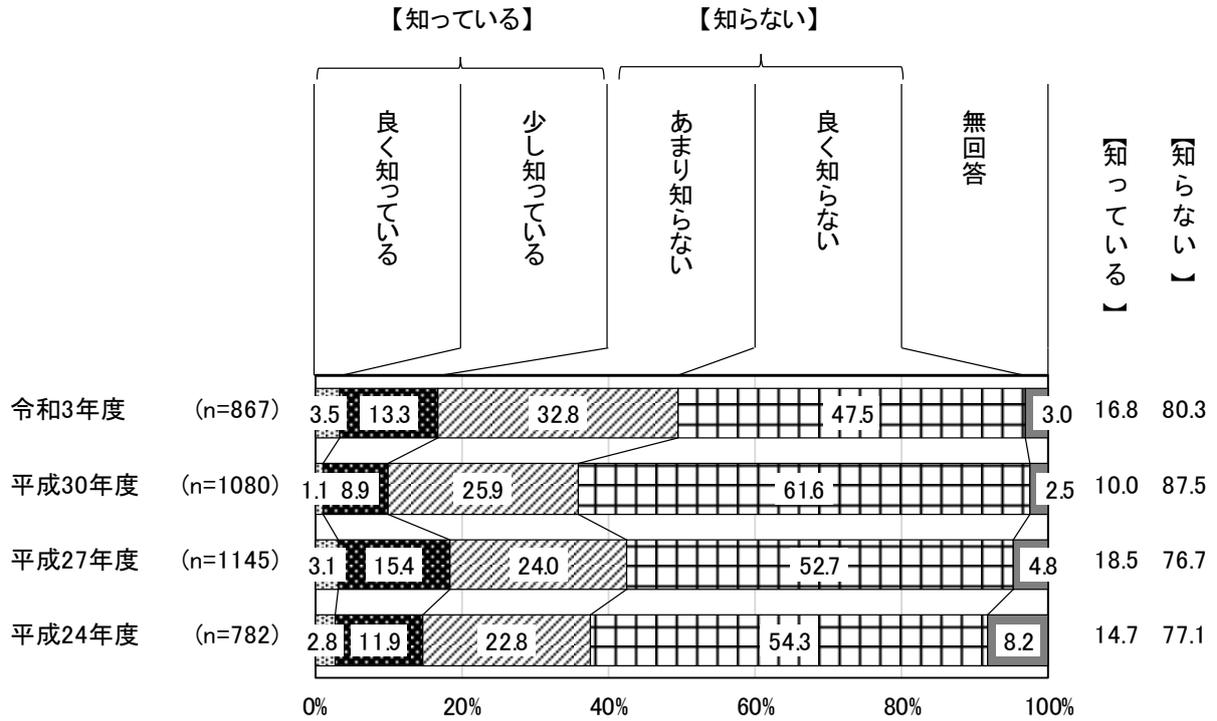


※令和3年度の「よく知っている」と「少し知っている」を「知っている」、「あまり知らない」と「良く知らない」を「知らない」として比較。選択肢が大きく異なるため、参考値として掲載。

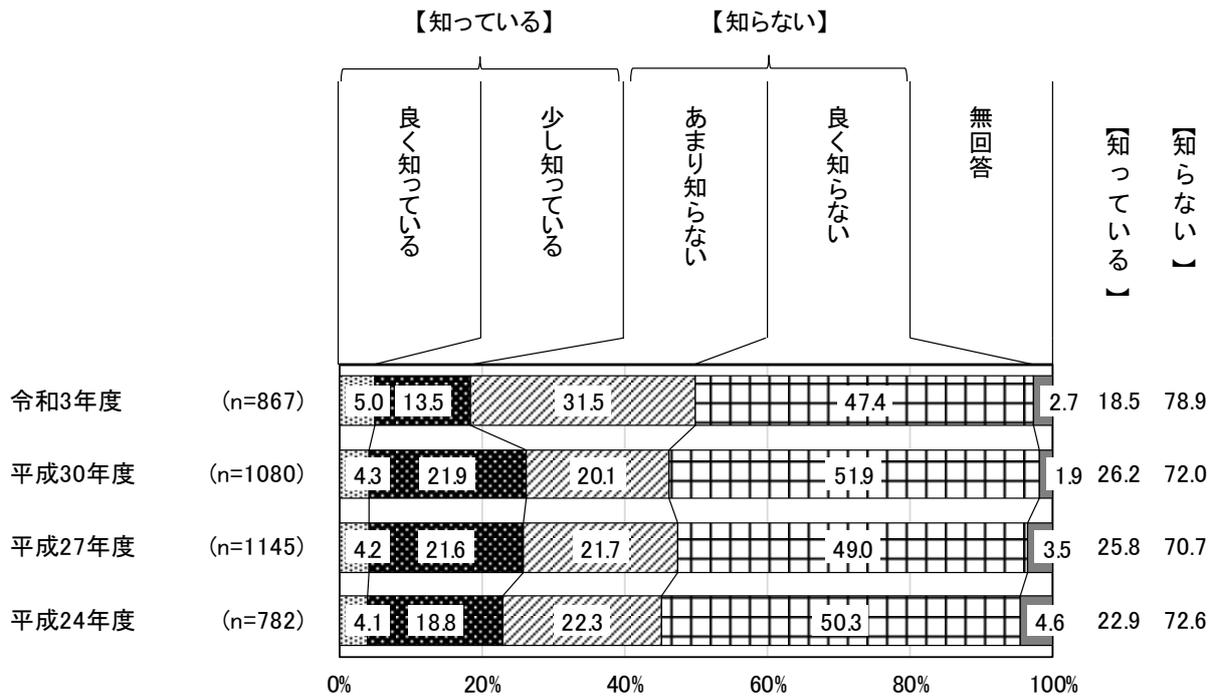
<図表 9-5> 施策の認知状況「市政出前講座」／過年度推移



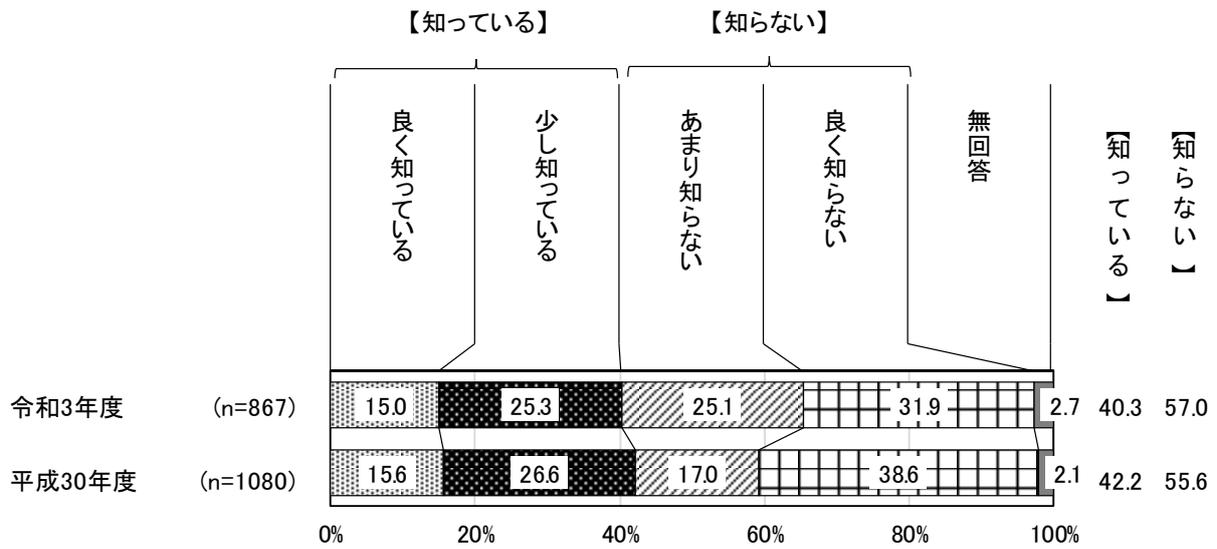
<図表 9-6> 施策の認知状況「福生市輝き市民サポートセンターを拠点とした市民活動」／過年度推移



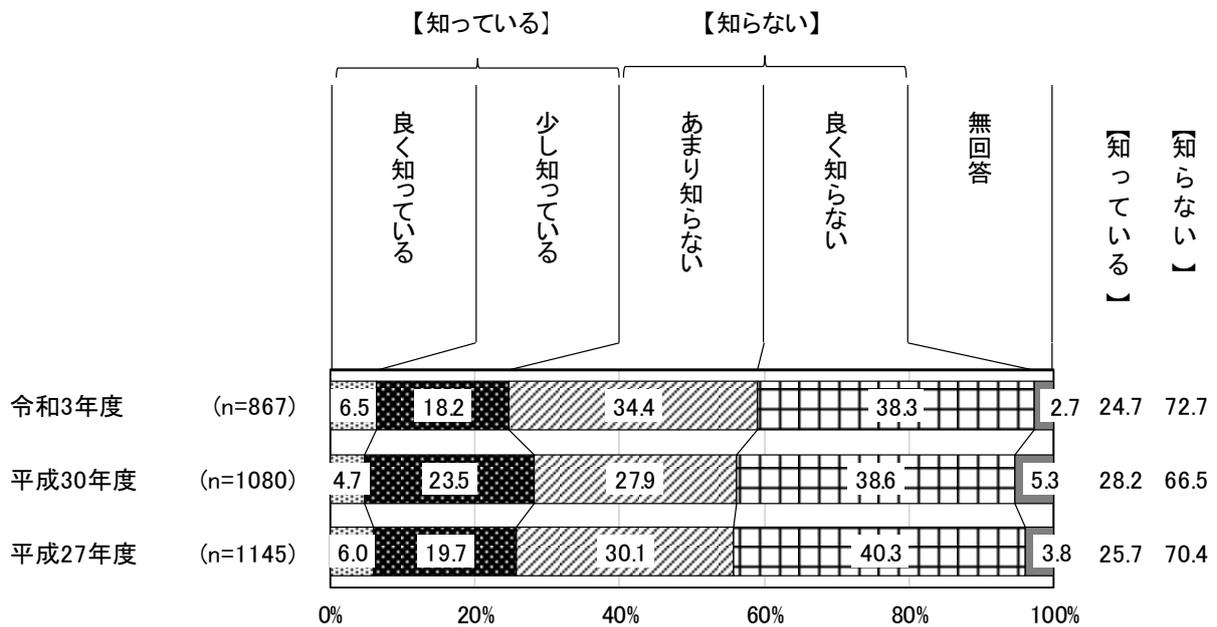
<図表 9-7> 施策の認知状況「福生市入学資金融資制度」／過年度推移



<図表 9-8> 施策の認知状況「防災食育センター」／過年度推移



<図表 9-9> 施策の認知状況「教育相談」／過年度推移



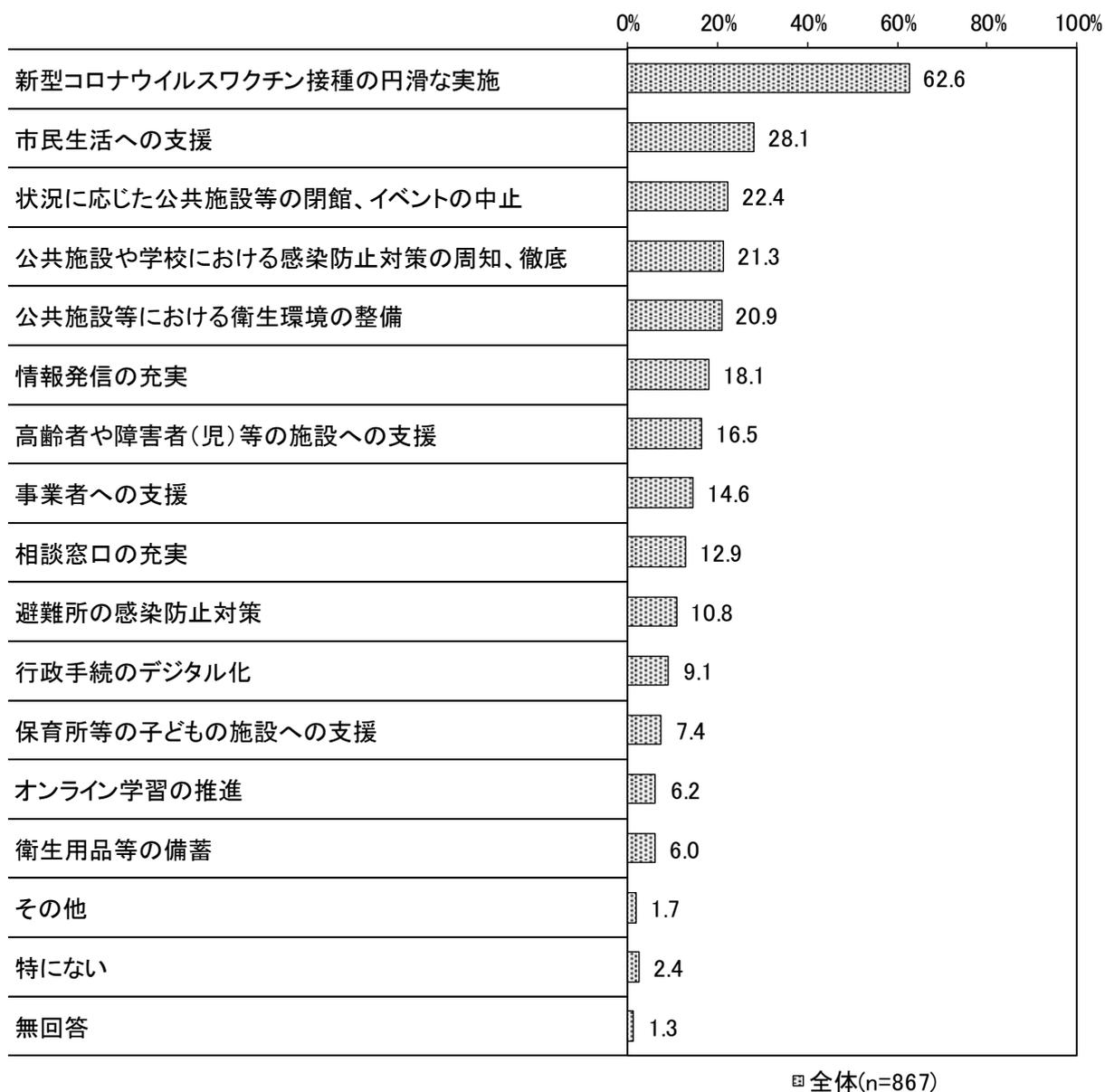
<調査結果>

過去に認知状況を調査した施策について過年度推移を見ると、増減はあるものの、認知状況の割合に大きな変化は見られません。

(4) 新型コロナウイルス感染症に関して特に重要であると思う対策や対応

問 10 新型コロナウイルス感染症に関する市の対策や対応で、特に重要であると思うものを次の中から選んでください。(○は3つまで)

<図表 10-1> 新型コロナウイルス感染症に関して特に重要であると思う対策や対応



<調査結果>

新型コロナウイルス感染症に関して特に重要であると思う対策や対応について聞いたところ、「新型コロナウイルスワクチン接種の円滑な実施」(62.6%)が6割以上と最も高くなっています。次いで、「市民生活への支援」(28.1%)、「状況に応じた公共施設等の閉館、イベントの中止」(22.4%)、「公共施設や学校における感染防止対策の周知、徹底」(21.3%)となっています。

<図表 10-2>新型コロナウイルス感染症に関して特に重要であると思う対策や対応(上位 10 項目)／性・年齢別

| | n | 新型コロナウイルスワクチン接種の円滑な実施 | 市民生活への支援 | 状況に応じた公共施設等の閉館、イベントの中止 | 公共施設や学校における感染防止対策の周知、徹底 | 公共施設等における衛生環境の整備 | 情報発信の充実 | 高齢者や障害者（児）等の施設への支援 | 事業者への支援 | 相談窓口の充実 | 避難所の感染防止対策 | |
|-------|----------|-----------------------|----------|------------------------|-------------------------|------------------|---------|--------------------|---------|---------|------------|------|
| 全体 | 867 | 62.6 | 28.1 | 22.4 | 21.3 | 20.9 | 18.1 | 16.5 | 14.6 | 12.9 | 10.8 | |
| 性・年齢別 | 男性全体 | 381 | 66.7 | 28.3 | 23.4 | 18.4 | 20.2 | 17.6 | 17.3 | 18.4 | 11.0 | 8.9 |
| | 男性-20代以下 | 31 | 67.7 | 38.7 | 9.7 | 16.1 | 19.4 | 16.1 | 12.9 | 35.5 | 3.2 | 3.2 |
| | 男性-30代 | 36 | 52.8 | 27.8 | 19.4 | 22.2 | 22.2 | 11.1 | 13.9 | 19.4 | 8.3 | 5.6 |
| | 男性-40代 | 66 | 62.1 | 39.4 | 13.6 | 13.6 | 22.7 | 21.2 | 10.6 | 21.2 | 6.1 | 10.6 |
| | 男性-50代 | 74 | 62.2 | 31.1 | 29.7 | 18.9 | 16.2 | 24.3 | 13.5 | 20.3 | 13.5 | 5.4 |
| | 男性-60代 | 80 | 67.5 | 23.8 | 23.8 | 16.3 | 25.0 | 8.8 | 17.5 | 17.5 | 13.8 | 13.8 |
| | 男性-70代以上 | 94 | 77.7 | 19.1 | 30.9 | 22.3 | 17.0 | 20.2 | 27.7 | 9.6 | 13.8 | 9.6 |
| | 女性全体 | 461 | 60.1 | 28.4 | 21.3 | 24.1 | 22.1 | 18.4 | 15.0 | 12.1 | 15.0 | 13.0 |
| | 女性-20代以下 | 46 | 60.9 | 30.4 | 15.2 | 15.2 | 17.4 | 21.7 | 6.5 | 8.7 | 13.0 | 8.7 |
| | 女性-30代 | 48 | 43.8 | 47.9 | 20.8 | 22.9 | 22.9 | 4.2 | 8.3 | 14.6 | 6.3 | 14.6 |
| | 女性-40代 | 80 | 62.5 | 26.3 | 20.0 | 33.8 | 30.0 | 11.3 | 7.5 | 18.8 | 16.3 | 8.8 |
| | 女性-50代 | 88 | 60.2 | 31.8 | 17.0 | 22.7 | 21.6 | 23.9 | 11.4 | 9.1 | 15.9 | 13.6 |
| | 女性-60代 | 98 | 68.4 | 25.5 | 21.4 | 27.6 | 14.3 | 27.6 | 17.3 | 12.2 | 17.3 | 14.3 |
| | 女性-70代以上 | 100 | 58.0 | 20.0 | 29.0 | 19.0 | 25.0 | 16.0 | 28.0 | 10.0 | 16.0 | 16.0 |

<調査結果>

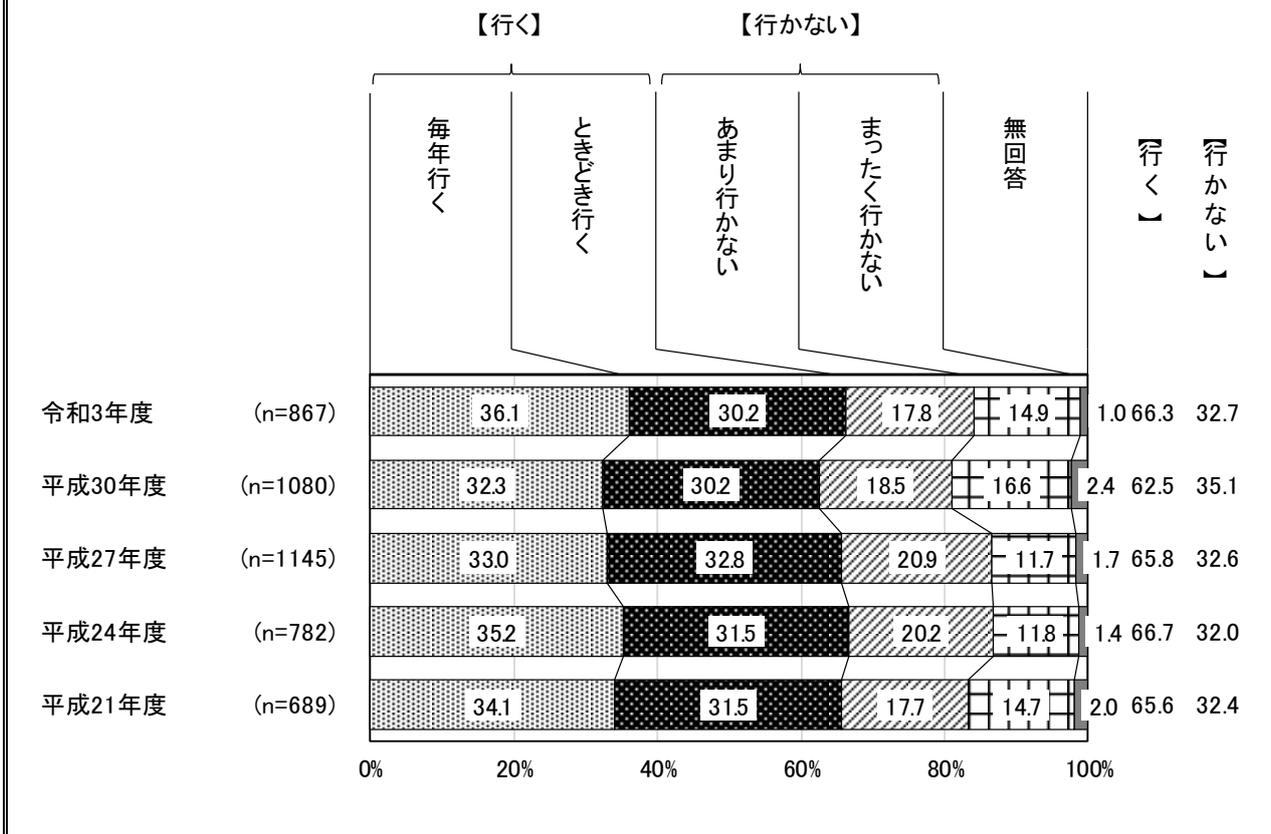
新型コロナウイルス感染症に関して特に重要であると思う対策や対応について、「市民生活への支援」の割合を性・年齢別に見ると、女性-30代(47.9%)が全体より高くなっています。また、男性-20代以下(38.7%)、男性-40代(39.4%)が全体よりやや高くなっています。男性・女性共に70代以上(男性27.7%) (女性28.0%)で「高齢者や障害者(児)等の施設への支援」が全体よりやや高くなっています。

4 イベント・観光

(1) 福生七夕まつりへの参加状況

問 11 福生七夕まつりには行きますか。(○は1つ)

<図表 11-1> 福生七夕まつりへの参加状況



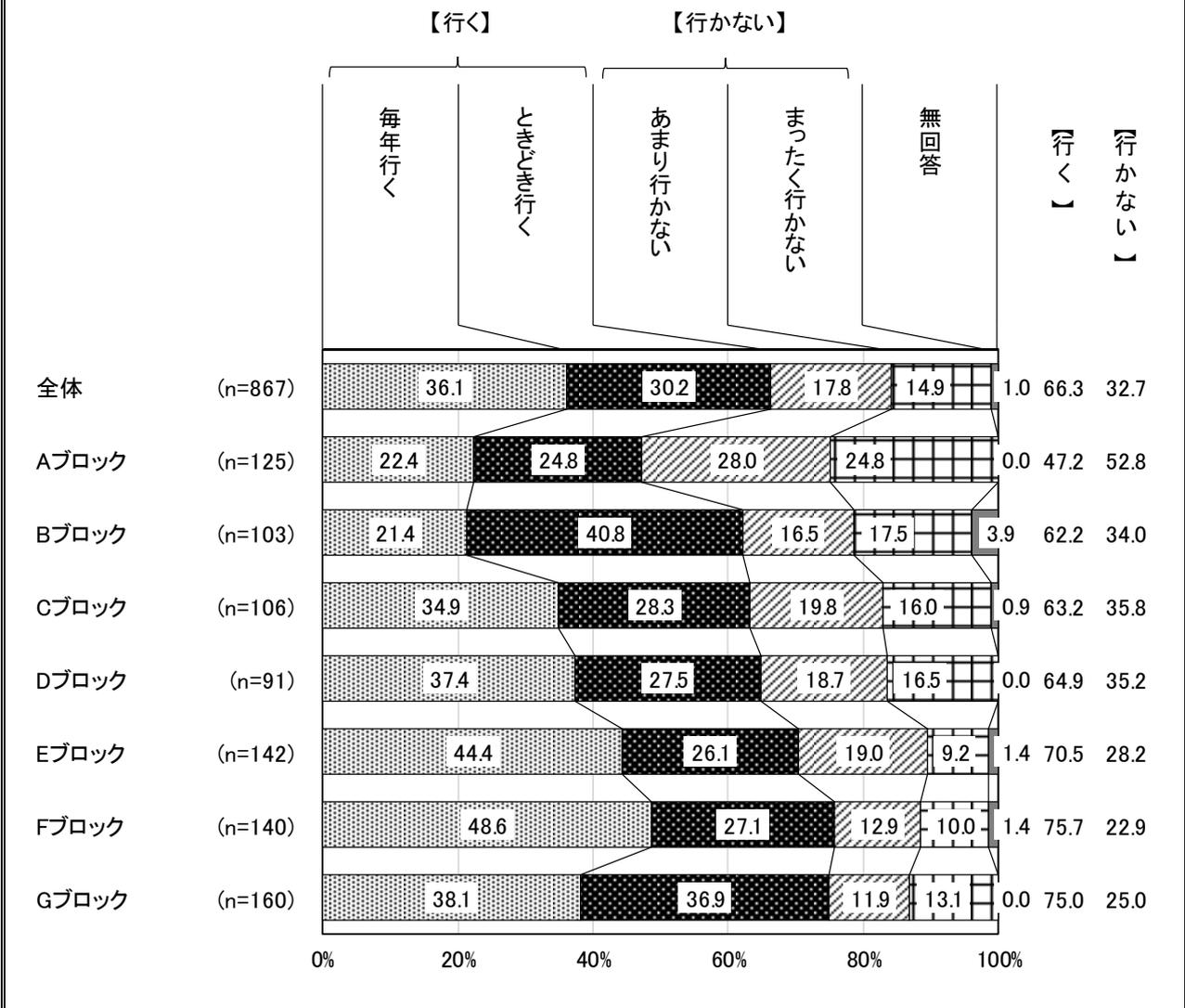
<調査結果>

福生七夕まつりへの参加状況について聞いたところ、「毎年行く」(36.1%)が3割半ばと最も高く、次いで、「ときどき行く」(30.2%)、「あまり行かない」(17.8%)となっています。

「毎年行く」(36.1%)と「ときどき行く」(30.2%)を合計した【行く】(66.3%)が6割半ばとなっています。平成30年度(62.5%)から令和3年度(66.3%)にかけて3.8ポイント上昇しています。

【行く】(66.3%)は「あまり行かない」(17.8%)と「まったく行かない」(14.9%)を合計した【行かない】(32.7%)を大きく上回っています。

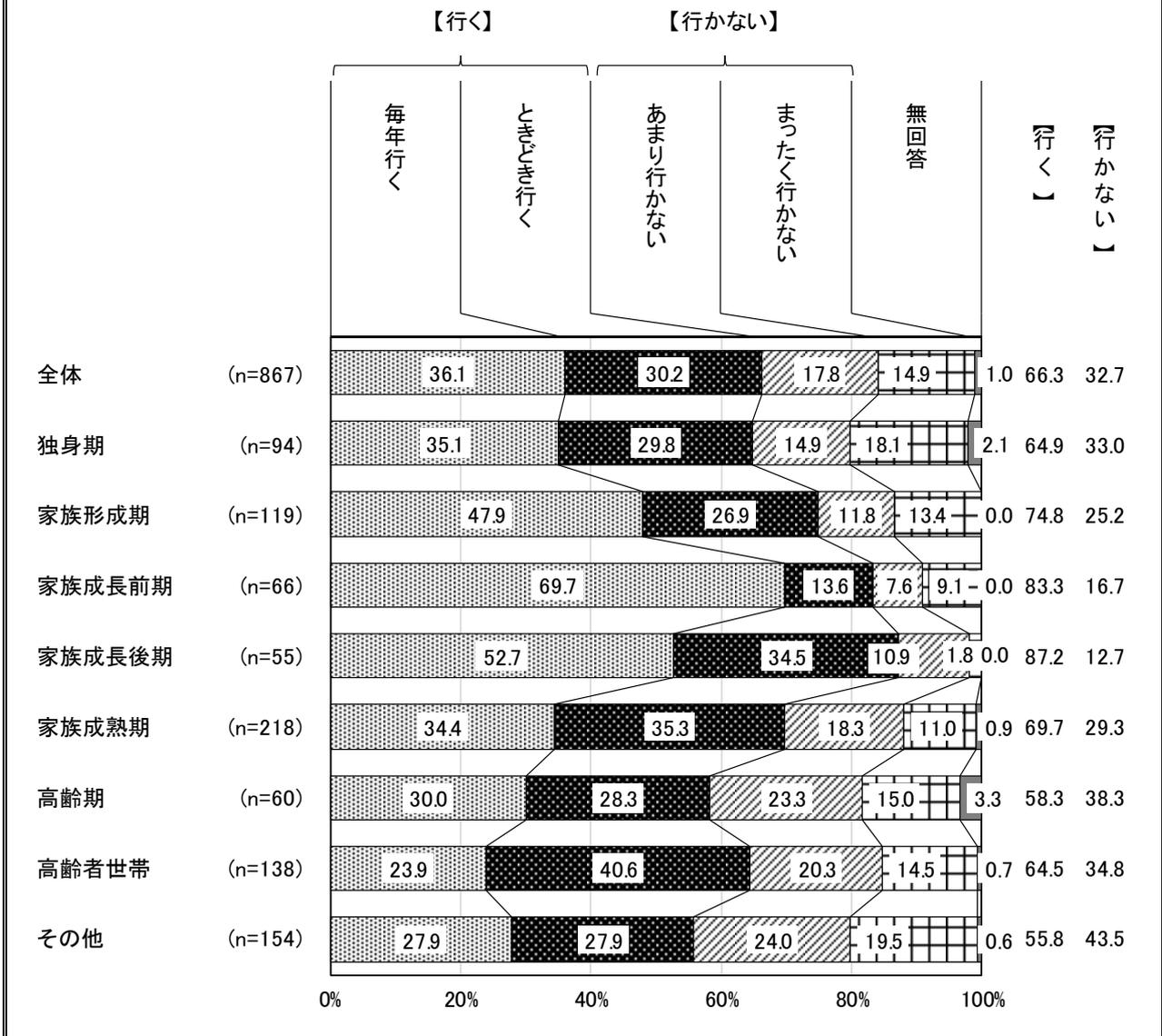
<図表 11-2> 福生七夕まつりへの参加状況／ブロック別



<調査結果>

福生七夕まつりへの参加状況についてブロック別に見ると、【行く】の割合は、Fブロック（75.7%）が最も高く7割半ばとなっています。次いで、Gブロック（75.0%）、Eブロック（70.5%）も7割を超えています。一方で、Aブロック（47.2%）が最も低く4割後半となっています。

<図表 11-3> 福生七夕まつりへの参加状況／ライフステージ別



<調査結果>

福生七夕まつりへの参加状況についてライフステージ別に見ると、【行く】の割合は、家族成長後期（87.2%）が最も高く8割後半となっています。次いで、家族成長前期（83.3%）が8割半ば、家族形成期（74.8%）が7割半ばとなっています。一方で、高齢期（58.3%）、その他（55.8%）が6割未満となっています。

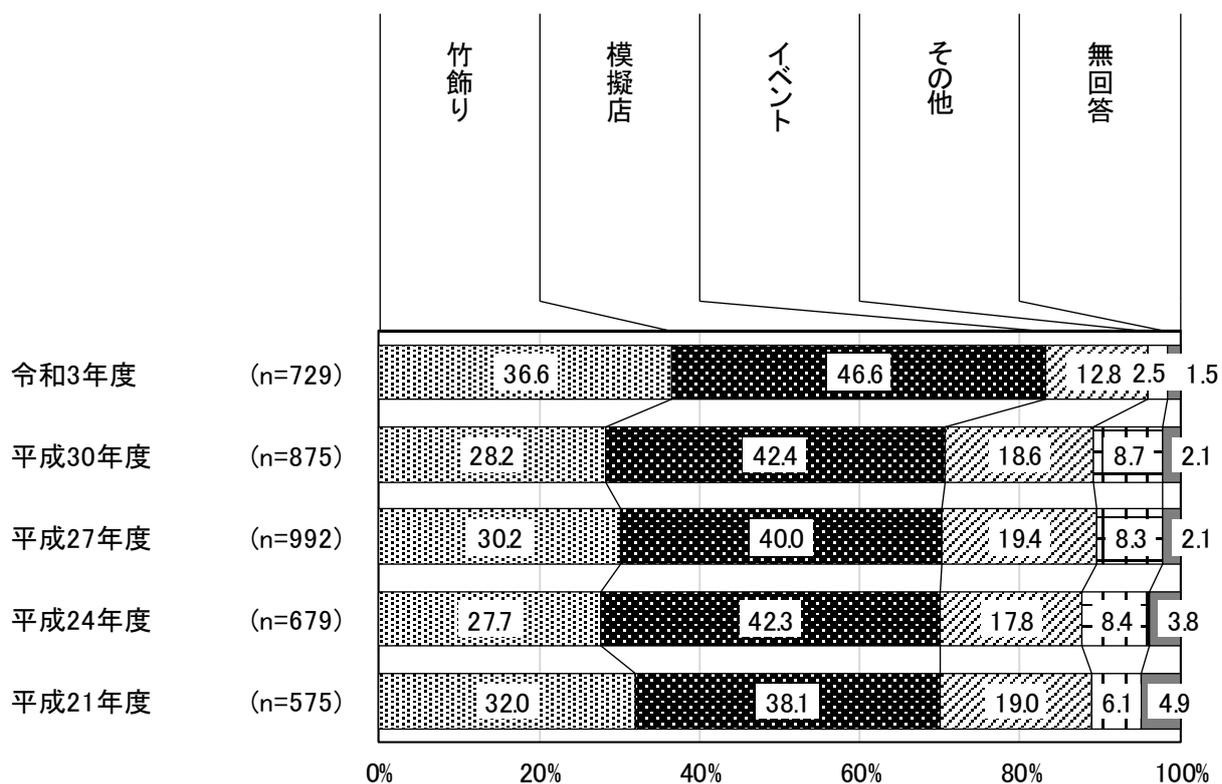
「毎年行く」の割合は、独身期から家族成長前期にかけて上昇し、その後低下していきます。ライフステージが若年層であれば毎年参加する割合が高く、高齢になるにつれて福生七夕まつりへの参加状況は低下していく傾向が見られます。

(2) 福生七夕まつりの楽しみ

問 11 で、「1 毎年行く」「2 ときどき行く」「3 あまり行かない」と回答した方に伺います。

問 11-1 福生七夕まつりで特に楽しみにしているものは何ですか。(〇は1つ)

<図表 11-1-1> 福生七夕まつりの楽しみ



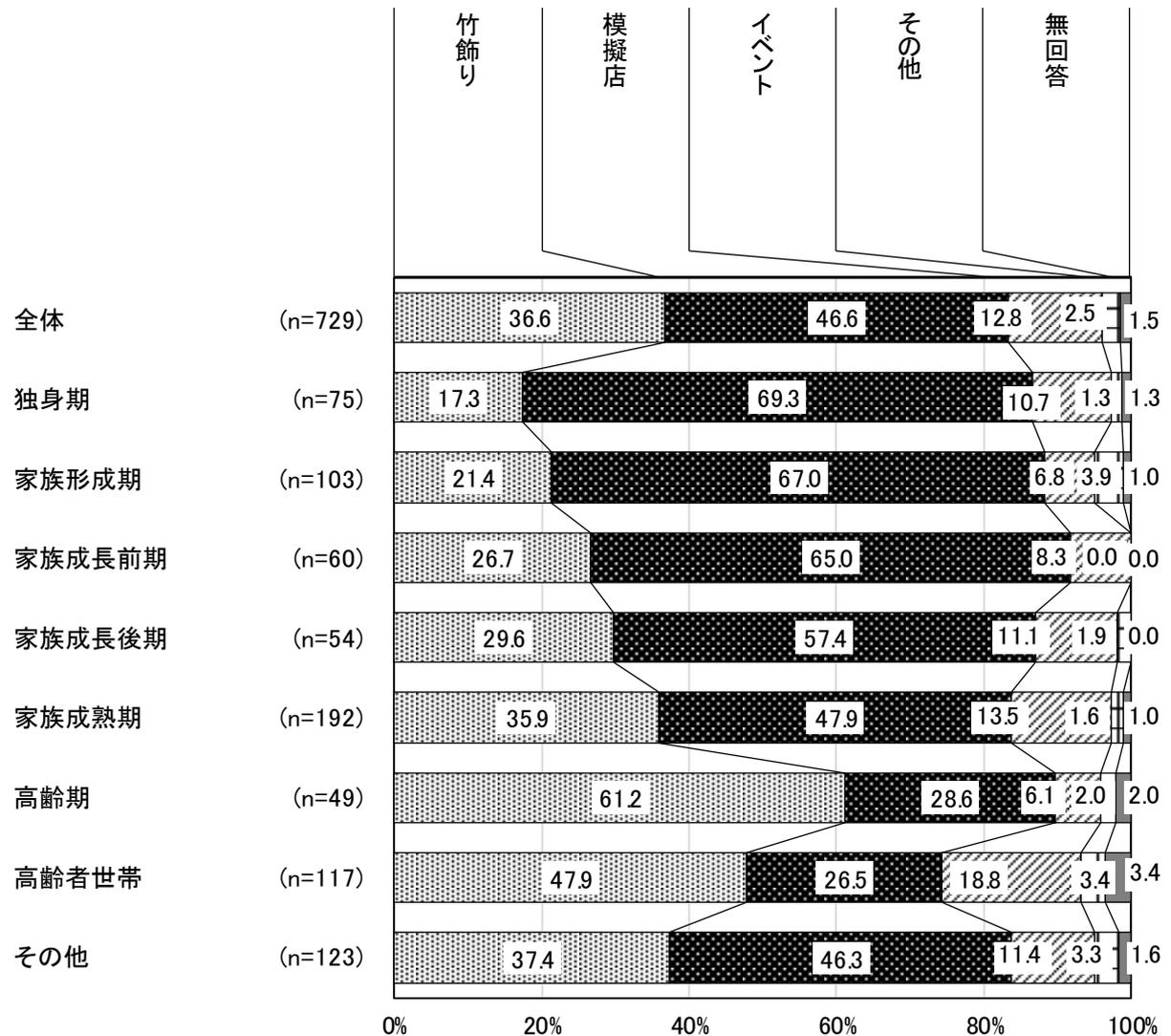
<調査結果>

福生七夕まつりの楽しみについて聞いたところ、「模擬店」(46.6%)が4割半ばと最も高く、次いで、「竹飾り」(36.6%)、「イベント」(12.8%)となっています。

「竹飾り」は平成30年度(28.2%)から令和3年度(36.6%)にかけて8.4ポイント上昇しています。

いずれの年度においても「模擬店」が最も高く、次いで「竹飾り」、「イベント」と同様の傾向を示しています。

<図表 11-1-2> 福生七夕まつりの楽しみ／ライフステージ別



<調査結果>

福生七夕まつりの楽しみについて、「竹飾り」の割合をライフステージ別に見ると、高齢期（61.2%）が全体より高く、高齢者世帯（47.9%）が全体よりやや高くなっています。一方で、独身期（17.3%）、家族形成期（21.4%）が全体より低くなっています。

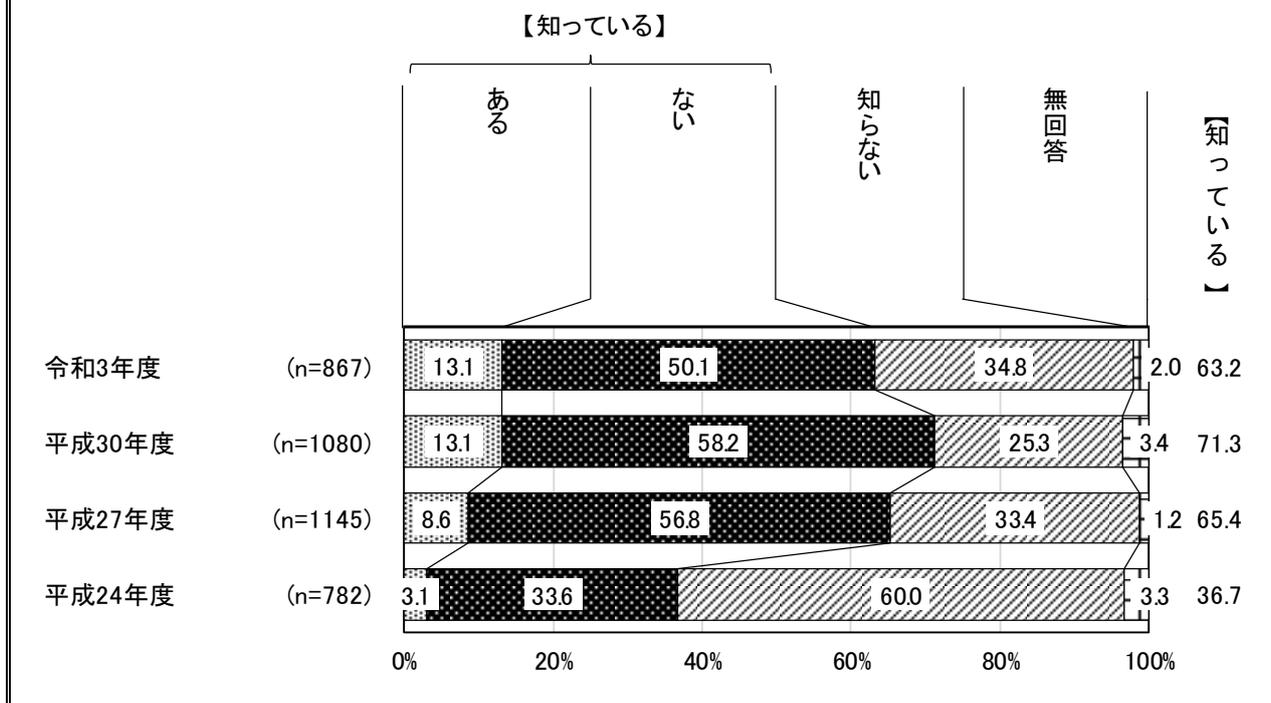
「模擬店」の割合をライフステージ別に見ると、独身期（69.3%）、家族形成期（67.0%）、家族成長前期（65.0%）が全体より高く、家族成長後期（57.4%）が全体よりやや高くなっています。

高齢者世帯を除いて、ライフステージが高齢になるにつれて、「竹飾り」の割合が上昇し、「模擬店」の割合が減少する傾向が見られます。

(3) 「まちなかおもてなしステーション くるみる ふっさ」の利用状況

問 12 「まちなかおもてなしステーション くるみる ふっさ」を利用したことがありますか。(〇は1つ)

<図表 12-1>「まちなかおもてなしステーション くるみる ふっさ」の利用状況



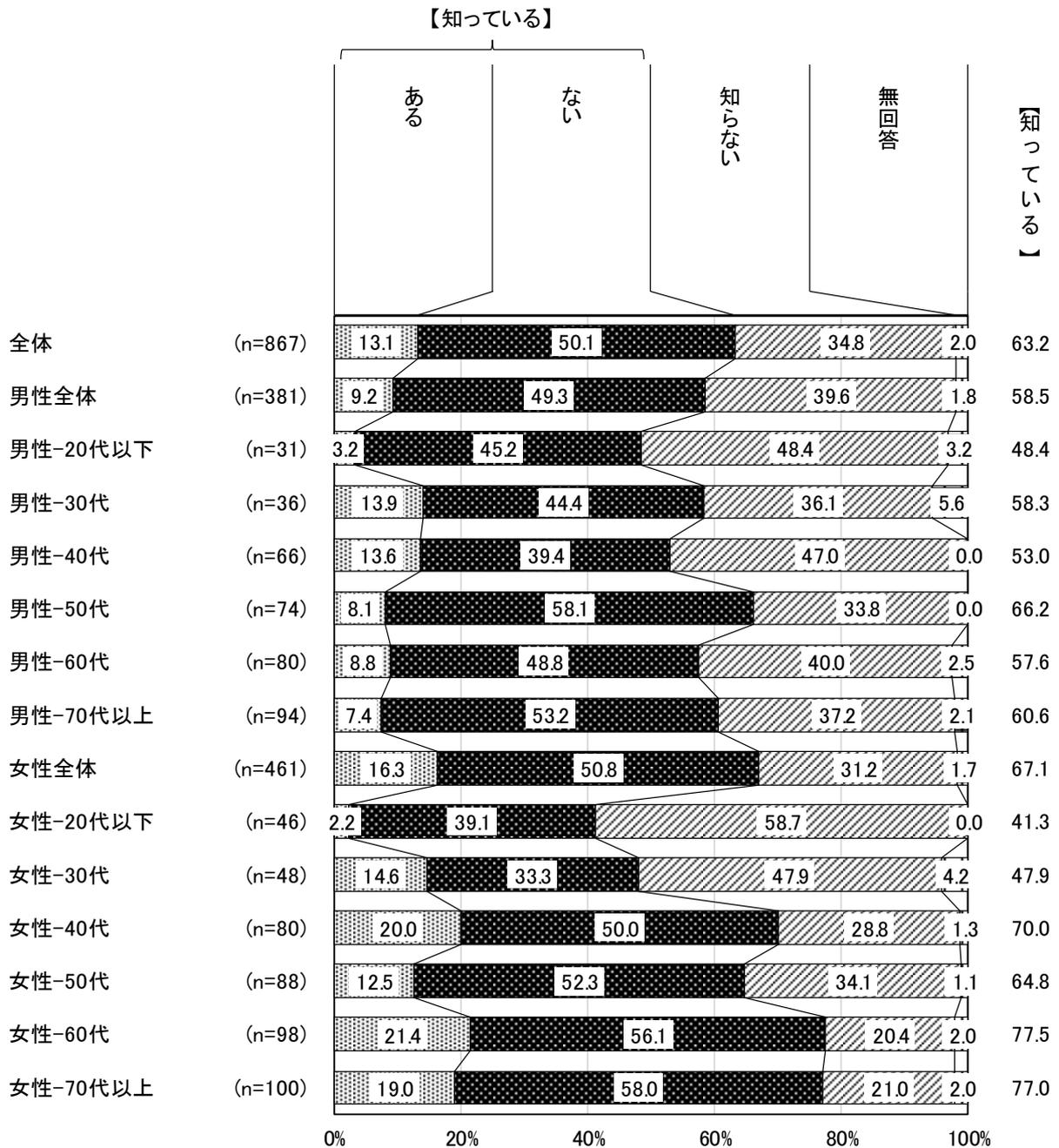
<調査結果>

「まちなかおもてなしステーション くるみる ふっさ」の利用状況について聞いたところ、「ない」(50.1%)が約5割と最も高く、次いで、「知らない」(34.8%)、「ある」(13.1%)となっています。

「ある」(13.1%)と「ない」(50.1%)を合計した【知っている】(63.2%)が6割半ばとなっています。

【知っている】は平成27年度(65.4%)以降、6割～7割台を推移しています。

<図表 12-2>「まちなかおもてなしステーション くるみる ふっさ」の利用状況／性・年齢別



<調査結果>

「まちなかおもてなしステーション くるみる ふっさ」の利用状況について性・年齢別に見ると、【知っている】の割合は、女性-60代（77.5%）が最も高く7割後半となっています。次いで、女性-70代以上（77.0%）も7割後半となっています。

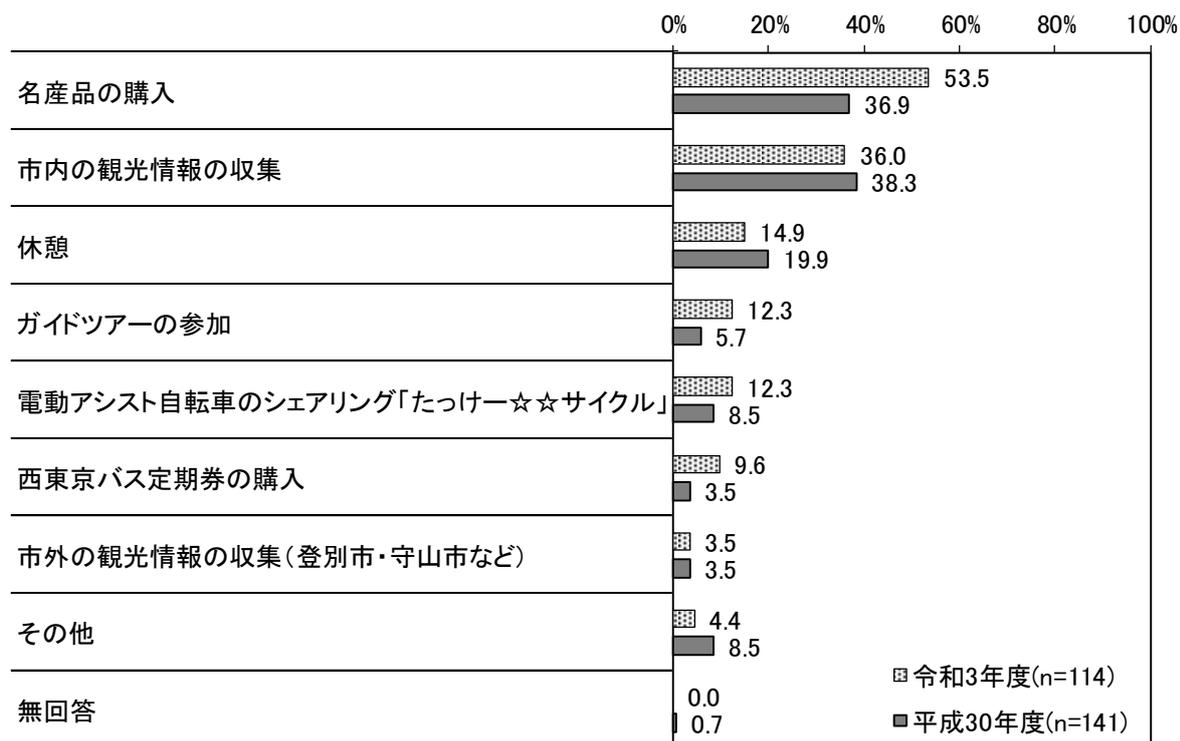
一方で、男性-20代以下（48.4%）、女性-20代以下（41.3%）、女性-30代（47.9%）が5割未満となっています。男性・女性共に、20代以下～30代といった若年層で、【知っている】の割合が低い傾向にあります。

(4)「まちなかおもてなしステーション くるみる ふっさ」の利用目的

問 12 で「1 ある」と回答した方に伺います。

問 12 -1 「まちなかおもてなしステーション くるみる ふっさ」を利用した目的は何ですか。(〇はいくつでも)

<図表 12-1-1>「まちなかおもてなしステーション くるみる ふっさ」の利用目的



<調査結果>

「まちなかおもてなしステーション くるみる ふっさ」の利用目的について聞いたところ、「名産品の購入」(53.5%)が5割半ばと最も高く、次いで、「市内の観光情報の収集」(36.0%)が3割半ばとなっています。

「名産品の購入」は平成30年度(36.9%)から令和3年度(53.5%)にかけて16.6ポイント上昇しています。

<図表 12-1-2>「まちなかおもてなしステーション くるみる ふっさ」の利用目的／性・年齢別

| | n | 名産品の購入 | 市内の観光情報の収集 | 休憩 | ガイドツアーの参加 | 電動アシスト自転車 ☆サイクルシェアリング ☆「たっけー」☆ | 西東京バス定期券の購入 | 市外の観光情報の収集（登別市・守山市など） | その他 | 無回答 | |
|-------|----------|--------|------------|------|-----------|--------------------------------------|-------------|-----------------------|-----|------|-----|
| 全体 | 114 | 53.5 | 36.0 | 14.9 | 12.3 | 12.3 | 9.6 | 3.5 | 4.4 | 0.0 | |
| 性・年齢別 | 男性全体 | 35 | 37.1 | 31.4 | 22.9 | 8.6 | 22.9 | 11.4 | 0.0 | 5.7 | 0.0 |
| | 男性-20代以下 | 1 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 100.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 |
| | 男性-30代 | 5 | 20.0 | 0.0 | 60.0 | 0.0 | 20.0 | 0.0 | 0.0 | 20.0 | 0.0 |
| | 男性-40代 | 9 | 66.7 | 44.4 | 22.2 | 0.0 | 11.1 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 |
| | 男性-50代 | 6 | 50.0 | 33.3 | 16.7 | 0.0 | 16.7 | 16.7 | 0.0 | 0.0 | 0.0 |
| | 男性-60代 | 7 | 14.3 | 14.3 | 14.3 | 28.6 | 42.9 | 14.3 | 0.0 | 14.3 | 0.0 |
| | 男性-70代以上 | 7 | 28.6 | 57.1 | 14.3 | 14.3 | 28.6 | 14.3 | 0.0 | 0.0 | 0.0 |
| | 女性全体 | 75 | 62.7 | 38.7 | 9.3 | 13.3 | 8.0 | 6.7 | 4.0 | 4.0 | 0.0 |
| | 女性-20代以下 | 1 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 100.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 |
| | 女性-30代 | 7 | 85.7 | 28.6 | 28.6 | 0.0 | 14.3 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 |
| | 女性-40代 | 16 | 50.0 | 25.0 | 12.5 | 18.8 | 18.8 | 12.5 | 0.0 | 6.3 | 0.0 |
| | 女性-50代 | 11 | 72.7 | 18.2 | 9.1 | 18.2 | 9.1 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 |
| | 女性-60代 | 21 | 81.0 | 47.6 | 4.8 | 4.8 | 0.0 | 0.0 | 9.5 | 9.5 | 0.0 |
| | 女性-70代以上 | 19 | 42.1 | 57.9 | 5.3 | 21.1 | 0.0 | 15.8 | 5.3 | 0.0 | 0.0 |

<調査結果>

「まちなかおもてなしステーション くるみる ふっさ」の利用目的について、「市内の観光情報の収集」の割合を性・年齢別に見ると、男性・女性共に70代以上（男性57.1%）（女性57.9%）が全体より高くなっています。

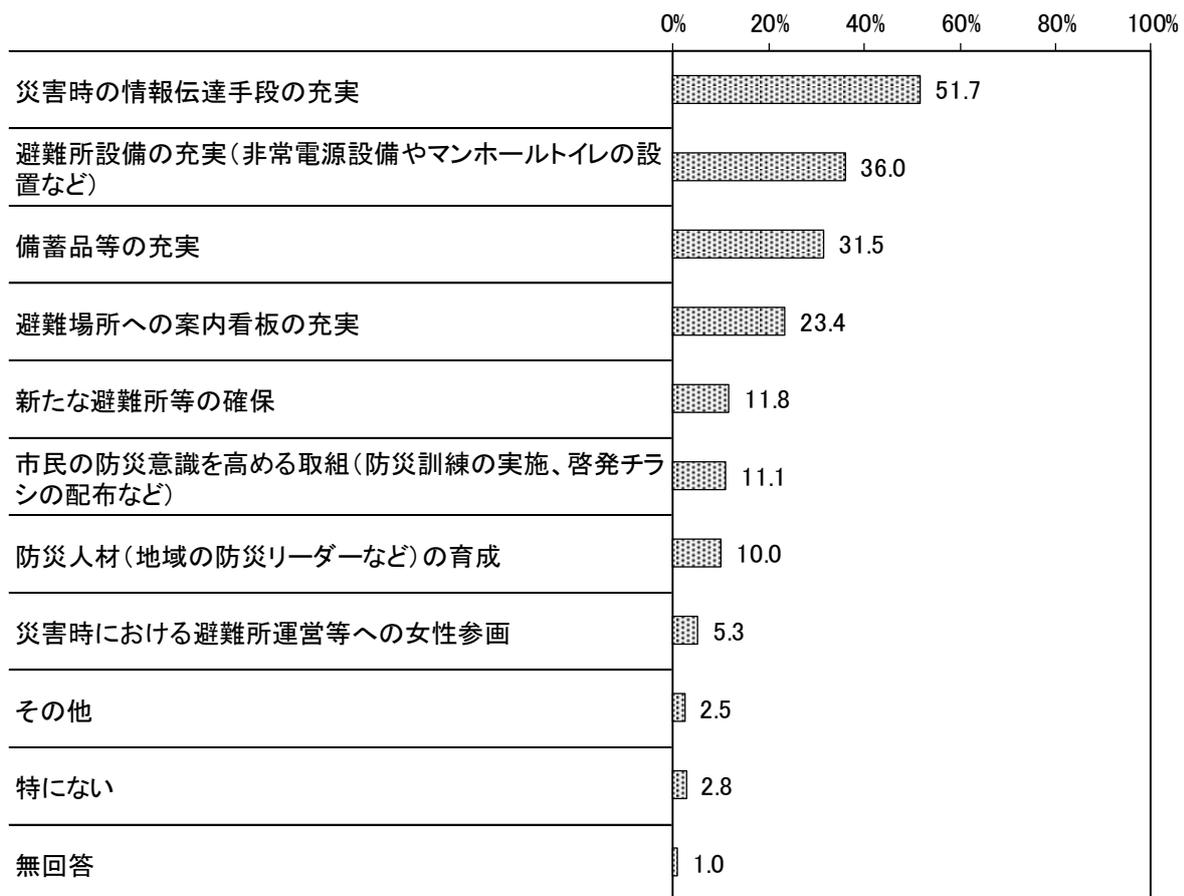
いずれもn数（サンプル数）が少ないため、参考値となります。

5 防災・防犯対策

(1) 市が特に取り組むべき防災対策

問 13 災害に強いまちづくりを推進するために、市が特に取り組むべき防災対策は、次のうちどれだと思いますか。(○は2つまで)

<図表 13-1> 市が特に取り組むべき防災対策



全体(n=867)

<調査結果>

市が特に取り組むべき防災対策について聞いたところ、「災害時の情報伝達手段の充実」(51.7%)が5割以上と最も高く、次いで、「避難所設備の充実(非常電源設備やマンホールトイレの設置など)」(36.0%)、「備蓄品等の充実」(31.5%)が3割を超えています。

<図表 13-2>市が特に取り組むべき防災対策(上位 10 項目)／性・年齢別

| | | n | 災害時の情報伝達手段の充実 | 避難所設備の充実（非常電源設備やマンホールトイレの設置など） | 備蓄品等の充実 | 避難場所への案内看板の充実 | 新たな避難所等の確保 | 市民の防災意識を高める取組（防災訓練の実施、啓発チラシの配布など） | 防災人材（地域の防災リーダーなど）の育成 | 災害時における避難所運営等への女性参画 | その他 | 特にない |
|-------|----------|-----|---------------|--------------------------------|---------|---------------|------------|-----------------------------------|----------------------|---------------------|-----|------|
| 全体 | | 867 | 51.7 | 36.0 | 31.5 | 23.4 | 11.8 | 11.1 | 10.0 | 5.3 | 2.5 | 2.8 |
| 性・年齢別 | 男性全体 | 381 | 52.0 | 35.4 | 29.1 | 27.8 | 10.5 | 9.7 | 10.5 | 3.7 | 2.9 | 3.4 |
| | 男性-20代以下 | 31 | 35.5 | 38.7 | 32.3 | 29.0 | 12.9 | 6.5 | 16.1 | 6.5 | 6.5 | 6.5 |
| | 男性-30代 | 36 | 41.7 | 27.8 | 41.7 | 30.6 | 13.9 | 13.9 | 13.9 | 5.6 | 0.0 | 5.6 |
| | 男性-40代 | 66 | 48.5 | 37.9 | 31.8 | 25.8 | 12.1 | 7.6 | 9.1 | 3.0 | 1.5 | 3.0 |
| | 男性-50代 | 74 | 59.5 | 39.2 | 31.1 | 20.3 | 12.2 | 9.5 | 8.1 | 2.7 | 2.7 | 1.4 |
| | 男性-60代 | 80 | 48.8 | 38.8 | 20.0 | 30.0 | 7.5 | 11.3 | 11.3 | 1.3 | 5.0 | 5.0 |
| | 男性-70代以上 | 94 | 60.6 | 29.8 | 27.7 | 31.9 | 8.5 | 9.6 | 9.6 | 5.3 | 2.1 | 2.1 |
| | 女性全体 | 461 | 51.8 | 36.9 | 33.2 | 19.7 | 12.8 | 12.4 | 9.5 | 6.7 | 2.4 | 2.2 |
| | 女性-20代以下 | 46 | 43.5 | 30.4 | 47.8 | 26.1 | 10.9 | 8.7 | 4.3 | 4.3 | 4.3 | 4.3 |
| | 女性-30代 | 48 | 29.2 | 27.1 | 52.1 | 25.0 | 16.7 | 16.7 | 6.3 | 8.3 | 8.3 | 0.0 |
| | 女性-40代 | 80 | 60.0 | 30.0 | 32.5 | 17.5 | 15.0 | 11.3 | 10.0 | 6.3 | 2.5 | 3.8 |
| | 女性-50代 | 88 | 55.7 | 48.9 | 29.5 | 14.8 | 8.0 | 8.0 | 13.6 | 8.0 | 1.1 | 2.3 |
| | 女性-60代 | 98 | 55.1 | 45.9 | 28.6 | 15.3 | 15.3 | 11.2 | 10.2 | 7.1 | 1.0 | 0.0 |
| | 女性-70代以上 | 100 | 54.0 | 30.0 | 25.0 | 25.0 | 12.0 | 18.0 | 9.0 | 6.0 | 1.0 | 3.0 |

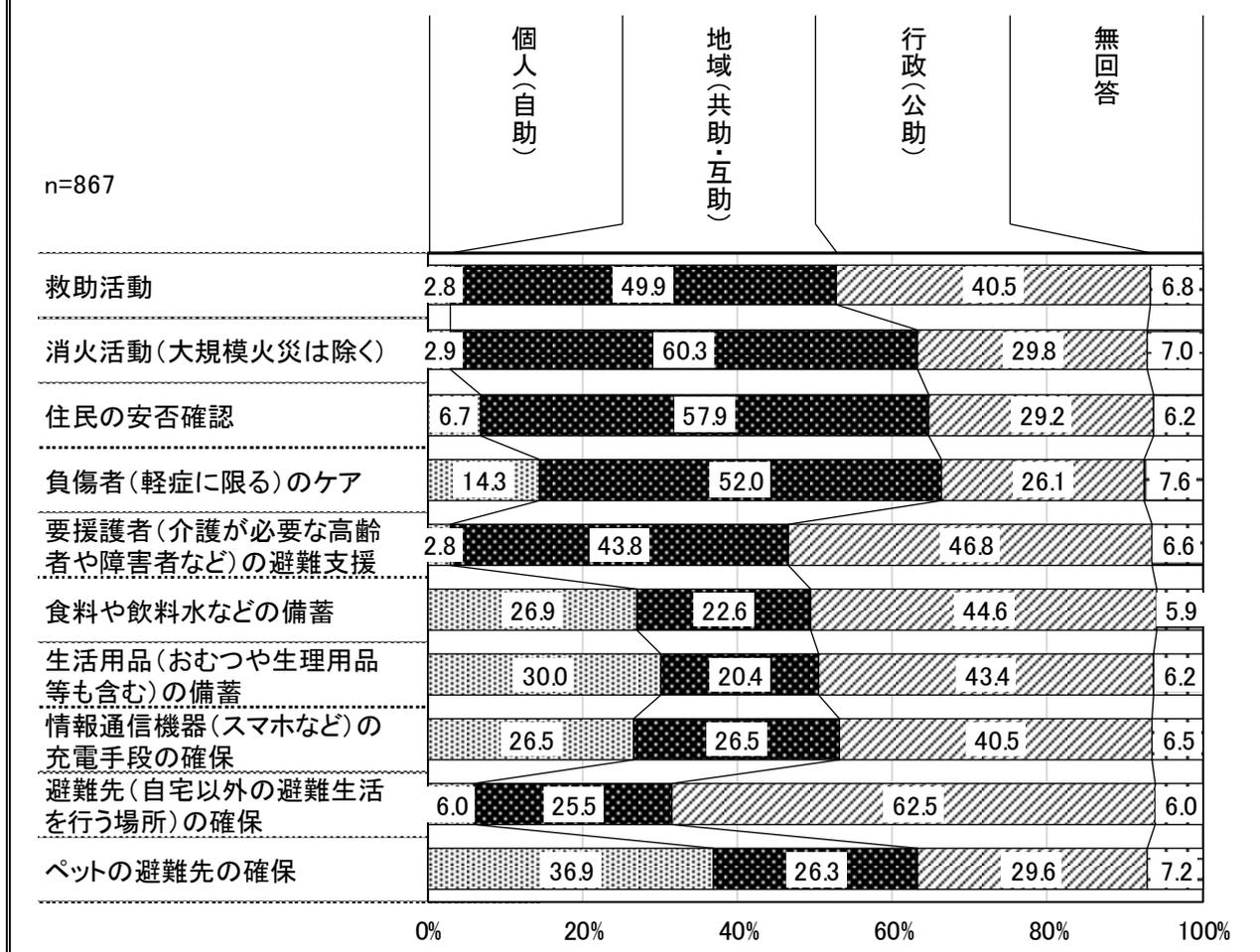
<調査結果>

市が特に取り組むべき防災対策について、「災害時の情報伝達手段の充実」の割合を性・年齢別に見ると、男性-20代以下（35.5%）、女性-30代（29.2%）が全体より低く、男性-30代（41.7%）が全体よりやや低くなっています。「備蓄品等の充実」は、女性-20代以下（47.8%）、女性-30代（52.1%）が全体より高く、男性-30代（41.7%）が全体よりやや高く、男性-60代（20.0%）が全体よりやや低くなっています。

(2) 防災対策や災害発生時の役割

問 14 日ごろの防災対策や災害発生時は、個人、地域、行政がそれぞれの役割を担い、連携することが求められます。次の項目について、主に役割を担うことが望ましい実施主体を、それぞれ1つずつ番号を選んでください。

<図表 14-1> 防災対策や災害発生時の役割



<調査結果>

防災対策や災害発生時の役割について聞いたところ、「個人(自助)」の上位3項目は、「ペットの避難先の確保」(36.9%)、「生活用品(おむつや生理用品等も含む)の備蓄」(30.0%)、「食料や飲料水などの備蓄」(26.9%)となっています。

「地域(共助・互助)」の上位3項目は、「消火活動(大規模火災は除く)」(60.3%)、「住民の安否確認」(57.9%)、「負傷者(軽症に限る)のケア」(52.0%)となっています。

「行政(公助)」の上位3項目は、「避難先(自宅以外の避難生活を行う場所)の確保」(62.5%)、「要援護者(介護が必要な高齢者や障害者など)の避難支援」(46.8%)、「食料や飲料水などの備蓄」(44.6%)となっています。

<図表 14-2> 防災対策や災害発生時の役割／性・年齢別

| | n | 救助活動 | | | | 消火活動(大規模火災は除く) | | | | |
|-----------|----------|------------|-------------------|------------|---------|----------------|-------------------|------------|---------|------|
| | | (個人 自助) | (地域 共助・ 互助) | (行政 公助) | 無 回答 | (個人 自助) | (地域 共助・ 互助) | (行政 公助) | 無 回答 | |
| 全体 | 867 | 2.8 | 49.9 | 40.5 | 6.8 | 2.9 | 60.3 | 29.8 | 7.0 | |
| 性・ 年齢別 | 男性全体 | 381 | 3.1 | 51.7 | 39.4 | 5.8 | 3.9 | 58.3 | 32.3 | 5.5 |
| | 男性-20代以下 | 31 | 0.0 | 48.4 | 51.6 | 0.0 | 3.2 | 58.1 | 38.7 | 0.0 |
| | 男性-30代 | 36 | 2.8 | 61.1 | 36.1 | 0.0 | 2.8 | 50.0 | 47.2 | 0.0 |
| | 男性-40代 | 66 | 0.0 | 51.5 | 47.0 | 1.5 | 0.0 | 63.6 | 34.8 | 1.5 |
| | 男性-50代 | 74 | 2.7 | 47.3 | 40.5 | 9.5 | 4.1 | 63.5 | 25.7 | 6.8 |
| | 男性-60代 | 80 | 3.8 | 51.3 | 37.5 | 7.5 | 3.8 | 57.5 | 31.3 | 7.5 |
| | 男性-70代以上 | 94 | 6.4 | 53.2 | 31.9 | 8.5 | 7.4 | 54.3 | 28.7 | 9.6 |
| | 女性全体 | 461 | 2.0 | 49.0 | 41.9 | 7.2 | 1.7 | 62.7 | 28.2 | 7.4 |
| | 女性-20代以下 | 46 | 0.0 | 47.8 | 47.8 | 4.3 | 0.0 | 58.7 | 37.0 | 4.3 |
| | 女性-30代 | 48 | 4.2 | 43.8 | 43.8 | 8.3 | 2.1 | 54.2 | 33.3 | 10.4 |
| | 女性-40代 | 80 | 1.3 | 48.8 | 43.8 | 6.3 | 1.3 | 66.3 | 25.0 | 7.5 |
| | 女性-50代 | 88 | 3.4 | 51.1 | 43.2 | 2.3 | 1.1 | 65.9 | 31.8 | 1.1 |
| | 女性-60代 | 98 | 2.0 | 45.9 | 46.9 | 5.1 | 2.0 | 64.3 | 28.6 | 5.1 |
| | 女性-70代以上 | 100 | 1.0 | 53.0 | 31.0 | 15.0 | 3.0 | 61.0 | 21.0 | 15.0 |

| | n | 住民の安否確認 | | | | 負傷者(軽症に限る)のケア | | | | |
|-----------|----------|------------|-------------------|------------|---------|---------------|-------------------|------------|---------|------|
| | | (個人 自助) | (地域 共助・ 互助) | (行政 公助) | 無 回答 | (個人 自助) | (地域 共助・ 互助) | (行政 公助) | 無 回答 | |
| 全体 | 867 | 6.7 | 57.9 | 29.2 | 6.2 | 14.3 | 52.0 | 26.1 | 7.6 | |
| 性・ 年齢別 | 男性全体 | 381 | 7.6 | 51.2 | 36.0 | 5.2 | 16.8 | 49.3 | 27.6 | 6.3 |
| | 男性-20代以下 | 31 | 16.1 | 38.7 | 45.2 | 0.0 | 38.7 | 32.3 | 29.0 | 0.0 |
| | 男性-30代 | 36 | 2.8 | 55.6 | 41.7 | 0.0 | 8.3 | 55.6 | 36.1 | 0.0 |
| | 男性-40代 | 66 | 4.5 | 45.5 | 47.0 | 3.0 | 13.6 | 50.0 | 33.3 | 3.0 |
| | 男性-50代 | 74 | 16.2 | 36.5 | 41.9 | 5.4 | 18.9 | 47.3 | 25.7 | 8.1 |
| | 男性-60代 | 80 | 3.8 | 58.8 | 28.8 | 8.8 | 21.3 | 46.3 | 23.8 | 8.8 |
| | 男性-70代以上 | 94 | 5.3 | 62.8 | 24.5 | 7.4 | 9.6 | 56.4 | 24.5 | 9.6 |
| | 女性全体 | 461 | 5.4 | 64.0 | 24.1 | 6.5 | 12.1 | 55.1 | 24.7 | 8.0 |
| | 女性-20代以下 | 46 | 6.5 | 69.6 | 19.6 | 4.3 | 21.7 | 47.8 | 23.9 | 6.5 |
| | 女性-30代 | 48 | 4.2 | 52.1 | 37.5 | 6.3 | 8.3 | 47.9 | 31.3 | 12.5 |
| | 女性-40代 | 80 | 10.0 | 50.0 | 33.8 | 6.3 | 10.0 | 52.5 | 30.0 | 7.5 |
| | 女性-50代 | 88 | 5.7 | 71.6 | 22.7 | 0.0 | 10.2 | 61.4 | 27.3 | 1.1 |
| | 女性-60代 | 98 | 4.1 | 66.3 | 24.5 | 5.1 | 11.2 | 58.2 | 25.5 | 5.1 |
| | 女性-70代以上 | 100 | 3.0 | 70.0 | 12.0 | 15.0 | 14.0 | 56.0 | 14.0 | 16.0 |

<図表 14-3> 防災対策や災害発生時の役割／性・年齢別

| | n | 要援護者(介護が必要な高齢者や障害者などの避難支援) | | | | |
|-------|----------|----------------------------|----------|-------|------|------|
| | | (個人助) | (地域助・互助) | (行政助) | 無回答 | |
| 全体 | 867 | 2.8 | 43.8 | 46.8 | 6.6 | |
| 性・年齢別 | 男性全体 | 381 | 3.7 | 43.3 | 47.5 | 5.5 |
| | 男性-20代以下 | 31 | 6.5 | 51.6 | 41.9 | 0.0 |
| | 男性-30代 | 36 | 2.8 | 47.2 | 50.0 | 0.0 |
| | 男性-40代 | 66 | 0.0 | 33.3 | 63.6 | 3.0 |
| | 男性-50代 | 74 | 6.8 | 44.6 | 41.9 | 6.8 |
| | 男性-60代 | 80 | 3.8 | 45.0 | 43.8 | 7.5 |
| | 男性-70代以上 | 94 | 3.2 | 43.6 | 44.7 | 8.5 |
| | 女性全体 | 461 | 1.5 | 44.3 | 47.3 | 6.9 |
| | 女性-20代以下 | 46 | 2.2 | 50.0 | 43.5 | 4.3 |
| | 女性-30代 | 48 | 0.0 | 39.6 | 47.9 | 12.5 |
| | 女性-40代 | 80 | 3.8 | 36.3 | 53.8 | 6.3 |
| | 女性-50代 | 88 | 0.0 | 50.0 | 48.9 | 1.1 |
| | 女性-60代 | 98 | 2.0 | 43.9 | 51.0 | 3.1 |
| | 女性-70代以上 | 100 | 1.0 | 45.0 | 39.0 | 15.0 |

| 食料や飲料水などの備蓄 | | | |
|-------------|----------|-------|------|
| (個人助) | (地域助・互助) | (行政助) | 無回答 |
| 26.9 | 22.6 | 44.6 | 5.9 |
| 25.5 | 19.9 | 49.3 | 5.2 |
| 38.7 | 22.6 | 38.7 | 0.0 |
| 33.3 | 25.0 | 41.7 | 0.0 |
| 22.7 | 30.3 | 45.5 | 1.5 |
| 20.3 | 6.8 | 66.2 | 6.8 |
| 28.8 | 18.8 | 45.0 | 7.5 |
| 21.3 | 21.3 | 48.9 | 8.5 |
| 28.2 | 24.5 | 41.4 | 5.9 |
| 17.4 | 34.8 | 43.5 | 4.3 |
| 18.8 | 22.9 | 47.9 | 10.4 |
| 35.0 | 22.5 | 36.3 | 6.3 |
| 22.7 | 22.7 | 54.5 | 0.0 |
| 31.6 | 26.5 | 39.8 | 2.0 |
| 34.0 | 22.0 | 31.0 | 13.0 |

| | n | 生活用品(おむつや生理用品等も含む)の備蓄 | | | | |
|-------|----------|-----------------------|----------|-------|------|------|
| | | (個人助) | (地域助・互助) | (行政助) | 無回答 | |
| 全体 | 867 | 30.0 | 20.4 | 43.4 | 6.2 | |
| 性・年齢別 | 男性全体 | 381 | 30.2 | 18.1 | 45.9 | 5.8 |
| | 男性-20代以下 | 31 | 48.4 | 12.9 | 38.7 | 0.0 |
| | 男性-30代 | 36 | 36.1 | 25.0 | 38.9 | 0.0 |
| | 男性-40代 | 66 | 24.2 | 21.2 | 51.5 | 3.0 |
| | 男性-50代 | 74 | 24.3 | 14.9 | 55.4 | 5.4 |
| | 男性-60代 | 80 | 32.5 | 18.8 | 40.0 | 8.8 |
| | 男性-70代以上 | 94 | 28.7 | 17.0 | 44.7 | 9.6 |
| | 女性全体 | 461 | 30.2 | 21.7 | 42.1 | 6.1 |
| | 女性-20代以下 | 46 | 30.4 | 23.9 | 41.3 | 4.3 |
| | 女性-30代 | 48 | 25.0 | 29.2 | 39.6 | 6.3 |
| | 女性-40代 | 80 | 30.0 | 17.5 | 45.0 | 7.5 |
| | 女性-50代 | 88 | 23.9 | 20.5 | 54.5 | 1.1 |
| | 女性-60代 | 98 | 33.7 | 25.5 | 37.8 | 3.1 |
| | 女性-70代以上 | 100 | 35.0 | 18.0 | 34.0 | 13.0 |

| 情報通信機器(スマホなど)の充電手段の確保 | | | |
|-----------------------|----------|-------|------|
| (個人助) | (地域助・互助) | (行政助) | 無回答 |
| 26.5 | 26.5 | 40.5 | 6.5 |
| 27.3 | 24.1 | 43.3 | 5.2 |
| 45.2 | 22.6 | 32.3 | 0.0 |
| 44.4 | 11.1 | 44.4 | 0.0 |
| 16.7 | 25.8 | 56.1 | 1.5 |
| 21.6 | 25.7 | 45.9 | 6.8 |
| 28.8 | 27.5 | 36.3 | 7.5 |
| 25.5 | 24.5 | 41.5 | 8.5 |
| 26.9 | 28.2 | 38.0 | 6.9 |
| 34.8 | 28.3 | 32.6 | 4.3 |
| 18.8 | 29.2 | 41.7 | 10.4 |
| 31.3 | 23.8 | 37.5 | 7.5 |
| 27.3 | 22.7 | 48.9 | 1.1 |
| 27.6 | 32.7 | 35.7 | 4.1 |
| 23.0 | 31.0 | 32.0 | 14.0 |

<図表 14-4> 防災対策や災害発生時の役割／性・年齢別

| | | n | 避難先(自宅以外の避難生活を行う場所)の確保 | | | | ペットの避難先の確保 | | | |
|-----------|----------|-----|------------------------|-------------------|------------|---------|------------|-------------------|------------|---------|
| | | | (個人 自助) | (地域 共助・ 互助) | (行政 公助) | 無 回答 | (個人 自助) | (地域 共助・ 互助) | (行政 公助) | 無 回答 |
| 全体 | | 867 | 6.0 | 25.5 | 62.5 | 6.0 | 36.9 | 26.3 | 29.6 | 7.2 |
| 性・ 年齢別 | 男性全体 | 381 | 3.4 | 23.1 | 68.2 | 5.2 | 41.5 | 23.9 | 28.9 | 5.8 |
| | 男性-20代以下 | 31 | 9.7 | 29.0 | 61.3 | 0.0 | 48.4 | 35.5 | 16.1 | 0.0 |
| | 男性-30代 | 36 | 5.6 | 22.2 | 72.2 | 0.0 | 38.9 | 22.2 | 38.9 | 0.0 |
| | 男性-40代 | 66 | 1.5 | 21.2 | 75.8 | 1.5 | 37.9 | 21.2 | 37.9 | 3.0 |
| | 男性-50代 | 74 | 2.7 | 17.6 | 73.0 | 6.8 | 44.6 | 21.6 | 28.4 | 5.4 |
| | 男性-60代 | 80 | 2.5 | 23.8 | 66.3 | 7.5 | 36.3 | 25.0 | 31.3 | 7.5 |
| | 男性-70代以上 | 94 | 3.2 | 26.6 | 61.7 | 8.5 | 44.7 | 23.4 | 21.3 | 10.6 |
| | 女性全体 | 461 | 8.2 | 26.7 | 59.0 | 6.1 | 32.8 | 29.1 | 30.4 | 7.8 |
| | 女性-20代以下 | 46 | 10.9 | 21.7 | 63.0 | 4.3 | 28.3 | 26.1 | 41.3 | 4.3 |
| | 女性-30代 | 48 | 12.5 | 20.8 | 58.3 | 8.3 | 29.2 | 29.2 | 31.3 | 10.4 |
| | 女性-40代 | 80 | 6.3 | 21.3 | 66.3 | 6.3 | 32.5 | 31.3 | 30.0 | 6.3 |
| | 女性-50代 | 88 | 2.3 | 33.0 | 64.8 | 0.0 | 29.5 | 39.8 | 29.5 | 1.1 |
| | 女性-60代 | 98 | 9.2 | 29.6 | 58.2 | 3.1 | 30.6 | 28.6 | 34.7 | 6.1 |
| | 女性-70代以上 | 100 | 11.0 | 28.0 | 47.0 | 14.0 | 41.0 | 20.0 | 22.0 | 17.0 |

<調査結果>

防災対策や災害発生時の役割の「住民の安否確認」について性・年齢別に見ると、「行政（公助）」において男性-20代以下（45.2%）、男性-30代（41.7%）、男性-40代（47.0%）、男性-50代（41.9%）が全体よりやや高くなっています。

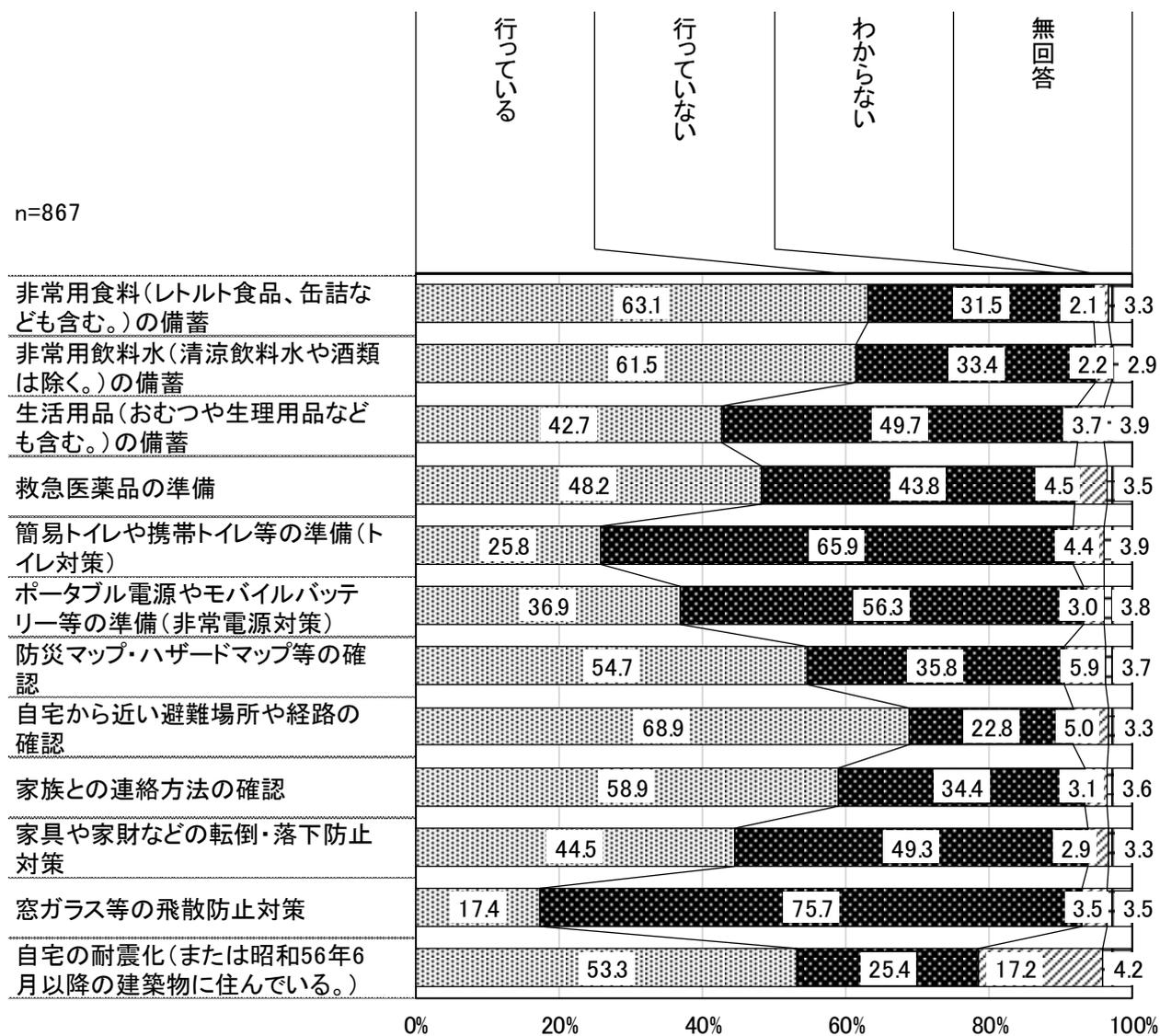
「情報通信機器（スマホなど）の充電手段の確保」について性・年齢別に見ると、男性-20代以下（45.2%）、男性-30代（44.4%）では「個人（自助）」が全体より高いものの、男性-40代（56.1%）では「行政（公助）」が全体より高くなっています。

「ペットの避難先の確保」について性・年齢別に見ると、男性-20代以下では「個人（自助）」（48.4%）が全体よりやや高く、「行政（公助）」（16.1%）は全体よりやや低くなっていますが、女性-20代以下では「行政（公助）」（41.3%）が全体よりやや高くなっています。

(3) 自宅で行っている災害への備え

問 15 あなたのお宅では、災害への備えを行っていますか。次の項目について、それぞれ1つずつ番号を選んでください。

<図表 15-1> 自宅で行っている災害への備え



<調査結果>

自宅で行っている災害への備えについて聞いたところ、「行っている」では、「自宅から近い避難場所や経路の確認」(68.9%)、「非常用食料(レトルト食品、缶詰なども含む。)の備蓄」(63.1%)、「非常用飲料水(清涼飲料水や酒類は除く。)の備蓄」(61.5%)が6割を超えています。

「行っていない」では、「窓ガラス等の飛散防止対策」(75.7%)が7割半ば、「簡易トイレや携帯トイレ等の準備(トイレ対策)」(65.9%)が6割半ばとなっています。

<図表 15-2> 自宅で行っている災害への備え「行っている」/ライフステージ別

| | 全体 | 独身期 | 家族形成期 | 家族成長前期 | 家族成長後期 | 家族成熟期 | 高齢期 | 高齢者世帯 | その他 |
|---------------------------------|------|------|-------|--------|--------|-------|------|-------|------|
| n | 867 | 94 | 119 | 66 | 55 | 218 | 60 | 138 | 154 |
| 非常用食料(レトルト食品、缶詰なども含む。)の備蓄 | 63.1 | 68.1 | 68.1 | 69.7 | 50.9 | 69.3 | 71.7 | 63.8 | 52.6 |
| 非常用飲料水(清涼飲料水や酒類は除く。)の備蓄 | 61.5 | 56.4 | 60.5 | 72.7 | 50.9 | 67.9 | 75.0 | 63.8 | 53.9 |
| 生活用品(おむつや生理用品なども含む。)の備蓄 | 42.7 | 44.7 | 53.8 | 47.0 | 38.2 | 48.6 | 48.3 | 38.4 | 30.5 |
| 救急医薬品の準備 | 48.2 | 50.0 | 49.6 | 50.0 | 45.5 | 51.8 | 53.3 | 54.3 | 44.2 |
| 簡易トイレや携帯トイレ等の準備(トイレ対策) | 25.8 | 29.8 | 32.8 | 24.2 | 23.6 | 28.9 | 30.0 | 26.1 | 22.1 |
| ポータブル電源やモバイルバッテリー等の準備(非常電源対策) | 36.9 | 52.1 | 58.0 | 40.9 | 40.0 | 38.1 | 30.0 | 28.3 | 31.8 |
| 防災マップ・ハザードマップ等の確認 | 54.7 | 43.6 | 42.9 | 65.2 | 52.7 | 63.3 | 53.3 | 63.8 | 43.5 |
| 自宅から近い避難場所や経路の確認 | 68.9 | 60.6 | 63.9 | 83.3 | 78.2 | 75.2 | 75.0 | 74.6 | 58.4 |
| 家族との連絡方法の確認 | 58.9 | 54.3 | 56.3 | 62.1 | 67.3 | 67.0 | 56.7 | 68.8 | 48.7 |
| 家具や家財などの転倒・落下防止対策 | 44.5 | 48.9 | 51.3 | 48.5 | 52.7 | 43.1 | 50.0 | 48.6 | 32.5 |
| 窓ガラス等の飛散防止対策 | 17.4 | 11.7 | 15.1 | 15.2 | 21.8 | 18.8 | 18.3 | 19.6 | 13.6 |
| 自宅の耐震化(または昭和56年6月以降の建築物に住んでいる。) | 53.3 | 60.6 | 63.9 | 72.7 | 72.7 | 52.3 | 60.0 | 45.7 | 39.0 |

<調査結果>

自宅で行っている災害への備え「行っている」についてライフステージ別に見ると、「非常用食料(レトルト食品、缶詰なども含む。)の備蓄」は、ほとんどのライフステージで6割を超えています。一方で、「非常用飲料水(清涼飲料水や酒類は除く。)の備蓄」についてはライフステージごとの割合の変化が大きく、独身期では非常用飲料水を備蓄している割合(56.4%)が非常用食料を備蓄している割合(68.1%)より11.7ポイント下回っています。

「ポータブル電源やモバイルバッテリー等の準備(非常電源対策)」については、独身期から家族形成期にかけて割合が上昇し、それ以降はライフステージが高齢になるにつれて割合が低下する傾向があります。

<図表 15-3> 自宅で行っている災害への備え「行っていない」／ライフステージ別

| | 全体 | 独身期 | 家族形成期 | 家族成長前期 | 家族成長後期 | 家族成熟期 | 高齢期 | 高齢者世帯 | その他 |
|---------------------------------|------|------|-------|--------|--------|-------|------|-------|------|
| n | 867 | 94 | 119 | 66 | 55 | 218 | 60 | 138 | 154 |
| 非常用食料(レトルト食品、缶詰なども含む。)の備蓄 | 31.5 | 24.5 | 26.9 | 28.8 | 45.5 | 28.4 | 23.3 | 30.4 | 39.6 |
| 非常用飲料水(清涼飲料水や酒類は除く。)の備蓄 | 33.4 | 36.2 | 34.5 | 25.8 | 43.6 | 29.8 | 18.3 | 31.9 | 39.6 |
| 生活用品(おむつや生理用品なども含む。)の備蓄 | 49.7 | 45.7 | 37.8 | 50.0 | 58.2 | 45.9 | 45.0 | 52.9 | 59.1 |
| 救急医薬品の準備 | 43.8 | 37.2 | 40.3 | 45.5 | 49.1 | 43.1 | 38.3 | 38.4 | 48.1 |
| 簡易トイレや携帯トイレ等の準備(トイレ対策) | 65.9 | 52.1 | 52.1 | 69.7 | 72.7 | 66.1 | 61.7 | 67.4 | 68.8 |
| ポータブル電源やモバイルバッテリー等の準備(非常電源対策) | 56.3 | 37.2 | 34.5 | 56.1 | 54.5 | 58.3 | 63.3 | 64.5 | 61.7 |
| 防災マップ・ハザードマップ等の確認 | 35.8 | 38.3 | 43.7 | 28.8 | 40.0 | 31.7 | 33.3 | 26.8 | 46.1 |
| 自宅から近い避難場所や経路の確認 | 22.8 | 26.6 | 22.7 | 15.2 | 14.5 | 19.3 | 16.7 | 18.1 | 31.2 |
| 家族との連絡方法の確認 | 34.4 | 33.0 | 34.5 | 31.8 | 23.6 | 28.9 | 40.0 | 26.1 | 45.5 |
| 家具や家財などの転倒・落下防止対策 | 49.3 | 38.3 | 40.3 | 50.0 | 43.6 | 53.7 | 41.7 | 44.9 | 60.4 |
| 窓ガラス等の飛散防止対策 | 75.7 | 71.3 | 73.1 | 81.8 | 74.5 | 77.5 | 75.0 | 73.2 | 80.5 |
| 自宅の耐震化(または昭和56年6月以降の建築物に住んでいる。) | 25.4 | 13.8 | 14.3 | 10.6 | 20.0 | 30.7 | 31.7 | 32.6 | 29.2 |

<調査結果>

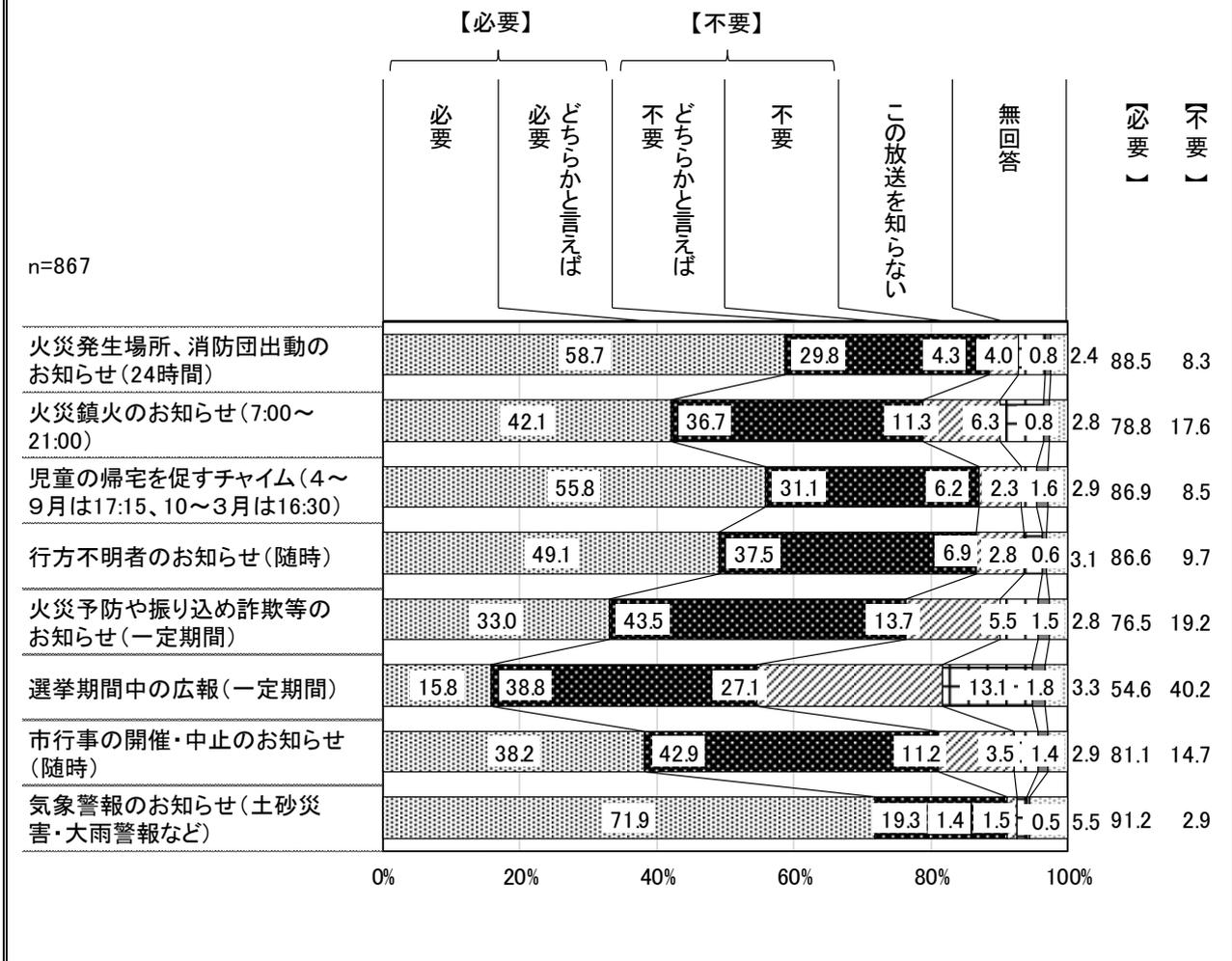
自宅で行っている災害への備え「行っていない」についてライフステージ別に見ると、「非常用食料(レトルト食品、缶詰なども含む。)の備蓄」(45.5%)と「非常用飲料水(清涼飲料水や酒類は除く。)の備蓄」(43.6%)、「生活用品(おむつや生理用品なども含む。)の備蓄」(58.2%)のいずれも、家族成長後期の割合が特に高くなっています。

「自宅から近い避難場所や経路の確認」については、独身期(26.6%)や家族形成期(22.7%)といったライフステージが若年層で割合が高い傾向にあります。

(4) 防災行政無線による放送

問 16 防災行政無線による放送について、どのように思いますか。次の項目について、それぞれ1つずつ番号を選んでください。

<図表 16-1> 防災行政無線による放送



<調査結果>

防災行政無線による放送について聞いたところ、「必要」と「どちらかと言えば必要」を合計した【必要】については、「気象警報のお知らせ(土砂災害・大雨警報など)」(91.2%)が最も高く9割以上となっています。また、「火災発生場所、消防団出動のお知らせ(24時間)」(88.5%)、「児童の帰宅を促すチャイム(4~9月は17:15、10~3月は16:30)」(86.9%)、「行方不明者のお知らせ(随時)」(86.6%)、「市行事の開催・中止のお知らせ(随時)」(81.1%)が8割を超えています。

「必要」が最も高いのも「気象警報のお知らせ(土砂災害・大雨警報など)」(71.9%)であり、次いで高い「火災発生場所、消防団出動のお知らせ(24時間)」(58.7%)を大きく上回っています。

<図表 16-2> 防災行政無線による放送／性・年齢別

| | n | 火災発生場所、消防団出動のお知らせ (24時間) | | | | |
|-------|----------|-----------------------------|------|-------------------|---------|-----|
| | | 必要 | 不要 | 知この らない 放送を | 無 回答 | |
| 全体 | 867 | 88.5 | 8.3 | 0.8 | 2.4 | |
| 性・年齢別 | 男性全体 | 381 | 85.5 | 11.3 | 0.5 | 2.6 |
| | 男性-20代以下 | 31 | 90.3 | 9.7 | 0.0 | 0.0 |
| | 男性-30代 | 36 | 80.6 | 19.4 | 0.0 | 0.0 |
| | 男性-40代 | 66 | 78.8 | 16.7 | 3.0 | 1.5 |
| | 男性-50代 | 74 | 87.9 | 8.1 | 0.0 | 4.1 |
| | 男性-60代 | 80 | 86.3 | 11.3 | 0.0 | 2.5 |
| | 男性-70代以上 | 94 | 88.3 | 7.5 | 0.0 | 4.3 |
| | 女性全体 | 461 | 91.2 | 6.1 | 1.1 | 1.7 |
| | 女性-20代以下 | 46 | 91.3 | 2.2 | 2.2 | 4.3 |
| | 女性-30代 | 48 | 73.0 | 22.9 | 0.0 | 4.2 |
| | 女性-40代 | 80 | 95.1 | 2.6 | 1.3 | 1.3 |
| | 女性-50代 | 88 | 90.9 | 7.9 | 1.1 | 0.0 |
| | 女性-60代 | 98 | 94.9 | 5.1 | 0.0 | 0.0 |
| | 女性-70代以上 | 100 | 93.0 | 2.0 | 2.0 | 3.0 |

| 火災鎮火のお知らせ(7:00～21:00) | | | | |
|-----------------------|------|-------------------|---------|--|
| 必要 | 不要 | 知この らない 放送を | 無 回答 | |
| 78.8 | 17.6 | 0.8 | 2.8 | |
| 73.2 | 22.5 | 0.8 | 3.4 | |
| 74.2 | 25.8 | 0.0 | 0.0 | |
| 75.0 | 25.0 | 0.0 | 0.0 | |
| 71.2 | 25.8 | 1.5 | 1.5 | |
| 74.3 | 19.0 | 1.4 | 5.4 | |
| 75.1 | 21.3 | 1.3 | 2.5 | |
| 71.3 | 22.3 | 0.0 | 6.4 | |
| 83.5 | 13.9 | 0.9 | 1.7 | |
| 80.5 | 13.0 | 2.2 | 4.3 | |
| 66.7 | 29.2 | 0.0 | 4.2 | |
| 90.0 | 7.5 | 1.3 | 1.3 | |
| 81.8 | 17.1 | 1.1 | 0.0 | |
| 86.7 | 13.3 | 0.0 | 0.0 | |
| 87.0 | 9.0 | 1.0 | 3.0 | |

| | n | 児童の帰宅を促すチャイム(4～9月は 17:15、10～3月は16:30) | | | | |
|-------|----------|--|------|-------------------|---------|-----|
| | | 必要 | 不要 | 知この らない 放送を | 無 回答 | |
| 全体 | 867 | 86.9 | 8.5 | 1.6 | 2.9 | |
| 性・年齢別 | 男性全体 | 381 | 85.3 | 9.7 | 2.1 | 2.9 |
| | 男性-20代以下 | 31 | 90.3 | 9.7 | 0.0 | 0.0 |
| | 男性-30代 | 36 | 88.9 | 11.2 | 0.0 | 0.0 |
| | 男性-40代 | 66 | 84.8 | 12.1 | 1.5 | 1.5 |
| | 男性-50代 | 74 | 82.4 | 9.5 | 2.7 | 5.4 |
| | 男性-60代 | 80 | 83.8 | 8.8 | 5.0 | 2.5 |
| | 男性-70代以上 | 94 | 86.2 | 8.6 | 1.1 | 4.3 |
| | 女性全体 | 461 | 88.5 | 7.8 | 1.1 | 2.6 |
| | 女性-20代以下 | 46 | 89.1 | 6.5 | 0.0 | 4.3 |
| | 女性-30代 | 48 | 87.5 | 6.3 | 2.1 | 4.2 |
| | 女性-40代 | 80 | 93.8 | 3.8 | 1.3 | 1.3 |
| | 女性-50代 | 88 | 87.5 | 11.3 | 0.0 | 1.1 |
| | 女性-60代 | 98 | 89.8 | 8.2 | 1.0 | 1.0 |
| | 女性-70代以上 | 100 | 84.0 | 9.0 | 2.0 | 5.0 |

| 行方不明者のお知らせ(随時) | | | | |
|----------------|------|-------------------|---------|--|
| 必要 | 不要 | 知この らない 放送を | 無 回答 | |
| 86.6 | 9.7 | 0.6 | 3.1 | |
| 84.5 | 11.8 | 0.8 | 2.9 | |
| 90.3 | 9.7 | 0.0 | 0.0 | |
| 88.9 | 11.1 | 0.0 | 0.0 | |
| 77.3 | 19.7 | 1.5 | 1.5 | |
| 87.8 | 8.2 | 0.0 | 4.1 | |
| 82.6 | 12.6 | 2.5 | 2.5 | |
| 85.1 | 9.5 | 0.0 | 5.3 | |
| 88.5 | 8.1 | 0.4 | 3.0 | |
| 89.2 | 6.5 | 0.0 | 4.3 | |
| 81.3 | 14.6 | 0.0 | 4.2 | |
| 87.6 | 10.1 | 0.0 | 2.5 | |
| 88.6 | 7.9 | 1.1 | 2.3 | |
| 91.8 | 6.1 | 0.0 | 2.0 | |
| 89.0 | 6.0 | 1.0 | 4.0 | |

<図表 16-3> 防災行政無線による放送／性・年齢別

| | n | 火災予防や振り込め詐欺等のお知らせ (一定期間) | | | | |
|-------|----------|-----------------------------|------|---------|-----|-----|
| | | 必要 | 不要 | 知らない放送を | 無回答 | |
| 全体 | 867 | 76.5 | 19.2 | 1.5 | 2.8 | |
| 性・年齢別 | 男性全体 | 381 | 73.8 | 21.7 | 1.6 | 2.9 |
| | 男性-20代以下 | 31 | 67.7 | 29.1 | 3.2 | 0.0 |
| | 男性-30代 | 36 | 80.6 | 19.5 | 0.0 | 0.0 |
| | 男性-40代 | 66 | 65.1 | 31.8 | 1.5 | 1.5 |
| | 男性-50代 | 74 | 70.2 | 25.7 | 0.0 | 4.1 |
| | 男性-60代 | 80 | 76.3 | 16.3 | 3.8 | 3.8 |
| | 男性-70代以上 | 94 | 79.8 | 14.9 | 1.1 | 4.3 |
| | 女性全体 | 461 | 79.2 | 17.1 | 1.5 | 2.2 |
| | 女性-20代以下 | 46 | 76.1 | 19.6 | 0.0 | 4.3 |
| | 女性-30代 | 48 | 62.5 | 27.1 | 6.3 | 4.2 |
| | 女性-40代 | 80 | 78.8 | 17.5 | 1.3 | 2.5 |
| | 女性-50代 | 88 | 78.4 | 20.5 | 1.1 | 0.0 |
| | 女性-60代 | 98 | 82.6 | 16.3 | 1.0 | 0.0 |
| | 女性-70代以上 | 100 | 86.0 | 9.0 | 1.0 | 4.0 |

| 選挙期間中の広報(一定期間) | | | |
|----------------|------|---------|-----|
| 必要 | 不要 | 知らない放送を | 無回答 |
| 54.6 | 40.2 | 1.8 | 3.3 |
| 52.0 | 43.3 | 1.3 | 3.4 |
| 67.7 | 32.3 | 0.0 | 0.0 |
| 55.6 | 41.6 | 0.0 | 2.8 |
| 42.4 | 54.6 | 0.0 | 3.0 |
| 44.6 | 48.6 | 2.7 | 4.1 |
| 52.5 | 42.6 | 2.5 | 2.5 |
| 57.5 | 36.2 | 1.1 | 5.3 |
| 56.2 | 38.4 | 2.4 | 3.0 |
| 56.6 | 34.7 | 4.3 | 4.3 |
| 41.7 | 47.9 | 6.3 | 4.2 |
| 56.3 | 41.3 | 1.3 | 1.3 |
| 56.8 | 42.1 | 1.1 | 0.0 |
| 54.1 | 40.9 | 3.1 | 2.0 |
| 64.0 | 28.0 | 1.0 | 7.0 |

| | n | 市行事の開催・中止のお知らせ(随時) | | | | |
|-------|----------|--------------------|------|---------|-----|-----|
| | | 必要 | 不要 | 知らない放送を | 無回答 | |
| 全体 | 867 | 81.1 | 14.7 | 1.4 | 2.9 | |
| 性・年齢別 | 男性全体 | 381 | 79.0 | 16.5 | 1.6 | 2.9 |
| | 男性-20代以下 | 31 | 74.2 | 22.6 | 3.2 | 0.0 |
| | 男性-30代 | 36 | 77.8 | 19.5 | 2.8 | 0.0 |
| | 男性-40代 | 66 | 74.3 | 19.7 | 4.5 | 1.5 |
| | 男性-50代 | 74 | 81.1 | 14.9 | 0.0 | 4.1 |
| | 男性-60代 | 80 | 81.3 | 15.0 | 1.3 | 2.5 |
| | 男性-70代以上 | 94 | 80.8 | 13.8 | 0.0 | 5.3 |
| | 女性全体 | 461 | 82.9 | 13.2 | 1.3 | 2.6 |
| | 女性-20代以下 | 46 | 71.7 | 19.6 | 2.2 | 6.5 |
| | 女性-30代 | 48 | 64.6 | 29.1 | 2.1 | 4.2 |
| | 女性-40代 | 80 | 87.6 | 8.8 | 2.5 | 1.3 |
| | 女性-50代 | 88 | 85.2 | 13.6 | 1.1 | 0.0 |
| | 女性-60代 | 98 | 85.7 | 13.3 | 0.0 | 1.0 |
| | 女性-70代以上 | 100 | 88.0 | 6.0 | 1.0 | 5.0 |

| 気象警報のお知らせ(土砂災害・大雨警報など) | | | |
|------------------------|-----|---------|------|
| 必要 | 不要 | 知らない放送を | 無回答 |
| 91.2 | 2.9 | 0.5 | 5.5 |
| 90.5 | 3.9 | 0.0 | 5.5 |
| 96.8 | 0.0 | 0.0 | 3.2 |
| 97.2 | 2.8 | 0.0 | 0.0 |
| 89.4 | 7.6 | 0.0 | 3.0 |
| 87.9 | 5.5 | 0.0 | 6.8 |
| 92.6 | 1.3 | 0.0 | 6.3 |
| 87.2 | 4.2 | 0.0 | 8.5 |
| 92.0 | 1.8 | 0.9 | 5.4 |
| 91.3 | 2.2 | 2.2 | 4.3 |
| 85.4 | 4.2 | 2.1 | 8.3 |
| 93.8 | 1.3 | 0.0 | 5.0 |
| 94.3 | 3.4 | 1.1 | 1.1 |
| 95.9 | 0.0 | 0.0 | 4.1 |
| 88.0 | 1.0 | 1.0 | 10.0 |

<調査結果>

防災行政無線による放送の「火災発生場所、消防団出勤のお知らせ（24時間）」について性・年齢別に見ると、「不要」について男性-30代（19.4%）、女性-30代（22.9%）が全体よりやや高くなっています。

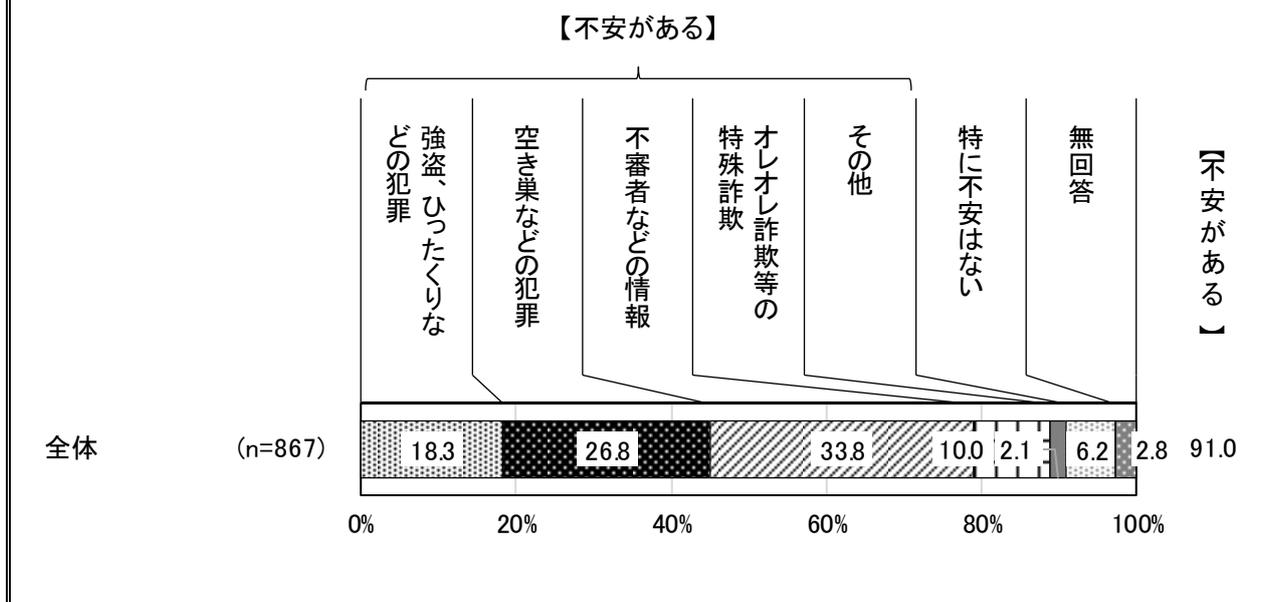
「火災鎮火のお知らせ（7:00～21:00）」について性・年齢別に見ると、女性-30代では「必要」（66.7%）が全体よりやや低く、「不要」（29.2%）が全体よりやや高くなっていますが、女性-40代では「必要」（90.0%）が全体よりやや高く、「不要」（7.5%）が全体よりやや低くなっています。

「行方不明者のお知らせ（随時）」について性・年齢別に見ると、「不要」について男性-40代（19.7%）が全体よりやや高くなっています。

(5) 不安を感じる身のまわりの犯罪

問 17 身のまわりに起こりうる犯罪等で、あなたが最も不安に感じていることは何ですか。(○は1つ)

<図表 17-1> 不安を感じる身のまわりの犯罪



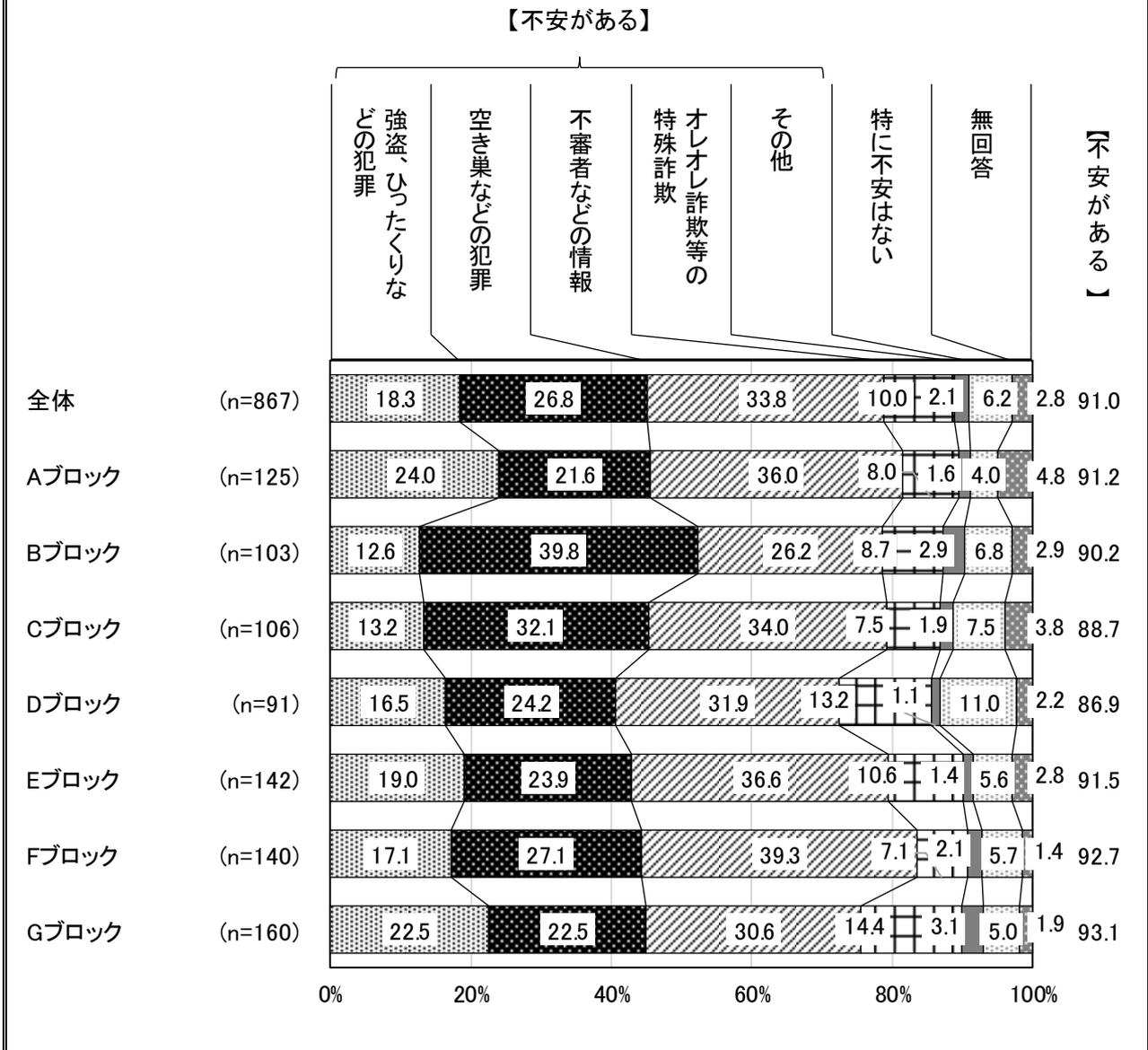
<調査結果>

不安を感じる身のまわりの犯罪について聞いたところ、「不審者などの情報」(33.8%)が3割半ばと最も高く、次いで、「空き巣などの犯罪」(26.8%)、「強盗、ひったくりなどの犯罪」(18.3%)となっています。

「強盗、ひったくりなどの犯罪」(18.3%)と「空き巣などの犯罪」(26.8%)と「不審者などの情報」(33.8%)と「オレオレ詐欺等の特殊詐欺」(10.0%)と「その他」(2.1%)を合計した【不安がある】(91.0%)が9割以上となっています。

「特に不安はない」(6.2%)は1割未満となっています。

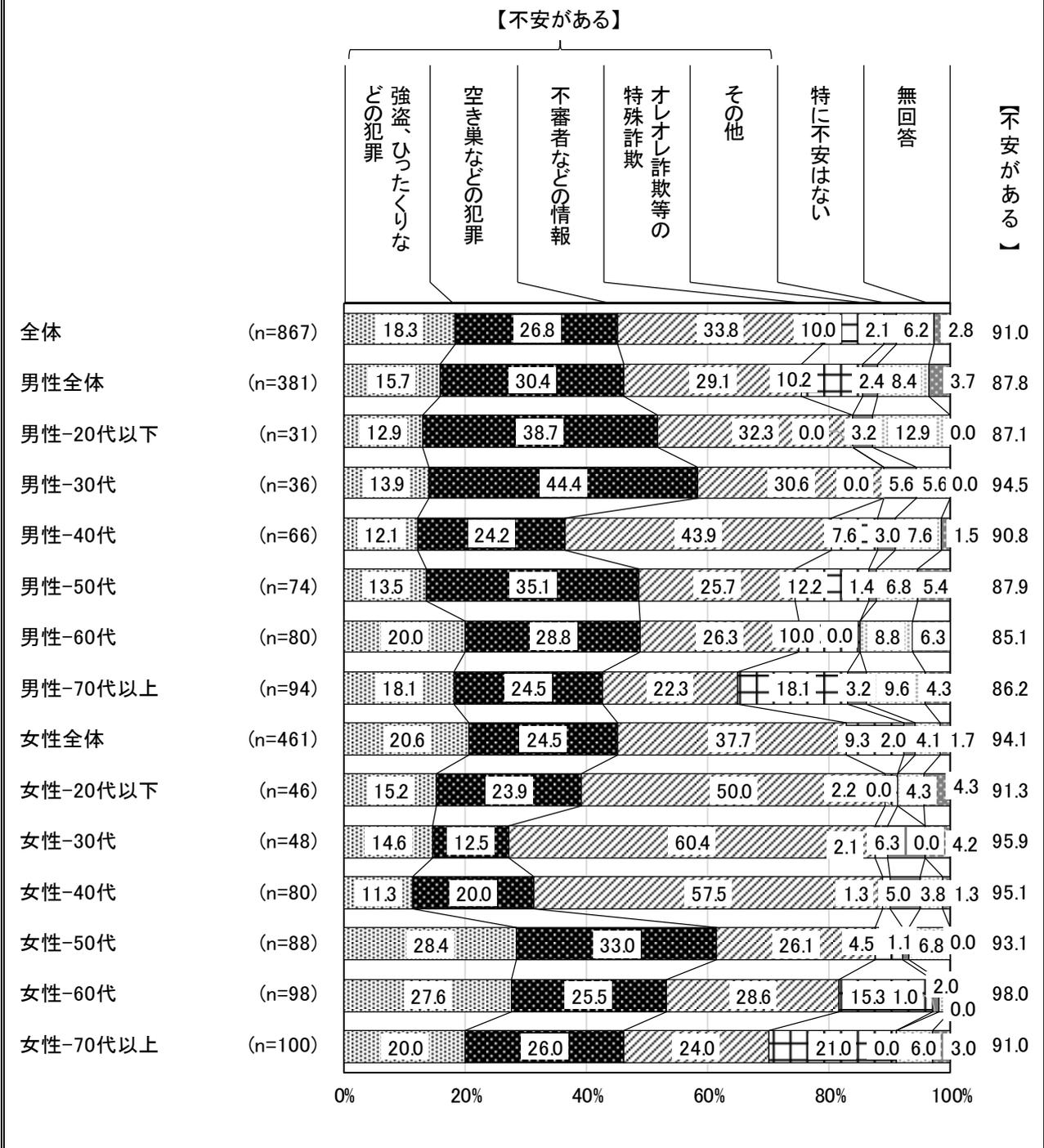
<図表 17-2> 不安を感じる身のまわりの犯罪／ブロック別



<調査結果>

不安を感じる身のまわりの犯罪についてブロック別に見ると、【不安がある】の割合は、Gブロック(93.1%)が最も高く9割半ばとなっています。また、Aブロック(91.2%)、Bブロック(90.2%)、Eブロック(91.5%)、Fブロック(92.7%)が9割以上となっています。

<図表 17-3> 不安を感じる身のまわりの犯罪／性・年齢別



<調査結果>

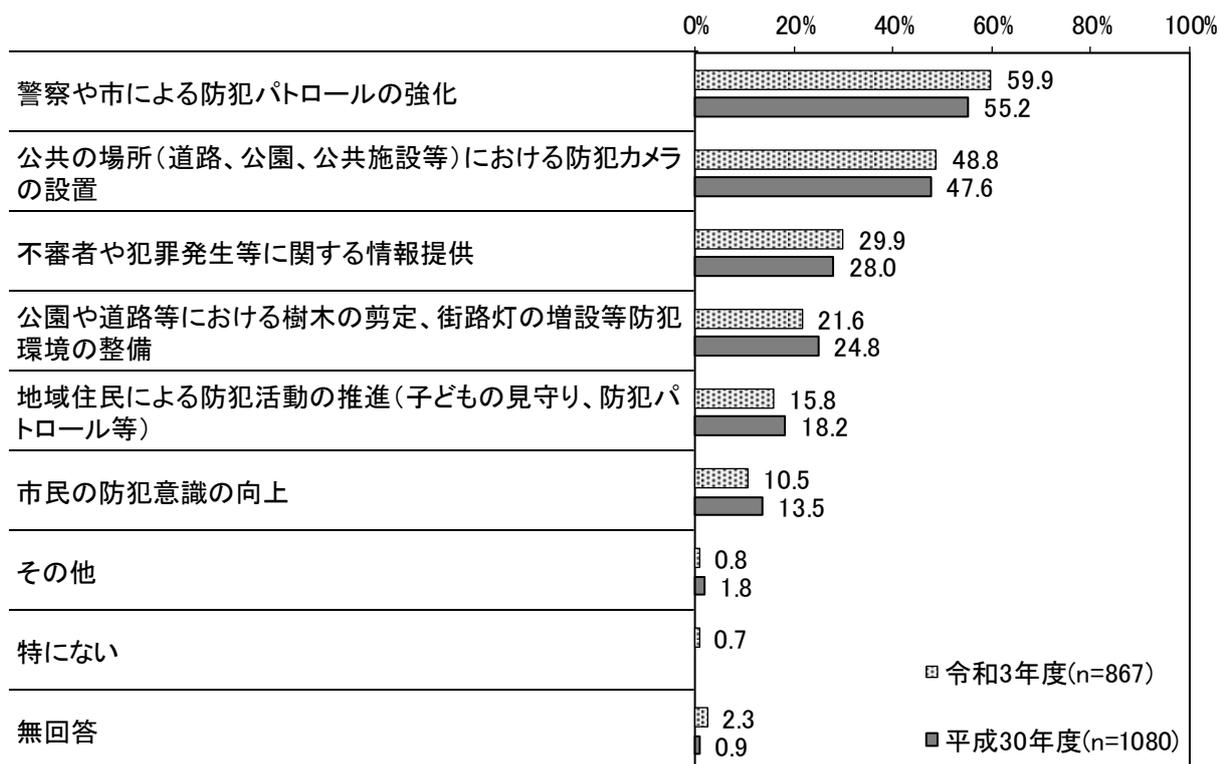
不安を感じる身のまわりの犯罪について性・年齢別に見ると、【不安がある】の割合は、女性-60代（98.0%）が最も高く9割後半となっています。

男性は、30代で【不安がある】の割合が最も高く、以降、年代が上がるにつれて低下していく傾向が見られます。一方で、女性は一貫して9割台を推移しています。

(6) 特に必要と感じる防犯対策

問18 安全で安心して暮らすことができるまちづくりのために、特に必要だと思う防犯対策は、次のうちどれだと思いますか。(〇は2つまで)

<図表 18-1> 特に必要と感じる防犯対策



※「特にない」は令和3年度から新規

<調査結果>

特に必要と感じる防犯対策について聞いたところ、「警察や市による防犯パトロールの強化」(59.9%)が約6割と最も高く、次いで、「公共の場所(道路、公園、公共施設等)における防犯カメラの設置」(48.8%)が4割後半となっています。

「警察や市による防犯パトロールの強化」は平成30年度(55.2%)から令和3年度(59.9%)にかけて4.7ポイント上昇しています。

<図表 18-2>特に必要と感じる防犯対策／ブロック別

| | n | 警察や市による防犯パトロールの強化 | 公共の場所（道路、公園、公共施設等）における防犯カメラの設置 | 不審者や犯罪発生等に関する情報提供 | 灯の増設等防犯環境の整備 | 公園や道路等における樹木の剪定、街路 | の見守り、防犯パトロール等（子ども | 市民の防犯意識の向上 | その他 | 特にない | 無回答 |
|-------|-------|-------------------|--------------------------------|-------------------|--------------|--------------------|-------------------|------------|-----|------|-----|
| 全体 | 867 | 59.9 | 48.8 | 29.9 | 21.6 | 15.8 | 10.5 | 0.8 | 0.7 | 2.3 | |
| ブロック別 | Aブロック | 125 | 58.4 | 47.2 | 30.4 | 23.2 | 17.6 | 9.6 | 1.6 | 0.0 | 2.4 |
| | Bブロック | 103 | 53.4 | 55.3 | 22.3 | 22.3 | 15.5 | 13.6 | 1.9 | 0.0 | 2.9 |
| | Cブロック | 106 | 55.7 | 53.8 | 34.0 | 20.8 | 15.1 | 9.4 | 0.0 | 0.9 | 3.8 |
| | Dブロック | 91 | 61.5 | 42.9 | 29.7 | 18.7 | 22.0 | 13.2 | 0.0 | 1.1 | 1.1 |
| | Eブロック | 142 | 61.3 | 53.5 | 25.4 | 20.4 | 14.8 | 10.6 | 0.7 | 0.0 | 3.5 |
| | Fブロック | 140 | 61.4 | 48.6 | 31.4 | 19.3 | 15.7 | 9.3 | 0.7 | 1.4 | 1.4 |
| | Gブロック | 160 | 64.4 | 41.9 | 34.4 | 25.0 | 12.5 | 9.4 | 0.6 | 1.3 | 1.3 |

<調査結果>

特に必要と感じる防犯対策についてブロック別に見ると、全体と比べて割合に大きな変化は見られません。

<図表 18-3>特に必要と感じる防犯対策／性・年齢別

| | | n | 警察や市による防犯パトロールの強化 | 公共の場所（道路、公園、公共施設等）における防犯カメラの設置 | 不審者や犯罪発生等に関する情報提供 | 公園や道路等における樹木の剪定、街路灯の増設等防犯環境の整備 | 地域住民による防犯活動の推進（子どもの見守り、防犯パトロール等） | 市民の防犯意識の向上 | その他 | 特にない | 無回答 |
|-------|----------|-----|-------------------|--------------------------------|-------------------|--------------------------------|----------------------------------|------------|-----|------|-----|
| 全体 | | 867 | 59.9 | 48.8 | 29.9 | 21.6 | 15.8 | 10.5 | 0.8 | 0.7 | 2.3 |
| 性・年齢別 | 男性全体 | 381 | 61.9 | 48.6 | 27.0 | 15.7 | 16.5 | 13.4 | 0.8 | 1.6 | 2.4 |
| | 男性-20代以下 | 31 | 45.2 | 41.9 | 35.5 | 12.9 | 16.1 | 29.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 |
| | 男性-30代 | 36 | 55.6 | 38.9 | 22.2 | 25.0 | 25.0 | 13.9 | 5.6 | 2.8 | 0.0 |
| | 男性-40代 | 66 | 66.7 | 53.0 | 22.7 | 25.8 | 13.6 | 9.1 | 1.5 | 0.0 | 1.5 |
| | 男性-50代 | 74 | 74.3 | 41.9 | 28.4 | 8.1 | 18.9 | 14.9 | 0.0 | 0.0 | 2.7 |
| | 男性-60代 | 80 | 60.0 | 48.8 | 28.8 | 17.5 | 13.8 | 8.8 | 0.0 | 3.8 | 2.5 |
| | 男性-70代以上 | 94 | 58.5 | 56.4 | 26.6 | 10.6 | 16.0 | 13.8 | 0.0 | 2.1 | 4.3 |
| | 女性全体 | 461 | 58.8 | 49.7 | 32.1 | 25.6 | 15.6 | 8.0 | 0.9 | 0.0 | 2.0 |
| | 女性-20代以下 | 46 | 50.0 | 58.7 | 23.9 | 23.9 | 15.2 | 13.0 | 0.0 | 0.0 | 4.3 |
| | 女性-30代 | 48 | 62.5 | 56.3 | 25.0 | 16.7 | 16.7 | 6.3 | 2.1 | 0.0 | 4.2 |
| | 女性-40代 | 80 | 55.0 | 35.0 | 47.5 | 23.8 | 21.3 | 6.3 | 2.5 | 0.0 | 1.3 |
| | 女性-50代 | 88 | 63.6 | 54.5 | 28.4 | 20.5 | 13.6 | 13.6 | 1.1 | 0.0 | 0.0 |
| | 女性-60代 | 98 | 66.3 | 51.0 | 29.6 | 28.6 | 15.3 | 3.1 | 0.0 | 0.0 | 1.0 |
| | 女性-70代以上 | 100 | 53.0 | 48.0 | 33.0 | 33.0 | 13.0 | 8.0 | 0.0 | 0.0 | 3.0 |

<調査結果>

特に必要と感じる防犯対策について、「公園や道路等における樹木の剪定、街路灯の増設等防犯環境の整備」の割合を性・年齢別に見ると、女性-70代以上（33.0%）が全体よりやや高くなっています。一方で、男性-50代（8.1%）、男性-70代以上（10.6%）が全体よりやや低くなっています。

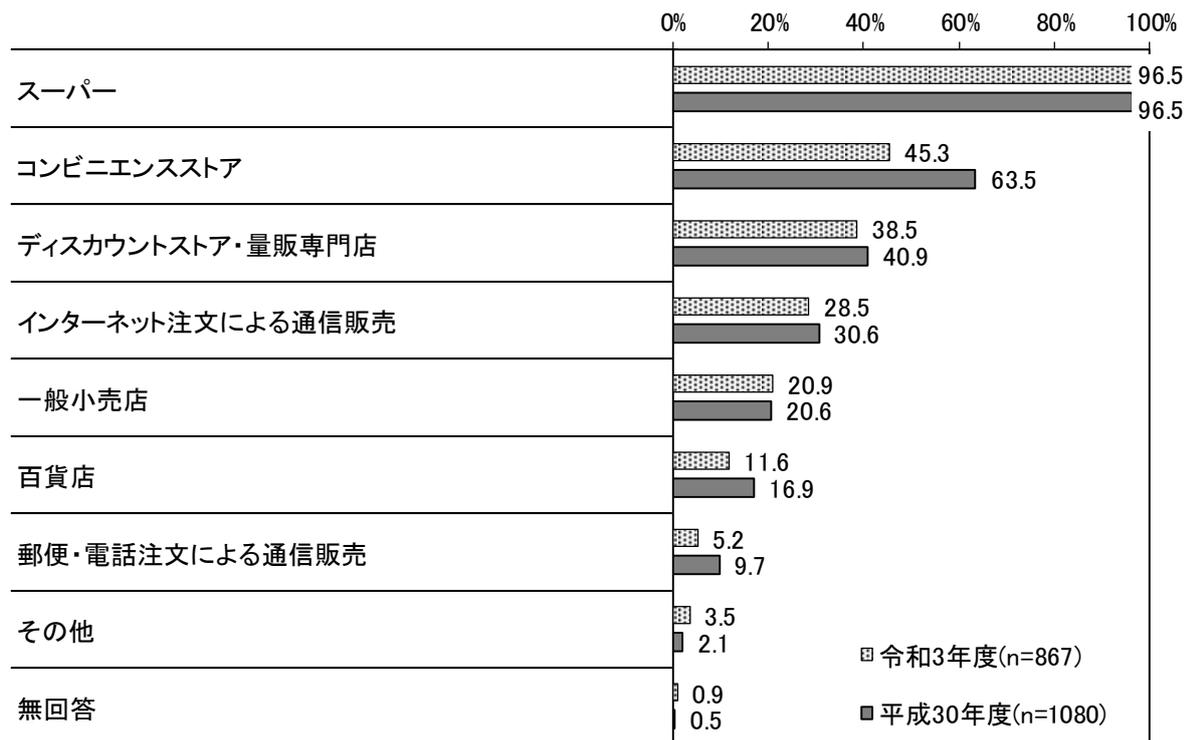
「市民の防犯意識の向上」は男性-20代以下（29.0%）が全体より高くなっています。

6 消費生活

(1) 日用品・食料品を購入する店

問 19 あなたは、日用品・食料品をどのようなお店で買いますか。(○はいくつでも)

<図表 19-1>日用品・食料品を購入する店



<調査結果>

日用品・食料品を購入する店について聞いたところ、「スーパー」(96.5%)が9割半ばと最も高く、次いで、「コンビニエンスストア」(45.3%)が4割半ば、「ディスカウントストア・量販専門店」(38.5%)が3割後半となっています。

「コンビニエンスストア」は平成30年度(63.5%)から令和3年度(45.3%)にかけて18.2ポイント減少しています。

<図表 19-2>日用品・食料品を購入する店／ブロック別

| | n | スーパー | コンビニエンスストア | ディスカウントストア・量販専門店 | インターネット注文による通信販売 | 一般小売店 | 百貨店 | 郵便・電話注文による通信販売 | その他 | 無回答 | |
|-------|-------|------|------------|------------------|------------------|-------|------|----------------|-----|-----|-----|
| 全体 | 867 | 96.5 | 45.3 | 38.5 | 28.5 | 20.9 | 11.6 | 5.2 | 3.5 | 0.9 | |
| ブロック別 | Aブロック | 125 | 91.2 | 45.6 | 38.4 | 38.4 | 16.0 | 13.6 | 6.4 | 4.8 | 0.8 |
| | Bブロック | 103 | 96.1 | 45.6 | 35.0 | 30.1 | 20.4 | 11.7 | 3.9 | 2.9 | 1.0 |
| | Cブロック | 106 | 95.3 | 52.8 | 40.6 | 29.2 | 21.7 | 14.2 | 5.7 | 5.7 | 2.8 |
| | Dブロック | 91 | 98.9 | 42.9 | 45.1 | 26.4 | 19.8 | 5.5 | 7.7 | 4.4 | 0.0 |
| | Eブロック | 142 | 98.6 | 43.0 | 43.0 | 23.9 | 18.3 | 12.0 | 4.2 | 0.0 | 0.0 |
| | Fブロック | 140 | 97.9 | 47.9 | 38.6 | 30.7 | 25.0 | 11.4 | 7.1 | 5.0 | 0.7 |
| | Gブロック | 160 | 97.5 | 41.3 | 31.9 | 22.5 | 23.8 | 11.9 | 2.5 | 2.5 | 1.3 |

<調査結果>

日用品・食料品を購入する店についてブロック別に見ると、全体と比べて割合に大きな変化は見られません。

<図表 19-3>日用品・食料品を購入する店／性・年齢別

| | n | スーパー | コンビニエンスストア | ディスカウントストア・量販専門店 | インターネット注文による通信販売 | 一般小売店 | 百貨店 | 郵便・電話注文による通信販売 | その他 | 無回答 | |
|-------|----------|------|------------|------------------|------------------|-------|------|----------------|------|-----|-----|
| 全体 | 867 | 96.5 | 45.3 | 38.5 | 28.5 | 20.9 | 11.6 | 5.2 | 3.5 | 0.9 | |
| 性・年齢別 | 男性全体 | 381 | 96.9 | 54.6 | 43.6 | 28.6 | 18.6 | 11.5 | 4.7 | 2.1 | 0.3 |
| | 男性-20代以下 | 31 | 87.1 | 71.0 | 32.3 | 32.3 | 19.4 | 3.2 | 6.5 | 3.2 | 0.0 |
| | 男性-30代 | 36 | 97.2 | 61.1 | 50.0 | 50.0 | 22.2 | 8.3 | 0.0 | 0.0 | 0.0 |
| | 男性-40代 | 66 | 97.0 | 57.6 | 53.0 | 39.4 | 25.8 | 10.6 | 3.0 | 1.5 | 0.0 |
| | 男性-50代 | 74 | 98.6 | 55.4 | 48.6 | 31.1 | 14.9 | 6.8 | 2.7 | 4.1 | 0.0 |
| | 男性-60代 | 80 | 97.5 | 51.3 | 42.5 | 21.3 | 20.0 | 12.5 | 5.0 | 1.3 | 0.0 |
| | 男性-70代以上 | 94 | 97.9 | 46.8 | 35.1 | 16.0 | 13.8 | 19.1 | 8.5 | 2.1 | 1.1 |
| | 女性全体 | 461 | 97.2 | 38.2 | 35.6 | 28.4 | 23.0 | 12.4 | 5.4 | 4.6 | 0.9 |
| | 女性-20代以下 | 46 | 89.1 | 43.5 | 32.6 | 34.8 | 28.3 | 8.7 | 2.2 | 2.2 | 0.0 |
| | 女性-30代 | 48 | 97.9 | 41.7 | 41.7 | 33.3 | 31.3 | 6.3 | 0.0 | 4.2 | 0.0 |
| | 女性-40代 | 80 | 100.0 | 45.0 | 43.8 | 41.3 | 21.3 | 11.3 | 3.8 | 7.5 | 0.0 |
| | 女性-50代 | 88 | 97.7 | 42.0 | 37.5 | 36.4 | 21.6 | 13.6 | 2.3 | 0.0 | 1.1 |
| | 女性-60代 | 98 | 99.0 | 26.5 | 39.8 | 19.4 | 22.4 | 15.3 | 6.1 | 6.1 | 0.0 |
| | 女性-70代以上 | 100 | 96.0 | 36.0 | 22.0 | 14.0 | 20.0 | 14.0 | 13.0 | 6.0 | 3.0 |

<調査結果>

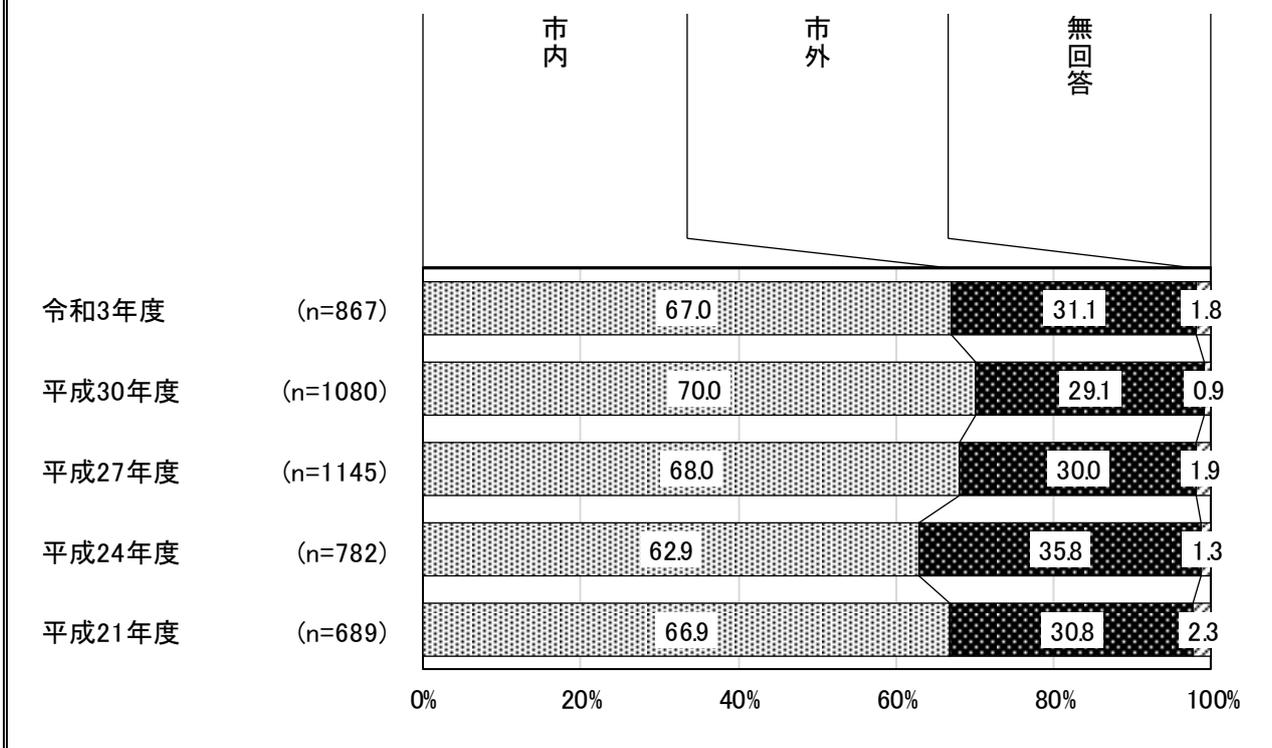
日用品・食料品を購入する店について、「インターネット注文による通信販売」の割合を性・年齢別に見ると、男性-30代（50.0%）が全体より高くなっています。また、男性-40代（39.4%）、女性-40代（41.3%）が全体よりやや高くなっています。一方で、男性-70代以上（16.0%）、女性-70代以上（14.0%）が全体よりやや低くなっています。男性・女性共に40代で割合が全体より高い傾向にあり、70代以上で低くなる傾向があります。

「コンビニエンスストア」は男性の若年層で利用する傾向が見られます。

(2) 一番利用する店の所在地

問 20 あなたが一番良く行くお店は、市内・市外どちらにありますか。(○は1つ)

<図表 20-1> 一番利用する店の所在地

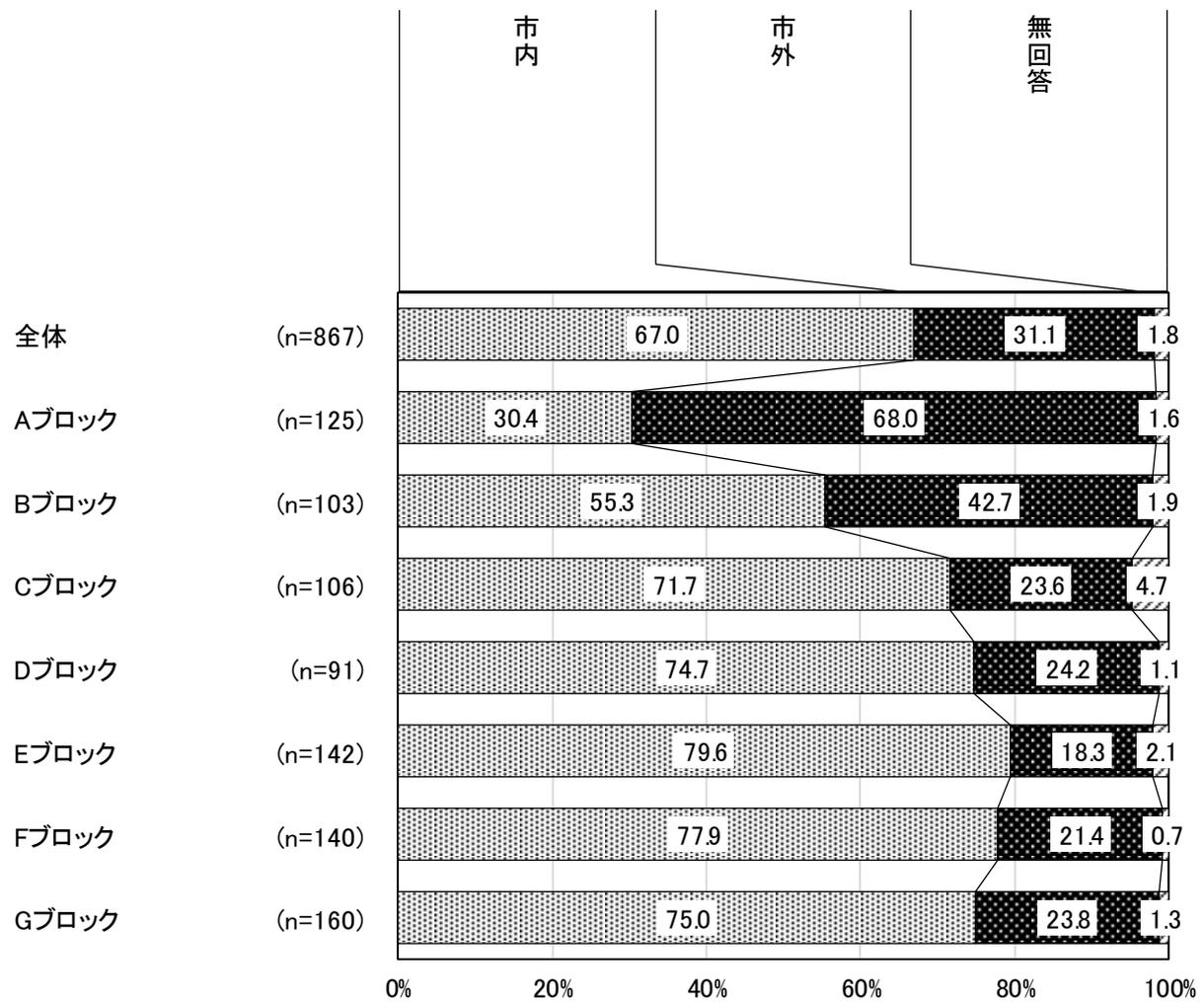


<調査結果>

一番利用する店の所在地について聞いたところ、「市内」が67.0%、「市外」が31.1%となっています。

一番利用する店の所在地について過年度推移を見ると、平成21年度以降、割合に大きな変化は見られません。

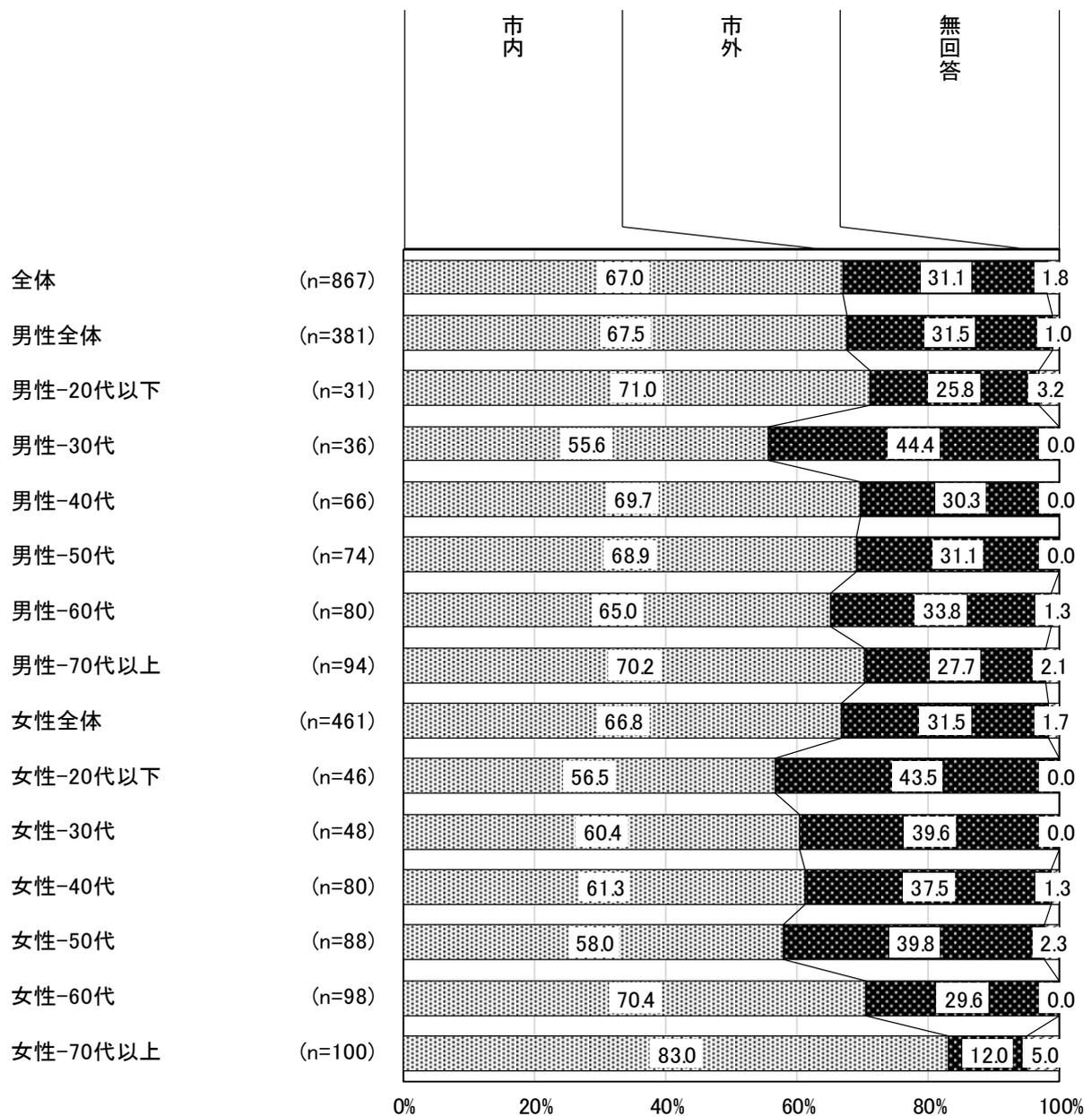
<図表 20-2> 一番利用する店の所在地／ブロック別



<調査結果>

一番利用する店の所在地についてブロック別で見ると、「市内」は、Cブロック (71.7%)、Dブロック (74.7%)、Eブロック (79.6%)、Fブロック (77.9%)、Gブロック (75.0%) で7割を超えています。一方で、Bブロック (55.3%) が5割半ば、Aブロック (30.4%) が約3割となっています。

<図表 20-3> 一番利用する店の所在地／性・年齢別



<調査結果>

一番利用する店の所在地について性・年齢別で見ると、「市内」は女性-70代以上（83.0%）で8割半ばと最も高くなっています。一方で、男性-30代（55.6%）が5割半ばと最も低くなっています。

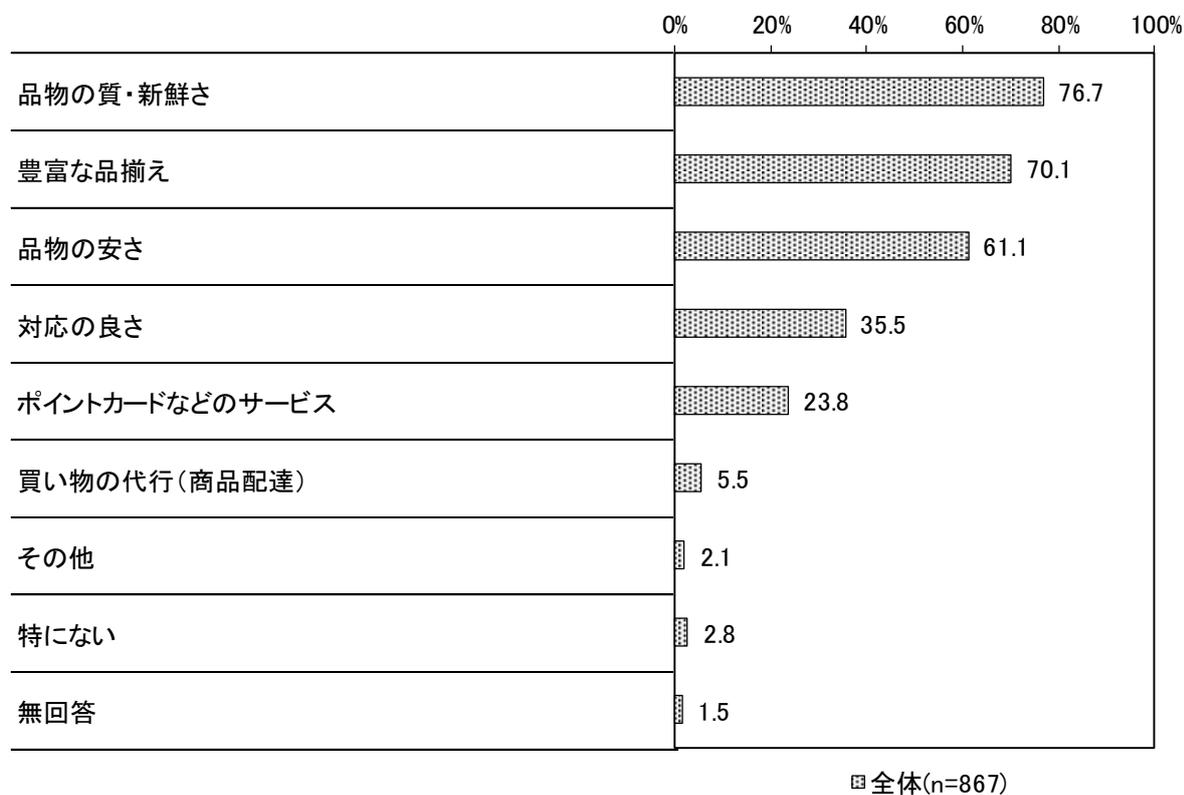
最も高い女性-70代以上（83.0%）と最も低い男性-30代（55.6%）では27.4ポイント差が開いています。

女性は50代以降で年代が上がるにつれて「市内」の割合が上昇する傾向が見られます。

(3) 市内の店に望むサービス

問 21 あなたは、市内のお店にどのようなサービスを望みますか。(〇はいくつでも)

<図表 21-1> 市内の店に望むサービス



<調査結果>

市内の店に望むサービスについて聞いたところ、「品物の質・新鮮さ」(76.7%)が7割半ばと最も高く、次いで、「豊富な品揃え」(70.1%)が約7割、「品物の安さ」(61.1%)が6割以上となっています。

一方で、「買い物の代行(商品配達)」(5.5%)が1割未満となっています。

<図表 21-2>市内の店に望むサービス／性・年齢別

| | n | 品物の質・新鮮さ | 豊富な品揃え | 品物の安さ | 対応の良さ | ポイントカードなどのサービス | 買い物の代行（商品配達） | その他 | 特にない | 無回答 | |
|-------|----------|----------|--------|-------|-------|----------------|--------------|------|------|-----|-----|
| 全体 | 867 | 76.7 | 70.1 | 61.1 | 35.5 | 23.8 | 5.5 | 2.1 | 2.8 | 1.5 | |
| 性・年齢別 | 男性全体 | 381 | 71.1 | 68.8 | 59.6 | 33.9 | 21.8 | 3.9 | 2.1 | 3.1 | 1.3 |
| | 男性-20代以下 | 31 | 64.5 | 87.1 | 71.0 | 22.6 | 9.7 | 6.5 | 3.2 | 0.0 | 0.0 |
| | 男性-30代 | 36 | 55.6 | 77.8 | 58.3 | 22.2 | 13.9 | 5.6 | 5.6 | 2.8 | 0.0 |
| | 男性-40代 | 66 | 72.7 | 71.2 | 65.2 | 36.4 | 25.8 | 3.0 | 1.5 | 4.5 | 1.5 |
| | 男性-50代 | 74 | 73.0 | 70.3 | 67.6 | 47.3 | 24.3 | 5.4 | 2.7 | 1.4 | 0.0 |
| | 男性-60代 | 80 | 72.5 | 63.8 | 48.8 | 26.3 | 16.3 | 2.5 | 2.5 | 5.0 | 1.3 |
| | 男性-70代以上 | 94 | 75.5 | 60.6 | 55.3 | 36.2 | 28.7 | 3.2 | 0.0 | 3.2 | 3.2 |
| | 女性全体 | 461 | 81.6 | 71.8 | 62.9 | 37.1 | 26.0 | 6.9 | 2.0 | 2.4 | 1.1 |
| | 女性-20代以下 | 46 | 58.7 | 71.7 | 78.3 | 32.6 | 30.4 | 6.5 | 2.2 | 6.5 | 0.0 |
| | 女性-30代 | 48 | 72.9 | 77.1 | 81.3 | 39.6 | 22.9 | 8.3 | 2.1 | 0.0 | 0.0 |
| | 女性-40代 | 80 | 90.0 | 76.3 | 63.8 | 35.0 | 22.5 | 3.8 | 1.3 | 1.3 | 0.0 |
| | 女性-50代 | 88 | 81.8 | 67.0 | 60.2 | 34.1 | 21.6 | 5.7 | 4.5 | 2.3 | 1.1 |
| | 女性-60代 | 98 | 84.7 | 76.5 | 59.2 | 38.8 | 26.5 | 5.1 | 1.0 | 5.1 | 1.0 |
| | 女性-70代以上 | 100 | 86.0 | 65.0 | 52.0 | 41.0 | 32.0 | 12.0 | 1.0 | 0.0 | 3.0 |

<調査結果>

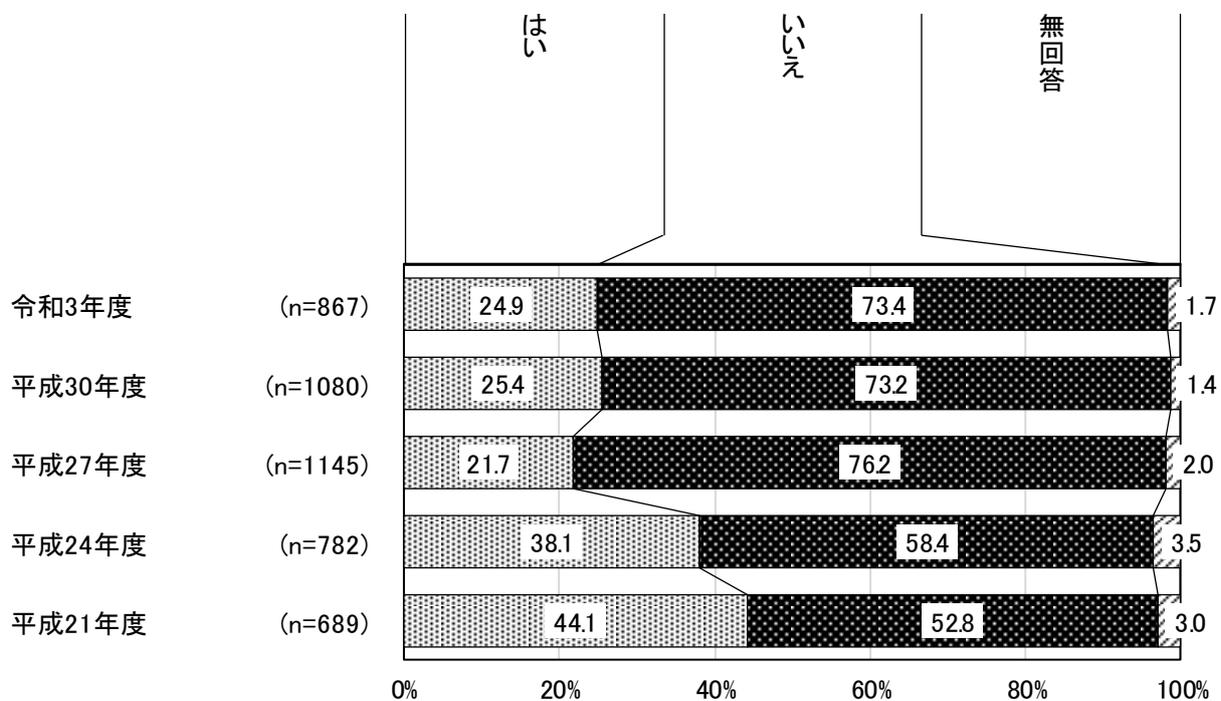
市内の店に望むサービスについて、「品物の安さ」の割合を性・年齢別に見ると、女性-20代以下（78.3%）、女性-30代（81.3%）が全体より高くなっています。また、男性-60代（48.8%）が全体よりやや低くなっています。

「ポイントカードなどのサービス」の割合を性・年齢別に見ると、男性-20代以下（9.7%）が全体よりやや低くなっています。

(4) 消費者相談室の認知状況

問 22 あなたは、福生市の消費者相談室を知っていますか。(○は1つ)

<図表 22-1> 消費者相談室の認知状況

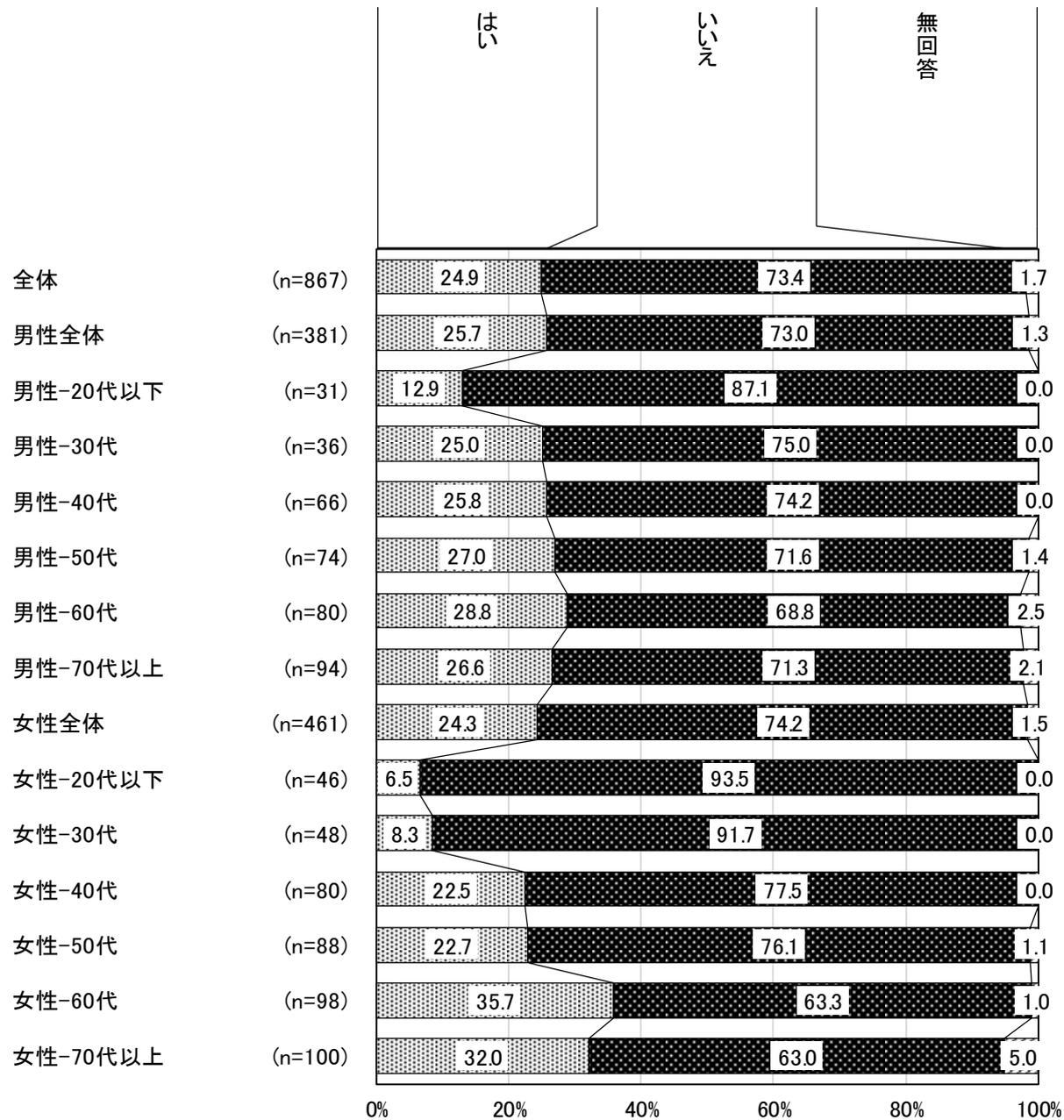


<調査結果>

消費者相談室の認知状況について聞いたところ、「はい」が24.9%、「いいえ」が73.4%となっています。

「はい」の割合については、平成27年度以降、大きな変化は見られません。

<図表 22-2> 消費者相談室の認知状況／性・年齢別



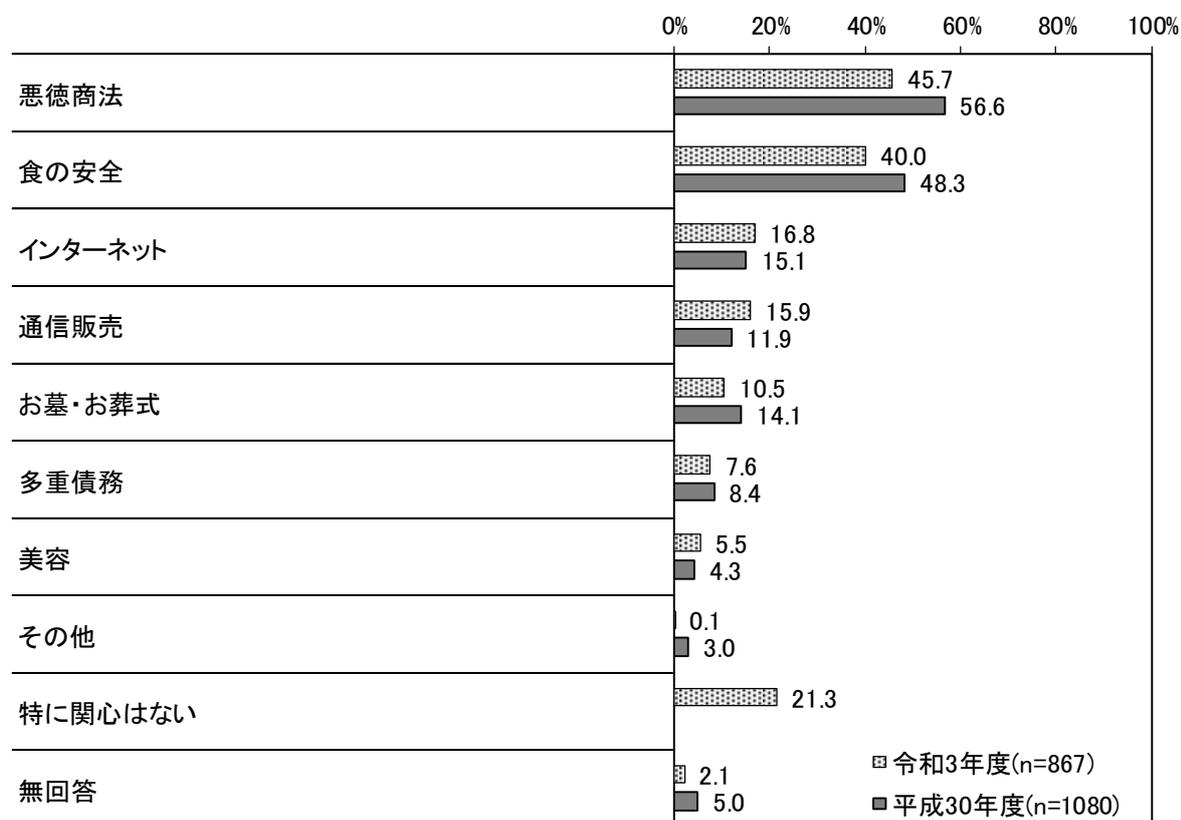
<調査結果>

消費者相談室の認知状況について、「はい」の割合を性・年齢別に見ると、女性-60代（35.7%）が全体よりやや高くなっています。女性-20代以下（6.5%）、女性-30代（8.3%）が全体より低くなっています。また、男性-20代以下（12.9%）が全体よりやや低くなっています。

(5) 関心のある消費者問題

問 23 あなたは、消費者問題でどのようなテーマに関心がありますか。(〇はいくつでも)

<図表 23-1>関心のある消費者問題



※「特に関心はない」は令和3年度から新規

<調査結果>

関心のある消費者問題について聞いたところ、「悪徳商法」(45.7%)、「食の安全」(40.0%)が4割を超えています。

「悪徳商法」は平成30年度(56.6%)から令和3年度(45.7%)にかけて10.9ポイント減少しています。

「食の安全」は平成30年度(48.3%)から令和3年度(40.0%)にかけて8.3ポイント減少しています。

「特に関心はない」(21.3%)も2割以上となっています。

<図表 23-2> 関心のある消費者問題／性・年齢別

| | | n | 悪徳商法 | 食の安全 | インターネット | 通信販売 | お墓・お葬式 | 多重債務 | 美容 | その他 | 特に関心はない | 無回答 |
|----------|----------|------|------|------|---------|------|--------|------|------|-----|---------|-----|
| 全体 | | 867 | 45.7 | 40.0 | 16.8 | 15.9 | 10.5 | 7.6 | 5.5 | 0.1 | 21.3 | 2.1 |
| 性・年齢別 | 男性全体 | 381 | 49.9 | 37.8 | 20.5 | 15.2 | 12.3 | 10.0 | 1.6 | 0.0 | 21.5 | 1.8 |
| | 男性-20代以下 | 31 | 38.7 | 32.3 | 35.5 | 16.1 | 12.9 | 22.6 | 6.5 | 0.0 | 25.8 | 0.0 |
| | 男性-30代 | 36 | 36.1 | 27.8 | 27.8 | 13.9 | 19.4 | 13.9 | 2.8 | 0.0 | 22.2 | 2.8 |
| | 男性-40代 | 66 | 51.5 | 31.8 | 22.7 | 16.7 | 12.1 | 16.7 | 1.5 | 0.0 | 28.8 | 0.0 |
| | 男性-50代 | 74 | 52.7 | 33.8 | 18.9 | 14.9 | 10.8 | 8.1 | 1.4 | 0.0 | 27.0 | 1.4 |
| | 男性-60代 | 80 | 50.0 | 32.5 | 17.5 | 12.5 | 11.3 | 5.0 | 0.0 | 0.0 | 22.5 | 2.5 |
| | 男性-70代以上 | 94 | 55.3 | 55.3 | 14.9 | 17.0 | 11.7 | 5.3 | 1.1 | 0.0 | 9.6 | 3.2 |
| | 女性全体 | 461 | 43.4 | 42.3 | 14.1 | 16.9 | 9.3 | 6.1 | 8.9 | 0.2 | 20.0 | 1.7 |
| | 女性-20代以下 | 46 | 28.3 | 30.4 | 19.6 | 19.6 | 2.2 | 10.9 | 34.8 | 0.0 | 23.9 | 0.0 |
| | 女性-30代 | 48 | 31.3 | 33.3 | 18.8 | 10.4 | 4.2 | 6.3 | 20.8 | 2.1 | 25.0 | 0.0 |
| | 女性-40代 | 80 | 41.3 | 35.0 | 16.3 | 20.0 | 7.5 | 10.0 | 5.0 | 0.0 | 28.8 | 0.0 |
| | 女性-50代 | 88 | 42.0 | 29.5 | 20.5 | 14.8 | 8.0 | 5.7 | 3.4 | 0.0 | 27.3 | 2.3 |
| | 女性-60代 | 98 | 58.2 | 45.9 | 8.2 | 17.3 | 10.2 | 5.1 | 2.0 | 0.0 | 14.3 | 1.0 |
| 女性-70代以上 | 100 | 45.0 | 65.0 | 8.0 | 17.0 | 17.0 | 2.0 | 6.0 | 0.0 | 8.0 | 5.0 | |

<調査結果>

関心のある消費者問題について、「インターネット」の割合を性・年齢別に見ると、男性-20代以下（35.5%）が全体より高くなっています。また、男性-30代（27.8%）が全体よりやや高くなっています。

「多重債務」の割合を性・年齢別に見ると、男性-20代以下（22.6%）が全体より高くなっています。

「美容」の割合を性・年齢別に見ると、女性-20代以下（34.8%）が全体よりとても高くなっています。また、女性-30代（20.8%）が全体より高くなっています。

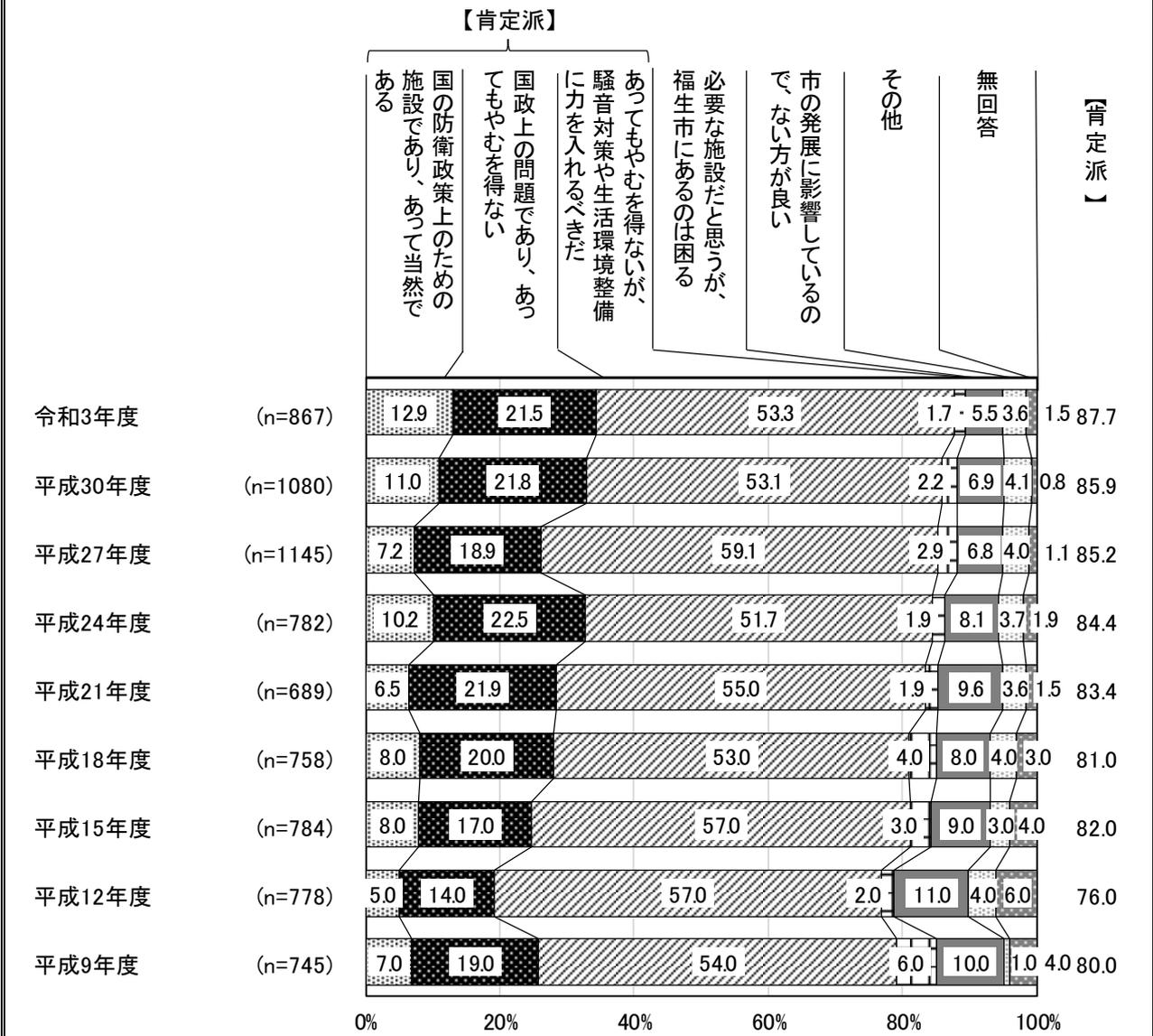
男性・女性共に70代以上（男性55.3%）（女性65.0%）では「食の安全」への関心が高い傾向となっています。

7 横田基地

(1) 横田基地の賛否

問 24 横田基地について、日頃あなたが考えていることに最も近いものを、次の中から選んでください。(○は1つ)

<図表 24-1>横田基地の賛否

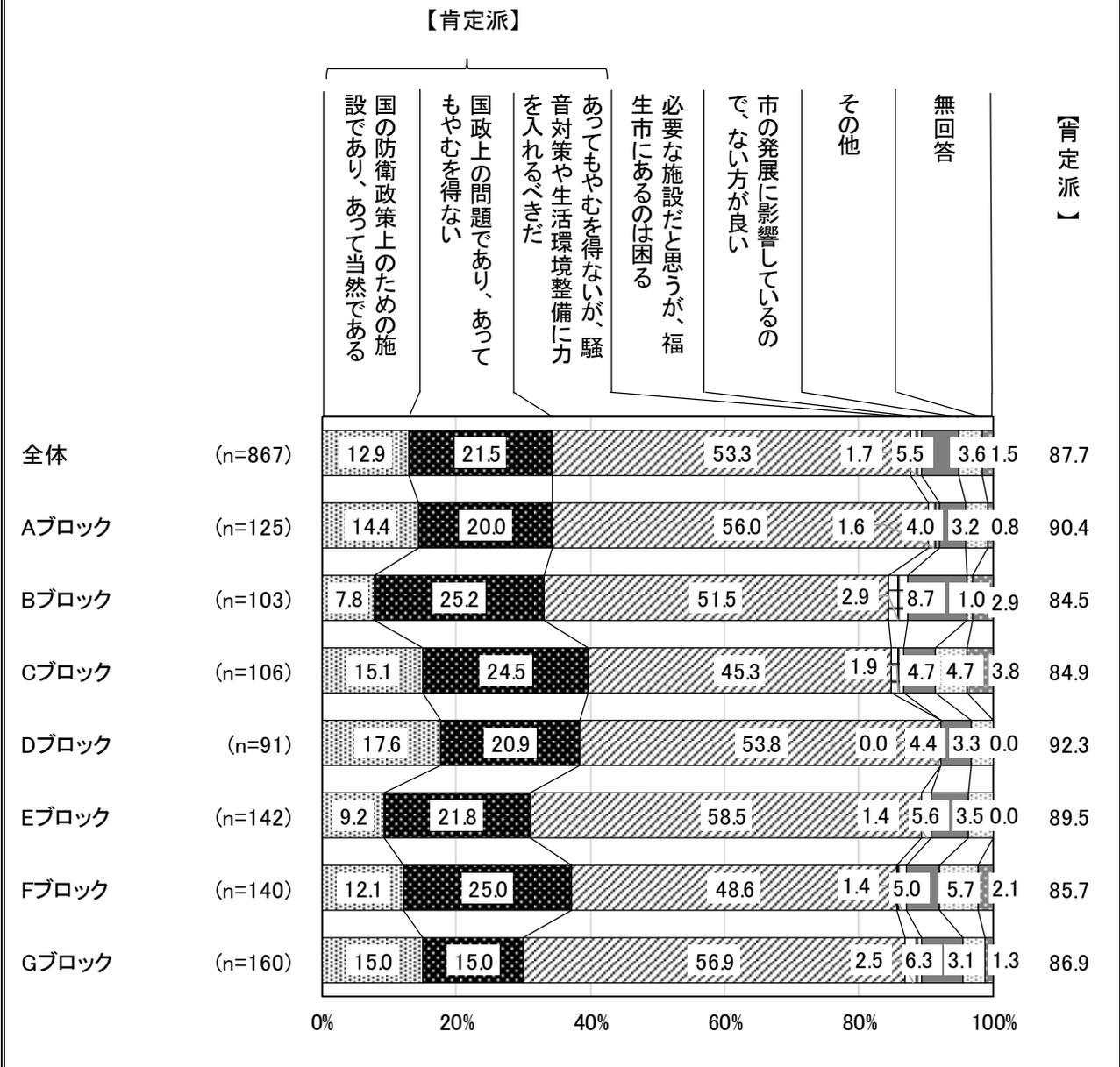


<調査結果>

横田基地の賛否について聞いたところ、「あってもやむを得ないが、騒音対策や生活環境整備に力を入れるべきだ」(53.3%)が最も高く、これと「国政上の問題であり、あってもやむを得ない」(21.5%)、「国の防衛政策上のための施設であり、あって当然である」(12.9%)の3つを合計した【肯定派】(87.7%)が8割後半となっています。

過年度の推移を見ると、【肯定派】は、平成15年度以降、8割台で推移しています。

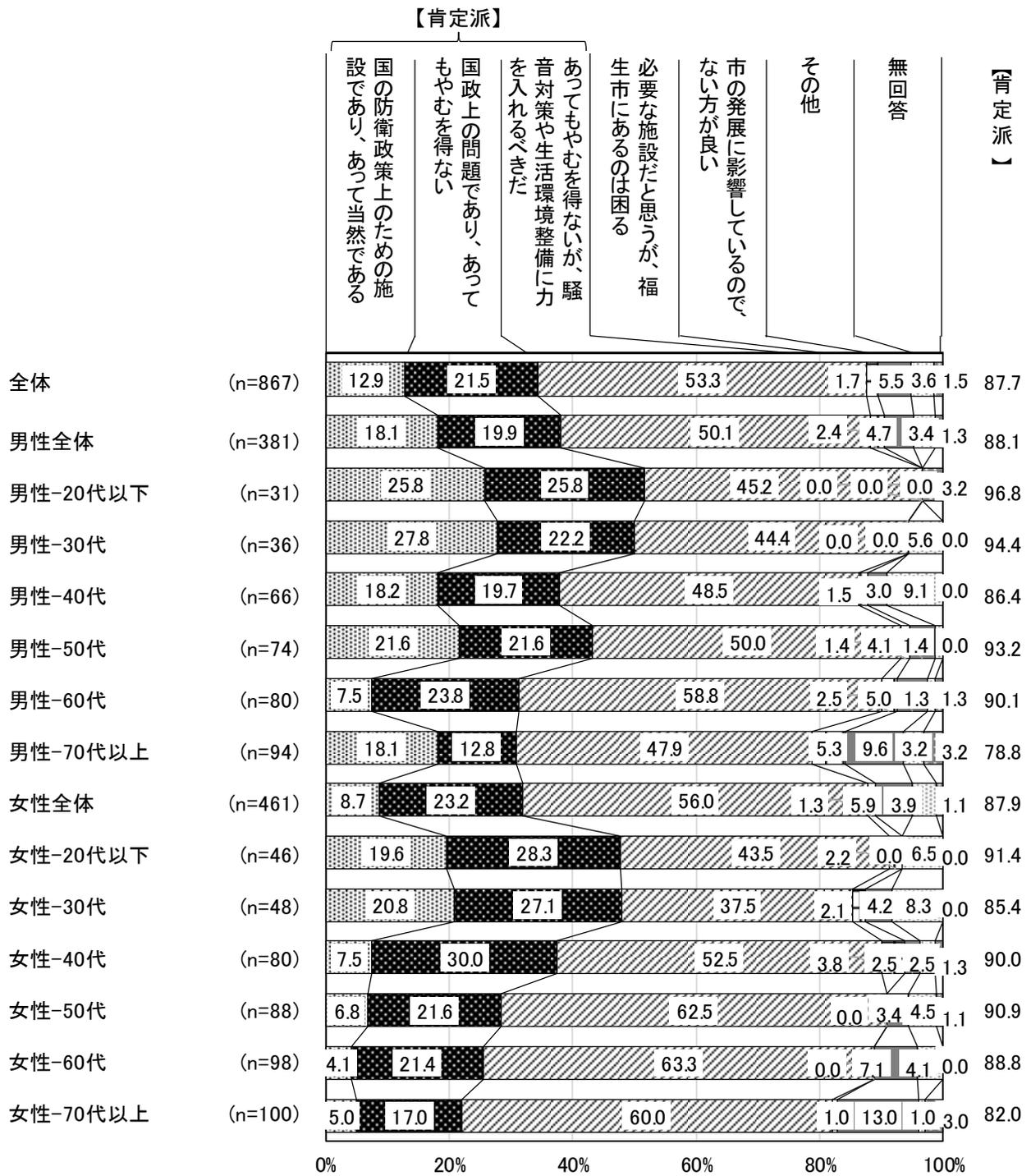
<図表 24-2> 横田基地の賛否／ブロック別



<調査結果>

横田基地の賛否についてブロック別に見ると、【肯定派】の割合は、Dブロック（92.3%）が最も高く9割以上となっています。また、Bブロック（84.5%）が最も低く8割半ばとなっています。

<図表 24-3> 横田基地の賛否／性・年齢別



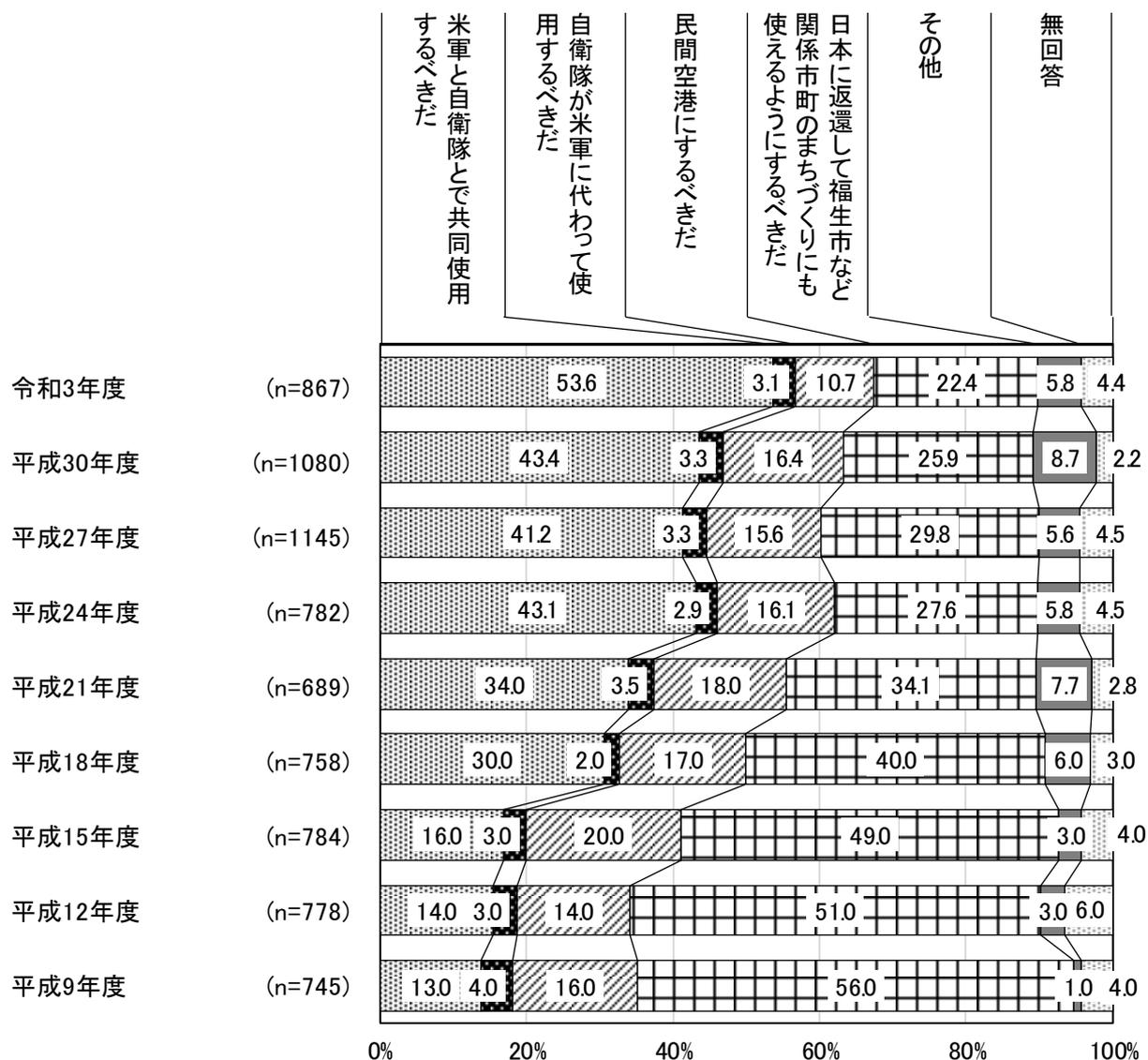
<調査結果>

横田基地の賛否について性・年齢別に見ると、【肯定派】の割合は、男性・女性共に20代以下（男性96.8%）（女性91.4%）が最も高くなっています。また、男性・女性共に70代以上（男性78.8%）（女性82.0%）が最も低くなっています。

(2) 横田基地のあり方

問 25 平成 24 年 3 月に自衛隊との共同使用が開始されましたが、横田基地はどうあるべきだと思いますか。(○は1つ)

<図表 25-1>横田基地のあり方

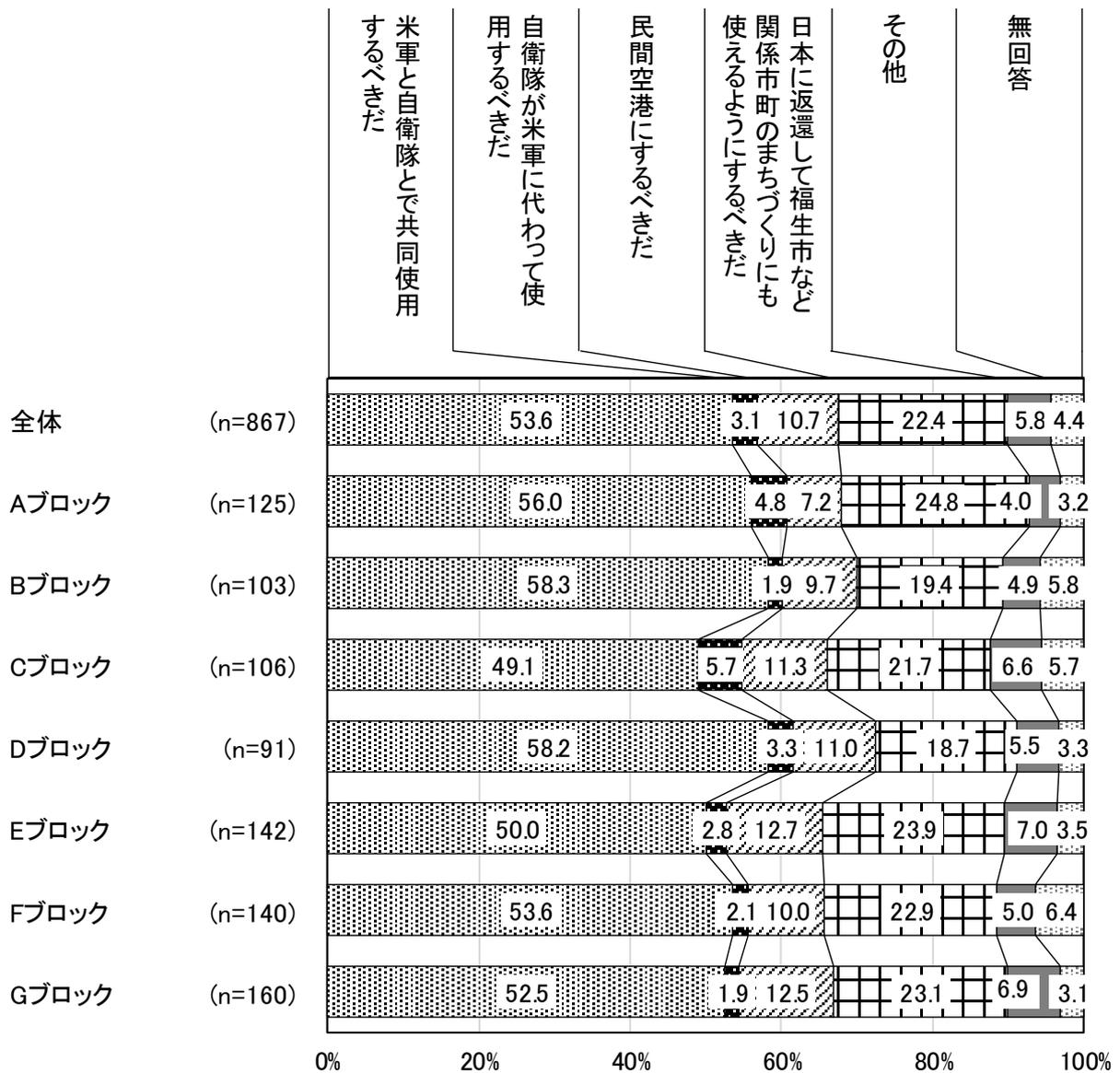


<調査結果>

横田基地のあり方について聞いたところ、「米軍と自衛隊とで共同使用するべきだ」(53.6%)が5割半ばと最も高く、次いで、「日本に返還して福生市など関係市町のまちづくりにも使えるようにするべきだ」(22.4%)、「民間空港にするべきだ」(10.7%)となっています。

過年度の推移を見ると、「米軍と自衛隊とで共同使用するべきだ」は増加傾向にあります。

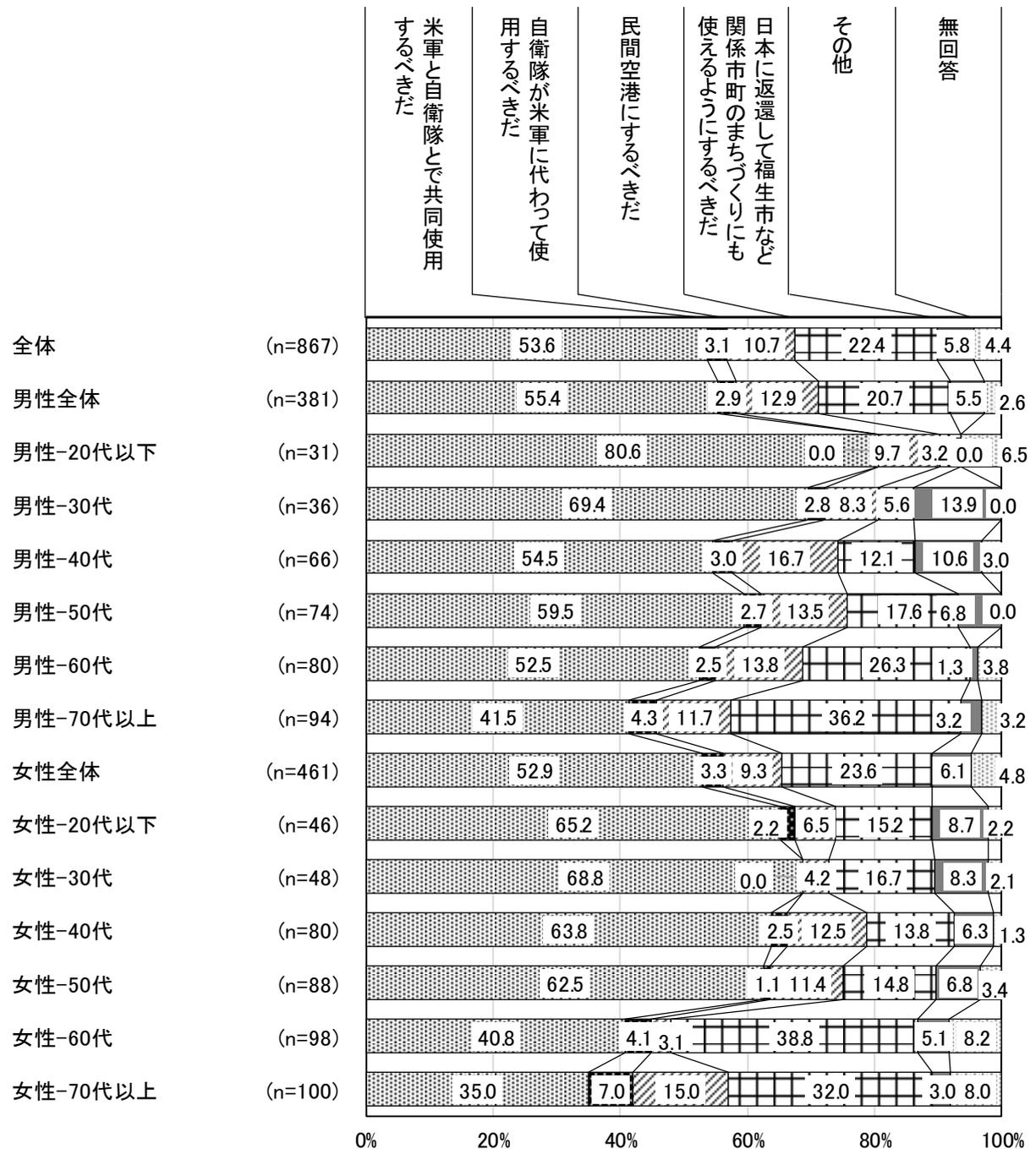
<図表 25-2> 横田基地のあり方／ブロック別



<調査結果>

横田基地のあり方についてブロック別に見ると、「米軍と自衛隊とで共同使用するべきだ」はBブロック（58.3%）が最も高く5割後半となっています。また、「日本に返還して福生市など関係市町のまちづくりにも使えるようにするべきだ」は、Aブロック（24.8%）が最も高く2割半ばとなっています。

<図表 25-3> 横田基地のあり方／性・年齢別



<調査結果>

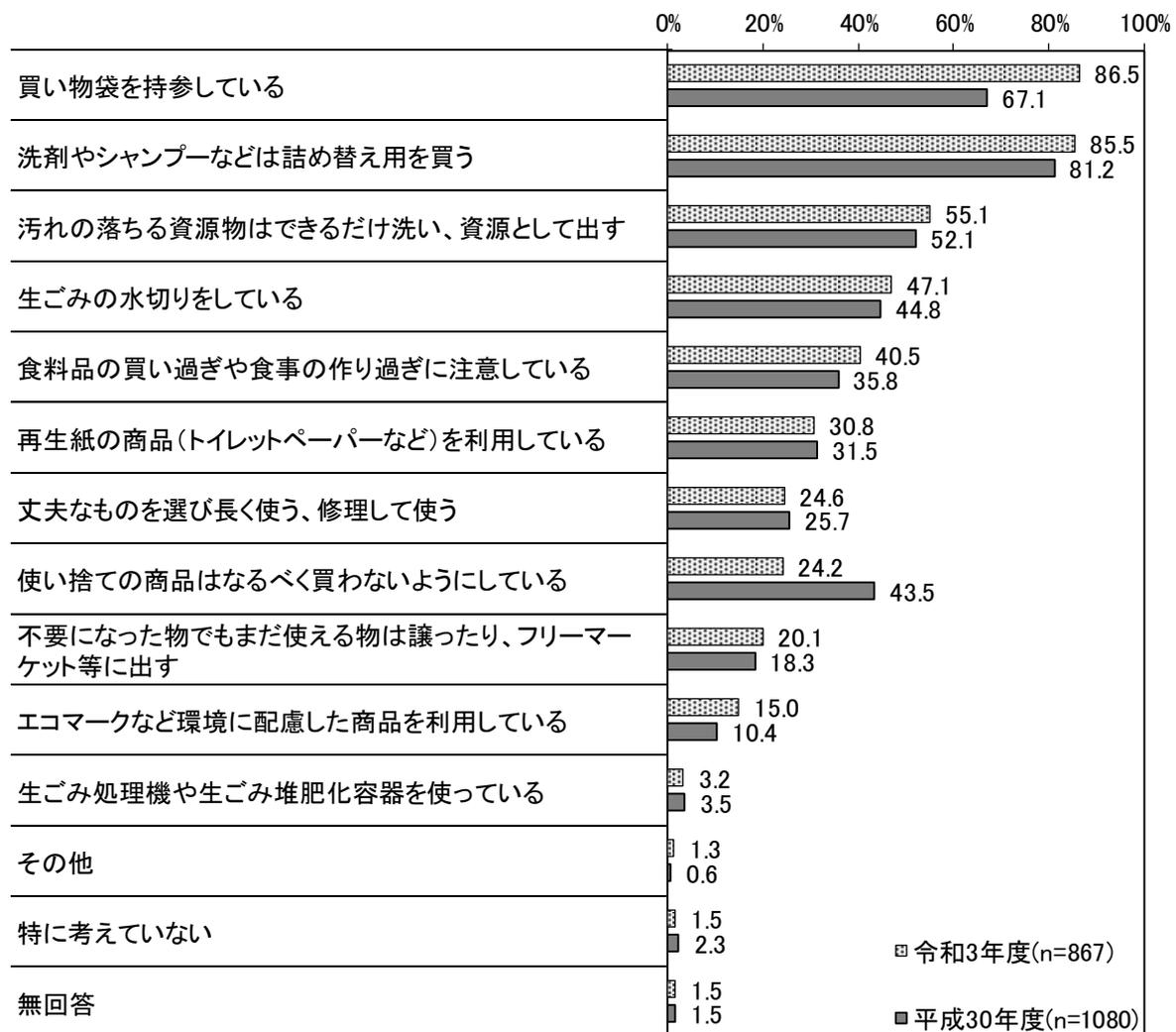
横田基地のあり方について性・年齢別に見ると、「米軍と自衛隊とで共同使用するべきだ」は、男性-20代以下（80.6%）が最も高くなっています。また、「日本に返還して福生市など関係市町のまちづくりにも使えるようにするべきだ」は、女性-60代（38.8%）が最も高くなっています。

8 環境問題

(1) ごみ減量やリサイクルに関して心がけていること

問 26 あなたがごみ減量やリサイクルに関して、日常心がけていることは何ですか。(〇はいくつでも)

<図表 26-1>ごみ減量やリサイクルに関して心がけていること



<調査結果>

ごみ減量やリサイクルに関して心がけていることについて聞いたところ、「買い物袋を持参している」(86.5%)、「洗剤やシャンプーなどは詰め替え用を買う」(85.5%)が8割半ばとなっています。次いで、「汚れの落ちる資源物はできるだけ洗い、資源として出す」(55.1%)が5割半ばとなっています。

<図表 26-2>ごみ減量やリサイクルに関して心がけていること(上位 10 項目)／性・年齢別

| | n | 買い物袋を持参している | 洗剤やシャンプーなどは詰め替え用を買う | 汚れの落ちる資源物はできるだけ洗い、資源として出す | 生ごみの水切りをしている | 食品の買い過ぎや食事の作り過ぎに注意している | 再生紙の商品(トイレットペーパーなど)を利用している | 丈夫なものを選び長く使う、修理して使う | 使い捨ての商品はなるべく買わないようにしている | 不要になった物でもまだ使える物は譲ったり、フリーマーケット等に出す | エコマークなど環境に配慮した商品を利用している | |
|-------|----------|-------------|---------------------|---------------------------|--------------|------------------------|----------------------------|---------------------|-------------------------|-----------------------------------|-------------------------|------|
| 全体 | 867 | 86.5 | 85.5 | 55.1 | 47.1 | 40.5 | 30.8 | 24.6 | 24.2 | 20.1 | 15.0 | |
| 性・年齢別 | 男性全体 | 381 | 80.6 | 81.9 | 44.1 | 35.2 | 35.4 | 27.3 | 27.8 | 19.7 | 15.7 | 13.9 |
| | 男性-20代以下 | 31 | 58.1 | 80.6 | 25.8 | 22.6 | 29.0 | 22.6 | 38.7 | 9.7 | 19.4 | 9.7 |
| | 男性-30代 | 36 | 80.6 | 75.0 | 44.4 | 30.6 | 27.8 | 13.9 | 33.3 | 11.1 | 25.0 | 2.8 |
| | 男性-40代 | 66 | 75.8 | 75.8 | 50.0 | 30.3 | 30.3 | 22.7 | 39.4 | 13.6 | 21.2 | 7.6 |
| | 男性-50代 | 74 | 81.1 | 85.1 | 51.4 | 32.4 | 36.5 | 28.4 | 25.7 | 20.3 | 12.2 | 13.5 |
| | 男性-60代 | 80 | 86.3 | 85.0 | 35.0 | 42.5 | 35.0 | 23.8 | 18.8 | 23.8 | 16.3 | 18.8 |
| | 男性-70代以上 | 94 | 86.2 | 84.0 | 47.9 | 40.4 | 43.6 | 39.4 | 23.4 | 26.6 | 9.6 | 20.2 |
| | 女性全体 | 461 | 92.2 | 89.6 | 64.9 | 56.8 | 45.1 | 33.6 | 22.3 | 28.0 | 23.6 | 15.8 |
| | 女性-20代以下 | 46 | 87.0 | 89.1 | 45.7 | 30.4 | 26.1 | 26.1 | 19.6 | 19.6 | 32.6 | 10.9 |
| | 女性-30代 | 48 | 85.4 | 79.2 | 58.3 | 33.3 | 37.5 | 25.0 | 16.7 | 12.5 | 25.0 | 2.1 |
| | 女性-40代 | 80 | 90.0 | 92.5 | 61.3 | 46.3 | 47.5 | 31.3 | 21.3 | 22.5 | 36.3 | 12.5 |
| | 女性-50代 | 88 | 95.5 | 90.9 | 67.0 | 67.0 | 54.5 | 27.3 | 21.6 | 30.7 | 22.7 | 12.5 |
| | 女性-60代 | 98 | 96.9 | 89.8 | 68.4 | 61.2 | 50.0 | 33.7 | 23.5 | 30.6 | 18.4 | 20.4 |
| | 女性-70代以上 | 100 | 92.0 | 91.0 | 74.0 | 75.0 | 42.0 | 48.0 | 26.0 | 39.0 | 15.0 | 26.0 |

<調査結果>

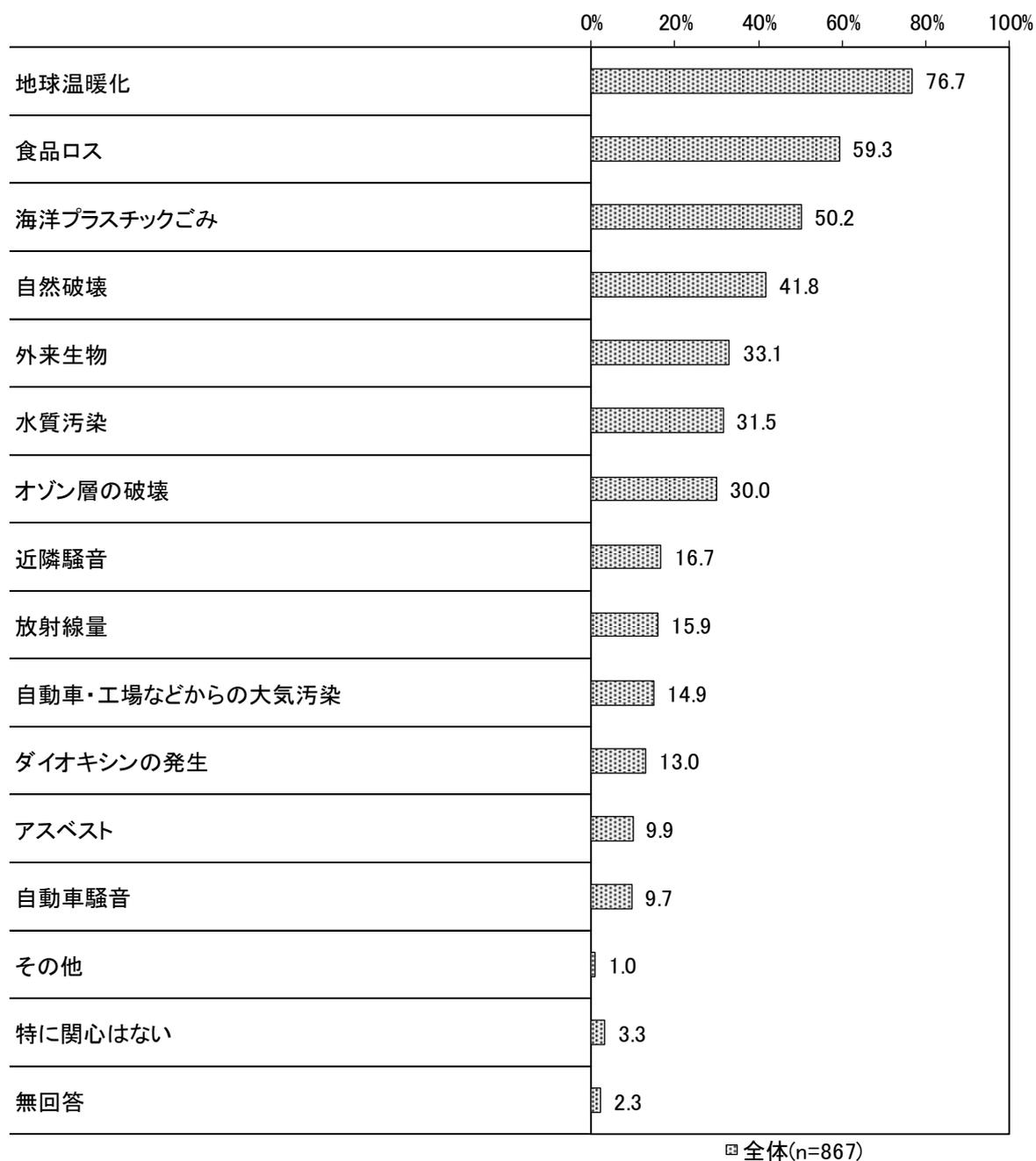
ごみ減量やリサイクルに関して心がけていることについて、「買い物袋を持参している」の割合を性・年齢別に見ると、男性-20代以下(58.1%)が全体よりとても低くなっています。

女性-70代以上は他の年代と比べて、全体の割合を上回っている項目が多く、ごみ減量やリサイクルに対する関心が高い傾向にあります。

(2) 関心のある環境問題

問 27 あなたは環境問題について、最近どのような事柄に関心がありますか。(○はいくつでも)

<図表 27-1> 関心のある環境問題



<調査結果>

関心のある環境問題について聞いたところ、「地球温暖化」(76.7%)が7割半ばと最も高く、次いで、「食品ロス」(59.3%)、「海洋プラスチックごみ」(50.2%)が5割を超えています。

<図表 27-2> 関心のある環境問題(上位 10 項目)／性・年齢別

| | | n | 地球温暖化 | 食品ロス | 海洋プラスチックごみ | 自然破壊 | 外来生物 | 水質汚染 | オゾン層の破壊 | 近隣騒音 | 放射線量 | 自動車・工場などからの大気汚染 |
|-------|----------|-----|-------|------|------------|------|------|------|---------|------|------|-----------------|
| 全体 | | 867 | 76.7 | 59.3 | 50.2 | 41.8 | 33.1 | 31.5 | 30.0 | 16.7 | 15.9 | 14.9 |
| 性・年齢別 | 男性全体 | 381 | 75.6 | 55.4 | 47.2 | 41.2 | 32.8 | 34.6 | 29.4 | 19.7 | 13.6 | 13.4 |
| | 男性-20代以下 | 31 | 64.5 | 35.5 | 41.9 | 32.3 | 25.8 | 35.5 | 35.5 | 29.0 | 19.4 | 16.1 |
| | 男性-30代 | 36 | 52.8 | 52.8 | 38.9 | 47.2 | 30.6 | 27.8 | 13.9 | 27.8 | 5.6 | 5.6 |
| | 男性-40代 | 66 | 71.2 | 50.0 | 37.9 | 34.8 | 37.9 | 36.4 | 18.2 | 25.8 | 19.7 | 16.7 |
| | 男性-50代 | 74 | 77.0 | 51.4 | 47.3 | 40.5 | 27.0 | 35.1 | 32.4 | 14.9 | 8.1 | 10.8 |
| | 男性-60代 | 80 | 80.0 | 56.3 | 56.3 | 37.5 | 32.5 | 30.0 | 38.8 | 15.0 | 13.8 | 13.8 |
| | 男性-70代以上 | 94 | 86.2 | 69.1 | 51.1 | 50.0 | 37.2 | 39.4 | 30.9 | 17.0 | 14.9 | 14.9 |
| | 女性全体 | 461 | 79.0 | 63.6 | 52.5 | 43.0 | 33.6 | 29.7 | 30.4 | 14.5 | 17.6 | 16.7 |
| | 女性-20代以下 | 46 | 67.4 | 60.9 | 37.0 | 32.6 | 28.3 | 28.3 | 19.6 | 10.9 | 4.3 | 15.2 |
| | 女性-30代 | 48 | 62.5 | 56.3 | 47.9 | 33.3 | 25.0 | 22.9 | 18.8 | 16.7 | 22.9 | 25.0 |
| | 女性-40代 | 80 | 78.8 | 61.3 | 47.5 | 45.0 | 31.3 | 32.5 | 36.3 | 17.5 | 20.0 | 23.8 |
| | 女性-50代 | 88 | 84.1 | 65.9 | 54.5 | 45.5 | 33.0 | 21.6 | 29.5 | 14.8 | 12.5 | 9.1 |
| | 女性-60代 | 98 | 86.7 | 73.5 | 58.2 | 41.8 | 37.8 | 31.6 | 37.8 | 16.3 | 23.5 | 18.4 |
| | 女性-70代以上 | 100 | 81.0 | 58.0 | 59.0 | 50.0 | 39.0 | 37.0 | 30.0 | 10.0 | 18.0 | 13.0 |

<調査結果>

関心のある環境問題について、「地球温暖化」の割合を性・年齢別に見ると、女性-60代(86.7%)が全体よりやや高くなっています。一方で、男性-30代(52.8%)が全体より低くなっています。また、男性-20代以下(64.5%)、女性-30代(62.5%)が全体よりやや低くなっています。

「食品ロス」の割合を性・年齢別に見ると、女性-60代(73.5%)が全体よりやや高くなっています。一方で、男性-20代以下(35.5%)が全体より低くなっています。

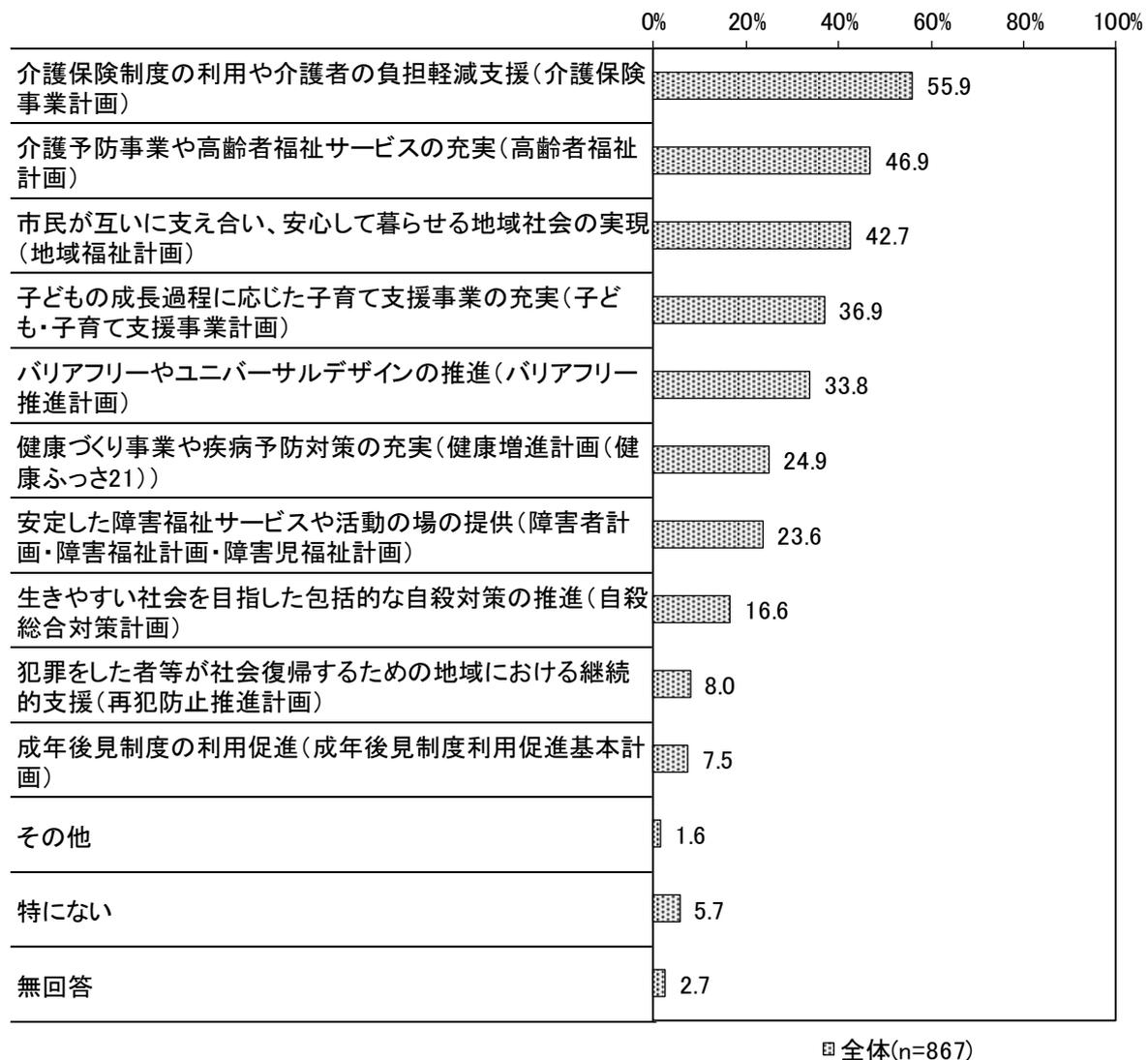
男性の20代以下～30代は複数の項目で全体より割合を下回っていますが、「近隣騒音」についてはそれぞれ全体よりやや高くなっています。

9 福祉社会

(1) 福祉保健分野で特に力を入れて欲しい施策（または、計画）

問 28 福祉保健の分野で、特に力を入れて欲しい施策(または、計画)を次の中から選んでください。(〇はいくつでも)

<図表 28-1>福祉保健分野で特に力を入れて欲しい施策(または、計画)



<調査結果>

福祉保健分野で特に力を入れて欲しい施策（または、計画）について聞いたところ、「介護保険制度の利用や介護者の負担軽減支援（介護保険事業計画）」（55.9%）が5割半ばと最も高く、次いで、「介護予防事業や高齢者福祉サービスの充実（高齢者福祉計画）」（46.9%）、「市民が互いに支え合い、安心して暮らせる地域社会の実現（地域福祉計画）」（42.7%）が4割を超えています。

<図表 28-2> 福祉保健分野で特に力を入れて欲しい施策(または、計画)(上位 10 項目)／性・年齢別

| | n | 介護保険制度の利用や介護者の負担軽減支援（介護保険事業計画） | 介護予防事業や高齢者福祉サービスの充実（高齢者福祉計画） | 市民が互いに支え合い、安心して暮らせる地域社会の実現（地域福祉計画） | 子どもの成長過程に応じた子育て支援事業の充実（子ども・子育て支援事業計画） | バリアフリーやユニバーサルデザインの推進（バリアフリー推進計画） | 健康づくり事業や疾病予防対策の充実（健康増進計画（健康ふっさ21）） | 障害者計画・障害福祉計画・障害児福祉計画（障害者計画） | 安定した障害福祉サービスや活動の場の提供（障害者計画・障害福祉計画） | 生きやすい社会を目指した包括的な自殺対策の推進（自殺総合対策計画） | 犯罪をした者等が社会復帰するための地域における継続的支援（再犯防止推進計画） | 成年後見制度の利用促進（成年後見制度利用促進基本計画） |
|----------|----------|--------------------------------|------------------------------|------------------------------------|---------------------------------------|----------------------------------|------------------------------------|-----------------------------|------------------------------------|-----------------------------------|--|-----------------------------|
| 全体 | 867 | 55.9 | 46.9 | 42.7 | 36.9 | 33.8 | 24.9 | 23.6 | 16.6 | 8.0 | 7.5 | |
| 性・年齢別 | 男性全体 | 381 | 52.5 | 45.4 | 43.0 | 37.0 | 34.6 | 24.1 | 23.9 | 12.9 | 7.6 | 7.6 |
| | 男性-20代以下 | 31 | 35.5 | 22.6 | 29.0 | 58.1 | 35.5 | 19.4 | 6.5 | 19.4 | 9.7 | 6.5 |
| | 男性-30代 | 36 | 41.7 | 36.1 | 22.2 | 55.6 | 30.6 | 19.4 | 13.9 | 19.4 | 5.6 | 5.6 |
| | 男性-40代 | 66 | 45.5 | 31.8 | 40.9 | 53.0 | 31.8 | 27.3 | 24.2 | 12.1 | 7.6 | 10.6 |
| | 男性-50代 | 74 | 55.4 | 48.6 | 58.1 | 25.7 | 36.5 | 18.9 | 27.0 | 13.5 | 5.4 | 4.1 |
| | 男性-60代 | 80 | 57.5 | 51.3 | 36.3 | 27.5 | 35.0 | 25.0 | 27.5 | 10.0 | 6.3 | 5.0 |
| | 男性-70代以上 | 94 | 60.6 | 58.5 | 51.1 | 28.7 | 36.2 | 28.7 | 27.7 | 10.6 | 10.6 | 11.7 |
| | 女性全体 | 461 | 59.0 | 48.2 | 42.7 | 37.1 | 33.4 | 25.8 | 23.2 | 19.7 | 7.8 | 7.6 |
| | 女性-20代以下 | 46 | 45.7 | 34.8 | 32.6 | 52.2 | 37.0 | 23.9 | 30.4 | 30.4 | 4.3 | 8.7 |
| | 女性-30代 | 48 | 37.5 | 27.1 | 31.3 | 60.4 | 20.8 | 12.5 | 14.6 | 20.8 | 4.2 | 2.1 |
| | 女性-40代 | 80 | 50.0 | 42.5 | 37.5 | 47.5 | 36.3 | 22.5 | 20.0 | 22.5 | 7.5 | 6.3 |
| | 女性-50代 | 88 | 59.1 | 53.4 | 40.9 | 25.0 | 33.0 | 21.6 | 27.3 | 19.3 | 6.8 | 5.7 |
| | 女性-60代 | 98 | 73.5 | 55.1 | 42.9 | 30.6 | 34.7 | 25.5 | 24.5 | 13.3 | 6.1 | 11.2 |
| 女性-70代以上 | 100 | 69.0 | 58.0 | 59.0 | 28.0 | 35.0 | 40.0 | 21.0 | 19.0 | 14.0 | 9.0 | |

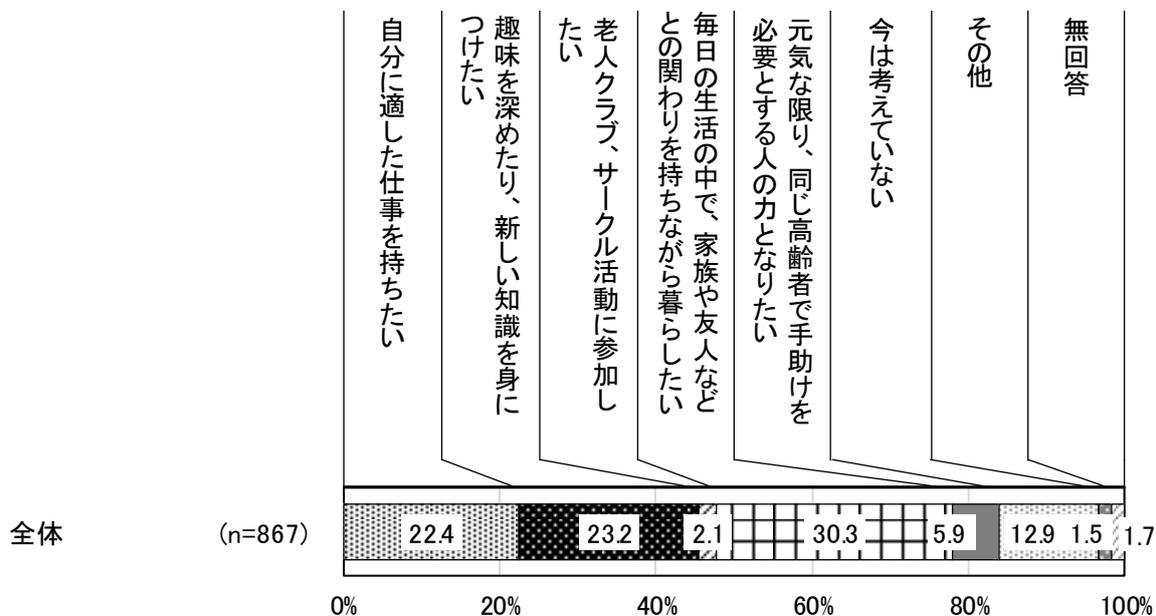
<調査結果>

福祉保健分野で特に力を入れて欲しい施策（または、計画）について、「生きやすい社会を目指した包括的な自殺対策の推進（自殺総合対策計画）」の割合を性・年齢別に見ると、女性-20代以下（30.4%）が全体よりやや高くなっています。男性・女性共に20代以下～30代の若年層は介護や高齢者福祉、地域福祉に関する割合が低い傾向にあります。

(2) 高齢期の過ごし方

問 29 あなたは、高齢期をどのように暮らしていきたいと思いますか。次の中からあなたの考えに最も近いものを選んでください。(○は1つ)

<図表 29-1> 高齢期の過ごし方

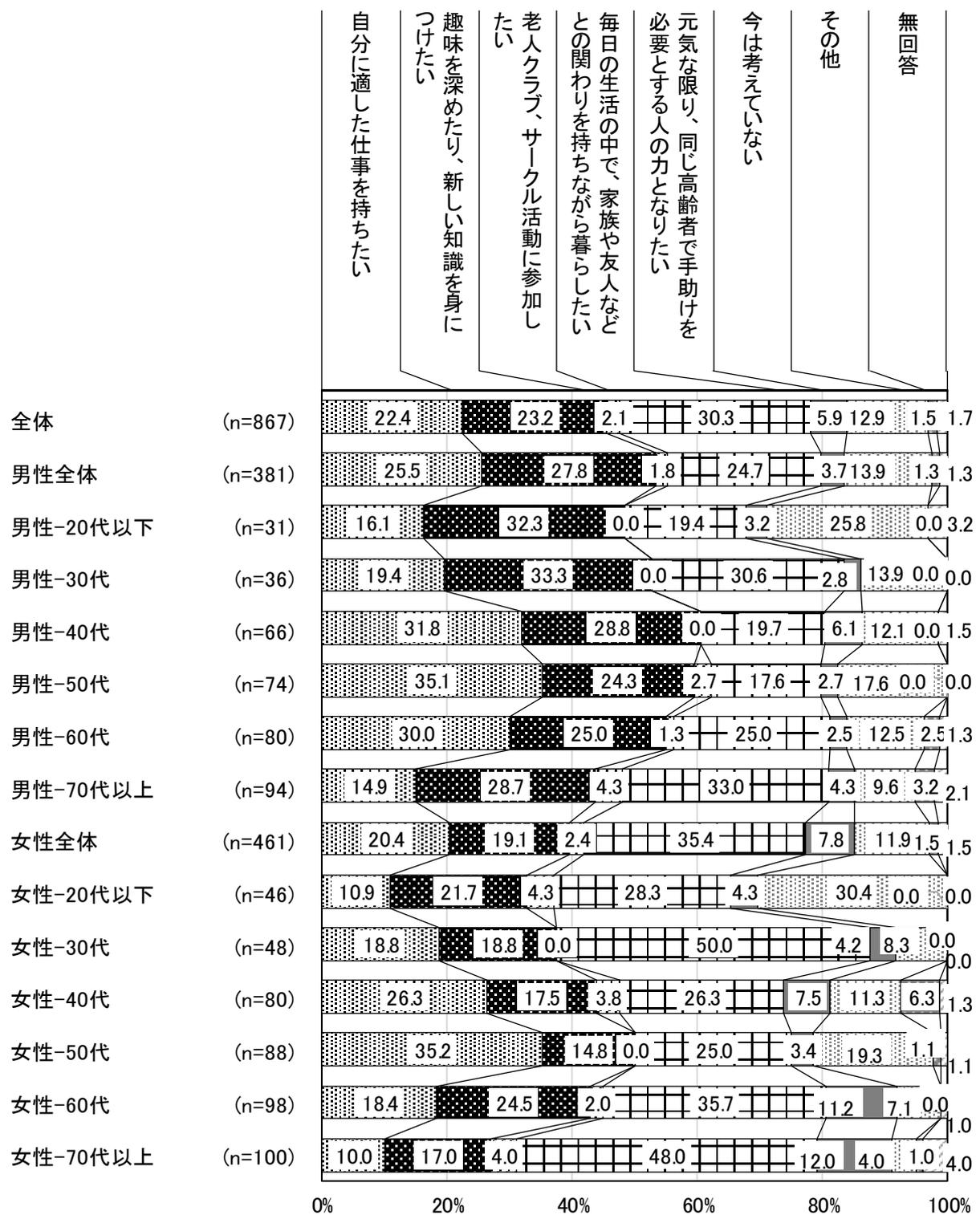


<調査結果>

高齢期の過ごし方について聞いたところ、「毎日の生活の中で、家族や友人などとの関わりを持ちながら暮らしたい」(30.3%)が約3割と最も高く、次いで、「趣味を深めたり、新しい知識を身につけたい」(23.2%)、「自分に適した仕事を持ちたい」(22.4%)となっています。

「今は考えていない」(12.9%)という回答も1割以上見られます。

<図表 29-2> 高齢期の過ごし方／性・年齢別



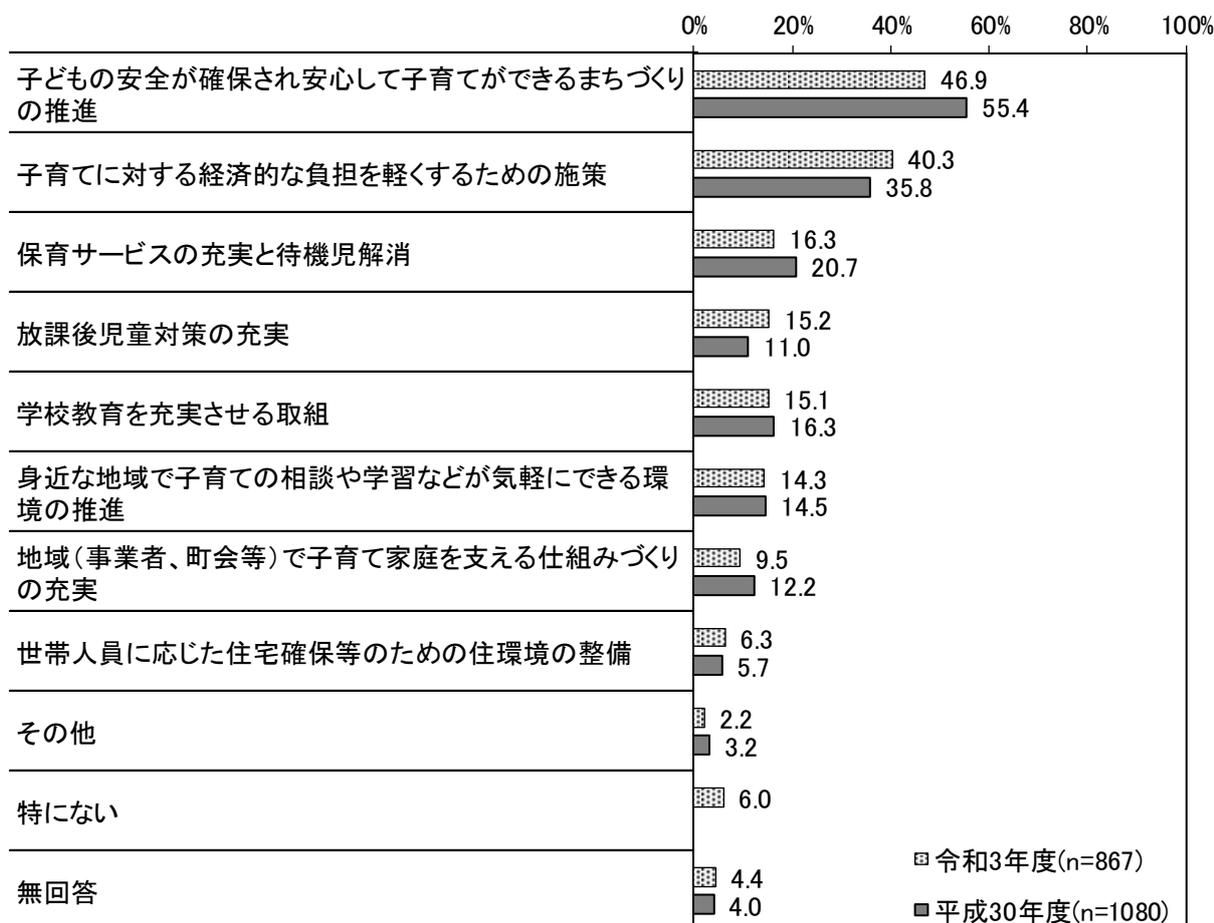
<調査結果>

高齢期の過ごし方について、「毎日の生活の中で、家族や友人などとの関わりを持ちながら暮らしたい」は女性-70代以上（48.0%）が全体の割合と比べて高くなっています。「自分に適した仕事を持ちたい」の割合は男性・女性共に50代（男性35.1%）（女性35.2%）をピークに低下する傾向が見られます。

(3) 子育てしやすいまちづくりに向けて必要であると思う施策

問 30 「子育てするなら ふっさ」と実感できる社会環境づくりのためには、どのような施策が必要だと思いますか。(〇は2つまで)

<図表 30-1>子育てしやすいまちづくりに向けて必要であると思う施策



※「特にない」は令和3年度から新規

<調査結果>

子育てしやすいまちづくりに向けて必要であると思う施策について聞いたところ、「子どもの安全が確保され安心して子育てができるまちづくりの推進」(46.9%)が4割半ばと最も高く、次いで、「子育てに対する経済的な負担を軽くするための施策」(40.3%)が約4割となっています。

「子育てに対する経済的な負担を軽くするための施策」は平成30年度(35.8%)から令和3年度(40.3%)にかけて4.5ポイント上昇しています。また、「放課後児童対策の充実」は平成30年度(11.0%)から令和3年度(15.2%)にかけて4.2ポイント上昇しています。

<図表 30-2>子育てしやすいまちづくりに向けて必要であると思う施策(上位 10 項目)/ライフステージ別

| | n | 子どもが安全が確保され安心して子育てができるまちづくりの推進 | 子育てに対する経済的な負担を軽くするための施策 | 保育サービスの充実と待機児解消 | 放課後児童対策の充実 | 学校教育を充実させる取組 | 身近な地域で子育ての相談や学習などが気軽にできる環境の推進 | 地域（事業者、町会等）で子育て家庭を支える仕組みづくりの充実 | 世帯人員に応じた住宅確保等のための住環境の整備 | その他 | 特になし | |
|----------|--------|--------------------------------|-------------------------|-----------------|------------|--------------|-------------------------------|--------------------------------|-------------------------|-----|------|------|
| 全体 | 867 | 46.9 | 40.3 | 16.3 | 15.2 | 15.1 | 14.3 | 9.5 | 6.3 | 2.2 | 6.0 | |
| ライフステージ別 | 独身期 | 94 | 36.2 | 51.1 | 21.3 | 14.9 | 13.8 | 10.6 | 8.5 | 9.6 | 2.1 | 8.5 |
| | 家族形成期 | 119 | 40.3 | 59.7 | 19.3 | 16.0 | 16.8 | 9.2 | 8.4 | 6.7 | 3.4 | 5.0 |
| | 家族成長前期 | 66 | 59.1 | 40.9 | 4.5 | 15.2 | 37.9 | 10.6 | 4.5 | 4.5 | 6.1 | 1.5 |
| | 家族成長後期 | 55 | 36.4 | 52.7 | 12.7 | 16.4 | 23.6 | 9.1 | 20.0 | 9.1 | 5.5 | 0.0 |
| | 家族成熟期 | 218 | 52.3 | 37.2 | 18.3 | 15.6 | 13.8 | 16.1 | 9.2 | 6.0 | 1.4 | 3.7 |
| | 高齢期 | 60 | 46.7 | 38.3 | 16.7 | 18.3 | 13.3 | 11.7 | 6.7 | 0.0 | 0.0 | 3.3 |
| | 高齢者世帯 | 138 | 51.4 | 35.5 | 15.9 | 15.2 | 8.0 | 20.3 | 13.0 | 3.6 | 0.7 | 5.1 |
| | その他 | 154 | 40.3 | 30.5 | 19.5 | 15.6 | 13.0 | 14.3 | 7.8 | 9.7 | 2.6 | 11.0 |

<調査結果>

子育てしやすいまちづくりに向けて必要であると思う施策について、独身期と全体の割合を比較すると、「子育てに対する経済的な負担を軽くするための施策」(51.1%)が全体よりやや高くなっています。

家族形成期と全体の割合を比較すると、「子育てに対する経済的な負担を軽くするための施策」(59.7%)が全体より高くなっています。

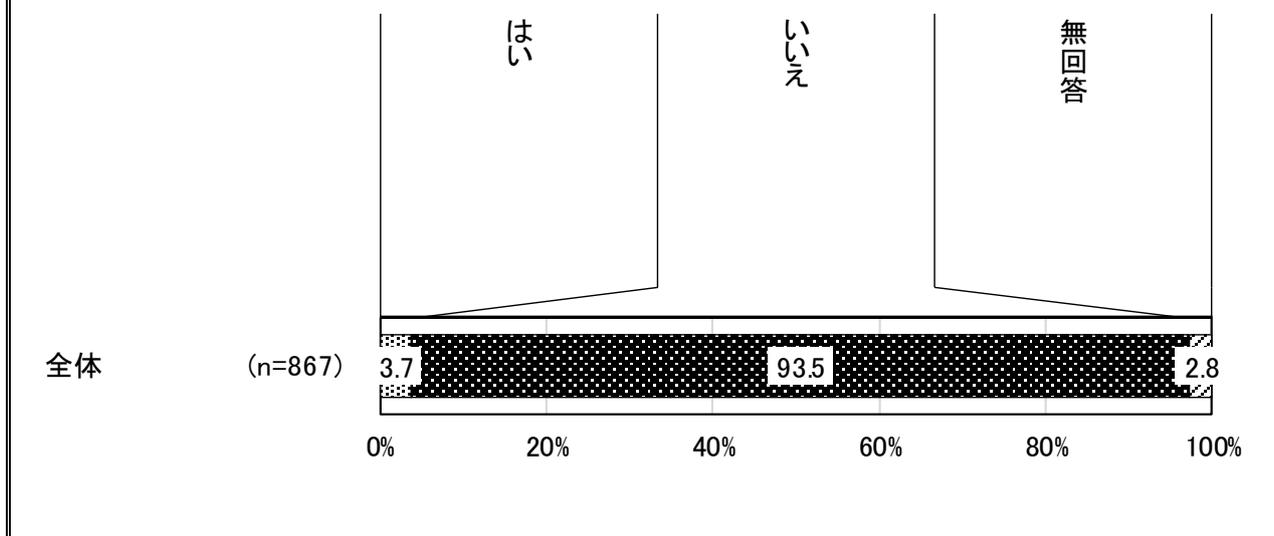
家族成長前期と全体の割合を比較すると、「子どもの安全が確保され安心して子育てができるまちづくりの推進」(59.1%)が全体よりやや高く、「学校教育を充実させる取組」(37.9%)が全体より高くなっています。

独身期や家族形成期といったライフステージが若年層では「子育てに対する経済的な負担を軽くするための施策」が高い傾向にありますが、子どもが成長するに依りて、家族成長前期では「子どもの安全が確保され安心して子育てができるまちづくりの推進」や「学校教育を充実させる取組」、家族成長後期では「地域（事業者、町会等）で子育て家庭を支える仕組みづくりの充実」など、異なるニーズが見られます。

(4) ひきこもりの方の有無

問 31 あなたの世帯にひきこもりの方はいますか。(○は1つ)

<図表 31-1> ひきこもりの方の有無



<調査結果>

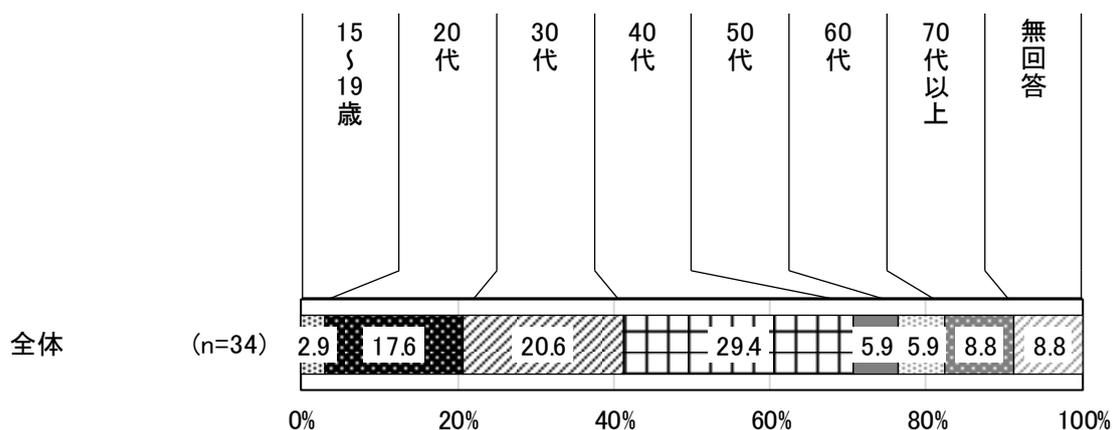
ひきこもりの方の有無について聞いたところ、「はい」が3.7%、「いいえ」が93.5%となっています。

(5) ひきこもりの方の状況

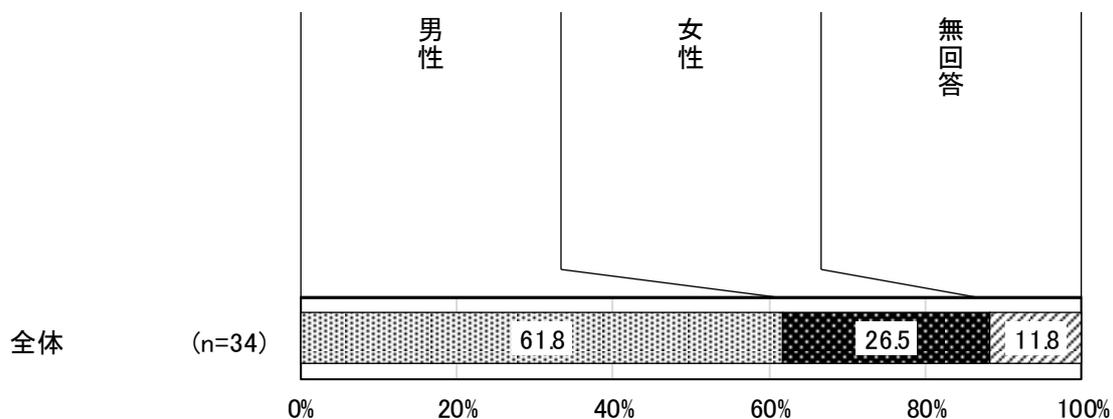
問 31 で「1 はい」と回答した方に伺います。

問 31 -1 ひきこもりの方の次の項目について、それぞれ1つずつ番号を選び、下の枠に①～⑤についてそれぞれあてはまる番号を記入してください。(最大3人まで)

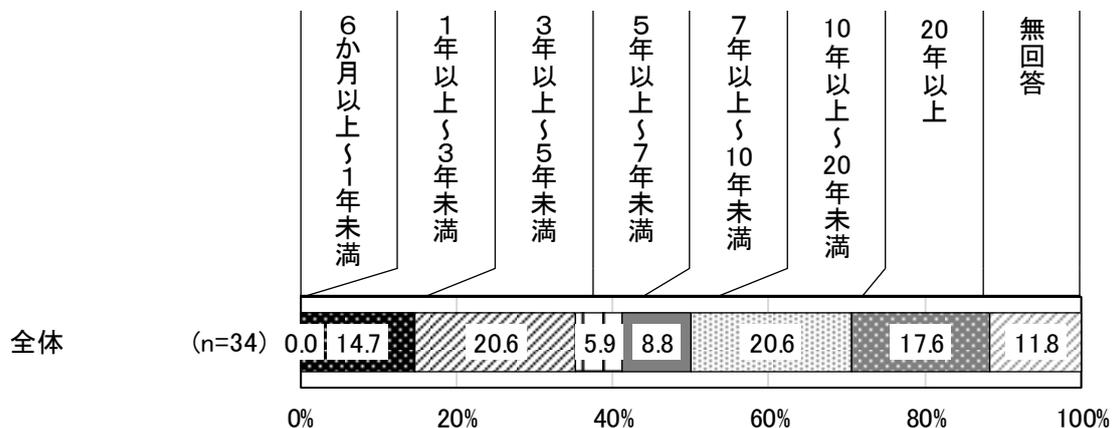
<図表 31-1-1> ひきこもりの方の状況①年齢



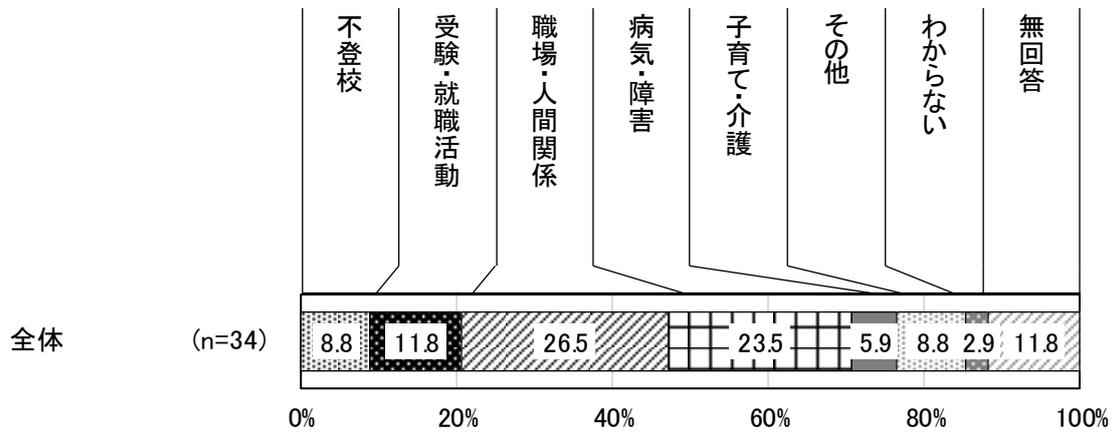
<図表 31-1-2> ひきこもりの方の状況②性別



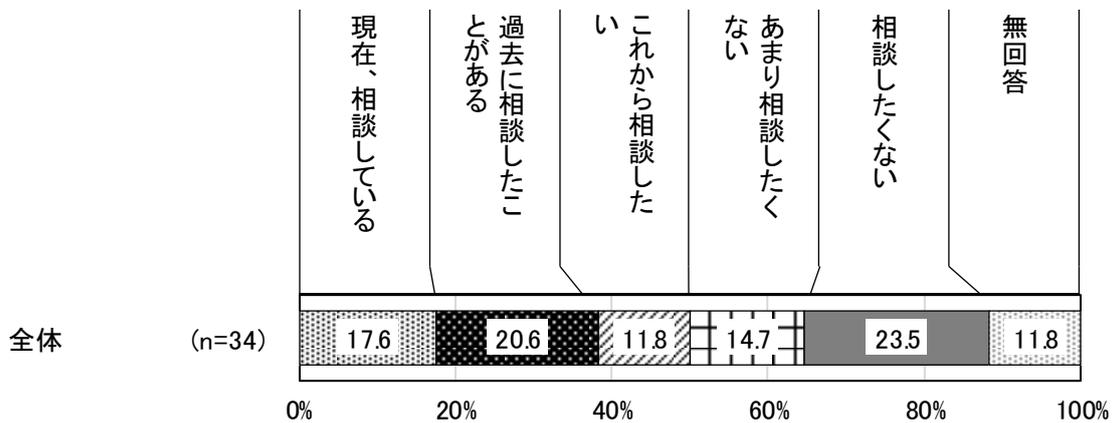
<図表 31-1-3> ひきこもりの方の状況③ひきこもり期間



<図表 31-1-4>ひきこもりの方の状況④きっかけ



<図表 31-1-5>ひきこもりの方の状況⑤相談の有無



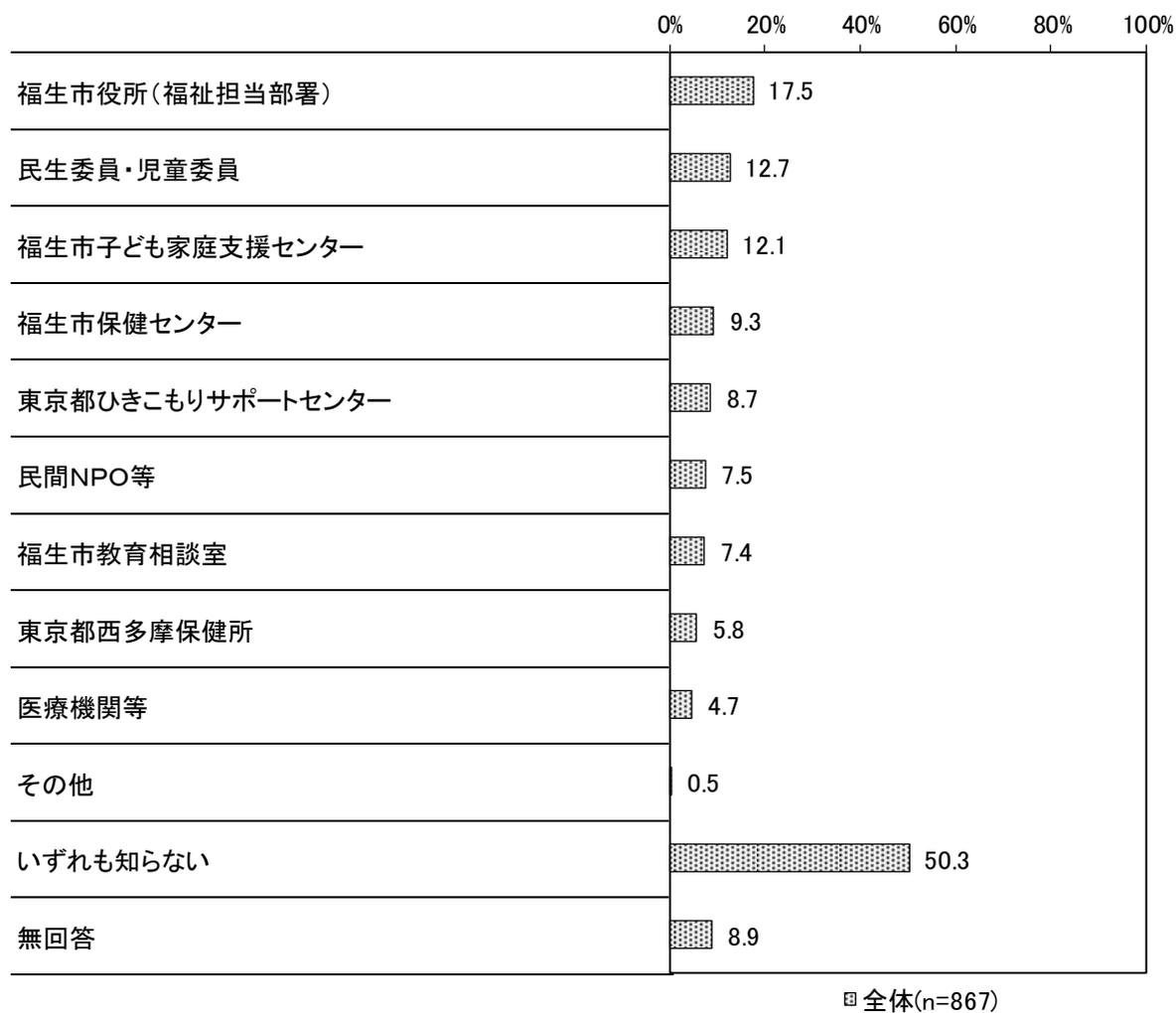
<調査結果>

ひきこもりの方の状況として、相談の有無について聞いたところ、「相談したくない」(23.5%)が2割半ばと最も高く、次いで、「過去に相談したことがある」(20.6%)、「現在、相談している」(17.6%)となっています。

(6) 知っているひきこもりの相談機関

問 32 あなたが知っているひきこもりの相談機関を選んでください。(〇はいくつでも)

<図表 32-1> 知っているひきこもりの相談機関



<調査結果>

知っているひきこもりの相談機関について聞いたところ、「いずれも知らない」(50.3%)が約5割と最も高く、次いで、「福生市役所(福祉担当部署)」(17.5%)、「民生委員・児童委員」(12.7%)、「福生市子ども家庭支援センター」(12.1%)が1割以上となっています。

<図表 32-2>知っているひきこもりの相談機関(上位 10 項目)／性・年齢別

| | | n | 福生市役所 (福祉担当部署) | 民生委員・児童委員 | 福生市子ども家庭支援センター | 福生市保健センター | 東京都ひきこもりサポートセンター | 民間NPO等 | 福生市教育相談室 | 東京都西多摩保健所 | 医療機関等 | その他 |
|-------|----------|-----|-------------------|-----------|----------------|-----------|------------------|--------|----------|-----------|-------|-----|
| 全体 | | 867 | 17.5 | 12.7 | 12.1 | 9.3 | 8.7 | 7.5 | 7.4 | 5.8 | 4.7 | 0.5 |
| 性・年齢別 | 男性全体 | 381 | 19.2 | 11.5 | 11.3 | 8.9 | 9.2 | 6.8 | 5.5 | 6.8 | 2.6 | 0.5 |
| | 男性-20代以下 | 31 | 16.1 | 12.9 | 25.8 | 3.2 | 9.7 | 12.9 | 9.7 | 3.2 | 9.7 | 0.0 |
| | 男性-30代 | 36 | 13.9 | 8.3 | 13.9 | 11.1 | 8.3 | 16.7 | 2.8 | 13.9 | 2.8 | 0.0 |
| | 男性-40代 | 66 | 16.7 | 6.1 | 12.1 | 15.2 | 10.6 | 6.1 | 6.1 | 12.1 | 1.5 | 0.0 |
| | 男性-50代 | 74 | 16.2 | 6.8 | 9.5 | 4.1 | 9.5 | 2.7 | 2.7 | 2.7 | 4.1 | 1.4 |
| | 男性-60代 | 80 | 20.0 | 15.0 | 10.0 | 8.8 | 6.3 | 6.3 | 3.8 | 7.5 | 1.3 | 0.0 |
| | 男性-70代以上 | 94 | 25.5 | 17.0 | 7.4 | 9.6 | 10.6 | 5.3 | 8.5 | 4.3 | 1.1 | 1.1 |
| | 女性全体 | 461 | 16.5 | 13.7 | 12.8 | 9.8 | 8.0 | 8.2 | 9.1 | 5.0 | 6.1 | 0.4 |
| | 女性-20代以下 | 46 | 10.9 | 2.2 | 8.7 | 0.0 | 0.0 | 8.7 | 6.5 | 0.0 | 0.0 | 0.0 |
| | 女性-30代 | 48 | 12.5 | 2.1 | 10.4 | 6.3 | 8.3 | 6.3 | 4.2 | 4.2 | 8.3 | 0.0 |
| | 女性-40代 | 80 | 16.3 | 11.3 | 20.0 | 15.0 | 2.5 | 12.5 | 12.5 | 3.8 | 7.5 | 0.0 |
| | 女性-50代 | 88 | 13.6 | 13.6 | 11.4 | 10.2 | 4.5 | 3.4 | 10.2 | 3.4 | 4.5 | 0.0 |
| | 女性-60代 | 98 | 18.4 | 18.4 | 13.3 | 8.2 | 12.2 | 11.2 | 8.2 | 11.2 | 8.2 | 1.0 |
| | 女性-70代以上 | 100 | 22.0 | 22.0 | 11.0 | 13.0 | 15.0 | 7.0 | 10.0 | 4.0 | 5.0 | 1.0 |

<調査結果>

知っているひきこもりの相談機関について、「民生委員・児童委員」の割合を性・年齢別に見ると、女性-20代以下(2.2%)、女性-30代(2.1%)が全体よりやや低くなっています。

「福生市子ども家庭支援センター」の割合を性・年齢別に見ると、男性-20代以下(25.8%)が全体よりやや高くなっています。

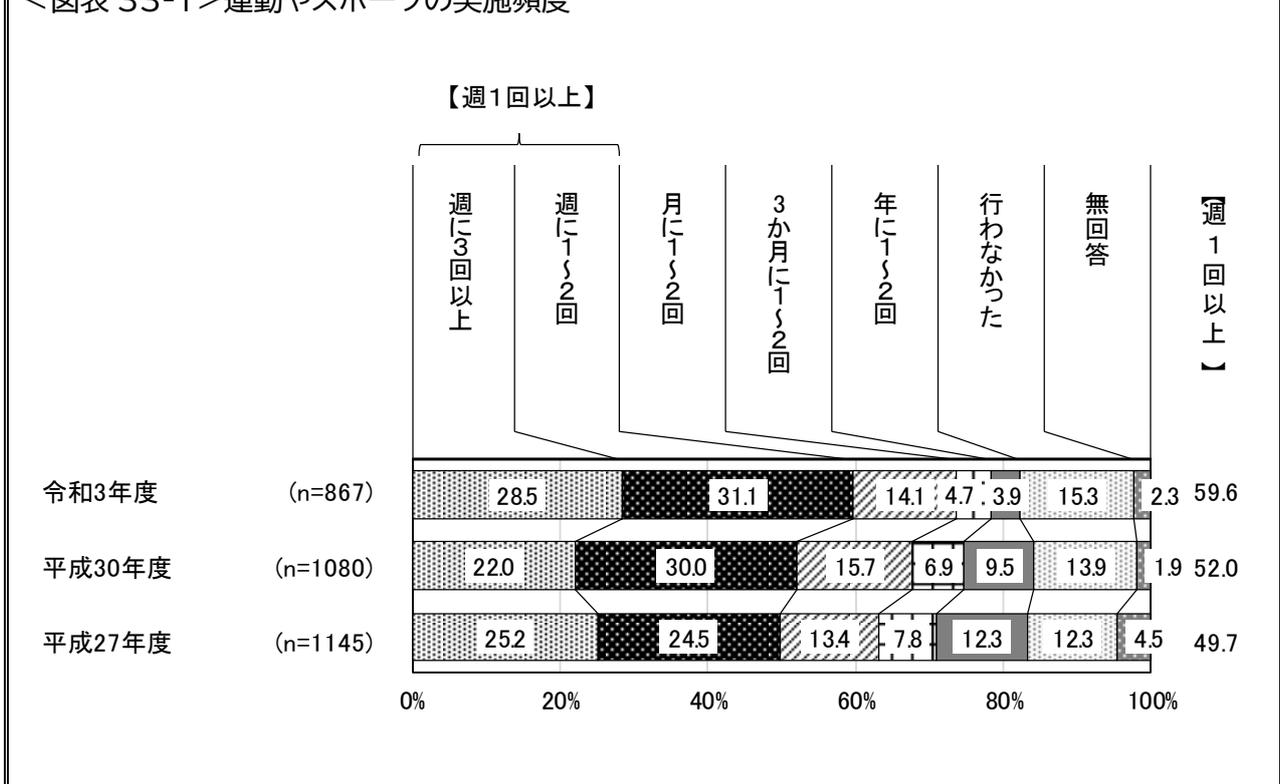
10 生涯学習

(1) 運動やスポーツの実施頻度

問 33 あなたは最近の1年間にどのくらいの頻度で運動やスポーツを行いましたか。(○は1つ)

※軽い運動(散歩、ウォーキング、軽体操、ヨガ、ボーリング、ゴルフ等)を含みます。

<図表 33-1>運動やスポーツの実施頻度

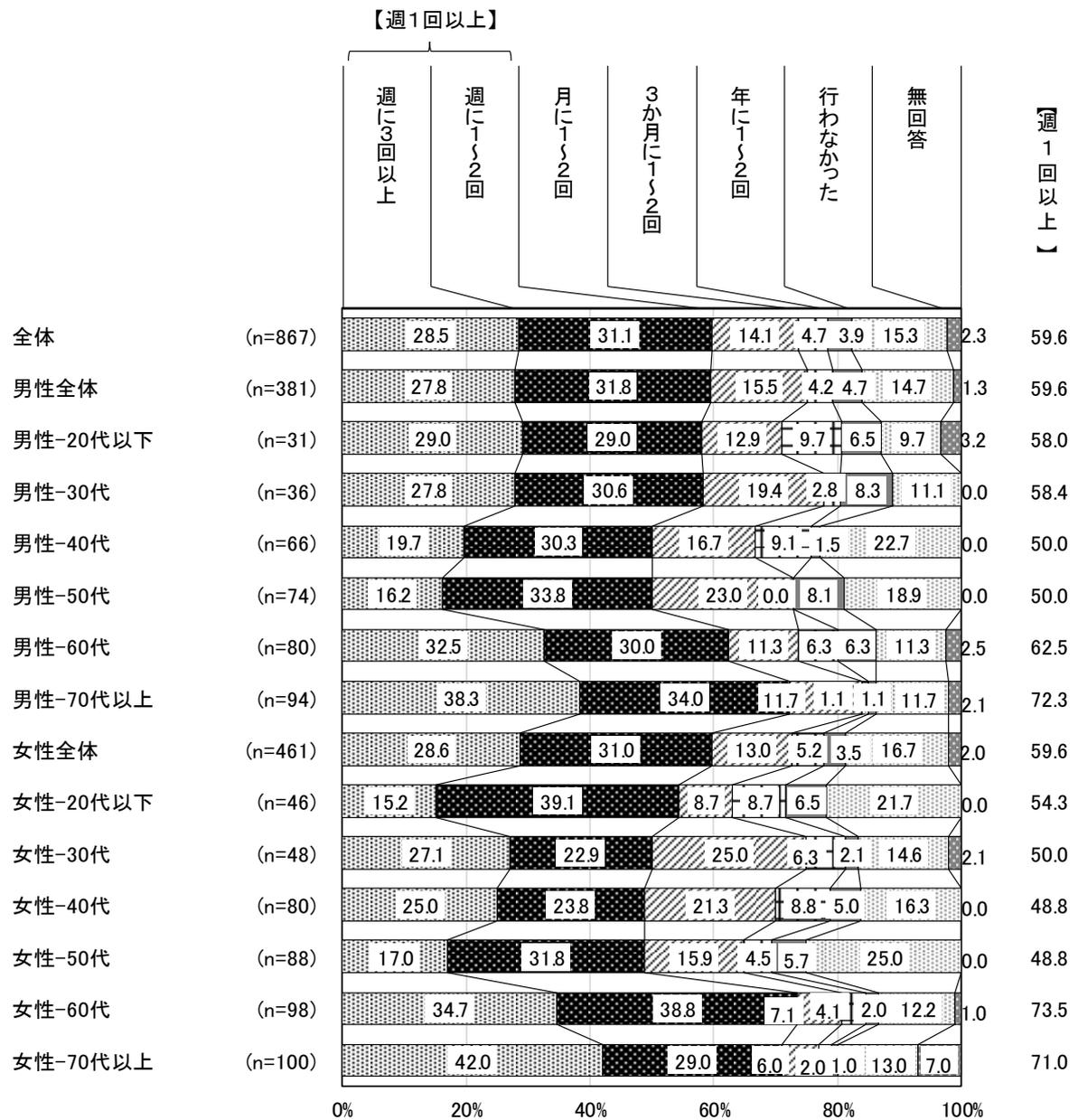


<調査結果>

運動やスポーツの実施頻度について聞いたところ、「週に1~2回」(31.1%)が3割以上と最も高く、次いで、「週に3回以上」(28.5%)、「行わなかった」(15.3%)となっています。

「週に3回以上」(28.5%)と「週に1~2回」(31.1%)を合計した【週1回以上】(59.6%)が約6割となっています。平成30年度(52.0%)から令和3年度(59.6%)にかけて7.6ポイント上昇しています。

<図表 33-2> 運動やスポーツの実施頻度／性・年齢別



<調査結果>

運動やスポーツの実施頻度について性・年齢別に見ると、【週1回以上】の割合は、女性-60代（73.5%）が最も高く7割半ばとなっています。また、男性-70代以上（72.3%）、女性-70代以上（71.0%）が7割以上となっています。一方で、女性-40代（48.8%）、女性-50代（48.8%）が最も低く4割後半となっています。

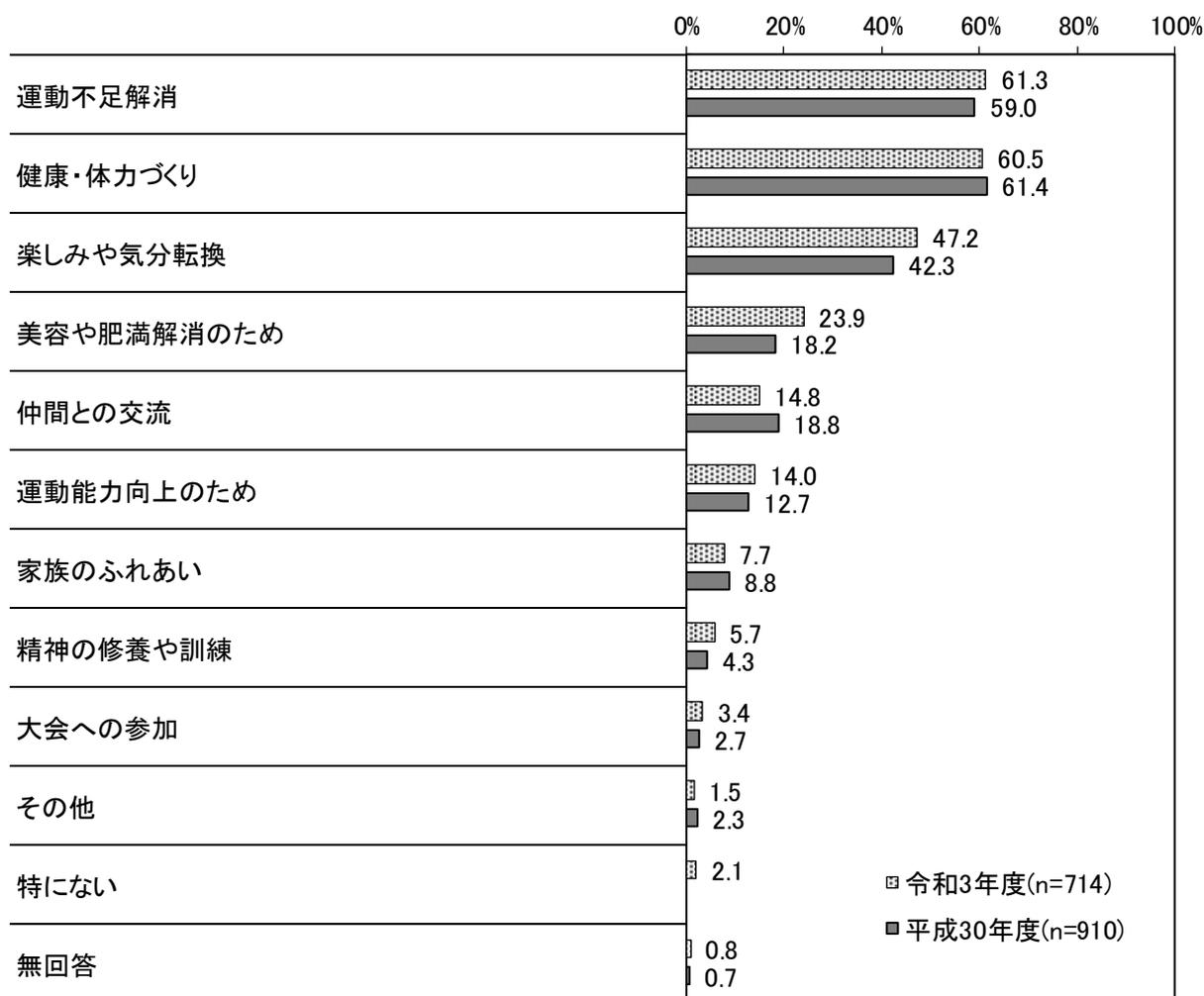
【週1回以上】の割合は、男性・女性共に40代・50代（男性50.0%）（女性48.8%）が他の年代と比べて低くなっており、それ以降は年代が上がるにつれておおむね上昇する傾向が見られます。

(2) 運動する目的

問 33 で、「6 行わなかった」と回答した以外の方に伺います。

問 33 -1 運動する目的は何ですか。(〇はいくつでも)

<図表 33-1-1>運動する目的



※「特にない」は令和3年度から新規

<調査結果>

運動する目的について聞いたところ、「運動不足解消」(61.3%)、「健康・体力づくり」(60.5%)、が6割以上となっています。次いで、「楽しみや気分転換」(47.2%)が4割後半となっています。

「美容や肥満解消のため」は平成30年度(18.2%)から令和3年度(23.9%)にかけて5.7ポイント上昇しています。

<図表 33-1-2> 運動する目的(上位 10 項目)／性・年齢別

| | | n | 運動不足解消 | 健康・体力づくり | 楽しみや気分転換 | 美容や肥満解消のため | 仲間との交流 | 運動能力向上のため | 家族のふれあい | 精神の修養や訓練 | 大会への参加 | その他 |
|-------|----------|-----|--------|----------|----------|------------|--------|-----------|---------|----------|--------|-----|
| 全体 | | 714 | 61.3 | 60.5 | 47.2 | 23.9 | 14.8 | 14.0 | 7.7 | 5.7 | 3.4 | 1.5 |
| 性・年齢別 | 男性全体 | 320 | 57.5 | 61.6 | 50.3 | 14.7 | 14.4 | 17.2 | 5.3 | 7.8 | 5.0 | 1.3 |
| | 男性-20代以下 | 27 | 51.9 | 44.4 | 44.4 | 22.2 | 7.4 | 18.5 | 3.7 | 7.4 | 18.5 | 3.7 |
| | 男性-30代 | 32 | 46.9 | 56.3 | 56.3 | 12.5 | 12.5 | 18.8 | 18.8 | 21.9 | 12.5 | 3.1 |
| | 男性-40代 | 51 | 52.9 | 58.8 | 45.1 | 27.5 | 17.6 | 11.8 | 11.8 | 7.8 | 0.0 | 2.0 |
| | 男性-50代 | 60 | 60.0 | 55.0 | 61.7 | 23.3 | 18.3 | 13.3 | 0.0 | 11.7 | 6.7 | 0.0 |
| | 男性-60代 | 69 | 53.6 | 66.7 | 39.1 | 8.7 | 4.3 | 13.0 | 1.4 | 0.0 | 1.4 | 1.4 |
| | 男性-70代以上 | 81 | 67.9 | 71.6 | 54.3 | 3.7 | 21.0 | 25.9 | 3.7 | 6.2 | 2.5 | 0.0 |
| | 女性全体 | 375 | 65.1 | 59.2 | 45.3 | 32.3 | 13.9 | 10.9 | 9.6 | 4.0 | 2.1 | 1.9 |
| | 女性-20代以下 | 36 | 61.1 | 58.3 | 47.2 | 55.6 | 8.3 | 11.1 | 5.6 | 5.6 | 2.8 | 5.6 |
| | 女性-30代 | 40 | 50.0 | 40.0 | 47.5 | 47.5 | 7.5 | 5.0 | 25.0 | 10.0 | 2.5 | 5.0 |
| | 女性-40代 | 67 | 70.1 | 52.2 | 43.3 | 40.3 | 6.0 | 13.4 | 16.4 | 7.5 | 0.0 | 1.5 |
| | 女性-50代 | 66 | 69.7 | 57.6 | 39.4 | 31.8 | 7.6 | 4.5 | 6.1 | 1.5 | 0.0 | 1.5 |
| | 女性-60代 | 85 | 68.2 | 63.5 | 41.2 | 27.1 | 10.6 | 11.8 | 3.5 | 1.2 | 3.5 | 0.0 |
| | 女性-70代以上 | 80 | 63.8 | 72.5 | 55.0 | 13.8 | 35.0 | 15.0 | 7.5 | 2.5 | 3.8 | 1.3 |

<調査結果>

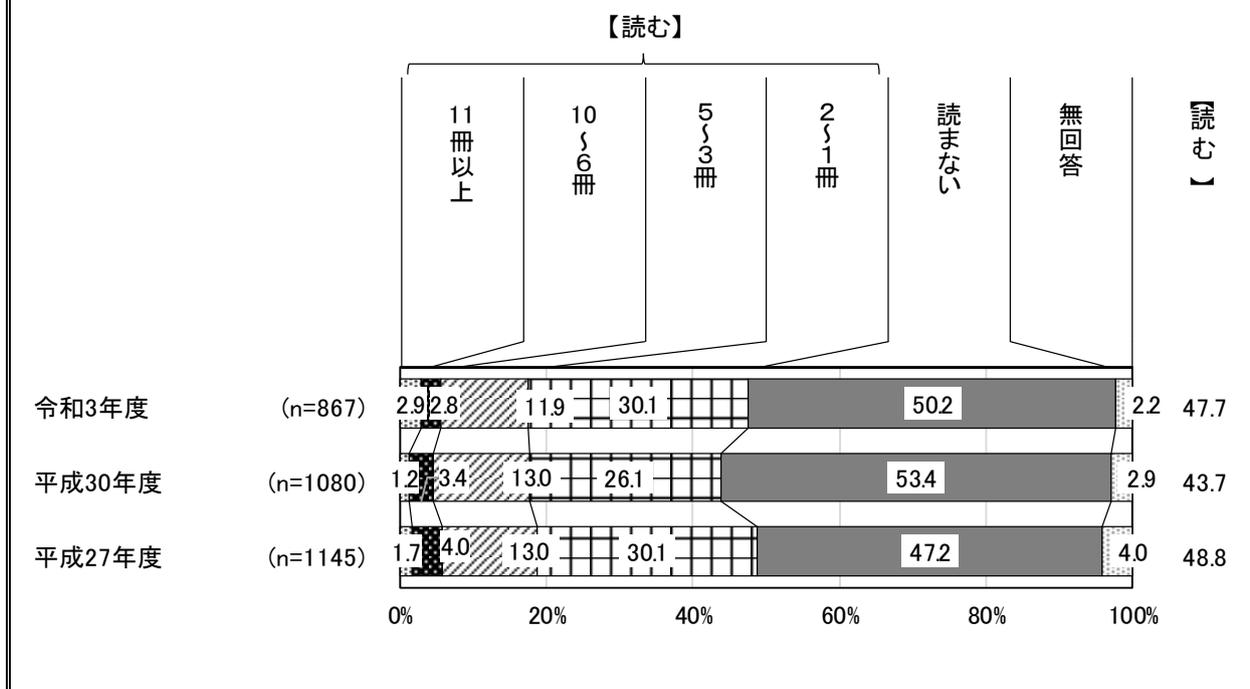
運動する目的について、「美容や肥満解消のため」の割合を性・年齢別に見ると、女性-20代以下(55.6%)が全体よりとても高く、女性-30代(47.5%)、女性-40代(40.3%)が全体より高くなっています。一方で、男性-60代(8.7%)、男性-70代以上(3.7%)が全体より低くなっています。

女性の若年層は「美容や肥満解消のため」に運動する傾向が見られ、男性・女性共に30代(男性18.8%)(女性25.0%)では「家族のふれあい」を目的として、男性・女性共に70代以上(男性71.6%)(女性72.5%)では「健康・体力づくり」のために運動する傾向が見られます。

(3) 1か月間の平均読書冊数

問 34 あなたは1か月間に平均何冊の本を読みますか。(○は1つ)

<図表 34-1> 1か月間の平均読書冊数



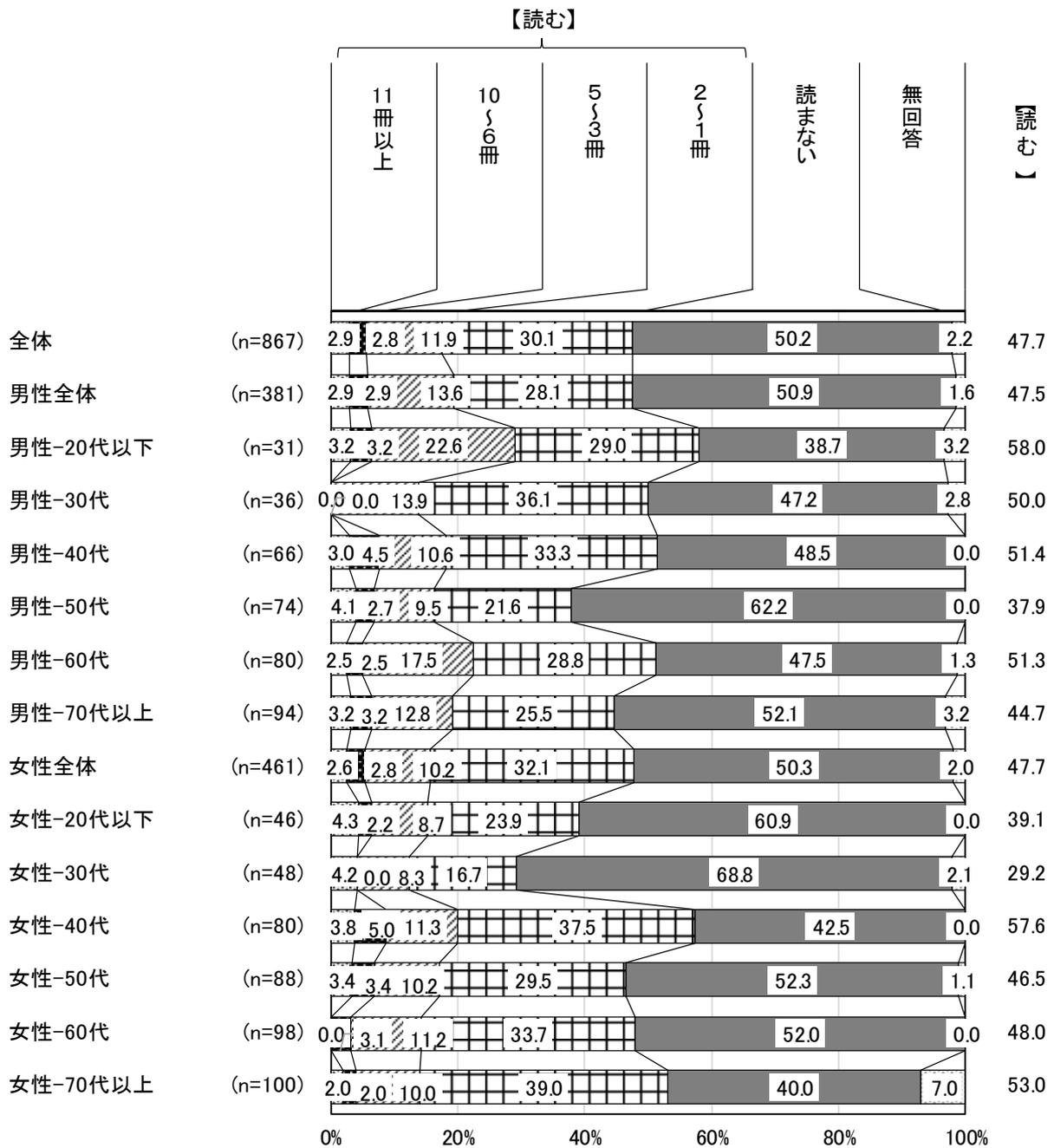
<調査結果>

1か月間の平均読書冊数について聞いたところ、「読まない」(50.2%)が約5割と最も高く、次いで、「2～1冊」(30.1%)、「5～3冊」(11.9%)となっています。

「11冊以上」(2.9%)と「10～6冊」(2.8%)と「5～3冊」(11.9%)と「2～1冊」(30.1%)を合計した【読む】(47.7%)が4割後半となっています。

【読む】の割合について過年度の推移を見ると、平成30年度(43.7%)から令和3年度(47.7%)にかけて4.0ポイント上昇していますが、平成27年度から比べると大きな変化は見られません。

<図表 34-2> 1か月間の平均読書冊数／性・年齢別



<調査結果>

1か月間の平均読書冊数について性・年齢別に見ると、【読む】の割合は、男性-20代以下(58.0%)が最も高く5割後半となっています。次いで、女性-40代(57.6%)も5割後半となっています。一方で、女性-30代(29.2%)が最も低く約3割となっています。

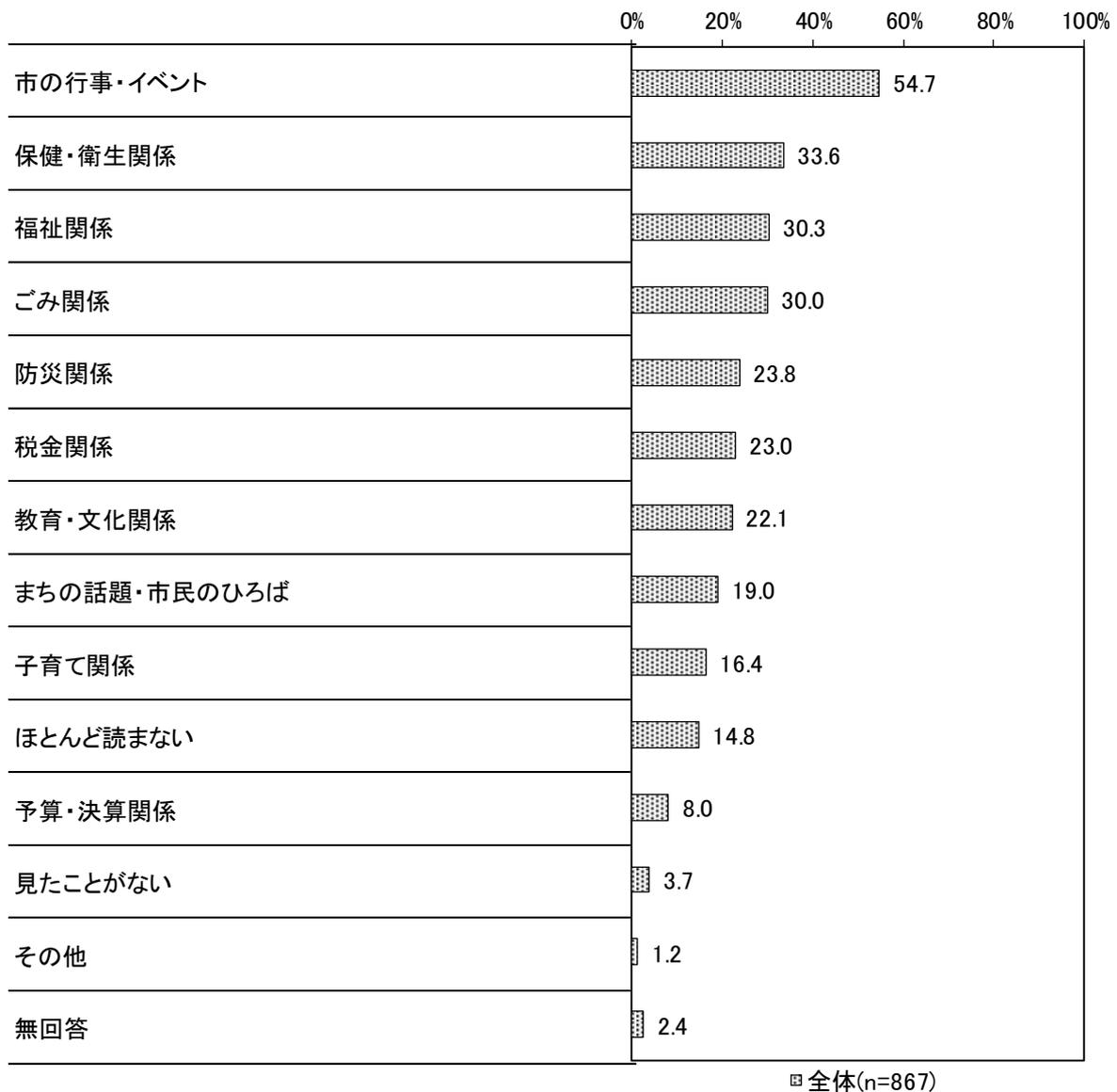
11 市の情報発信

(1) 『広報ふっさ』で関心のある内容

問 35 市では、『広報ふっさ』、『福生市議会だより』、『福生の教育』を発行しています。あなたはそれぞれ主にどのような内容に関心を持って読まれますか。

問 35 -1【広報ふっさ】(○はいくつでも)

<図表 35-1-1>『広報ふっさ』で関心のある内容



<調査結果>

『広報ふっさ』で関心のある内容について聞いたところ、「市の行事・イベント」(54.7%)が5割半ばと最も高くなっています。次いで、「保健・衛生関係」(33.6%)が3割半ばとなっています。

<図表 35-1-2>『広報ふっさ』で関心のある内容(上位 10 項目)／性・年齢別

| | n | 市の行事・イベント | 保健・衛生関係 | 福祉関係 | ごみ関係 | 防災関係 | 税金関係 | 教育・文化関係 | まちの話題・市民のひろば | 子育て関係 | ほとんど読まない | |
|-------|----------|-----------|---------|------|------|------|------|---------|--------------|-------|----------|------|
| 全体 | 867 | 54.7 | 33.6 | 30.3 | 30.0 | 23.8 | 23.0 | 22.1 | 19.0 | 16.4 | 14.8 | |
| 性・年齢別 | 男性全体 | 381 | 51.2 | 27.3 | 27.6 | 28.1 | 26.5 | 26.2 | 19.4 | 20.2 | 12.3 | 17.3 |
| | 男性-20代以下 | 31 | 41.9 | 9.7 | 6.5 | 6.5 | 3.2 | 12.9 | 22.6 | 6.5 | 16.1 | 25.8 |
| | 男性-30代 | 36 | 47.2 | 25.0 | 11.1 | 22.2 | 16.7 | 16.7 | 30.6 | 16.7 | 30.6 | 33.3 |
| | 男性-40代 | 66 | 51.5 | 18.2 | 19.7 | 24.2 | 22.7 | 25.8 | 24.2 | 15.2 | 27.3 | 25.8 |
| | 男性-50代 | 74 | 56.8 | 27.0 | 25.7 | 32.4 | 32.4 | 12.2 | 12.2 | 24.3 | 6.8 | 18.9 |
| | 男性-60代 | 80 | 43.8 | 35.0 | 33.8 | 32.5 | 35.0 | 37.5 | 15.0 | 20.0 | 6.3 | 11.3 |
| | 男性-70代以上 | 94 | 57.4 | 34.0 | 42.6 | 33.0 | 28.7 | 36.2 | 20.2 | 26.6 | 3.2 | 6.4 |
| | 女性全体 | 461 | 58.1 | 39.5 | 33.2 | 31.9 | 22.3 | 21.0 | 24.9 | 18.2 | 20.0 | 12.4 |
| | 女性-20代以下 | 46 | 43.5 | 13.0 | 13.0 | 8.7 | 4.3 | 8.7 | 10.9 | 13.0 | 15.2 | 34.8 |
| | 女性-30代 | 48 | 50.0 | 20.8 | 12.5 | 18.8 | 8.3 | 12.5 | 29.2 | 6.3 | 54.2 | 16.7 |
| | 女性-40代 | 80 | 66.3 | 40.0 | 23.8 | 23.8 | 18.8 | 21.3 | 42.5 | 13.8 | 41.3 | 11.3 |
| | 女性-50代 | 88 | 55.7 | 45.5 | 21.6 | 36.4 | 25.0 | 18.2 | 25.0 | 17.0 | 10.2 | 14.8 |
| | 女性-60代 | 98 | 62.2 | 54.1 | 50.0 | 38.8 | 29.6 | 37.8 | 15.3 | 18.4 | 11.2 | 6.1 |
| | 女性-70代以上 | 100 | 61.0 | 41.0 | 53.0 | 45.0 | 31.0 | 17.0 | 25.0 | 31.0 | 6.0 | 5.0 |

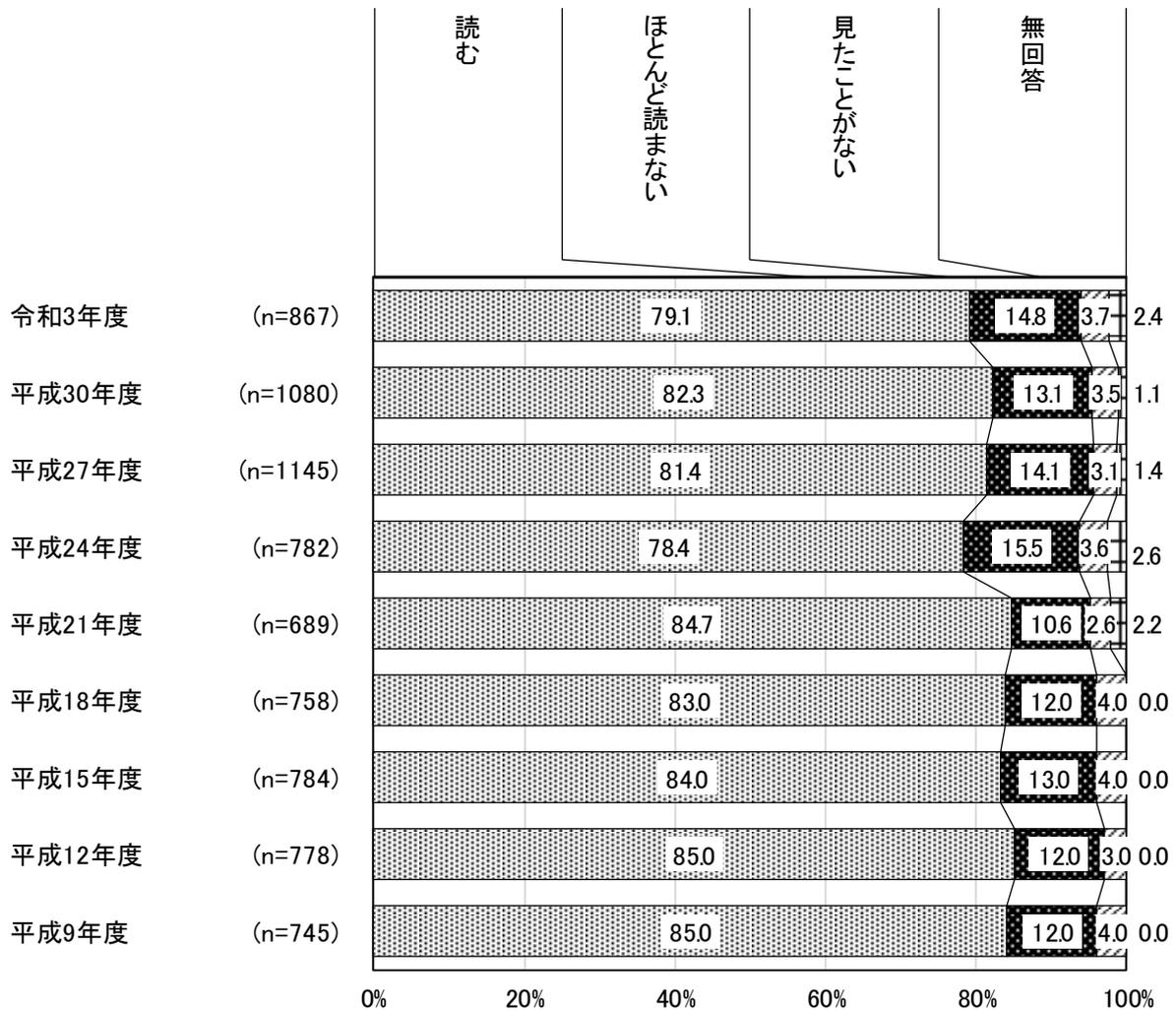
<調査結果>

『広報ふっさ』で関心のある内容について、男性では60代以上で「税金関係」の割合が全体より高い傾向にあり、女性では60代以上で「福祉関係」が全体より高い傾向にあります。

男性・女性共に30代～40代では「子育て関係」が全体より高い傾向にあります。

「ほとんど読まない」の割合を性・年齢別に見ると、男性-30代(33.3%)、女性-20代以下(34.8%)が全体より高くなっています。また、男性-20代以下(25.8%)、男性-40代(25.8%)が全体よりやや高くなっています。

<図表 35-1-3>『広報ふっさ』の閲読状況／過年度推移



※令和3年度の「ほとんど読まない」「見たことがない」「無回答」以外を「読む」として集計して比較

<調査結果>

『広報ふっさ』の閲読状況について見ると、「読む」(79.1%)が約8割と最も高く、次いで、「ほとんど読まない」(14.8%)となっています。

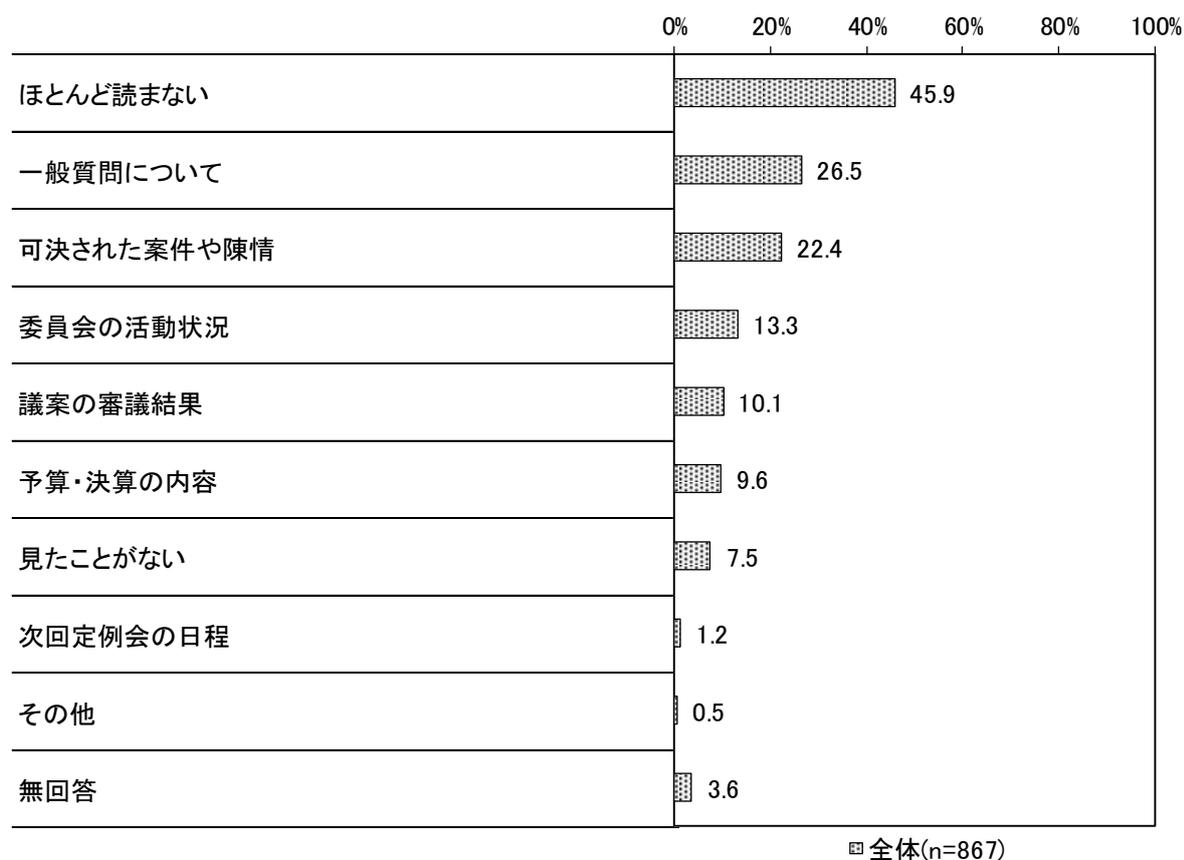
『広報ふっさ』の閲読状況について過年度推移を見ると、「読む」の割合は、平成9年度以降増減がありますが、大きな変化は見られません。

(2) 『福生市議会だより』で関心のある内容

問 35 市では、『広報ふっさ』、『福生市議会だより』、『福生の教育』を発行しています。あなたはそれぞれ主にどのような内容に関心を持って読まれますか。

問 35 -2【福生市議会だより】(○はいくつでも)

<図表 35-2-1>『福生市議会だより』で関心のある内容



<調査結果>

『福生市議会だより』で関心のある内容について聞いたところ、「ほとんど読まない」(45.9%)が4割半ばと最も高く、次いで、「一般質問について」(26.5%)、「可決された案件や陳情」(22.4%)が2割を超えています。

一方で、「予算・決算の内容」(9.6%)、「見たことがない」(7.5%)、「次回定例会の日程」(1.2%)は1割未満となっています。

<図表 35-2-2>『福生市議会だより』で関心のある内容／性・年齢別

| | n | ほとんど読まない | 一般質問について | 可決された案件や陳情 | 委員会の活動状況 | 議案の審議結果 | 予算・決算の内容 | 見たことがない | 次回定例会の日程 | その他 | 無回答 | |
|-------|----------|----------|----------|------------|----------|---------|----------|---------|----------|-----|-----|------|
| 全体 | 867 | 45.9 | 26.5 | 22.4 | 13.3 | 10.1 | 9.6 | 7.5 | 1.2 | 0.5 | 3.6 | |
| 性・年齢別 | 男性全体 | 381 | 42.5 | 27.6 | 23.9 | 14.2 | 14.4 | 11.3 | 7.3 | 0.5 | 0.0 | 3.7 |
| | 男性-20代以下 | 31 | 48.4 | 12.9 | 12.9 | 6.5 | 9.7 | 6.5 | 22.6 | 0.0 | 0.0 | 3.2 |
| | 男性-30代 | 36 | 58.3 | 16.7 | 19.4 | 5.6 | 2.8 | 11.1 | 11.1 | 0.0 | 0.0 | 2.8 |
| | 男性-40代 | 66 | 50.0 | 16.7 | 16.7 | 12.1 | 7.6 | 10.6 | 7.6 | 1.5 | 0.0 | 1.5 |
| | 男性-50代 | 74 | 47.3 | 31.1 | 17.6 | 8.1 | 9.5 | 6.8 | 6.8 | 0.0 | 0.0 | 1.4 |
| | 男性-60代 | 80 | 42.5 | 27.5 | 25.0 | 17.5 | 16.3 | 6.3 | 1.3 | 1.3 | 0.0 | 6.3 |
| | 男性-70代以上 | 94 | 25.5 | 41.5 | 38.3 | 23.4 | 27.7 | 21.3 | 6.4 | 0.0 | 0.0 | 5.3 |
| | 女性全体 | 461 | 49.0 | 25.6 | 21.0 | 12.1 | 6.9 | 8.5 | 7.6 | 1.5 | 0.7 | 3.0 |
| | 女性-20代以下 | 46 | 58.7 | 8.7 | 8.7 | 0.0 | 0.0 | 2.2 | 28.3 | 0.0 | 0.0 | 0.0 |
| | 女性-30代 | 48 | 54.2 | 10.4 | 6.3 | 4.2 | 0.0 | 4.2 | 22.9 | 0.0 | 0.0 | 2.1 |
| | 女性-40代 | 80 | 50.0 | 28.8 | 23.8 | 12.5 | 8.8 | 12.5 | 7.5 | 3.8 | 0.0 | 0.0 |
| | 女性-50代 | 88 | 58.0 | 26.1 | 17.0 | 5.7 | 6.8 | 5.7 | 2.3 | 1.1 | 0.0 | 0.0 |
| | 女性-60代 | 98 | 42.9 | 36.7 | 23.5 | 18.4 | 9.2 | 15.3 | 1.0 | 1.0 | 1.0 | 1.0 |
| | 女性-70代以上 | 100 | 39.0 | 27.0 | 33.0 | 21.0 | 10.0 | 6.0 | 2.0 | 2.0 | 2.0 | 12.0 |

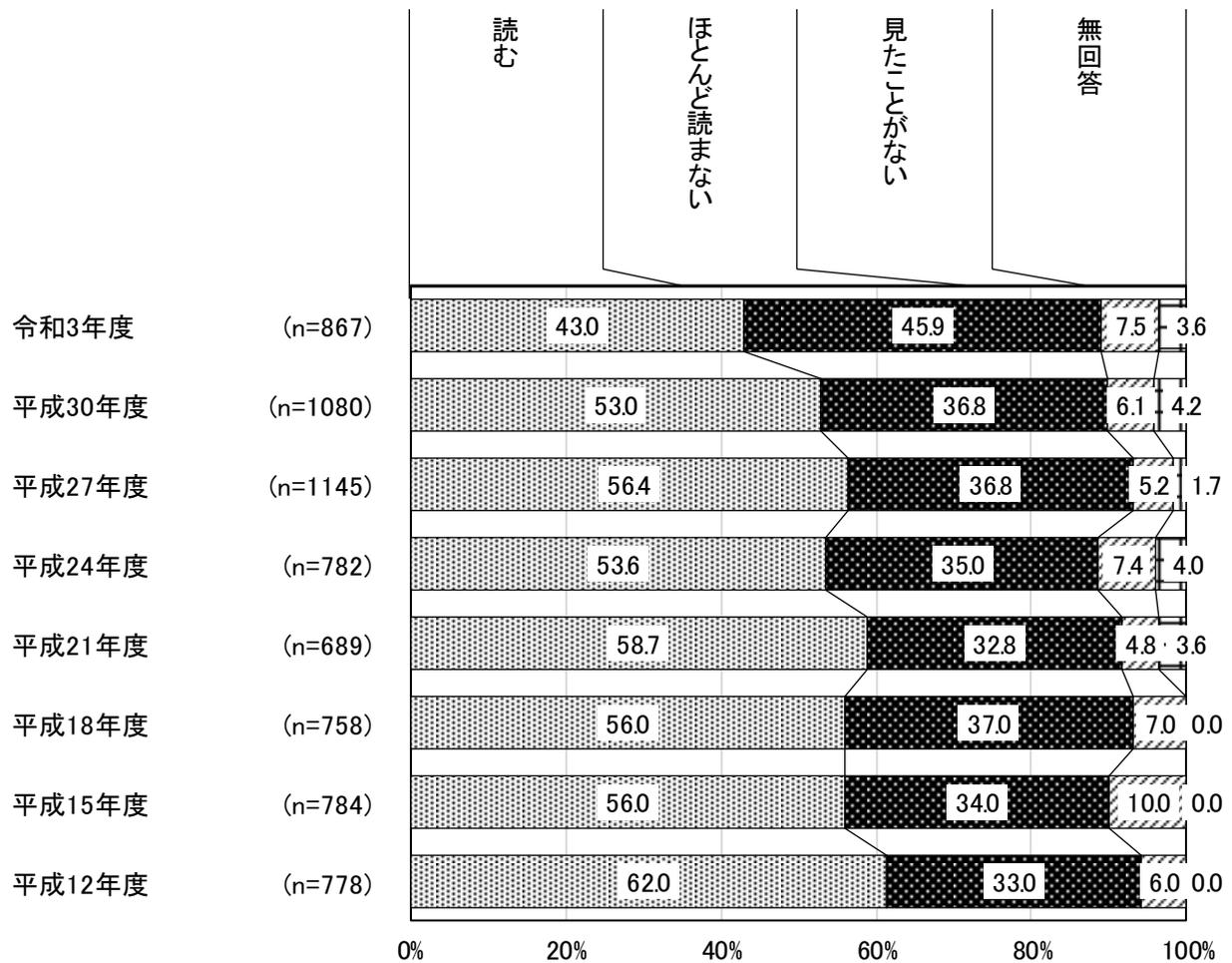
<調査結果>

『福生市議会だより』で関心のある内容について、「ほとんど読まない」の割合を性・年齢別に見ると、男性-30代（58.3%）、女性-20代以下（58.7%）、女性-50代（58.0%）が全体よりやや高くなっています。一方で、男性-70代以上（25.5%）が全体より低くなっています。

男性-70代以上で全体より高い傾向を示している項目が多く、男性-70代以上は『福生市議会だより』を読む方が多いことが伺えます。また、女性も60代以上になると、女性-60代は「一般質問について」（36.7%）、女性-70代以上は「可決された案件や陳情」（33.0%）と全体の割合を上回っている項目が見られます。

「見たことがない」の割合を性・年齢別に見ると、男性-20代以下（22.6%）、女性-20代以下（28.3%）、女性-30代（22.9%）が全体より高くなっています。

<図表 35-2-3>『福生市議会だより』の閲読状況／過年度推移



※令和3年度の「ほとんど読まない」「見たことがない」「無回答」以外を「読む」として集計比較

<調査結果>

『福生市議会だより』の閲読状況について見ると、「ほとんど読まない」(45.9%)が4割半ばと最も高く、次いで、「読む」(43.0%)、「見たことがない」(7.5%)となっています。

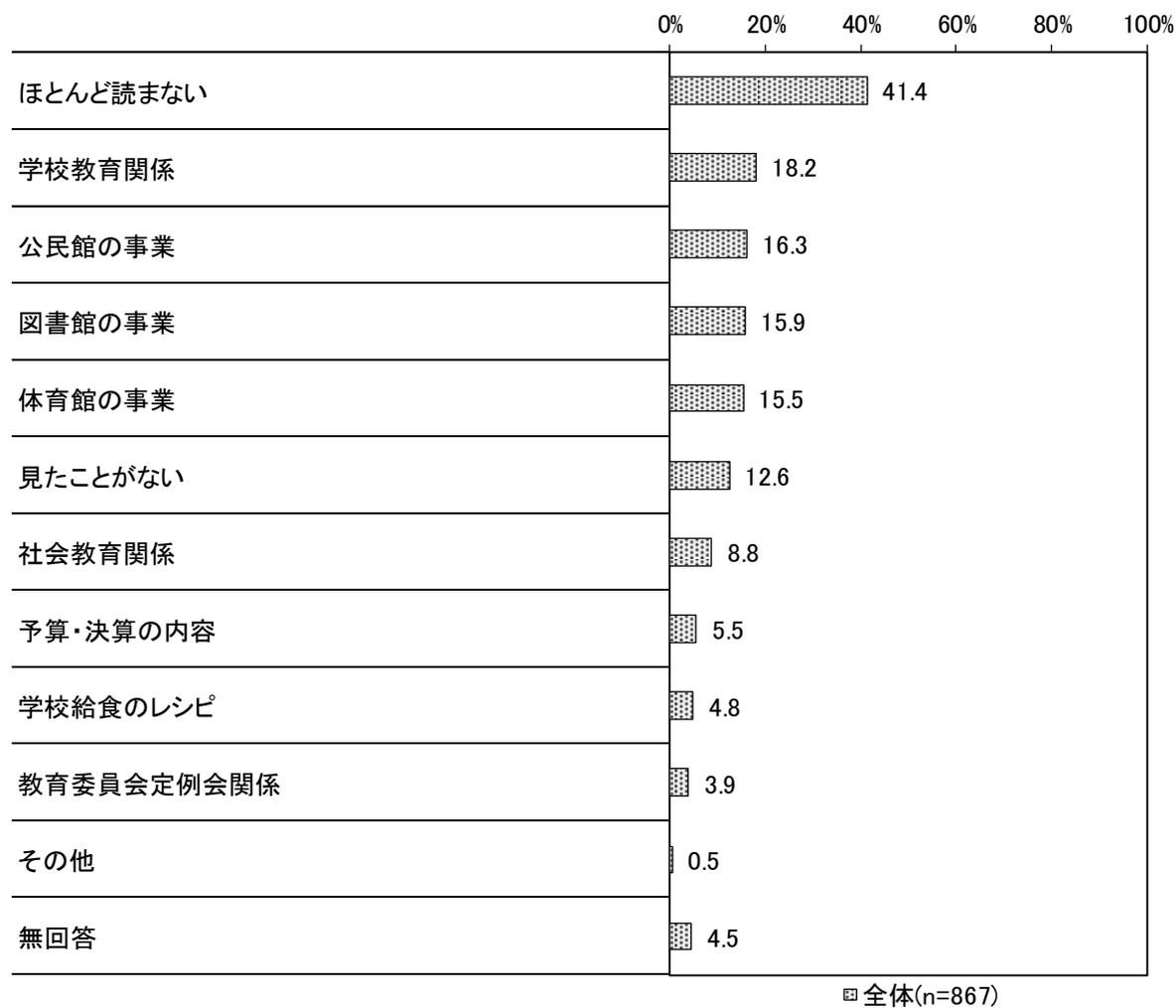
『福生市議会だより』の閲読状況について過年度推移を見ると、「見たことはない」の割合に大きな変化はなく、認知状況の傾向は変わらないことが伺えます。

(3) 『福生の教育』で関心のある内容

問 35 市では、『広報ふっさ』、『福生市議会だより』、『福生の教育』を発行しています。あなたはそれぞれ主にどのような内容に関心を持って読まれますか。

問 35 -3【福生の教育】(○はいくつでも)

<図表 35-3-1>『福生の教育』で関心のある内容



<調査結果>

『福生の教育』で関心のある内容について聞いたところ、「ほとんど読まない」(41.4%)が4割以上と最も高く、次いで、「学校教育関係」(18.2%)、「公民館の事業」(16.3%)となっています。

一方で、「社会教育関係」(8.8%)、「予算・決算の内容」(5.5%)、「学校給食のレシピ」(4.8%)、「教育委員会定例会関係」(3.9%)が1割未満となっています。

<図表 35-3-2>『福生の教育』で関心のある内容(上位 10 項目)／性・年齢別

| | n | ほとんど読まない | 学校教育関係 | 公民館の事業 | 図書館の事業 | 体育館の事業 | 見たことがない | 社会教育関係 | 予算・決算の内容 | 学校給食のレシピ | 教育委員会定例会関係 | |
|----------|----------|----------|--------|--------|--------|--------|---------|--------|----------|----------|------------|-----|
| 全体 | 867 | 41.4 | 18.2 | 16.3 | 15.9 | 15.5 | 12.6 | 8.8 | 5.5 | 4.8 | 3.9 | |
| 性・年齢別 | 男性全体 | 381 | 40.9 | 16.5 | 14.4 | 13.9 | 14.7 | 14.2 | 10.0 | 6.6 | 3.9 | 3.9 |
| | 男性-20代以下 | 31 | 45.2 | 12.9 | 0.0 | 3.2 | 16.1 | 29.0 | 0.0 | 6.5 | 6.5 | 3.2 |
| | 男性-30代 | 36 | 50.0 | 22.2 | 2.8 | 8.3 | 13.9 | 16.7 | 2.8 | 5.6 | 11.1 | 0.0 |
| | 男性-40代 | 66 | 37.9 | 18.2 | 12.1 | 18.2 | 21.2 | 16.7 | 9.1 | 6.1 | 6.1 | 1.5 |
| | 男性-50代 | 74 | 50.0 | 12.2 | 9.5 | 8.1 | 14.9 | 14.9 | 5.4 | 5.4 | 1.4 | 1.4 |
| | 男性-60代 | 80 | 42.5 | 17.5 | 13.8 | 15.0 | 6.3 | 12.5 | 12.5 | 5.0 | 3.8 | 5.0 |
| | 男性-70代以上 | 94 | 29.8 | 17.0 | 29.8 | 20.2 | 17.0 | 7.4 | 18.1 | 9.6 | 1.1 | 8.5 |
| | 女性全体 | 461 | 41.4 | 20.0 | 18.2 | 17.8 | 16.7 | 11.5 | 8.0 | 4.8 | 5.9 | 3.9 |
| | 女性-20代以下 | 46 | 47.8 | 4.3 | 6.5 | 10.9 | 2.2 | 32.6 | 0.0 | 0.0 | 4.3 | 0.0 |
| | 女性-30代 | 48 | 39.6 | 20.8 | 6.3 | 8.3 | 10.4 | 27.1 | 4.2 | 4.2 | 6.3 | 2.1 |
| | 女性-40代 | 80 | 30.0 | 37.5 | 20.0 | 26.3 | 26.3 | 11.3 | 6.3 | 5.0 | 10.0 | 3.8 |
| | 女性-50代 | 88 | 62.5 | 19.3 | 6.8 | 13.6 | 12.5 | 3.4 | 4.5 | 3.4 | 4.5 | 1.1 |
| | 女性-60代 | 98 | 43.9 | 18.4 | 26.5 | 23.5 | 22.4 | 5.1 | 10.2 | 7.1 | 7.1 | 8.2 |
| 女性-70代以上 | 100 | 28.0 | 15.0 | 30.0 | 17.0 | 17.0 | 7.0 | 16.0 | 6.0 | 3.0 | 5.0 | |

<調査結果>

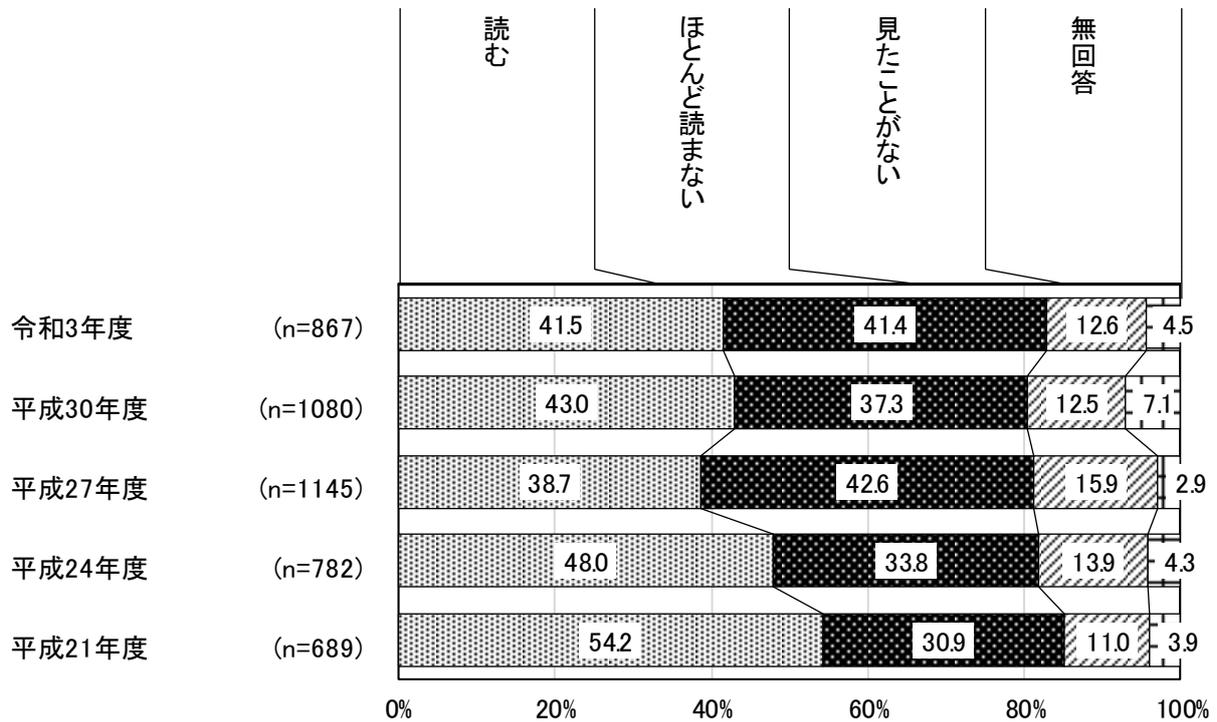
『福生の教育』で関心のある内容について、「ほとんど読まない」の割合を性・年齢別に見ると、女性-50代(62.5%)が全体より高くなっています。男性-70代以上(29.8%)、女性-40代(30.0%)、女性-70代以上(28.0%)が全体よりやや低くなっています。

「学校教育関係」の割合を性・年齢別に見ると、女性-20代以下(4.3%)で全体より低いものの、女性-40代(37.5%)では全体より高くなっています。

男性は70代以上・女性は60代以上で「公民館の事業」の割合が全体よりやや高くなっています。

「見たことがない」の割合を性・年齢別に見ると、男性-20代以下(29.0%)、女性-20代以下(32.6%)が全体より高くなっています。また、女性-30代(27.1%)が全体よりやや高くなっています。

<図表 35-3-3>『福生の教育』の閲読状況／過年度推移



※令和3年度の「ほとんど読まない」「見たことがない」「無回答」以外を「読む」として集計比較

<調査結果>

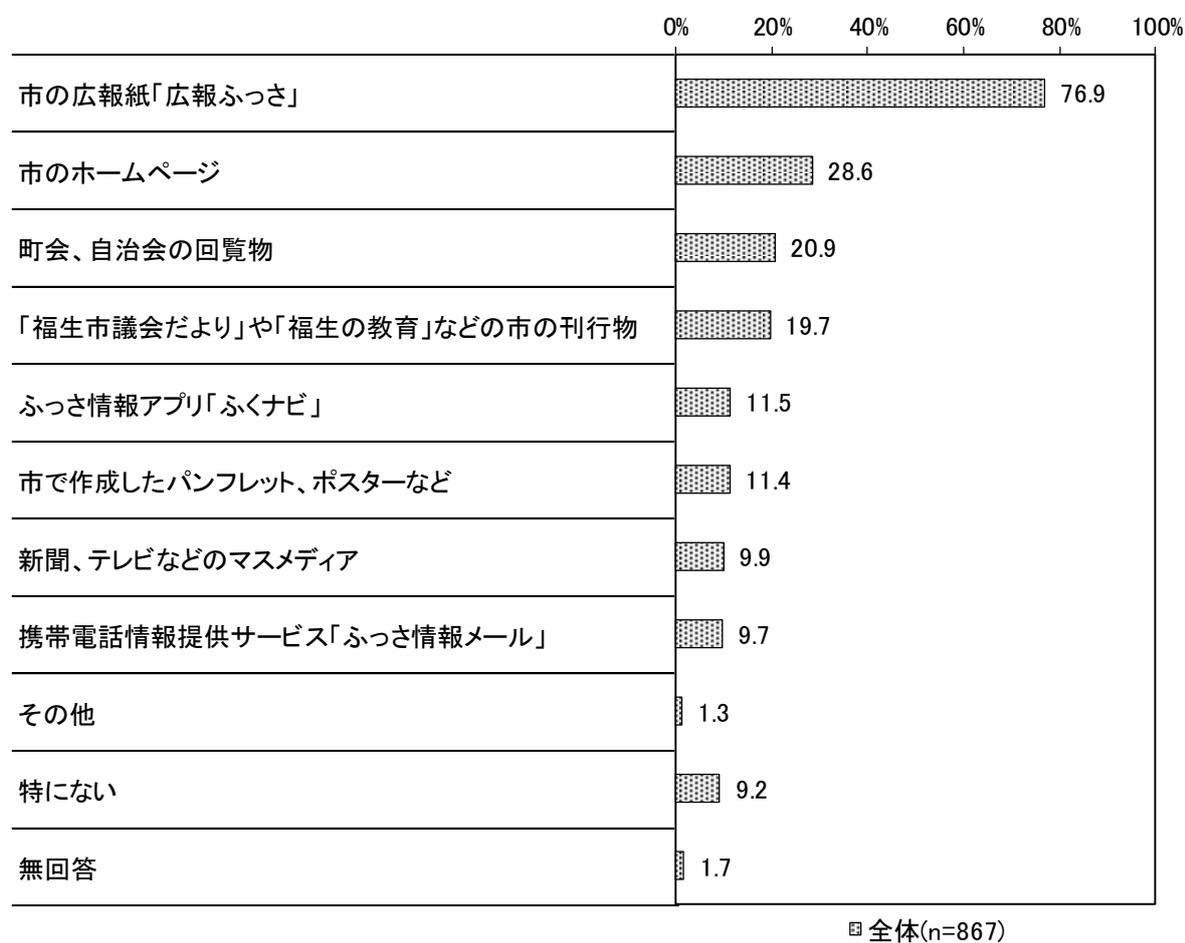
『福生の教育』の閲読状況について見ると、「読む」(41.5%)が4割以上と最も高く、次いで、「ほとんど読まない」(41.4%)、「見たことがない」(12.6%)となっています。

『福生の教育』の閲読状況について過年度推移を見ると、「見たことはない」の割合に大きな変化はなく、認知状況の傾向は変わらないことが伺えます。

(4) 市の情報を得ている媒体

問 36 あなたは市の情報を特に何から得ていますか。(○はいくつでも)

<図表 36-1>市の情報を得ている媒体



<調査結果>

市の情報を得ている媒体について聞いたところ、「市の広報紙「広報ふっさ」(76.9%)が7割半ばと最も高く、次いで、「市のホームページ」(28.6%)、「町会、自治会の回覧物」(20.9%)が2割を超えています。

<図表 36-2>市の情報を得ている媒体(上位 10 項目)／性・年齢別

| | n | 市の広報紙「広報ふっさ」 | 市のホームページ | 町会、自治会の回覧物 | 「福生市議会だより」や「福生の教育」などの市の刊行物 | ふっさ情報アプリ「ふくナビ」 | 市で作成したパンフレット、ポスターなど | 新聞、テレビなどのマスメディア | 携帯電話情報提供サービス「ふっさ情報メール」 | その他 | 特にない | |
|-------|----------|--------------|----------|------------|----------------------------|----------------|---------------------|-----------------|------------------------|------|------|------|
| 全体 | 867 | 76.9 | 28.6 | 20.9 | 19.7 | 11.5 | 11.4 | 9.9 | 9.7 | 1.3 | 9.2 | |
| 性・年齢別 | 男性全体 | 381 | 72.2 | 29.4 | 19.4 | 22.6 | 11.3 | 13.1 | 11.0 | 9.2 | 1.0 | 11.8 |
| | 男性-20代以下 | 31 | 45.2 | 32.3 | 3.2 | 16.1 | 6.5 | 19.4 | 12.9 | 9.7 | 3.2 | 25.8 |
| | 男性-30代 | 36 | 55.6 | 44.4 | 11.1 | 13.9 | 11.1 | 8.3 | 5.6 | 11.1 | 2.8 | 13.9 |
| | 男性-40代 | 66 | 66.7 | 30.3 | 9.1 | 19.7 | 15.2 | 7.6 | 7.6 | 13.6 | 3.0 | 15.2 |
| | 男性-50代 | 74 | 74.3 | 28.4 | 23.0 | 17.6 | 9.5 | 6.8 | 5.4 | 6.8 | 0.0 | 9.5 |
| | 男性-60代 | 80 | 77.5 | 21.3 | 25.0 | 20.0 | 8.8 | 16.3 | 11.3 | 6.3 | 0.0 | 8.8 |
| | 男性-70代以上 | 94 | 85.1 | 29.8 | 27.7 | 36.2 | 13.8 | 19.1 | 19.1 | 9.6 | 0.0 | 8.5 |
| | 女性全体 | 461 | 81.6 | 28.2 | 22.6 | 17.6 | 12.1 | 10.0 | 8.7 | 10.4 | 1.5 | 6.9 |
| | 女性-20代以下 | 46 | 43.5 | 17.4 | 6.5 | 4.3 | 4.3 | 4.3 | 8.7 | 8.7 | 8.7 | 37.0 |
| | 女性-30代 | 48 | 79.2 | 27.1 | 8.3 | 0.0 | 14.6 | 10.4 | 2.1 | 10.4 | 0.0 | 10.4 |
| | 女性-40代 | 80 | 77.5 | 36.3 | 22.5 | 21.3 | 18.8 | 13.8 | 2.5 | 18.8 | 0.0 | 6.3 |
| | 女性-50代 | 88 | 85.2 | 44.3 | 13.6 | 10.2 | 13.6 | 5.7 | 5.7 | 11.4 | 2.3 | 4.5 |
| | 女性-60代 | 98 | 91.8 | 22.4 | 18.4 | 18.4 | 10.2 | 7.1 | 11.2 | 6.1 | 1.0 | 1.0 |
| | 女性-70代以上 | 100 | 90.0 | 18.0 | 49.0 | 35.0 | 10.0 | 16.0 | 17.0 | 8.0 | 0.0 | 0.0 |

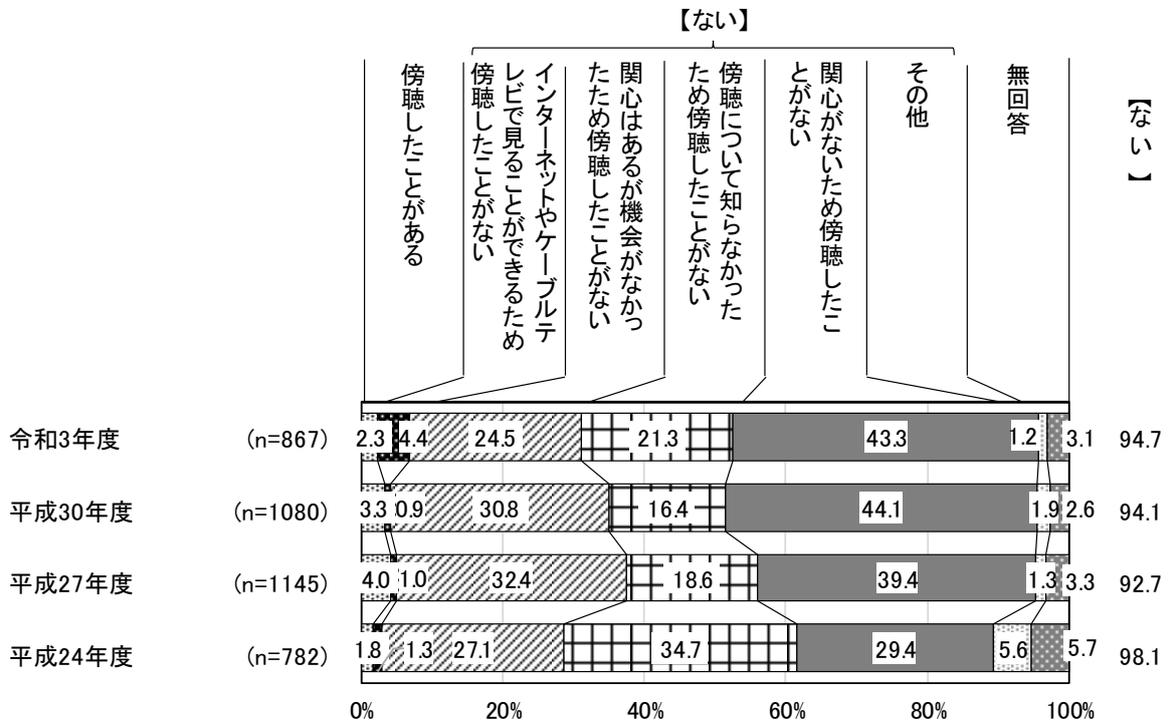
<調査結果>

市の情報を得ている媒体について性・年齢別に見ると、男性・女性共に60代以上では「市の広報紙「広報ふっさ」や「福生市議会だより」や「福生の教育」などの市の刊行物」といった紙の媒体の割合が全体より高い傾向にあります。

(5) 福生市議会本会議の傍聴経験

問 37 福生市議会本会議を傍聴したことがありますか。(○は1つ)

<図表 37-1> 福生市議会本会議の傍聴経験



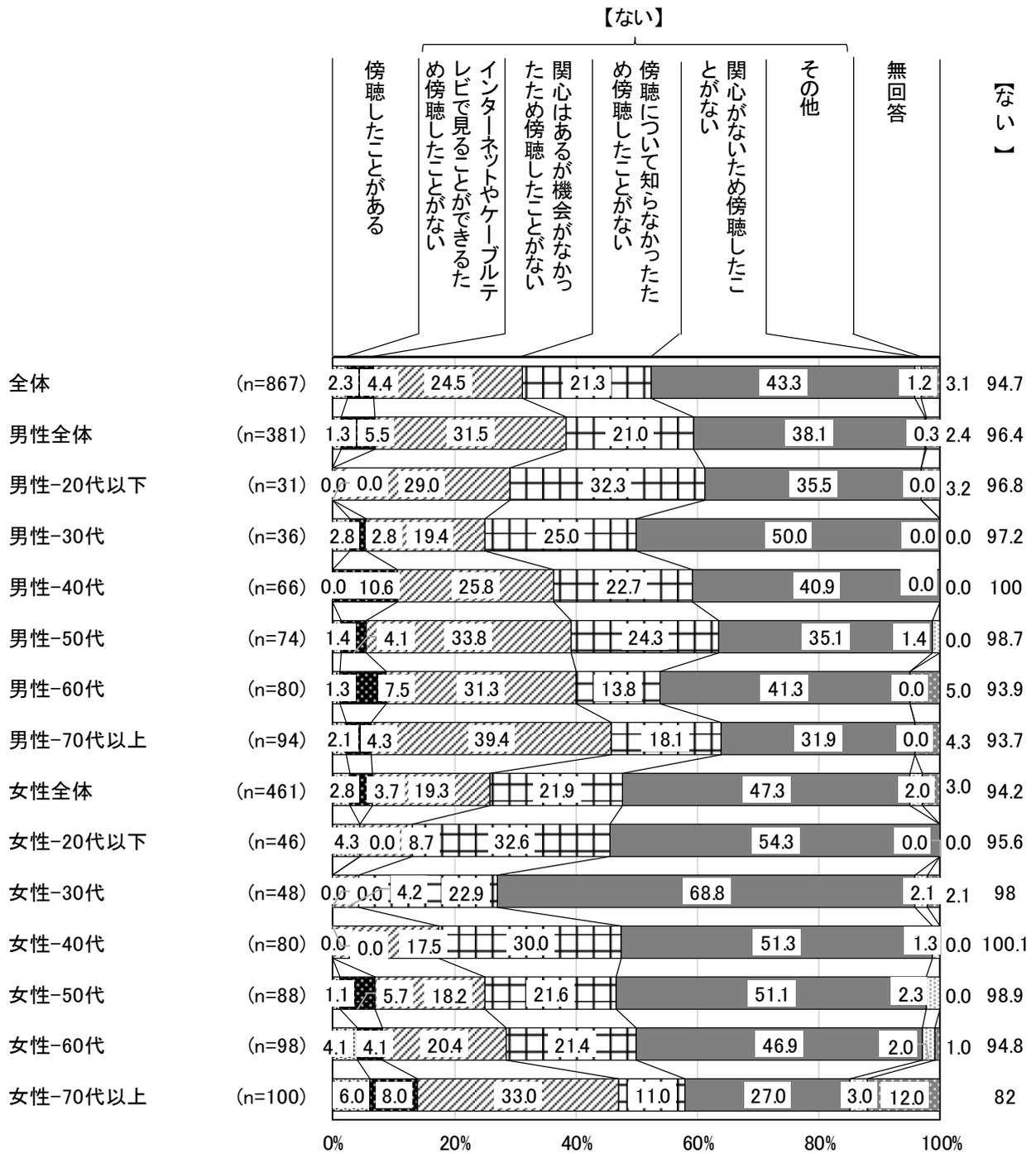
※「インターネットやケーブルテレビで見ることができるため傍聴したことがない」は、令和3年度から「ケーブルテレビ」を追加

<調査結果>

福生市議会本会議の傍聴経験について聞いたところ、「関心がないため傍聴したことがない」(43.3%)が4割半ばと最も高くなっています。次いで、「関心はあるが機会がなかったため傍聴したことがない」(24.5%)、「傍聴について知らなかったため傍聴したことがない」(21.3%)となっています。

「インターネットやケーブルテレビで見ることができるため傍聴したことがない」は平成30年度(0.9%)から令和3年度(4.4%)にかけて3.5ポイント上昇しています。

<図表 37-2> 福生市議会本会議の傍聴経験／性・年齢別



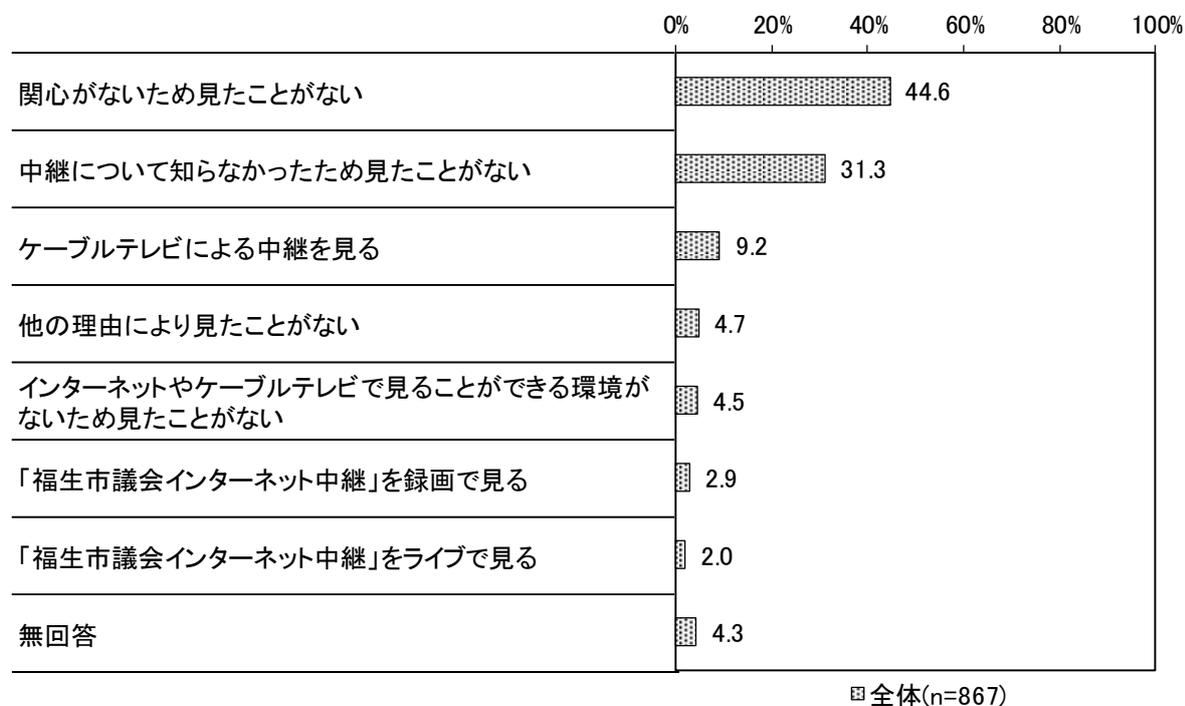
<調査結果>

福生市議会本会議の傍聴経験について、「関心がないため傍聴したことがない」の割合を性・年齢別に見ると、女性-30代（68.8%）が全体よりとても高く、女性-20代以下（54.3%）が全体よりやや高くなっています。一方で、女性-70代以上（27.0%）が全体より低く、男性-70代以上（31.9%）が全体よりやや低くなっています。

(6) 福生市議会本会議中継の視聴状況

問 38 福生市議会本会議の中継をどのような方法でご覧になりますか。(〇はいくつでも)

<図表 38-1> 福生市議会本会議中継の視聴状況



<調査結果>

福生市議会本会議中継の視聴状況について聞いたところ、「関心がないため見たことがない」(44.6%)が4割半ばと最も高く、次いで、「中継について知らなかったため見たことがない」(31.3%)が3割以上となっています。

また、福生市議会本会議中継の視聴方法については、「ケーブルテレビによる中継を見る」(9.2%)が約1割、次いで、「福生市議会インターネット中継」を録画で見る」(2.9%)、「福生市議会インターネット中継」をライブで見る」(2.0%)となっています。

<図表 38-2> 福生市議会本会議中継の視聴状況／性・年齢別

| | | n | 関 心 が な い た め 見 た こ と が な い | 中 継 に つ い て 知 ら な か っ た た め 見 た こ と が な い | ケ ー ブ ル テ レ ビ に よ る 中 継 を 見 る | 他 の 理 由 に よ り 見 た こ と が な い | イ ン タ ー ネ ッ ト や ケ ー ブ ル テ レ ビ で 見 る こ と が で き る 環 境 が な い た め 見 た こ と が な い | 「福生市議会インターネット中継」を録画で見ると | 「福生市議会インターネット中継」をライブで見ると | 無回答 |
|----------|----------|------|--|---|---|--|--|-------------------------|--------------------------|-----|
| 全体 | | 867 | 44.6 | 31.3 | 9.2 | 4.7 | 4.5 | 2.9 | 2.0 | 4.3 |
| 性・年齢別 | 男性全体 | 381 | 42.3 | 33.3 | 11.3 | 4.2 | 3.4 | 4.5 | 2.6 | 2.4 |
| | 男性-20代以下 | 31 | 35.5 | 54.8 | 0.0 | 3.2 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 6.5 |
| | 男性-30代 | 36 | 52.8 | 36.1 | 5.6 | 5.6 | 0.0 | 0.0 | 2.8 | 0.0 |
| | 男性-40代 | 66 | 39.4 | 33.3 | 7.6 | 4.5 | 3.0 | 12.1 | 3.0 | 0.0 |
| | 男性-50代 | 74 | 44.6 | 37.8 | 9.5 | 5.4 | 1.4 | 1.4 | 0.0 | 0.0 |
| | 男性-60代 | 80 | 45.0 | 25.0 | 15.0 | 1.3 | 2.5 | 5.0 | 5.0 | 2.5 |
| | 男性-70代以上 | 94 | 38.3 | 28.7 | 18.1 | 5.3 | 8.5 | 4.3 | 3.2 | 5.3 |
| | 女性全体 | 461 | 47.5 | 29.9 | 8.0 | 5.0 | 5.0 | 1.7 | 1.3 | 4.6 |
| | 女性-20代以下 | 46 | 63.0 | 34.8 | 0.0 | 2.2 | 0.0 | 0.0 | 2.2 | 0.0 |
| | 女性-30代 | 48 | 68.8 | 20.8 | 2.1 | 2.1 | 2.1 | 2.1 | 0.0 | 2.1 |
| | 女性-40代 | 80 | 50.0 | 38.8 | 2.5 | 5.0 | 2.5 | 1.3 | 2.5 | 1.3 |
| | 女性-50代 | 88 | 52.3 | 27.3 | 8.0 | 8.0 | 0.0 | 0.0 | 1.1 | 3.4 |
| | 女性-60代 | 98 | 43.9 | 31.6 | 13.3 | 4.1 | 6.1 | 3.1 | 0.0 | 1.0 |
| 女性-70代以上 | 100 | 27.0 | 26.0 | 14.0 | 6.0 | 14.0 | 3.0 | 2.0 | 15.0 | |

<調査結果>

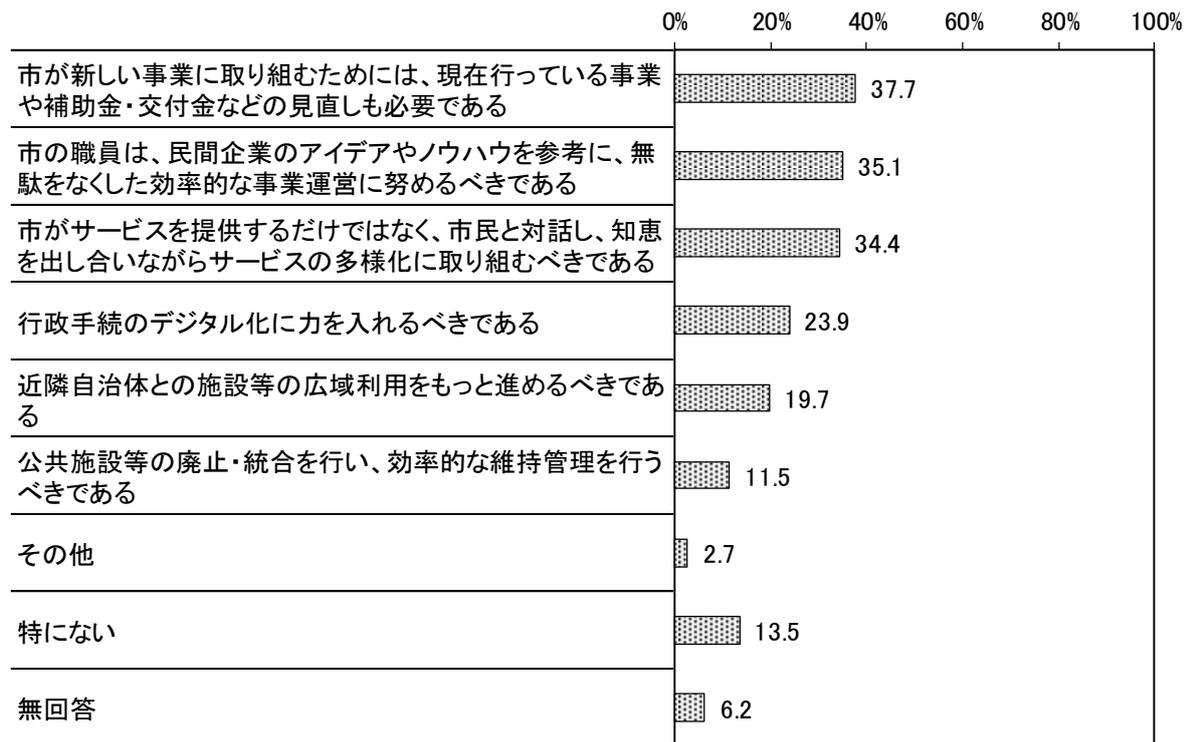
福生市議会本会議中継の視聴状況について、「関心がないため見たことがない」の割合を性・年齢別に見ると、女性-20代以下（63.0%）、女性-30代（68.8%）が全体より高くなっています。一方で、女性-70代以上（27.0%）が全体より低くなっています。

12 行財政改革

(1) 市に求める行財政改革

問 39 あなたは、市にどのような行財政改革を求めますか。(○は3つまで)

<図表 39-1>市に求める行財政改革



全体(n=867)

<調査結果>

市に求める行財政改革について聞いたところ、「市が新しい事業に取り組むためには、現在行っている事業や補助金・交付金などの見直しも必要である」(37.7%)が3割後半と最も高く、次いで、「市の職員は、民間企業のアイデアやノウハウを参考に、無駄をなくした効率的な事業運営に努めるべきである」(35.1%)、「市がサービスを提供するだけでなく、市民と対話し、知恵を出し合いながらサービスの多様化に取り組むべきである」(34.4%)が3割半ばとなっています。

「特にない」(13.5%)という回答も1割半ば見られます。

<図表 39-2> 市に求める行財政改革／性・年齢別

| | | n | 市が新しい事業に取り組み、現在行っている事業や補助金・交付金などの見直しも必要である | 市の職員は、民間企業のアイデアやノウハウを参考に、無駄をなくした効率的な事業運営に努めるべきである | 市がサービスを提供するだけでなく、市民と対話し、知恵を出し合いながらサービスの多様化に取り組みべきである | 行政手続のデジタル化に力を入れるべきである | 近隣自治体との施設等の広域利用をもっと進めるべきである | 公共施設等の廃止・統合を行い、効率的な維持管理を行うべきである | その他 | 特になし | 無回答 |
|-------|----------|-----|--|---|--|-----------------------|-----------------------------|---------------------------------|------|------|------|
| 全体 | | 867 | 37.7 | 35.1 | 34.4 | 23.9 | 19.7 | 11.5 | 2.7 | 13.5 | 6.2 |
| 性・年齢別 | 男性全体 | 381 | 41.5 | 36.0 | 34.9 | 27.8 | 21.0 | 14.2 | 3.1 | 12.3 | 4.2 |
| | 男性-20代以下 | 31 | 29.0 | 16.1 | 48.4 | 48.4 | 9.7 | 12.9 | 6.5 | 19.4 | 0.0 |
| | 男性-30代 | 36 | 52.8 | 27.8 | 25.0 | 41.7 | 5.6 | 8.3 | 13.9 | 8.3 | 2.8 |
| | 男性-40代 | 66 | 39.4 | 31.8 | 37.9 | 39.4 | 24.2 | 15.2 | 4.5 | 10.6 | 3.0 |
| | 男性-50代 | 74 | 39.2 | 40.5 | 35.1 | 21.6 | 28.4 | 14.9 | 0.0 | 12.2 | 4.1 |
| | 男性-60代 | 80 | 37.5 | 33.8 | 32.5 | 21.3 | 21.3 | 12.5 | 1.3 | 16.3 | 3.8 |
| | 男性-70代以上 | 94 | 47.9 | 46.8 | 34.0 | 18.1 | 22.3 | 17.0 | 1.1 | 9.6 | 7.4 |
| | 女性全体 | 461 | 35.4 | 34.9 | 34.3 | 21.3 | 19.1 | 9.1 | 2.2 | 14.1 | 7.4 |
| | 女性-20代以下 | 46 | 41.3 | 23.9 | 30.4 | 30.4 | 17.4 | 6.5 | 0.0 | 23.9 | 0.0 |
| | 女性-30代 | 48 | 41.7 | 33.3 | 27.1 | 29.2 | 18.8 | 12.5 | 2.1 | 10.4 | 8.3 |
| | 女性-40代 | 80 | 37.5 | 25.0 | 37.5 | 26.3 | 21.3 | 7.5 | 3.8 | 11.3 | 3.8 |
| | 女性-50代 | 88 | 31.8 | 42.0 | 42.0 | 25.0 | 19.3 | 4.5 | 3.4 | 11.4 | 3.4 |
| | 女性-60代 | 98 | 33.7 | 43.9 | 35.7 | 16.3 | 24.5 | 12.2 | 2.0 | 10.2 | 8.2 |
| | 女性-70代以上 | 100 | 33.0 | 34.0 | 29.0 | 11.0 | 13.0 | 11.0 | 1.0 | 19.0 | 16.0 |

<調査結果>

市に求める行財政改革について、「市がサービスを提供するだけではなく、市民と対話し、知恵を出し合いながらサービスの多様化に取り組むべきである」の割合を性・年齢別に見ると、男性-20代以下（48.4%）が全体よりやや高くなっています。

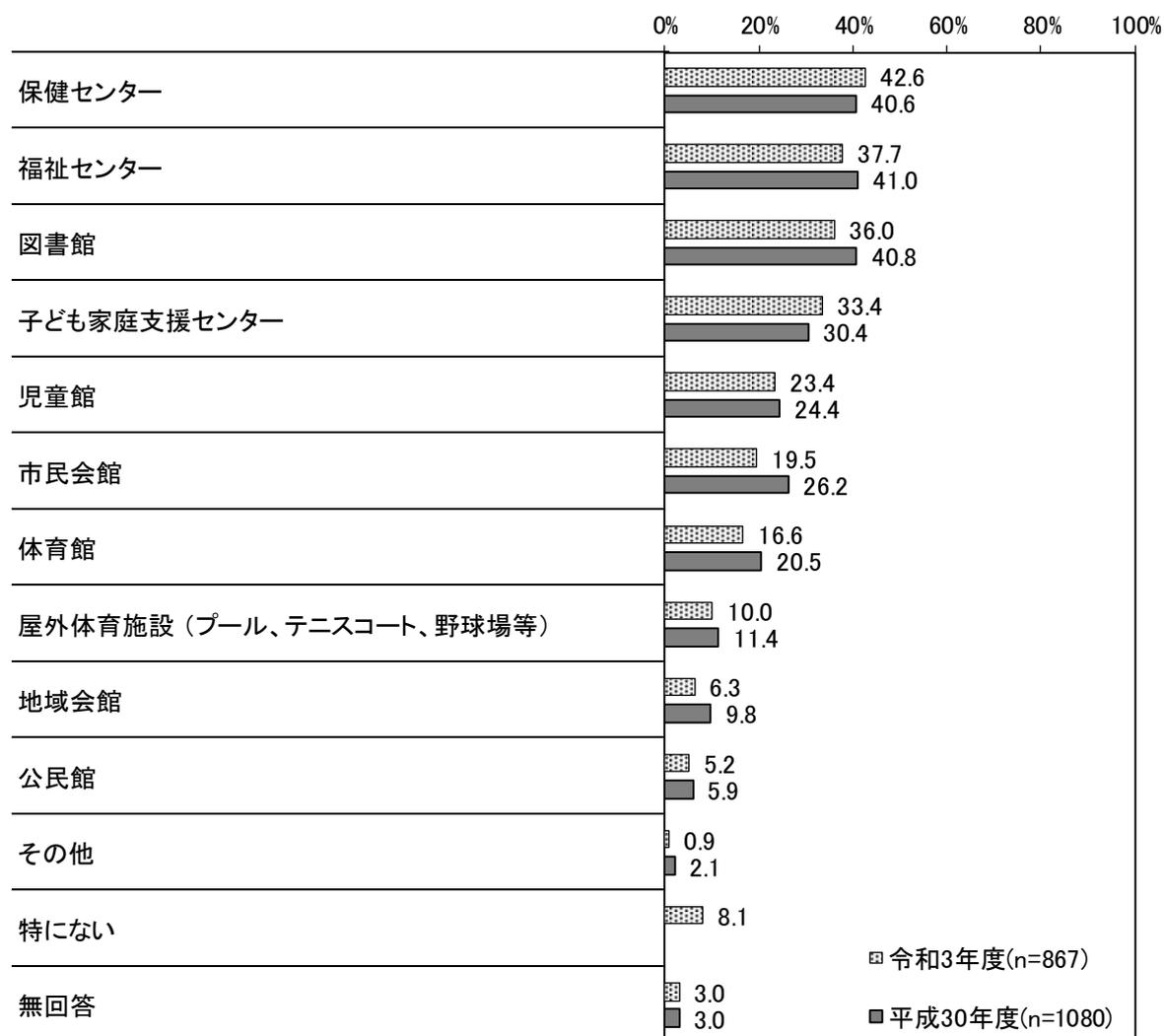
「行政手続のデジタル化に力を入れるべきである」の割合を性・年齢別に見ると、男性-20代以下（48.4%）、男性-30代（41.7%）、男性-40代（39.4%）が全体より高くなっています。一方で、女性-70代以上（11.0%）が全体よりやや低くなっています。

男性・女性共に20代以下（男性16.1%）（女性23.9%）では、「市の職員は、民間企業のアイデアやノウハウを参考に、無駄をなくした効率的な事業運営に努めるべきである」が全体より低い傾向が見られます。

(2) 市が優先的に維持すべき公共施設

問 40 財政的に厳しい状況であっても、市が優先的に維持すべき公共施設はどれだと思いますか。(〇は3つまで)

<図表 40-1>市が優先的に維持すべき公共施設



※「特にない」は令和3年度から新規

<調査結果>

市が優先的に維持すべき公共施設について聞いたところ、「保健センター」(42.6%)が4割以上と最も高く、次いで、「福祉センター」(37.7%)、「図書館」(36.0%)、「子ども家庭支援センター」(33.4%)が3割を超えています。

<図表 40-2>市が優先的に維持すべき公共施設(上位 10 項目)／性・年齢別

| | n | 保健センター | 福祉センター | 図書館 | 子ども家庭支援センター | 児童館 | 市民会館 | 体育館 | コート、野球場等 | 屋外体育施設(プール、テニス) | 地域会館 | 公民館 |
|-------|----------|--------|--------|------|-------------|------|------|------|----------|-----------------|------|-----|
| 全体 | 867 | 42.6 | 37.7 | 36.0 | 33.4 | 23.4 | 19.5 | 16.6 | 10.0 | 6.3 | 5.2 | |
| 性・年齢別 | 男性全体 | 381 | 40.2 | 37.0 | 35.4 | 33.6 | 23.1 | 19.7 | 16.0 | 12.1 | 6.8 | 4.5 |
| | 男性-20代以下 | 31 | 38.7 | 51.6 | 45.2 | 51.6 | 32.3 | 3.2 | 25.8 | 12.9 | 3.2 | 0.0 |
| | 男性-30代 | 36 | 38.9 | 30.6 | 44.4 | 55.6 | 41.7 | 8.3 | 8.3 | 16.7 | 0.0 | 0.0 |
| | 男性-40代 | 66 | 43.9 | 34.8 | 34.8 | 42.4 | 27.3 | 15.2 | 16.7 | 10.6 | 1.5 | 1.5 |
| | 男性-50代 | 74 | 47.3 | 37.8 | 21.6 | 31.1 | 14.9 | 18.9 | 16.2 | 13.5 | 10.8 | 4.1 |
| | 男性-60代 | 80 | 32.5 | 27.5 | 42.5 | 26.3 | 20.0 | 22.5 | 17.5 | 11.3 | 10.0 | 7.5 |
| | 男性-70代以上 | 94 | 39.4 | 43.6 | 34.0 | 21.3 | 19.1 | 30.9 | 13.8 | 10.6 | 8.5 | 7.4 |
| | 女性全体 | 461 | 45.1 | 38.4 | 36.4 | 33.6 | 24.5 | 19.7 | 17.6 | 8.5 | 6.3 | 5.2 |
| | 女性-20代以下 | 46 | 50.0 | 37.0 | 26.1 | 50.0 | 26.1 | 19.6 | 8.7 | 4.3 | 0.0 | 2.2 |
| | 女性-30代 | 48 | 37.5 | 35.4 | 39.6 | 56.3 | 43.8 | 12.5 | 20.8 | 16.7 | 0.0 | 0.0 |
| | 女性-40代 | 80 | 50.0 | 36.3 | 46.3 | 36.3 | 25.0 | 16.3 | 16.3 | 8.8 | 1.3 | 7.5 |
| | 女性-50代 | 88 | 48.9 | 40.9 | 31.8 | 34.1 | 25.0 | 13.6 | 14.8 | 8.0 | 2.3 | 1.1 |
| | 女性-60代 | 98 | 41.8 | 32.7 | 36.7 | 27.6 | 26.5 | 21.4 | 21.4 | 7.1 | 7.1 | 9.2 |
| | 女性-70代以上 | 100 | 43.0 | 46.0 | 35.0 | 19.0 | 12.0 | 30.0 | 20.0 | 8.0 | 19.0 | 7.0 |

<調査結果>

市が優先的に維持すべき公共施設について性・年齢別に見ると、男性・女性共に 30 代では「子ども家庭支援センター」(男性 55.6%) (女性 56.3%)、「児童館」(男性 41.7%) (女性 43.8%) が全体より高くなっています。

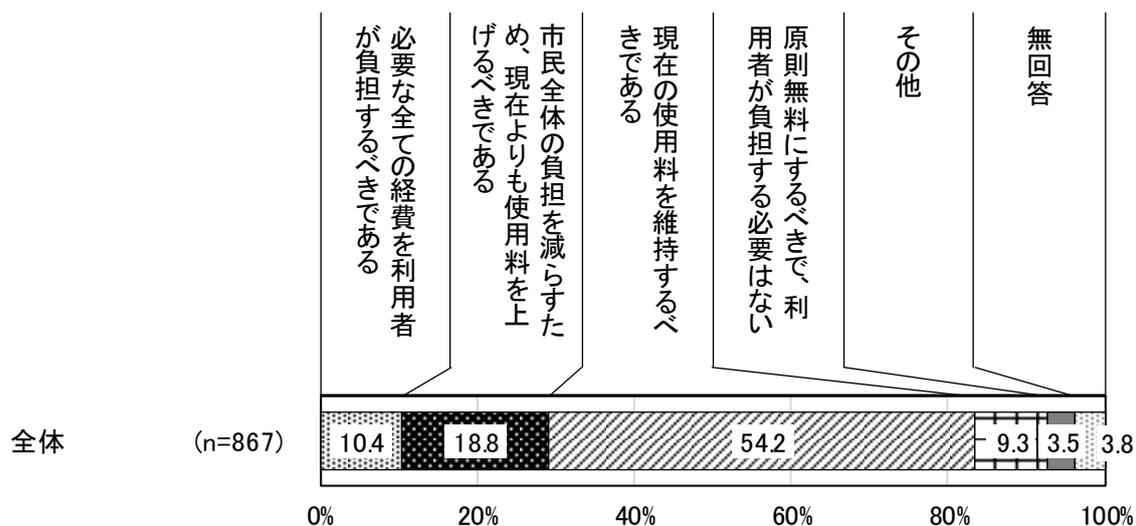
男性・女性共に、20 代以下～30 代にかけて「子ども家庭支援センター」や「児童館」といった子ども・子育てに関する公共施設の割合が全体より高い傾向にあります。

男性・女性共に 70 代以上 (男性 30.9%) (女性 30.0%) で「市民会館」の割合が全体よりやや高くなっています。

(3) 公共施設で利用者が負担する費用

問 41 スポーツ施設や集会施設などでは、公共施設の維持管理にかかる経費の一部として、利用者から使用料をいただいています。利用者が負担する費用についてどのように考えますか。(○は1つ)

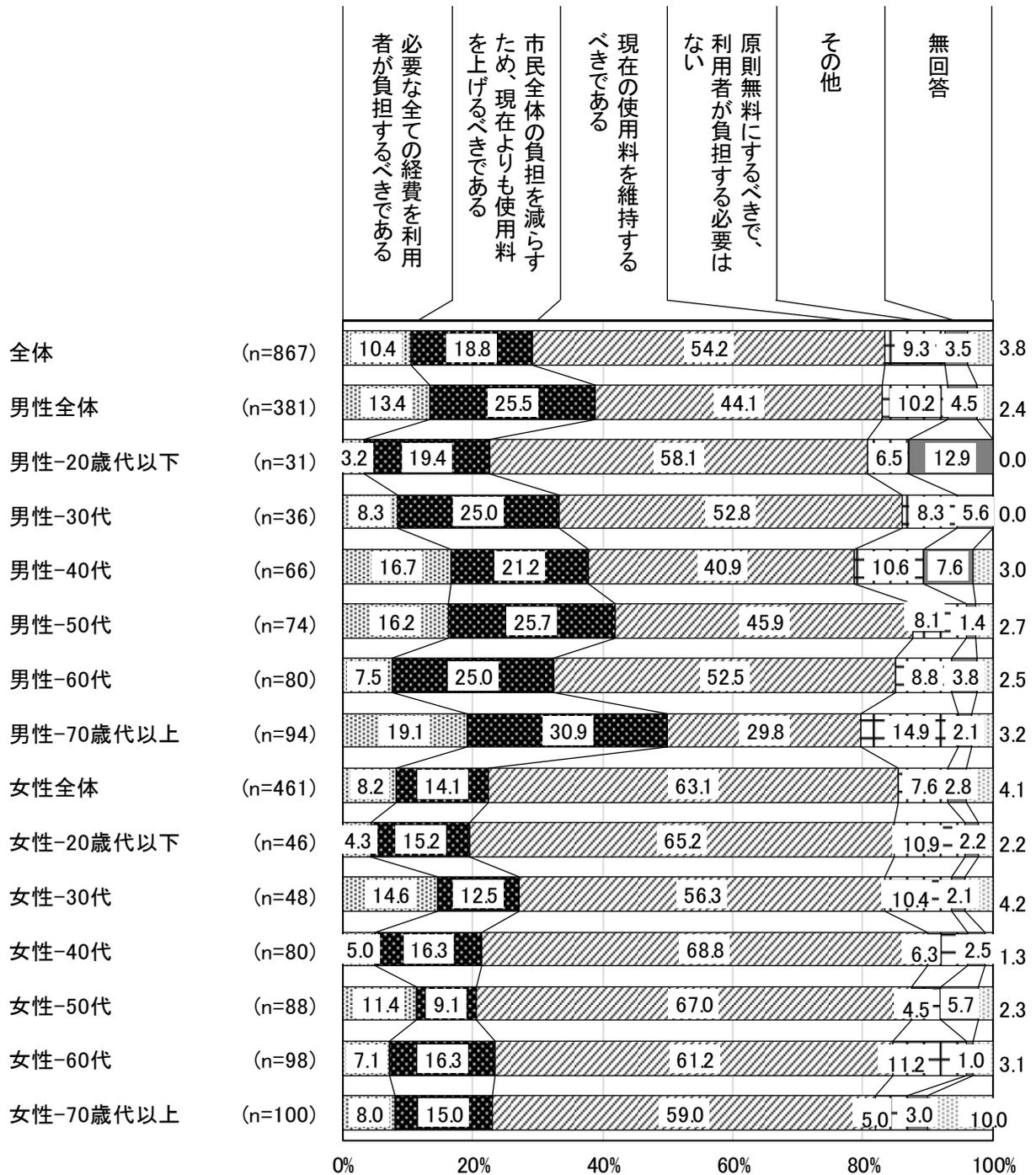
<図表 41-1> 公共施設で利用者が負担する費用



<調査結果>

公共施設で利用者が負担する費用について聞いたところ、「現在の使用料を維持するべきである」(54.2%)が5割半ばと最も高く、次いで、「市民全体の負担を減らすため、現在よりも使用料を上げるべきである」(18.8%)、「必要な全ての経費を利用者が負担するべきである」(10.4%)となっています。

<図表 41-2> 公共施設で利用者が負担する費用／性・年齢別



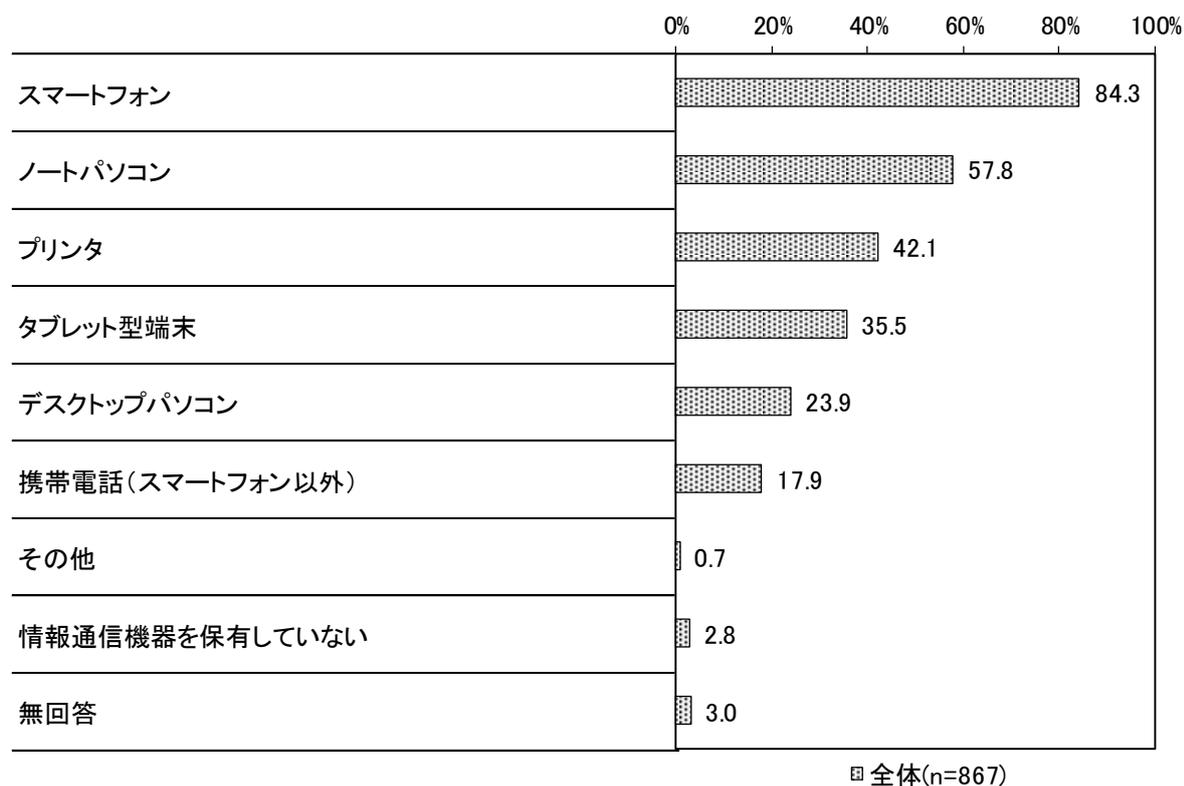
<調査結果>

公共施設で利用者が負担する費用について、「市民全体の負担を減らすため、現在よりも使用料を上げるべきである」の割合を性・年齢別に見ると、男性-70代以上（30.9%）が全体よりやや高くなっています。それ以外の性・年齢については「現在の使用料を維持するべきである」の割合が最も高くなっています。

(4) 世帯で保有している情報通信機器

問42 行政手続のデジタル化を進める上で伺います。あなたの世帯で保有している情報通信機器を次の中から選んでください。(〇はいくつでも)

<図表 42-1> 世帯で保有している情報通信機器



<調査結果>

世帯で保有している情報通信機器について聞いたところ、「スマートフォン」(84.3%)が8割半ばと最も高く、次いで、「ノートパソコン」(57.8%)が5割後半、「プリンタ」(42.1%)が4割以上となっています。

一方で、「情報通信機器を保有していない」(2.8%)もわずかに回答が見られます。

<図表 42-2> 世帯で保有している情報通信機器／ライフステージ別

| | | n | スマートフォン | ノートパソコン | プリンタ | タブレット型端末 | デスクトップパソコン | 携帯電話（スマートフォン以外） | その他 | 情報通信機器を保有していない | 無回答 |
|----------|--------|-----|---------|---------|------|----------|------------|-----------------|-----|----------------|-----|
| 全体 | | 867 | 84.3 | 57.8 | 42.1 | 35.5 | 23.9 | 17.9 | 0.7 | 2.8 | 3.0 |
| ライフステージ別 | 独身期 | 94 | 95.7 | 68.1 | 42.6 | 42.6 | 34.0 | 7.4 | 2.1 | 1.1 | 0.0 |
| | 家族形成期 | 119 | 95.8 | 70.6 | 42.9 | 49.6 | 31.1 | 6.7 | 1.7 | 1.7 | 0.0 |
| | 家族成長前期 | 66 | 97.0 | 69.7 | 51.5 | 65.2 | 22.7 | 15.2 | 0.0 | 0.0 | 0.0 |
| | 家族成長後期 | 55 | 94.5 | 78.2 | 58.2 | 52.7 | 23.6 | 10.9 | 1.8 | 0.0 | 0.0 |
| | 家族成熟期 | 218 | 88.1 | 62.4 | 48.6 | 38.1 | 24.8 | 17.0 | 0.0 | 3.2 | 1.8 |
| | 高齢期 | 60 | 73.3 | 66.7 | 56.7 | 33.3 | 26.7 | 30.0 | 0.0 | 3.3 | 6.7 |
| | 高齢者世帯 | 138 | 71.0 | 51.4 | 42.0 | 18.8 | 22.5 | 28.3 | 0.7 | 4.3 | 2.9 |
| | その他 | 154 | 79.2 | 39.0 | 27.3 | 20.1 | 18.2 | 22.1 | 0.6 | 3.2 | 4.5 |

<調査結果>

世帯で保有している情報通信機器について、高齢期と全体の割合を比較すると、「プリンタ」（56.7%）、「携帯電話（スマートフォン以外）」（30.0%）は全体よりやや高くなっています。一方で、「スマートフォン」（73.3%）が全体よりやや低くなっています。

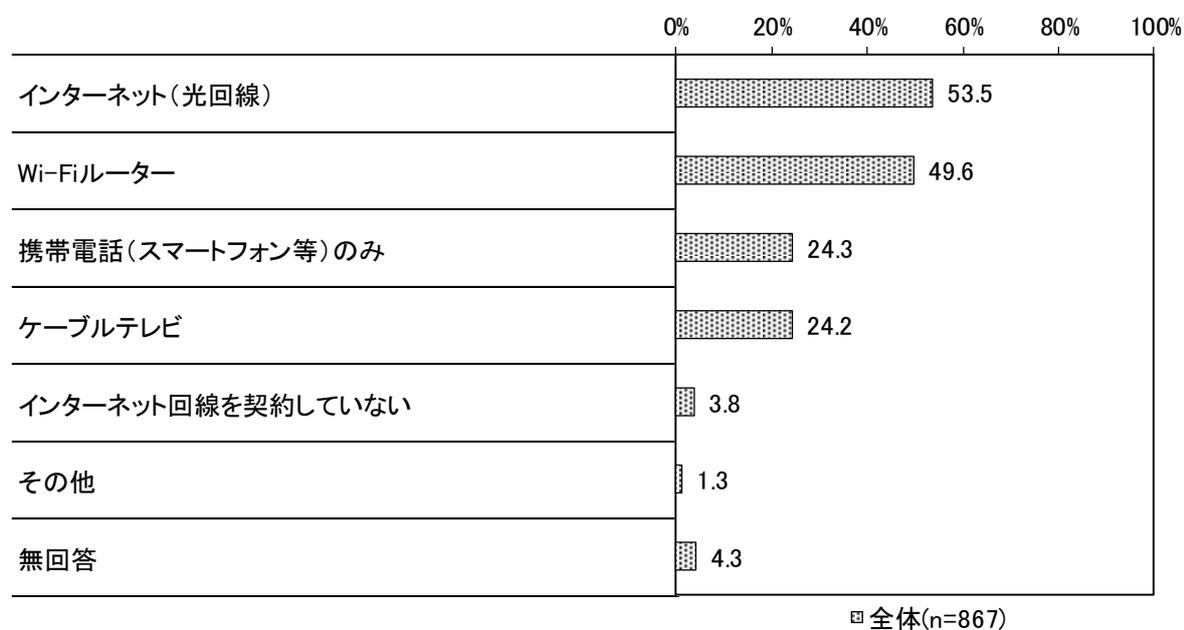
高齢者世帯と全体の割合を比較すると、「携帯電話（スマートフォン以外）」（28.3%）は全体よりやや高くなっています。一方で、「スマートフォン」（71.0%）、「タブレット型端末」（18.8%）が全体よりやや低くなっています。

ライフステージが若年層では、「スマートフォン」、「ノートパソコン」、「タブレット型端末」など、様々な情報通信機器を有している傾向にあります。

(5) 世帯のインターネット環境

問 43 あなたの世帯のインターネット環境を次の中から選んでください。(〇はいくつでも)

<図表 43-1> 世帯のインターネット環境



<調査結果>

世帯のインターネット環境について聞いたところ、「インターネット（光回線）」（53.5%）が5割半ばと最も高く、次いで、「Wi-Fi ルーター」（49.6%）が約5割となっています。また、「携帯電話（スマートフォン等）のみ」（24.3%）、「ケーブルテレビ」（24.2%）が2割半ばとなっています。

一方で、「インターネット回線を契約していない」（3.8%）もわずかに回答が見られます。

<図表 43-2> 世帯のインターネット環境／ライフステージ別

| | | n | インターネット (光回線) | W i - F i ル ー タ ー | 携 帯 電 話 (ス マ ー ト フ ォ ン 等) の み | ケ ー ブ ル テ レ ビ | イ ン タ ー ネ ッ ト 回 線 を 契 約 し て い な い | そ の 他 | 無 回 答 |
|--------------------------------------|--------|-----|------------------|---|--|---------------------------------|---|-------------|-------------|
| 全体 | | 867 | 53.5 | 49.6 | 24.3 | 24.2 | 3.8 | 1.3 | 4.3 |
| ラ イ フ ス テ ー ジ 別 | 独身期 | 94 | 62.8 | 62.8 | 13.8 | 23.4 | 0.0 | 0.0 | 1.1 |
| | 家族形成期 | 119 | 68.1 | 63.0 | 11.8 | 16.8 | 0.0 | 0.8 | 0.8 |
| | 家族成長前期 | 66 | 65.2 | 63.6 | 13.6 | 15.2 | 0.0 | 0.0 | 0.0 |
| | 家族成長後期 | 55 | 72.7 | 63.6 | 16.4 | 25.5 | 1.8 | 1.8 | 0.0 |
| | 家族成熟期 | 218 | 61.5 | 56.0 | 23.4 | 26.1 | 3.2 | 1.8 | 1.8 |
| | 高齢期 | 60 | 60.0 | 43.3 | 18.3 | 33.3 | 1.7 | 0.0 | 10.0 |
| | 高齢者世帯 | 138 | 45.7 | 42.0 | 30.4 | 31.9 | 5.8 | 2.2 | 4.3 |
| | その他 | 154 | 35.1 | 37.7 | 35.1 | 22.7 | 7.1 | 1.3 | 6.5 |

<調査結果>

世帯のインターネット環境について、「携帯電話（スマートフォン等）のみ」の割合をライフステージ別に見ると、その他（35.1%）が全体よりやや高くなっています。一方で、独身期（13.8%）、家族形成期（11.8%）、家族成長前期（13.6%）が全体よりやや低くなっています。

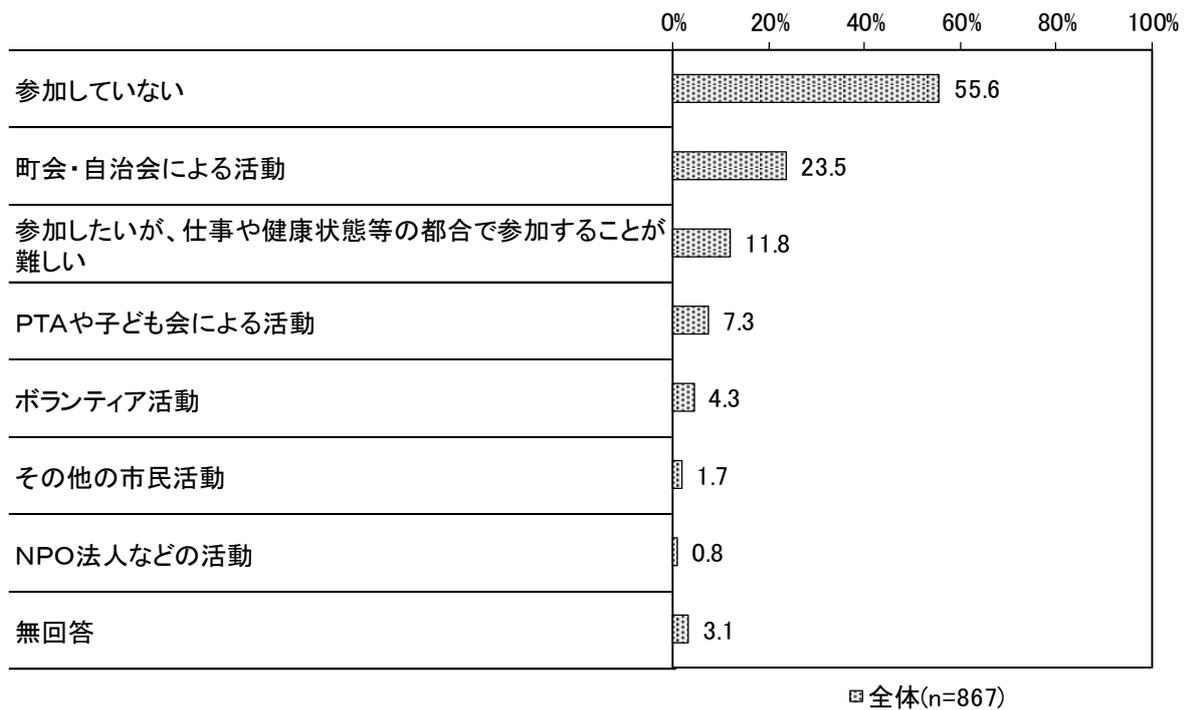
ライフステージが若年層の方は、「インターネット（光回線）」、「Wi-Fi ルーター」など、世帯のインターネット環境を整備している傾向にあります。

13 市民活動

(1) 参加している市民活動

問 44 地域で様々な市民活動が行われています。あなたが参加している市民活動は何ですか。
(〇はいくつでも)

<図表 44-1>参加している市民活動



<調査結果>

参加している市民活動について聞いたところ、「参加していない」(55.6%)が5割半ばと最も高くなっています。このほか、「町会・自治会による活動」(23.5%)が2割半ば、次いで、「参加したいが、仕事や健康状態等の都合で参加することが難しい」(11.8%)、「PTAや子ども会による活動」(7.3%)となっています。

<図表 44-2> 参加している市民活動／職業別

| | | n | 参加していない | 町会・自治会による活動 | 参加したいが、仕事や健康状態等の都合で参加することが難しい | P T A や子ども会による活動 | ボランティア活動 | その他の市民活動 | N P O 法人などの活動 | 無回答 |
|-----|-------------|-----|---------|-------------|-------------------------------|------------------|----------|----------|---------------|-----|
| 全体 | | 867 | 55.6 | 23.5 | 11.8 | 7.3 | 4.3 | 1.7 | 0.8 | 3.1 |
| 職業別 | 自営業主 | 63 | 46.0 | 25.4 | 22.2 | 9.5 | 3.2 | 1.6 | 0.0 | 6.3 |
| | 家業従事(家業手伝い) | 9 | 11.1 | 66.7 | 0.0 | 11.1 | 0.0 | 0.0 | 11.1 | 0.0 |
| | 事務・技術系勤め人 | 206 | 64.1 | 17.5 | 10.7 | 6.8 | 2.4 | 0.5 | 0.5 | 1.9 |
| | 労務系勤め人 | 105 | 59.0 | 24.8 | 12.4 | 10.5 | 3.8 | 1.0 | 0.0 | 0.0 |
| | 学生 | 22 | 54.5 | 13.6 | 22.7 | 4.5 | 4.5 | 4.5 | 0.0 | 4.5 |
| | パート・アルバイト | 171 | 54.4 | 24.0 | 10.5 | 12.3 | 4.1 | 1.2 | 0.6 | 1.8 |
| | 専業主婦・主夫 | 126 | 47.6 | 27.0 | 11.9 | 3.2 | 3.2 | 4.8 | 2.4 | 4.8 |
| | 無職 | 152 | 55.3 | 26.3 | 9.9 | 3.3 | 9.2 | 2.0 | 0.7 | 4.6 |

<調査結果>

参加している市民活動について、「参加したいが、仕事や健康状態等の都合で参加することが難しい」の割合を職業別に見ると、自営業主(22.2%)、学生(22.7%)が全体よりやや高くなっています。

家業従事(家業手伝い)と全体の割合を比較すると、「町会・自治会による活動」(66.7%)は全体よりとても高く、「NPO法人などの活動」(11.1%)は全体よりやや高くなっています。一方で、「参加していない」(11.1%)が全体よりとても低くなっています。

<図表 44-3> 参加している市民活動／性・年齢別

| | | n | 参加していない | 町会・自治会による活動 | 参加したいが、仕事や健康状態等の都合で参加することが難しい | P T A や子ども会による活動 | ボランティア活動 | その他の市民活動 | N P O 法人などの活動 | 無回答 |
|-------|----------|-----|---------|-------------|-------------------------------|------------------|----------|----------|---------------|-----|
| 全体 | | 867 | 55.6 | 23.5 | 11.8 | 7.3 | 4.3 | 1.7 | 0.8 | 3.1 |
| 性・年齢別 | 男性全体 | 381 | 58.3 | 22.8 | 11.8 | 5.2 | 5.8 | 1.8 | 0.5 | 2.4 |
| | 男性-20代以下 | 31 | 71.0 | 9.7 | 16.1 | 0.0 | 3.2 | 3.2 | 0.0 | 3.2 |
| | 男性-30代 | 36 | 50.0 | 16.7 | 25.0 | 13.9 | 8.3 | 0.0 | 0.0 | 0.0 |
| | 男性-40代 | 66 | 72.7 | 9.1 | 10.6 | 7.6 | 1.5 | 1.5 | 0.0 | 1.5 |
| | 男性-50代 | 74 | 50.0 | 35.1 | 10.8 | 8.1 | 8.1 | 2.7 | 1.4 | 2.7 |
| | 男性-60代 | 80 | 60.0 | 22.5 | 11.3 | 3.8 | 1.3 | 2.5 | 0.0 | 2.5 |
| | 男性-70代以上 | 94 | 52.1 | 29.8 | 7.4 | 1.1 | 10.6 | 1.1 | 1.1 | 3.2 |
| | 女性全体 | 461 | 53.8 | 24.9 | 11.9 | 9.1 | 3.3 | 1.5 | 0.7 | 2.8 |
| | 女性-20代以下 | 46 | 71.7 | 8.7 | 19.6 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 |
| | 女性-30代 | 48 | 70.8 | 18.8 | 2.1 | 18.8 | 2.1 | 0.0 | 0.0 | 0.0 |
| | 女性-40代 | 80 | 41.3 | 23.8 | 12.5 | 32.5 | 2.5 | 0.0 | 0.0 | 2.5 |
| | 女性-50代 | 88 | 56.8 | 27.3 | 12.5 | 6.8 | 2.3 | 0.0 | 0.0 | 0.0 |
| | 女性-60代 | 98 | 60.2 | 21.4 | 11.2 | 0.0 | 2.0 | 2.0 | 2.0 | 4.1 |
| | 女性-70代以上 | 100 | 38.0 | 38.0 | 13.0 | 1.0 | 8.0 | 5.0 | 1.0 | 7.0 |

<調査結果>

参加している市民活動について、「町会・自治会による活動」の割合を性・年齢別に見ると、女性-70代以上（38.0%）、男性-50代（35.1%）が全体よりやや高くなっています。

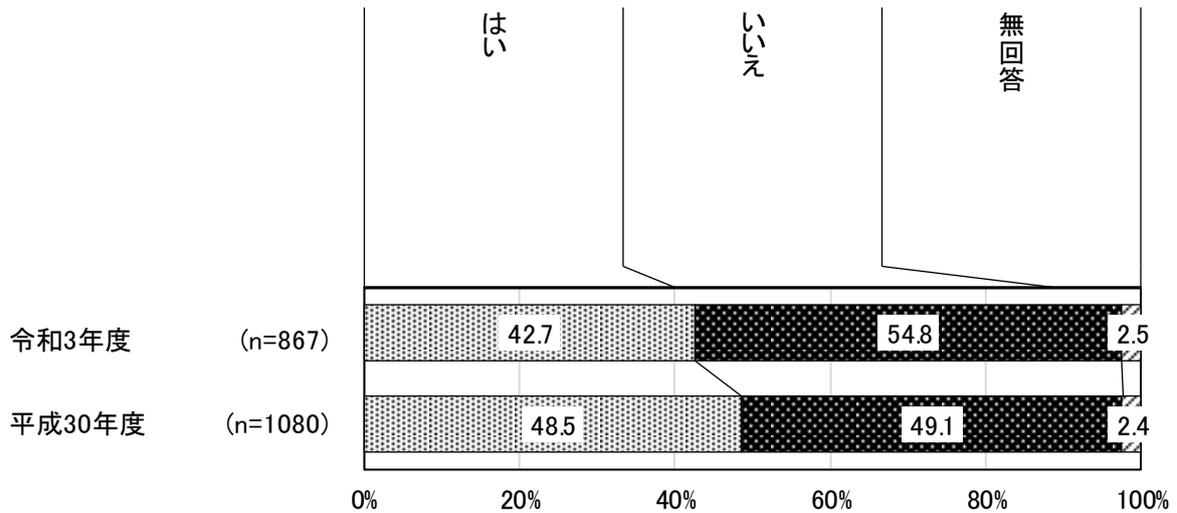
「参加したいが、仕事や健康状態等の都合で参加することが難しい」は、男性-30代（25.0%）が全体よりやや高くなっています。

「P T A や子ども会による活動」は、女性-40代（32.5%）が全体よりとても高く、女性-30代（18.8%）が全体よりやや高くなっています。

(2) 町会・自治会への加入状況

問45 町会・自治会は、地域の皆さんが安全で安心して暮らすための様々な活動をしています。あなたは、町会・自治会に加入していますか。(○は1つ)

<図表 45-1> 町会・自治会への加入状況

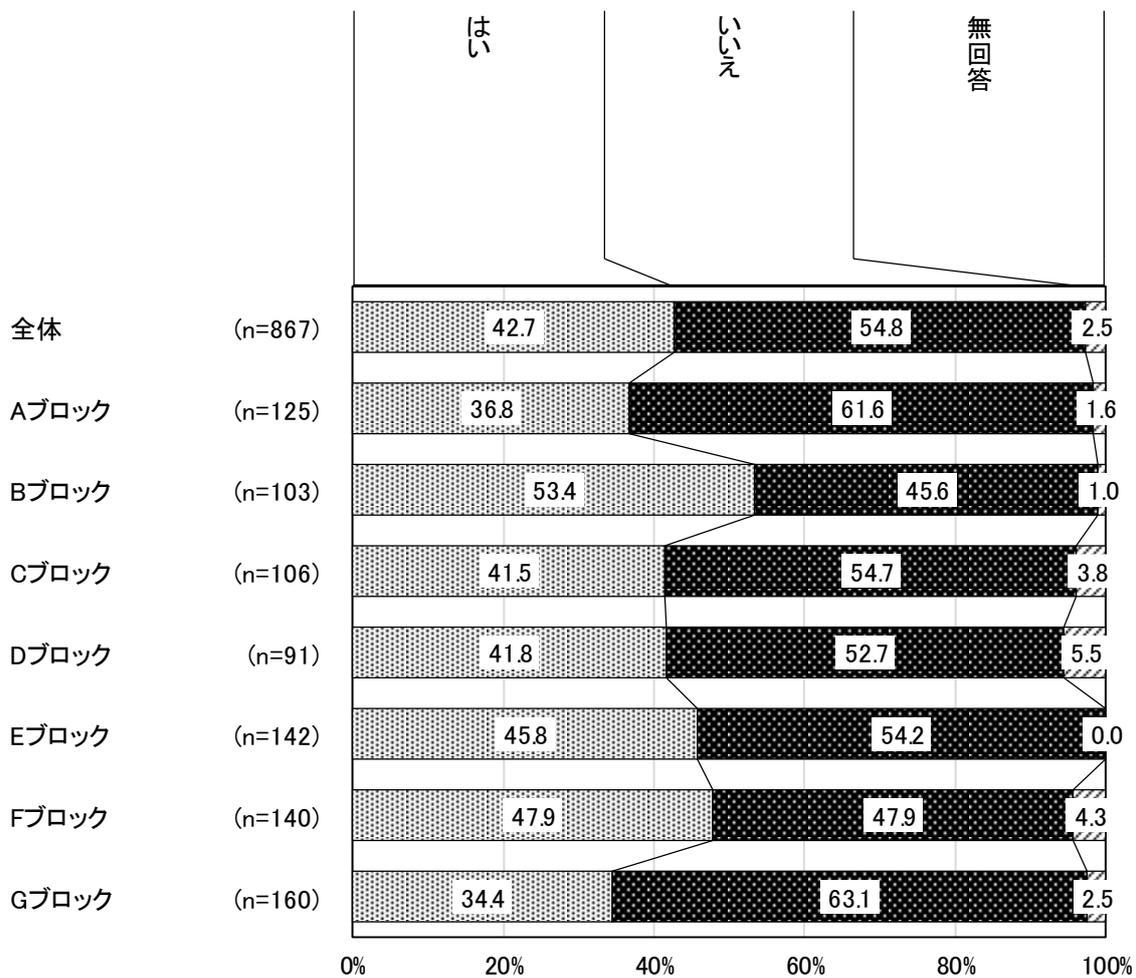


<調査結果>

町会・自治会への加入状況について聞いたところ、「はい」が42.7%、「いいえ」が54.8%となっています。

「はい」は平成30年度(48.5%)から令和3年度(42.7%)にかけて5.8ポイント減少しています。

<図表 45-2> 町会・自治会への加入状況／ブロック別

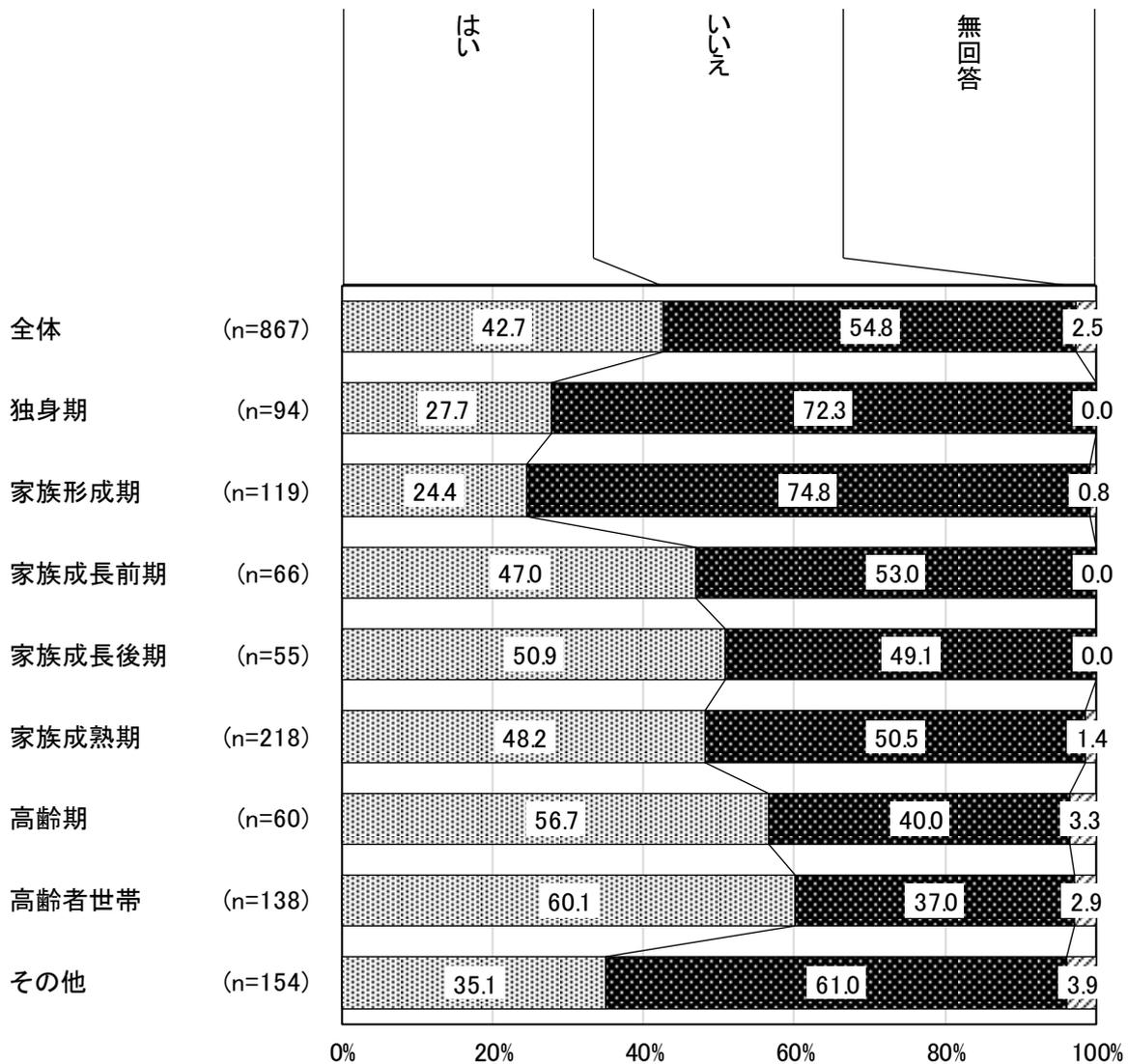


<調査結果>

町会・自治会への加入状況についてブロック別に見ると、「はい」はBブロック（53.4%）が最も高く5割半ばとなっています。一方で、Gブロック（34.4%）が最も低く3割半ばとなっています。次いで、Aブロック（36.8%）も3割半ばとなっています。

最も高いBブロック（53.4%）と最も低いGブロック（34.4%）では19.0ポイント差が開いています。

<図表 45-3> 町会・自治会への加入状況／ライフステージ別



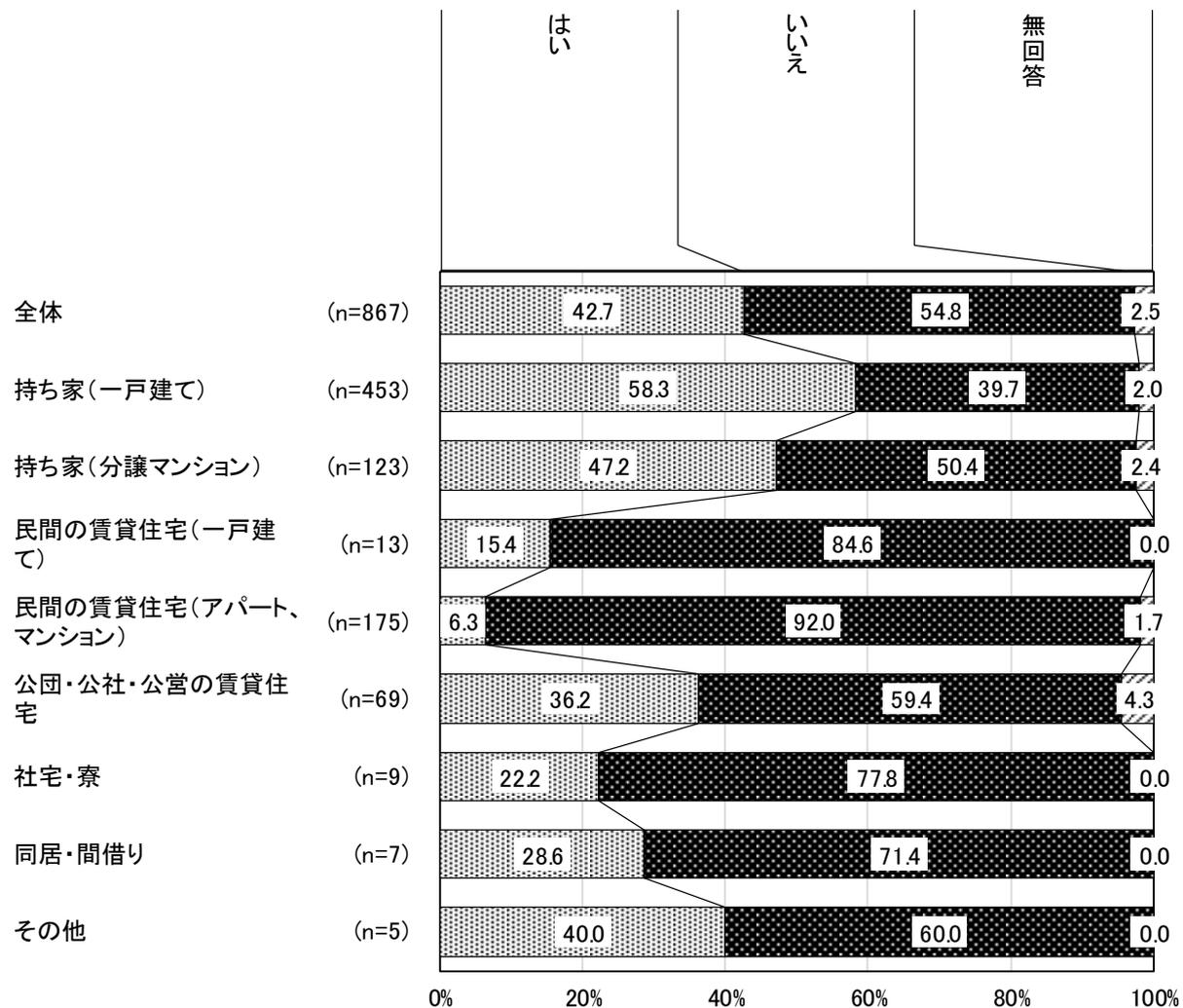
<調査結果>

町会・自治会への加入状況についてライフステージ別に見ると、「はい」は高齢者世帯（60.1%）が最も高く約6割となっています。次いで、高齢期（56.7%）、家族成長後期（50.9%）が5割を超えています。一方で、家族形成期（24.4%）が最も低く2割半ばとなっています。次いで、独身期（27.7%）が2割後半となっています。

最も高い高齢者世帯（60.1%）と最も低い家族形成期（24.4%）では35.7ポイント差が開いています。

おおむね、ライフステージが高くなるにつれて「はい」の割合が上昇する傾向にあり、独身期（27.7%）と家族形成期（24.4%）では「はい」の割合が2割台だったのに対し、家族成長前期（47.0%）では4割後半、高齢者世帯（60.1%）では約6割まで上昇しています。

<図表 45-4> 町会・自治会への加入状況／住居形態別



<調査結果>

町会・自治会への加入状況について住居形態別に見ると、「はい」は持ち家(一戸建て)(58.3%)が最も高く5割後半となっています。次いで、持ち家(分譲マンション)(47.2%)、その他(40.0%)が4割を超えています。一方で、民間の賃貸住宅(アパート、マンション)(6.3%)が最も低く1割未満となっています。次いで、民間の賃貸住宅(一戸建て)(15.4%)が1割半ばとなっています。

最も高い持ち家(一戸建て)(58.3%)と最も低い民間の賃貸住宅(アパート、マンション)(6.3%)では52.0ポイント差が開いています。

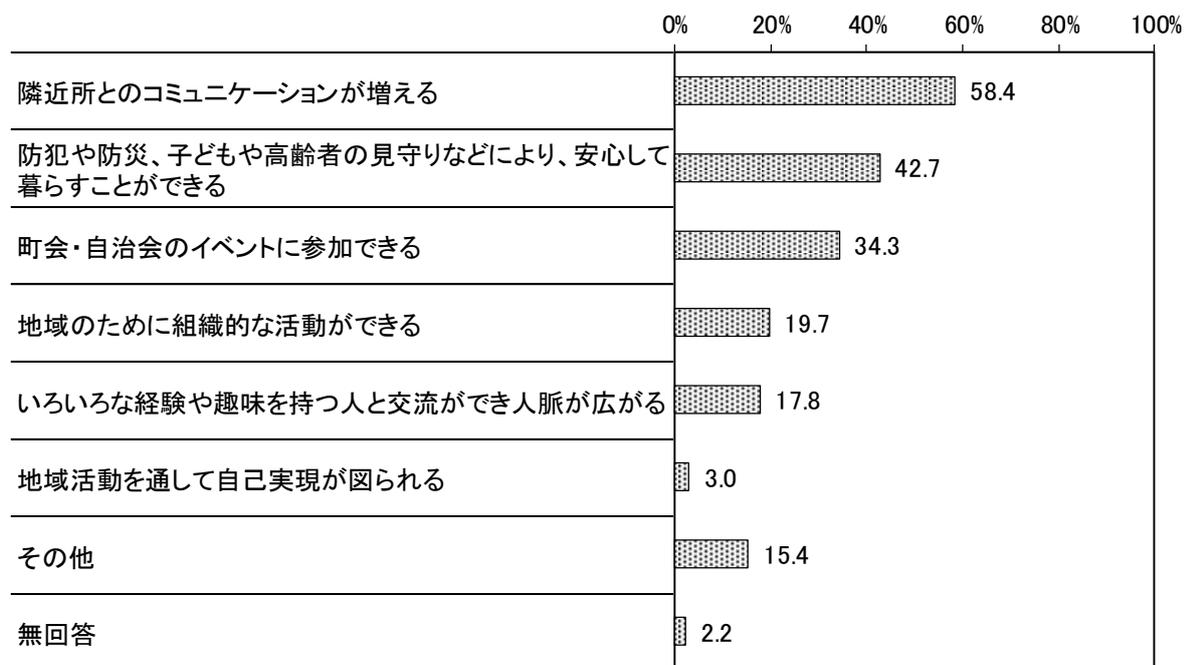
「はい」の割合は持ち家(一戸建て、分譲マンション)が高い傾向にあり、民間の賃貸住宅(一戸建て、アパート、マンション)を大きく上回っています。

(2-1) 町会・自治会へ加入している理由

問 45 で「1 はい」と回答した方に伺います。

問 45 -1 加入している理由は何ですか。(○は3つまで)

<図表 45-1-1>町会・自治会へ加入している理由



回全体(n=370)

<調査結果>

町会・自治会へ加入している理由について聞いたところ、「隣近所とのコミュニケーションが増える」(58.4%)が5割後半と最も高く、次いで、「防犯や防災、子どもや高齢者の見守りなどにより、安心して暮らすことができる」(42.7%)が4割以上、「町会・自治会のイベントに参加できる」(34.3%)が3割半ばとなっています。

<図表 45-1-2> 町会・自治会へ加入している理由／ライフステージ別

| | | n | 隣近所とのコミュニケーションが増える | 防犯や防災、子どもや高齢者の見守りなどにより、安心して暮らすことができる | 町会・自治会のイベントに参加できる | 地域のために組織的な活動ができる | いろいろな経験や趣味を持つ人と交流ができる人脈が広がる | 地域活動を通して自己実現が図られる | その他 | 無回答 |
|----------|--------|-----|--------------------|--------------------------------------|-------------------|------------------|-----------------------------|-------------------|------|-----|
| 全体 | | 370 | 58.4 | 42.7 | 34.3 | 19.7 | 17.8 | 3.0 | 15.4 | 2.2 |
| ライフステージ別 | 独身期 | 26 | 46.2 | 30.8 | 15.4 | 7.7 | 19.2 | 0.0 | 23.1 | 3.8 |
| | 家族形成期 | 29 | 44.8 | 27.6 | 17.2 | 6.9 | 13.8 | 0.0 | 20.7 | 3.4 |
| | 家族成長前期 | 31 | 64.5 | 61.3 | 58.1 | 12.9 | 12.9 | 6.5 | 12.9 | 0.0 |
| | 家族成長後期 | 28 | 46.4 | 50.0 | 32.1 | 21.4 | 32.1 | 0.0 | 7.1 | 0.0 |
| | 家族成熟期 | 105 | 54.3 | 36.2 | 28.6 | 22.9 | 12.4 | 2.9 | 17.1 | 2.9 |
| | 高齢期 | 34 | 64.7 | 47.1 | 38.2 | 20.6 | 23.5 | 0.0 | 11.8 | 5.9 |
| | 高齢者世帯 | 83 | 71.1 | 49.4 | 38.6 | 20.5 | 24.1 | 4.8 | 9.6 | 2.4 |
| | その他 | 54 | 55.6 | 40.7 | 42.6 | 16.7 | 16.7 | 1.9 | 22.2 | 0.0 |

<調査結果>

町会・自治会へ加入している理由について、家族成長前期と全体の割合を比較すると、「防犯や防災、子どもや高齢者の見守りなどにより、安心して暮らすことができる」(61.3%)、「町会・自治会のイベントに参加できる」(58.1%)は全体より高くなっています。

高齢者世帯と全体の割合を比較すると、「隣近所とのコミュニケーションが増える」(71.1%)は全体よりやや高くなっています。

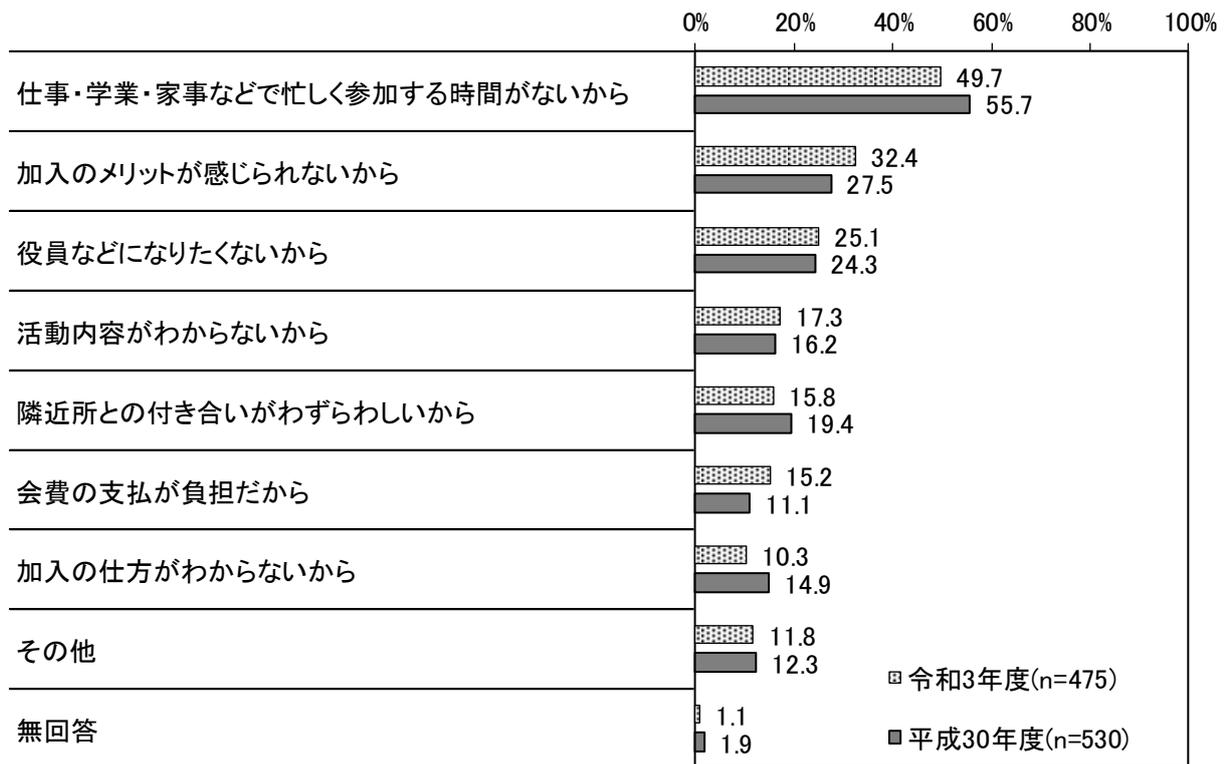
一方で、独身期と家族形成期では町会・自治会へ加入している理由の上位4項目がいずれも全体の割合を10ポイント以上下回っています。

(2-2) 町会・自治会へ加入していない理由

問 45 で「2 いいえ」と回答した方に伺います。

問 45 -2 加入しない理由は何ですか。(○は3つまで)

<図表 45-2-1>町会・自治会へ加入していない理由



<調査結果>

町会・自治会へ加入していない理由について聞いたところ、「仕事・学業・家事などで忙しく参加する時間がないから」(49.7%) が約5割と最も高く、次いで、「加入のメリットが感じられないから」(32.4%) が3割以上、「役員などになりたくないから」(25.1%) が2割半ばとなっています。

「加入の仕方がわからないから」(10.3%) という回答も、約1割見られます。

<図表 45-2-2> 町会・自治会へ加入していない理由／ライフステージ別

| | | n | 仕事・学業・家事などで忙しく参加する時間がないから | 加入のメリットが感じられないから | 役員などになりたくないから | 活動内容がわからないから | 隣近所との付き合いがわずらわしいから | 会費の支払が負担だから | 加入の仕方がわからないから | その他 | 無回答 |
|----------|--------|-----|---------------------------|------------------|---------------|--------------|--------------------|-------------|---------------|------|-----|
| 全体 | | 475 | 49.7 | 32.4 | 25.1 | 17.3 | 15.8 | 15.2 | 10.3 | 11.8 | 1.1 |
| ライフステージ別 | 独身期 | 68 | 61.8 | 27.9 | 19.1 | 19.1 | 13.2 | 14.7 | 10.3 | 13.2 | 0.0 |
| | 家族形成期 | 89 | 66.3 | 28.1 | 22.5 | 20.2 | 11.2 | 13.5 | 21.3 | 14.6 | 1.1 |
| | 家族成長前期 | 35 | 65.7 | 28.6 | 28.6 | 5.7 | 11.4 | 11.4 | 14.3 | 5.7 | 0.0 |
| | 家族成長後期 | 27 | 59.3 | 48.1 | 44.4 | 0.0 | 11.1 | 33.3 | 7.4 | 3.7 | 0.0 |
| | 家族成熟期 | 110 | 49.1 | 34.5 | 26.4 | 10.9 | 20.9 | 14.5 | 5.5 | 10.9 | 0.0 |
| | 高齢期 | 24 | 20.8 | 50.0 | 29.2 | 16.7 | 29.2 | 8.3 | 4.2 | 16.7 | 0.0 |
| | 高齢者世帯 | 51 | 17.6 | 39.2 | 29.4 | 25.5 | 13.7 | 11.8 | 5.9 | 19.6 | 2.0 |
| | その他 | 94 | 47.9 | 28.7 | 23.4 | 25.5 | 9.6 | 12.8 | 8.5 | 9.6 | 2.1 |

<調査結果>

町会・自治会へ加入していない理由について、「役員などになりたくないから」の割合をライフステージ別に見ると、家族成長後期（44.4%）が全体より高くなっています。

「会費の支払が負担だから」の割合をライフステージ別に見ると、家族成長後期（33.3%）が全体より高くなっています。

ライフステージが若年層では、「仕事・学業・家事などで忙しく参加する時間がないから」の割合が全体より高い傾向にあります。

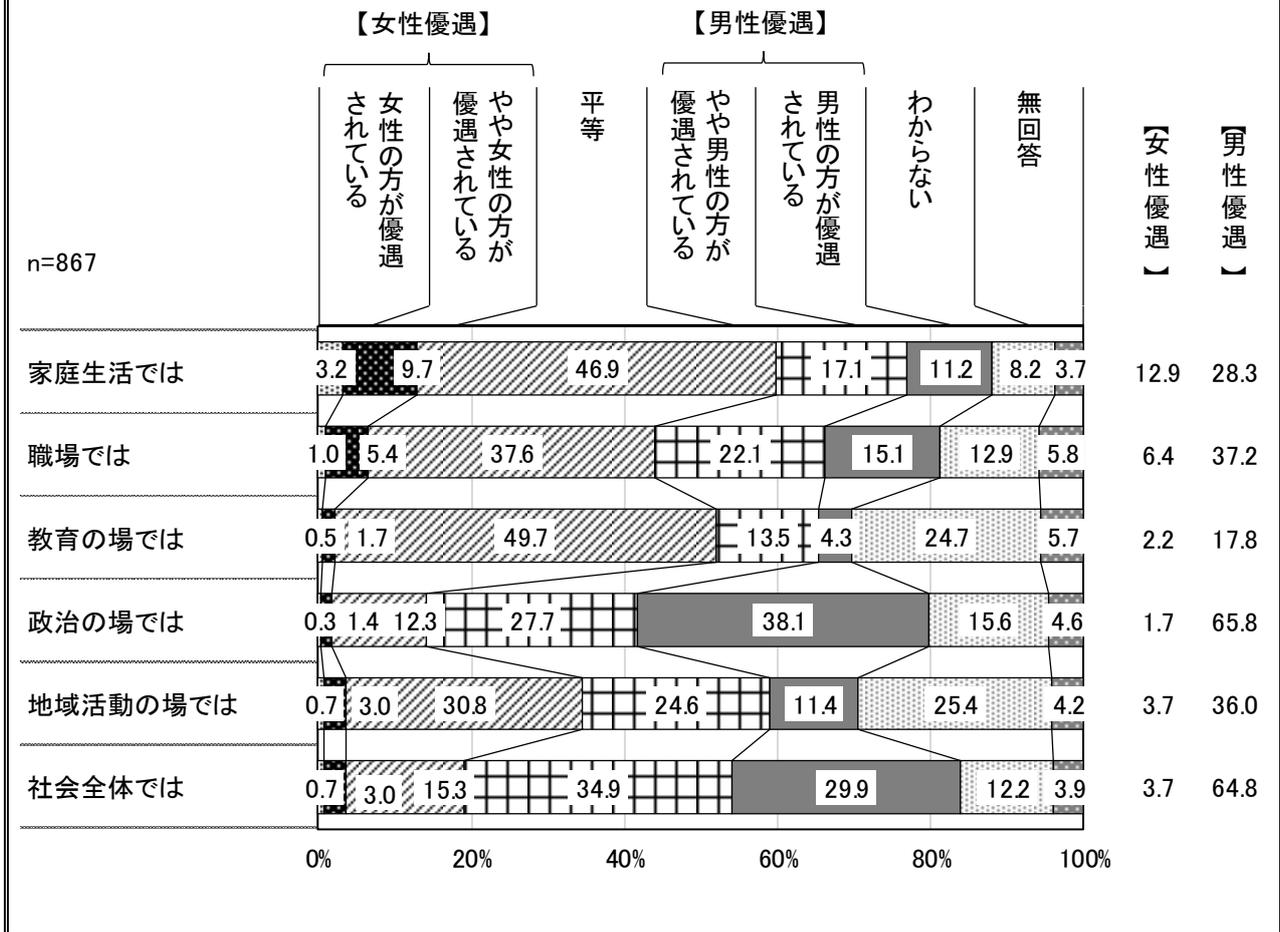
14 男女共同参画

(1) 男女の地位の平等感

問 46 あなたの身近なそれぞれの場において、男女の地位は平等になっていると思いますか。各項目について、それぞれ1つずつ番号を選んでください。

※その場にいない場合でも、周りを見て最も近いと感じるものをお選びください。

<図表 46-1>男女の地位の平等感



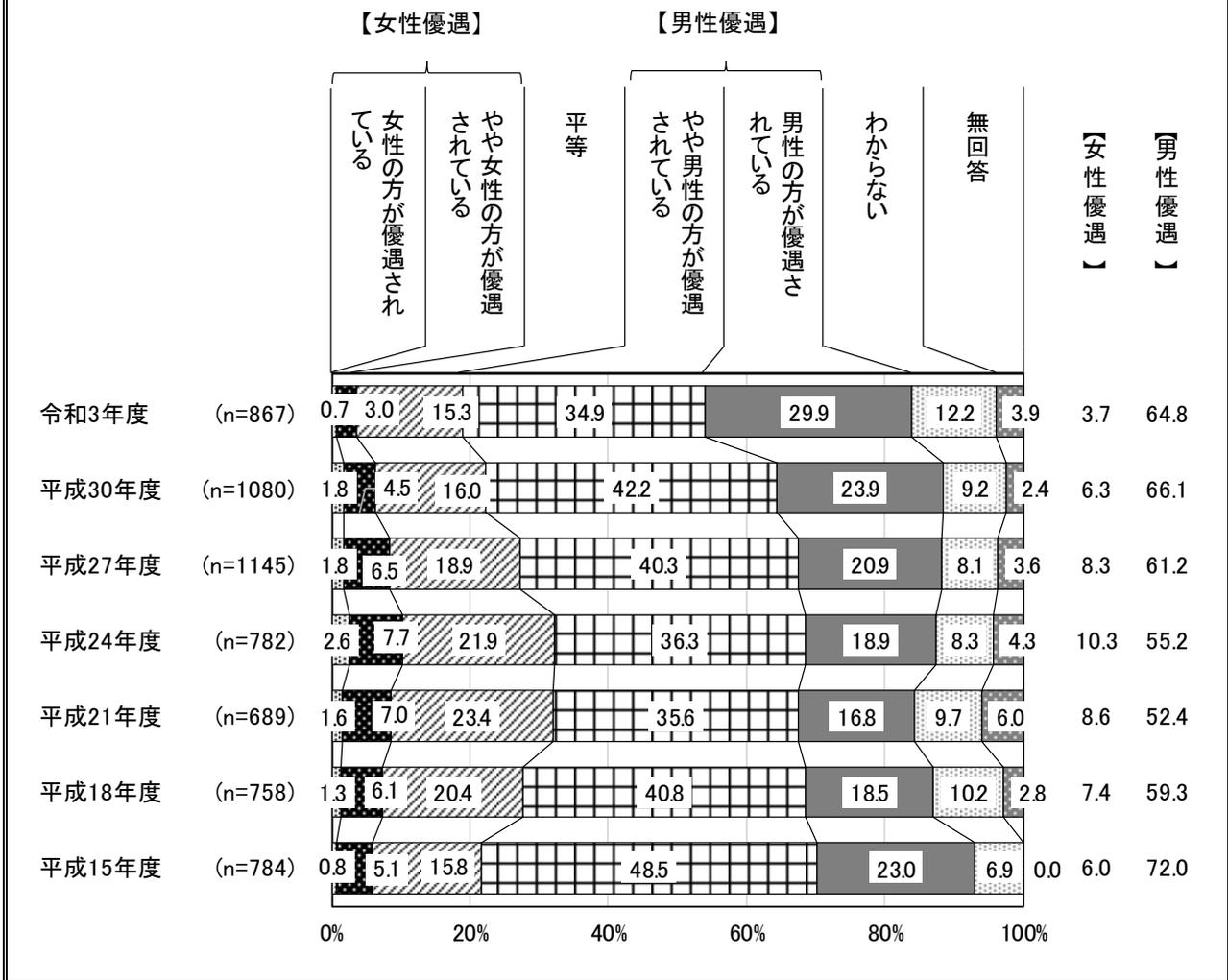
<調査結果>

男女の地位の平等感について聞いたところ、「平等」は、「教育の場では」(49.7%)が最も高く約5割、次いで、「家庭生活では」(46.9%)、「職場では」(37.6%)となっています。

「女性の方が優遇されている」と「やや女性の方が優遇されている」を合計した【女性優遇】は、「家庭生活では」(12.9%)が最も高く、1割以上となっています。

「やや男性の方が優遇されている」と「男性の方が優遇されている」を合計した【男性優遇】は「政治の場では」(65.8%)が最も高く6割半ばとなっています。

<図表 46-2> 男女の地位の平等感「社会全体では」／過年度推移



<調査結果>

男女の地位の平等感「社会全体では」について過年度推移を見ると、令和3年度は【男性優遇】(64.8%)が6割半ばとなっており、平成30年度(66.1%)から1.3ポイント減少しています。また、【女性優遇】(3.7%)が平成30年度(6.3%)から2.6ポイント減少しています。

「平等」については、平成15年度(15.8%)から上昇を続けていたものの、平成21年度(23.4%)をピークに減少し、令和3年度(15.3%)では1割半ばとなっています。

<図表 46-3> 男女の地位の平等感／性・年齢別

| | | n | 家庭生活では | | | | |
|-------|----------|-----|--------|------|--------|-------|-----|
| | | | 【女性優遇】 | 平等 | 【男性優遇】 | わからない | 無回答 |
| 全体 | | 867 | 12.9 | 46.9 | 28.3 | 8.2 | 3.7 |
| 性・年齢別 | 男性全体 | 381 | 15.5 | 53.3 | 19.2 | 10.2 | 1.8 |
| | 男性-20代以下 | 31 | 9.7 | 51.6 | 25.8 | 12.9 | 0.0 |
| | 男性-30代 | 36 | 13.9 | 58.3 | 16.7 | 11.1 | 0.0 |
| | 男性-40代 | 66 | 22.7 | 59.1 | 6.1 | 10.6 | 1.5 |
| | 男性-50代 | 74 | 13.5 | 63.5 | 16.2 | 6.8 | 0.0 |
| | 男性-60代 | 80 | 17.6 | 47.5 | 18.8 | 11.3 | 5.0 |
| | 男性-70代以上 | 94 | 12.8 | 44.7 | 29.8 | 10.6 | 2.1 |
| | 女性全体 | 461 | 11.3 | 43.4 | 37.1 | 6.9 | 1.3 |
| | 女性-20代以下 | 46 | 15.2 | 60.9 | 10.8 | 13.0 | 0.0 |
| | 女性-30代 | 48 | 12.5 | 45.8 | 35.5 | 6.3 | 0.0 |
| | 女性-40代 | 80 | 13.8 | 40.0 | 36.3 | 10.0 | 0.0 |
| | 女性-50代 | 88 | 9.1 | 36.4 | 50.0 | 3.4 | 1.1 |
| | 女性-60代 | 98 | 9.1 | 48.0 | 38.8 | 4.1 | 0.0 |
| | 女性-70代以上 | 100 | 11.0 | 39.0 | 38.0 | 7.0 | 5.0 |

| | | n | 職場では | | | | |
|-------|----------|-----|--------|------|--------|-------|------|
| | | | 【女性優遇】 | 平等 | 【男性優遇】 | わからない | 無回答 |
| 全体 | | 867 | 6.4 | 37.6 | 37.2 | 12.9 | 5.8 |
| 性・年齢別 | 男性全体 | 381 | 7.0 | 44.4 | 32.5 | 12.3 | 3.7 |
| | 男性-20代以下 | 31 | 16.1 | 29.0 | 29.0 | 25.8 | 0.0 |
| | 男性-30代 | 36 | 13.9 | 38.9 | 38.9 | 8.3 | 0.0 |
| | 男性-40代 | 66 | 7.5 | 57.6 | 28.7 | 4.5 | 1.5 |
| | 男性-50代 | 74 | 10.8 | 51.4 | 31.1 | 6.8 | 0.0 |
| | 男性-60代 | 80 | 5.0 | 40.0 | 35.1 | 13.8 | 6.3 |
| | 男性-70代以上 | 94 | 0.0 | 40.4 | 33.0 | 18.1 | 8.5 |
| | 女性全体 | 461 | 6.3 | 33.2 | 42.9 | 13.9 | 3.7 |
| | 女性-20代以下 | 46 | 19.5 | 32.6 | 34.7 | 13.0 | 0.0 |
| | 女性-30代 | 48 | 8.4 | 47.9 | 31.3 | 12.5 | 0.0 |
| | 女性-40代 | 80 | 7.5 | 48.8 | 36.3 | 7.5 | 0.0 |
| | 女性-50代 | 88 | 8.0 | 26.1 | 59.1 | 5.7 | 1.1 |
| | 女性-60代 | 98 | 2.0 | 29.6 | 53.0 | 15.3 | 0.0 |
| | 女性-70代以上 | 100 | 1.0 | 24.0 | 33.0 | 26.0 | 16.0 |

| | | n | 教育の場では | | | | |
|-------|----------|-----|--------|------|--------|-------|------|
| | | | 【女性優遇】 | 平等 | 【男性優遇】 | わからない | 無回答 |
| 全体 | | 867 | 2.2 | 49.7 | 17.8 | 24.7 | 5.7 |
| 性・年齢別 | 男性全体 | 381 | 2.4 | 55.1 | 14.9 | 23.6 | 3.9 |
| | 男性-20代以下 | 31 | 6.5 | 54.8 | 16.1 | 22.6 | 0.0 |
| | 男性-30代 | 36 | 5.6 | 41.7 | 5.6 | 44.4 | 2.8 |
| | 男性-40代 | 66 | 3.0 | 60.6 | 10.6 | 25.8 | 0.0 |
| | 男性-50代 | 74 | 2.7 | 70.3 | 10.8 | 16.2 | 0.0 |
| | 男性-60代 | 80 | 0.0 | 51.3 | 17.5 | 23.8 | 7.5 |
| | 男性-70代以上 | 94 | 1.1 | 47.9 | 22.3 | 20.2 | 8.5 |
| | 女性全体 | 461 | 2.2 | 47.3 | 21.1 | 26.2 | 3.3 |
| | 女性-20代以下 | 46 | 6.5 | 56.5 | 13.1 | 23.9 | 0.0 |
| | 女性-30代 | 48 | 4.2 | 52.1 | 14.6 | 29.2 | 0.0 |
| | 女性-40代 | 80 | 3.8 | 53.8 | 20.0 | 22.5 | 0.0 |
| | 女性-50代 | 88 | 1.1 | 44.3 | 23.9 | 29.5 | 1.1 |
| | 女性-60代 | 98 | 1.0 | 48.0 | 25.5 | 25.5 | 0.0 |
| | 女性-70代以上 | 100 | 0.0 | 38.0 | 21.0 | 27.0 | 14.0 |

| | | n | 政治の場では | | | | |
|-------|----------|-----|--------|------|--------|-------|------|
| | | | 【女性優遇】 | 平等 | 【男性優遇】 | わからない | 無回答 |
| 全体 | | 867 | 1.7 | 12.3 | 65.8 | 15.6 | 4.6 |
| 性・年齢別 | 男性全体 | 381 | 3.1 | 18.9 | 59.0 | 16.5 | 2.4 |
| | 男性-20代以下 | 31 | 3.2 | 12.9 | 54.8 | 29.0 | 0.0 |
| | 男性-30代 | 36 | 8.3 | 27.8 | 41.6 | 22.2 | 0.0 |
| | 男性-40代 | 66 | 4.5 | 22.7 | 54.6 | 18.2 | 0.0 |
| | 男性-50代 | 74 | 4.1 | 21.6 | 59.5 | 14.9 | 0.0 |
| | 男性-60代 | 80 | 0.0 | 15.0 | 70.1 | 10.0 | 5.0 |
| | 男性-70代以上 | 94 | 2.2 | 16.0 | 60.6 | 16.0 | 5.3 |
| | 女性全体 | 461 | 0.6 | 7.2 | 74.6 | 15.0 | 2.6 |
| | 女性-20代以下 | 46 | 2.2 | 8.7 | 71.8 | 17.4 | 0.0 |
| | 女性-30代 | 48 | 0.0 | 6.3 | 66.7 | 27.1 | 0.0 |
| | 女性-40代 | 80 | 0.0 | 8.8 | 76.3 | 15.0 | 0.0 |
| | 女性-50代 | 88 | 0.0 | 5.7 | 78.4 | 14.8 | 1.1 |
| | 女性-60代 | 98 | 0.0 | 4.1 | 82.7 | 13.3 | 0.0 |
| | 女性-70代以上 | 100 | 2.0 | 10.0 | 67.0 | 10.0 | 11.0 |

<図表 46-4> 男女の地位の平等感／性・年齢別

| | | n | 地域活動の場では | | | | | 社会全体では | | | | |
|-------|----------|-----|----------|------|--------|-------|------|--------|------|--------|-------|-----|
| | | | 【女性優遇】 | 平等 | 【男性優遇】 | わからない | 無回答 | 【女性優遇】 | 平等 | 【男性優遇】 | わからない | 無回答 |
| 全体 | | 867 | 3.7 | 30.8 | 36.0 | 25.4 | 4.2 | 3.7 | 15.3 | 64.8 | 12.2 | 3.9 |
| 性・年齢別 | 男性全体 | 381 | 4.2 | 42.5 | 29.1 | 22.6 | 1.6 | 5.2 | 22.0 | 59.1 | 11.8 | 1.8 |
| | 男性-20代以下 | 31 | 6.5 | 32.3 | 25.8 | 35.5 | 0.0 | 9.7 | 29.0 | 42.0 | 19.4 | 0.0 |
| | 男性-30代 | 36 | 2.8 | 47.2 | 11.1 | 38.9 | 0.0 | 19.5 | 16.7 | 44.5 | 19.4 | 0.0 |
| | 男性-40代 | 66 | 3.0 | 50.0 | 18.1 | 28.8 | 0.0 | 7.6 | 33.3 | 46.9 | 12.1 | 0.0 |
| | 男性-50代 | 74 | 4.1 | 51.4 | 27.0 | 17.6 | 0.0 | 2.7 | 31.1 | 59.5 | 6.8 | 0.0 |
| | 男性-60代 | 80 | 5.0 | 35.0 | 37.5 | 16.3 | 6.3 | 1.3 | 13.8 | 70.1 | 10.0 | 5.0 |
| | 男性-70代以上 | 94 | 4.3 | 38.3 | 39.4 | 17.0 | 1.1 | 2.1 | 13.8 | 69.1 | 11.7 | 3.2 |
| | 女性全体 | 461 | 3.5 | 21.9 | 43.4 | 28.9 | 2.4 | 2.4 | 10.2 | 72.9 | 12.8 | 1.7 |
| | 女性-20代以下 | 46 | 2.2 | 23.9 | 34.8 | 39.1 | 0.0 | 4.3 | 17.4 | 67.4 | 10.9 | 0.0 |
| | 女性-30代 | 48 | 2.1 | 25.0 | 35.4 | 37.5 | 0.0 | 0.0 | 8.3 | 70.9 | 20.8 | 0.0 |
| | 女性-40代 | 80 | 3.8 | 28.8 | 32.5 | 35.0 | 0.0 | 6.3 | 17.5 | 62.6 | 13.8 | 0.0 |
| | 女性-50代 | 88 | 3.4 | 25.0 | 45.4 | 25.0 | 1.1 | 2.3 | 5.7 | 81.8 | 9.1 | 1.1 |
| | 女性-60代 | 98 | 2.0 | 20.4 | 49.0 | 28.6 | 0.0 | 1.0 | 8.2 | 79.6 | 11.2 | 0.0 |
| | 女性-70代以上 | 100 | 6.0 | 13.0 | 53.0 | 18.0 | 10.0 | 1.0 | 8.0 | 70.0 | 14.0 | 7.0 |

<調査結果>

男女の地位の平等感「地域活動の場では」について、「平等」の割合を性・年齢別に見ると、男性全体（42.5%）が全体よりやや高くなっています。一方で、女性全体が21.9%となっています。

「社会全体では」について、【女性優遇】の割合を性・年齢別に見ると、男性-30代（19.5%）が全体より高くなっています。

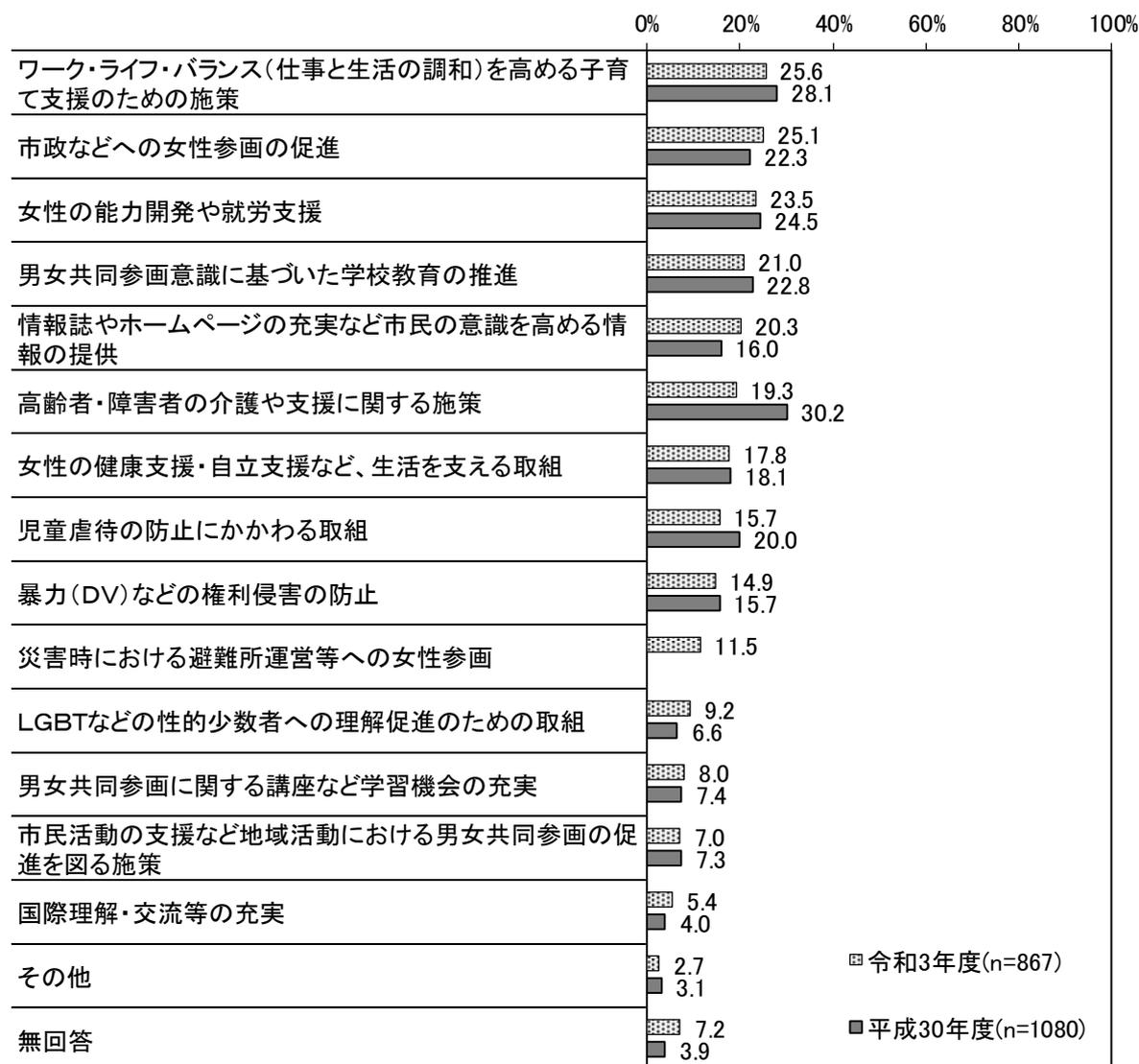
全ての項目の「平等」の割合を性・年齢別に見ると、男性-40代が全体よりやや高く又は高くなっています。

【男性優遇】の割合を性・年齢別に見ると、女性-60代において、「家庭生活では」（38.8%）、「地域活動の場では」（49.0%）、「社会全体では」（79.6%）で全体よりやや高く、「職場では」（53.0%）、「政治の場では」（82.7%）が全体より高くなっています。

(2) 男女共同参画の実現に向けて市が特に力を入れるべき取組

問 47 男女共同参画の実現に向けて市が特に力を入れるべきと思う取組はどのようなことですか。(○は3つまで)

<図表 47-1>男女共同参画の実現に向けて市が特に力を入れるべき取組



※「災害時における避難所運営等への女性参画」は令和3年度新規

<調査結果>

男女共同参画の実現に向けて市が特に力を入れるべき取組について聞いたところ、「ワーク・ライフ・バランス(仕事と生活の調和)を高める子育て支援のための施策」(25.6%)、「市政などへの女性参画の促進」(25.1%)、「女性の能力開発や就労支援」(23.5%)が2割半ばとなっています。

<図表 47-2> 男女共同参画の実現に向けて市が特に力を入れるべき取組(上位 10 項目)／性・年齢別

| | n | 高める子育て支援のための施策 | ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）を | 市政などへの女性参画の促進 | 女性の能力開発や就労支援 | 男女共同参画意識に基づいた学校教育の推進 | 情報誌やホームページの充実など市民の意識を高める情報の提供 | 高齢者・障害者の介護や支援に関する施策 | 女性の健康支援・自立支援など、生活を支える取組 | 児童虐待の防止にかかわる取組 | 暴力（DV）などの権利侵害の防止 | 災害時における避難所運営等への女性参画 |
|-------|----------|----------------|-------------------------|---------------|--------------|----------------------|-------------------------------|---------------------|-------------------------|----------------|------------------|---------------------|
| 全体 | 867 | 25.6 | 25.1 | 23.5 | 21.0 | 20.3 | 19.3 | 17.8 | 15.7 | 14.9 | 11.5 | |
| 性・年齢別 | 男性全体 | 381 | 24.4 | 31.8 | 20.7 | 22.0 | 20.2 | 19.9 | 15.7 | 15.0 | 15.0 | 12.9 |
| | 男性-20代以下 | 31 | 45.2 | 12.9 | 22.6 | 41.9 | 9.7 | 12.9 | 12.9 | 19.4 | 19.4 | 6.5 |
| | 男性-30代 | 36 | 41.7 | 16.7 | 19.4 | 33.3 | 13.9 | 13.9 | 11.1 | 22.2 | 16.7 | 16.7 |
| | 男性-40代 | 66 | 27.3 | 24.2 | 18.2 | 18.2 | 9.1 | 18.2 | 12.1 | 16.7 | 22.7 | 16.7 |
| | 男性-50代 | 74 | 32.4 | 29.7 | 20.3 | 18.9 | 25.7 | 23.0 | 17.6 | 16.2 | 6.8 | 16.2 |
| | 男性-60代 | 80 | 18.8 | 33.8 | 21.3 | 17.5 | 21.3 | 22.5 | 18.8 | 13.8 | 16.3 | 7.5 |
| | 男性-70代以上 | 94 | 7.4 | 48.9 | 22.3 | 20.2 | 28.7 | 21.3 | 17.0 | 9.6 | 12.8 | 12.8 |
| | 女性全体 | 461 | 27.8 | 20.6 | 26.9 | 21.0 | 21.3 | 19.3 | 20.2 | 17.1 | 15.4 | 11.1 |
| | 女性-20代以下 | 46 | 43.5 | 10.9 | 26.1 | 21.7 | 6.5 | 13.0 | 26.1 | 26.1 | 21.7 | 6.5 |
| | 女性-30代 | 48 | 37.5 | 16.7 | 33.3 | 25.0 | 18.8 | 6.3 | 22.9 | 16.7 | 22.9 | 6.3 |
| | 女性-40代 | 80 | 38.8 | 13.8 | 30.0 | 28.8 | 22.5 | 16.3 | 23.8 | 18.8 | 16.3 | 8.8 |
| | 女性-50代 | 88 | 30.7 | 28.4 | 25.0 | 13.6 | 19.3 | 17.0 | 14.8 | 15.9 | 10.2 | 5.7 |
| | 女性-60代 | 98 | 22.4 | 28.6 | 25.5 | 27.6 | 25.5 | 20.4 | 20.4 | 15.3 | 19.4 | 12.2 |
| | 女性-70代以上 | 100 | 10.0 | 18.0 | 25.0 | 13.0 | 26.0 | 31.0 | 18.0 | 15.0 | 9.0 | 21.0 |

<調査結果>

男女共同参画の実現に向けて市が特に力を入れるべき取組について、「市政などへの女性参画の促進」の割合を性・年齢別に見ると、男性-70代以上（48.9%）が全体より高くなっています。

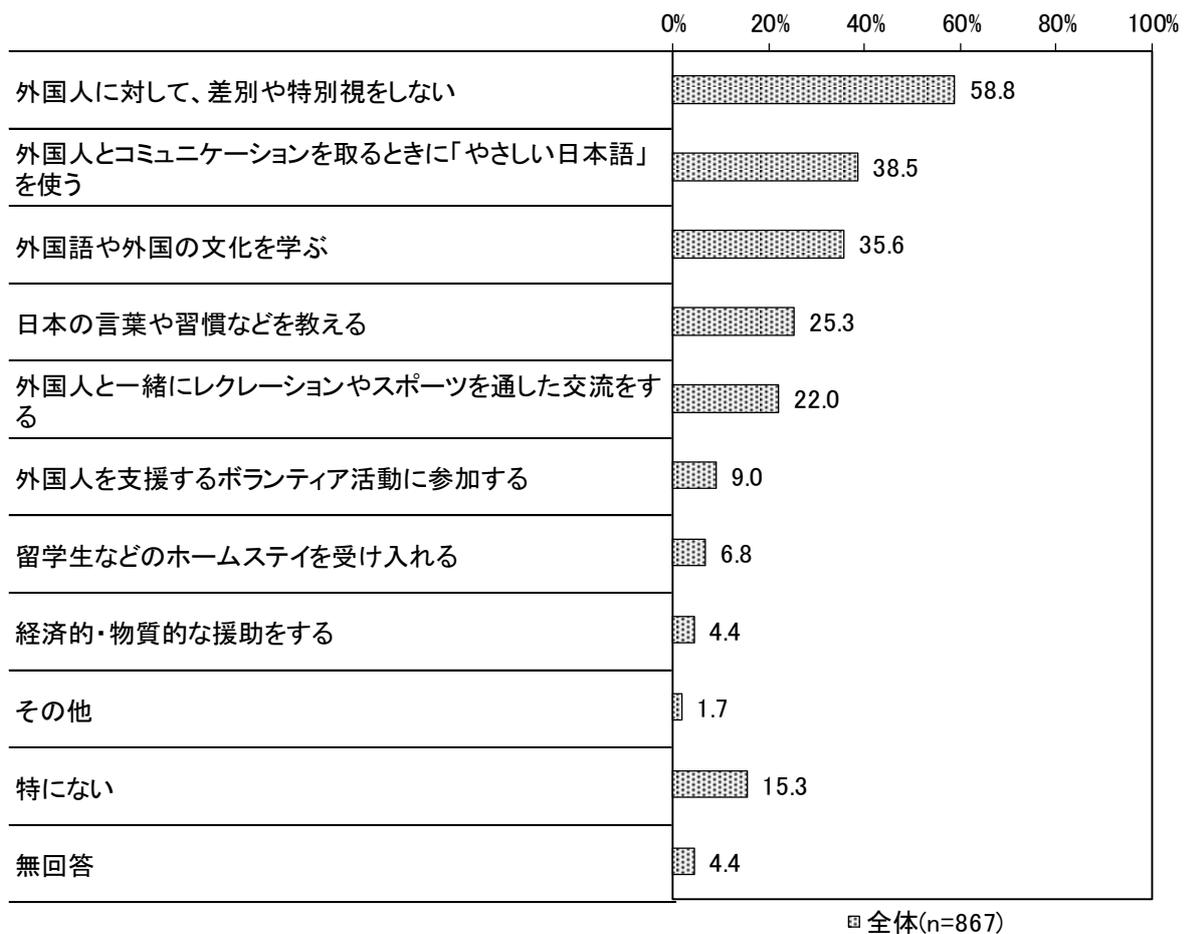
男性・女性共に若年層で「ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）を高める子育て支援のための施策」の割合が高い傾向が見られます。

15 多文化共生

(1) 多文化共生の推進に向けてあなた自身ができること・したいこと

問 48 多文化共生を進めていく上で、あなたができることや、したいと思うことを次の中から選んでください。(○はいくつでも)

<図表 48-1> 多文化共生の推進に向けてあなた自身ができること・したいこと



<調査結果>

多文化共生の推進に向けてあなた自身ができること・したいことについて聞いたところ、「外国人に対して、差別や特別視をしない」(58.8%)が5割後半と最も高く、次いで、「外国人とコミュニケーションを取るときに「やさしい日本語」を使う」(38.5%)が3割後半、「外国語や外国の文化を学ぶ」(35.6%)が3割半ばとなっています。

<図表 48-2> 多文化共生の推進に向けてあなた自身ができること・したいこと(上位 10 項目)
 /性・年齢別

| | n | 外国人に対して、差別や特別視をしない | 外国人とコミュニケーションを取るときに「やさしい日本語」を使う | 外国語や外国の文化を学ぶ | 日本の言葉や習慣などを教える | 外国人と一緒にレクリエーションやスポーツを通じた交流をする | 外国人を支援するボランティア活動に参加する | 留学生などのホームステイを受け入れる | 経済的・物質的な援助をする | その他 | 特にない | |
|-------|----------|--------------------|---------------------------------|--------------|----------------|-------------------------------|-----------------------|--------------------|---------------|-----|------|------|
| 全体 | 867 | 58.8 | 38.5 | 35.6 | 25.3 | 22.0 | 9.0 | 6.8 | 4.4 | 1.7 | 15.3 | |
| 性・年齢別 | 男性全体 | 381 | 59.1 | 38.6 | 39.6 | 26.5 | 23.9 | 8.1 | 6.3 | 5.0 | 1.6 | 16.3 |
| | 男性-20代以下 | 31 | 64.5 | 51.6 | 61.3 | 35.5 | 25.8 | 12.9 | 16.1 | 0.0 | 0.0 | 16.1 |
| | 男性-30代 | 36 | 72.2 | 47.2 | 50.0 | 38.9 | 30.6 | 11.1 | 11.1 | 8.3 | 0.0 | 8.3 |
| | 男性-40代 | 66 | 57.6 | 42.4 | 54.5 | 24.2 | 27.3 | 4.5 | 7.6 | 6.1 | 3.0 | 10.6 |
| | 男性-50代 | 74 | 59.5 | 44.6 | 40.5 | 20.3 | 25.7 | 10.8 | 2.7 | 5.4 | 0.0 | 9.5 |
| | 男性-60代 | 80 | 58.8 | 33.8 | 30.0 | 23.8 | 23.8 | 6.3 | 5.0 | 1.3 | 2.5 | 20.0 |
| | 男性-70代以上 | 94 | 53.2 | 27.7 | 25.5 | 27.7 | 17.0 | 7.4 | 4.3 | 7.4 | 2.1 | 25.5 |
| | 女性全体 | 461 | 61.6 | 40.3 | 33.8 | 25.2 | 21.5 | 10.2 | 7.6 | 4.1 | 2.0 | 15.2 |
| | 女性-20代以下 | 46 | 58.7 | 45.7 | 50.0 | 34.8 | 28.3 | 15.2 | 19.6 | 8.7 | 0.0 | 15.2 |
| | 女性-30代 | 48 | 60.4 | 43.8 | 50.0 | 25.0 | 29.2 | 16.7 | 16.7 | 2.1 | 4.2 | 6.3 |
| | 女性-40代 | 80 | 68.8 | 38.8 | 48.8 | 35.0 | 33.8 | 15.0 | 8.8 | 5.0 | 5.0 | 6.3 |
| | 女性-50代 | 88 | 60.2 | 48.9 | 37.5 | 25.0 | 18.2 | 6.8 | 5.7 | 4.5 | 2.3 | 12.5 |
| | 女性-60代 | 98 | 65.3 | 37.8 | 20.4 | 14.3 | 14.3 | 9.2 | 2.0 | 4.1 | 0.0 | 19.4 |
| | 女性-70代以上 | 100 | 55.0 | 33.0 | 17.0 | 24.0 | 15.0 | 5.0 | 4.0 | 2.0 | 1.0 | 25.0 |

<調査結果>

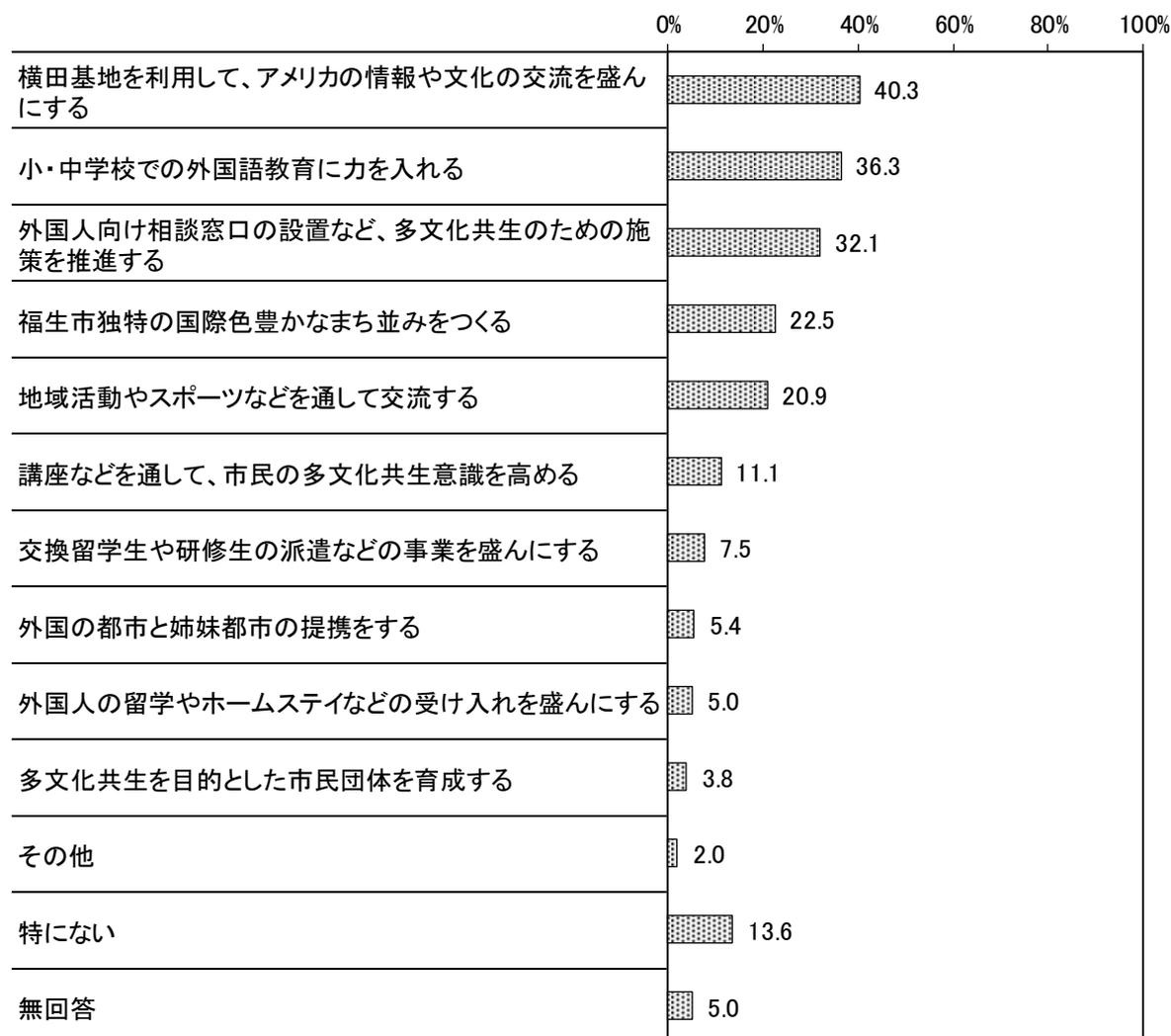
多文化共生の推進に向けてあなた自身ができること・したいことについて、「外国人に対して、差別や特別視をしない」の割合を性・年齢別に見ると、男性-30代(72.2%)が全体よりやや高くなっています。

「外国語や外国の文化を学ぶ」の割合を性・年齢別に見ると、男性・女性共に20代以下~40代で全体より割合が高い傾向にあります。

(2) 多文化共生の推進に向けて特に力を入れるべき取組

問 49 多文化共生を進めていく上で、特に力を入れるべきだと思うことを、次の中から選んでください。(〇は3つまで)

<図表 49-1> 多文化共生の推進に向けて特に力を入れるべき取組



回全体(n=867)

<調査結果>

多文化共生の推進に向けて特に力を入れるべき取組について聞いたところ、「横田基地を利用して、アメリカの情報や文化の交流を盛んにする」(40.3%)が約4割と最も高く、次いで、「小・中学校での外国語教育に力を入れる」(36.3%)、「外国人向け相談窓口の設置など、多文化共生のための施策を推進する」(32.1%)が3割を超えています。

<図表 49-2> 多文化共生の推進に向けて特に力を入れるべき取組(上位 10 項目)／性・年齢別

| | n | 横田基地を利用して、アメリカの情報や文化の交流を盛んにする | 小・中学校での外国語教育に力を入れる | 外国人向け相談窓口の設置など、多文化共生のための施策を推進する | 福生市独特の国際色豊かなまち並みをつくる | 地域活動やスポーツなどを通して交流する | 講座などを通して、市民の多文化共生意識を高める | 交換留学生や研修生の派遣などの事業を盛んにする | 外国の都市と姉妹都市の提携をする | 外国人の留学やホームステイなどの受け入れを盛んにする | 多文化共生を目的とした市民団体を育成する | |
|-------|----------|-------------------------------|--------------------|---------------------------------|----------------------|---------------------|-------------------------|-------------------------|------------------|----------------------------|----------------------|------|
| 全体 | 867 | 40.3 | 36.3 | 32.1 | 22.5 | 20.9 | 11.1 | 7.5 | 5.4 | 5.0 | 3.8 | |
| 性・年齢別 | 男性全体 | 381 | 45.7 | 32.0 | 32.0 | 26.2 | 21.8 | 10.0 | 6.3 | 5.8 | 5.8 | 3.9 |
| | 男性-20代以下 | 31 | 61.3 | 61.3 | 32.3 | 29.0 | 22.6 | 3.2 | 12.9 | 9.7 | 16.1 | 3.2 |
| | 男性-30代 | 36 | 55.6 | 33.3 | 27.8 | 30.6 | 27.8 | 8.3 | 8.3 | 8.3 | 5.6 | 2.8 |
| | 男性-40代 | 66 | 51.5 | 33.3 | 30.3 | 24.2 | 18.2 | 7.6 | 9.1 | 4.5 | 4.5 | 3.0 |
| | 男性-50代 | 74 | 48.6 | 28.4 | 31.1 | 29.7 | 21.6 | 10.8 | 2.7 | 6.8 | 4.1 | 2.7 |
| | 男性-60代 | 80 | 41.3 | 23.8 | 37.5 | 25.0 | 23.8 | 11.3 | 6.3 | 3.8 | 6.3 | 8.8 |
| | 男性-70代以上 | 94 | 34.0 | 30.9 | 30.9 | 23.4 | 20.2 | 12.8 | 4.3 | 5.3 | 4.3 | 2.1 |
| | 女性全体 | 461 | 37.7 | 41.2 | 33.6 | 20.6 | 21.3 | 12.4 | 8.9 | 5.4 | 4.6 | 3.9 |
| | 女性-20代以下 | 46 | 41.3 | 43.5 | 39.1 | 17.4 | 19.6 | 6.5 | 13.0 | 4.3 | 8.7 | 4.3 |
| | 女性-30代 | 48 | 60.4 | 62.5 | 27.1 | 22.9 | 25.0 | 4.2 | 12.5 | 8.3 | 6.3 | 0.0 |
| | 女性-40代 | 80 | 45.0 | 42.5 | 33.8 | 25.0 | 20.0 | 15.0 | 17.5 | 7.5 | 7.5 | 10.0 |
| | 女性-50代 | 88 | 42.0 | 36.4 | 36.4 | 18.2 | 20.5 | 9.1 | 6.8 | 2.3 | 3.4 | 4.5 |
| | 女性-60代 | 98 | 26.5 | 34.7 | 34.7 | 21.4 | 20.4 | 19.4 | 6.1 | 5.1 | 0.0 | 0.0 |
| | 女性-70代以上 | 100 | 27.0 | 40.0 | 31.0 | 19.0 | 23.0 | 13.0 | 3.0 | 6.0 | 5.0 | 4.0 |

<調査結果>

多文化共生の推進に向けて特に力を入れるべき取組について、「横田基地を利用して、アメリカの情報や文化の交流を盛んにする」の割合を性・年齢別に見ると、男性-20代以下(61.3%)、男性-30代(55.6%)、女性-30代(60.4%)が全体より高くなっています。一方で、女性60代以上で全体よりやや低くなっています。

